

未来をつくる実践目標

チャレンジ 2022

【ver.3】

(令和4年度 主要政策)



令和5年4月

福井県

はじめに

福井県では、「2040年のふくい」の将来像を県民の皆さんと共有する「福井県長期ビジョン」を令和2年7月に策定し、長期ビジョンに基づく県政運営を行っています。

このため、令和2年度から、毎年度、県がどのような姿を目指し、どのような政策を進めようとしているのかを、「実践目標」として長期ビジョンの体系で整理し、県民の皆さんに分かりやすくお示ししています。

また、長期ビジョンでは、北陸新幹線福井・敦賀開業を迎えるこの5年間に最重点化して実行する政策を「新時代スタートアッププロジェクト」と位置付けており、その主なプロジェクトを冒頭にまとめています。

今回、令和4年度の進捗状況および政策の成果をとりまとめました。

各政策の実行に当たっては、県民、市町、企業、団体の皆さんとの連携を重視し、「チームふくい」で進めていきます。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

分野ごとの主な施策（主な施策ごとの進捗状況は、県未来戦略課HPをご覧ください）

令和5年3月時点

分野	目指す姿	主な施策		目標（KPI）	
		ver.1	ver.3	ver.1	ver.3
学びを伸ばす（人材力）	17	143	145	134	136
成長を創る（産業力）	18	122	133	115	123
楽しみを広げる（創造力）	16	143	148	150	155
安心を高める（地域力）	16	106	108	122	124
ともに進める（総合力）	9	39	39	31	31
合計	76	553	573	552	569

※ver.1は年度当初の計画。ver.3は年度末の状況。年度途中で、必要に応じ施策の追加、見直しを行っています。

目次

令和4年度の主な成果	2
------------	---

新時代スタートアップ主要プロジェクト

(1) ふくいエンタメ計画	8
～ふくいの魅力をとがらせよう～	
(2) 次世代チャレンジ宣言	13
～チャレンジで未来をつくろう～	
(3) しあわせアクション運動	18
～一人ひとりがプレイヤーになろう～	

分野別の主要政策別 令和4年度の主な成果	21
----------------------	----

≪巻末資料≫

未来をつくる実践目標「チャレンジ2022」ver.3	
結果概要について	42

令和4年度 分野別の主要政策（別冊）

I 学びを伸ばす（人材力）

政策1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成	3
政策2 ふくいの産業・社会を支える人づくり	20
政策3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現	26
政策4 希望が叶う「結婚・出産・子育て」応援	37

II 成長を創る（産業力）

政策5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ	44
政策6 地域経済のイノベーション	58
政策7 Society 5.0時代の新産業創出	70
政策8 拡大する世界市場をふくいの成長へ	76

III 楽しみを広げる（創造力）

政策9 100年に一度のまちづくり	82
政策10 北陸新幹線開業効果を最大化	96
政策11 人が人を呼ぶ、移住・定住新戦略	109
政策12 文化・スポーツがふくいの活力	116

IV 安心を高める（地域力）

政策13 人生100年時代の健康ライフスタイル	124
政策14 いつでもどこでも安心の医療・介護・福祉	129
政策15 ふるさとの暮らしと風景の維持	137
政策16 防災・治安先進県ふくいの実現	145

V とともに進める（総合力）

政策17 「チームふくい」の行政運営	157
政策18 広域パートナーシップの強化	165

参考 持続可能な開発目標（SDGs）

2015年の国連サミットにおいて採択されたSDGsは、「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会」の実現を目指し、国際社会が協調して取り組む世界共通の目標です。

2030年を年限とする17のゴールの下に、169のターゲット、232の指標が定められており、日本においては、「あらゆる人々の活躍の推進」、「健康・長寿の達成」など8つの優先課題を掲げた実施指針を策定し、取り組みを進めています。



SDGsの17のゴール（目標）

1 貧困をなくそう	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる	10 人や国の不平等をなくそう	各国内および各国間の不平等を是正する
2 飢餓をゼロに	飢餓を終わらせ、食糧安全保障および栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する	11 住み続けられるまちづくりを	包括的で安全かつ強靱で持続可能な都市および人間居住を実現する
3 すべての人に健康と福祉を	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する	12 つくる責任 つかう責任	持続可能な生産消費形態を確保する
4 質の高い教育をみんなに	すべての人々への包括的かつ公平な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する	13 気候変動に具体的な対策を	気候変動およびその影響を軽減するための緊急対策を講じる
5 ジェンダー平等を実現しよう	ジェンダー平等を達成し、すべての女性および女子の能力強化を行う	14 海の豊かさを守ろう	持続可能な開発のために海洋資源を保全し、持続的に利用する
6 安全な水とトイレを世界中に	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する	15 陸の豊かさを守ろう	陸域生態系の保護・回復・持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・防止および生物多様性の損失の阻止を促進する
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な現代的エネルギーへのアクセスを確保する	16 平和と公正をすべての人に	持続可能な開発のための平和で包括的な社会の促進、すべての人々への司法へのアクセス提供、およびあらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包括的な制度の構築を図る
8 働きがいも経済成長も	包括的かつ持続可能な経済成長、およびすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する。	17 パートナーシップで目標を達成しよう	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	強靱なインフラ構築、包括的かつ持続可能な産業化の促進、およびイノベーション（技術革新）の拡大を図る		

令和4年度の主な成果

県民主役の県政運営

幸福度ランキング5回連続1位



(一財)日本総合研究所が公表した「全47都道府県幸福度ランキング2022年版」において、5回連続で総合1位となりました。今後も、福井の良さを未来に受け継ぎながら、100年に一度のチャンスを活かして、さらに魅力を高めるとともに、誰もが幸せを実感できる「一人ひとりの最大幸福・しあわせ先進モデル」の実現を目指します。

政策デザインの強化



デザイン思考により、県民目線で課題解決の道筋を描く政策デザインを強化しました。

県政における重要度の高いテーマについては、知事自身も参加し、デザイナーと直接意見交換する政策検討ミーティングを開催。目的の明確化やコンセプトの構築など政策立案の上流から、情報発信の仕方まで、幅広く議論し、政策の質の向上を図りました。

協働って仕掛けづくり



企業・団体等の「ふくいSDGsパートナー」と協力し、今年度初めて9～10月を独自のSDGs月間に設定。期間中に企業・団体等が実施する135件の県民向けイベントを一体的に広報しました。



ふくいチャレンジ人材塾

また、市町との協働を強化するため、県・市町職員の合同研修「ふくいチャレンジ人材塾」を初めて実施するとともに、北陸新幹線開業や中部縦貫自動車道開通に向け、市町長と意識の共有を図る政策ディスカッションを県内3か所で開催しました。



三県連携の関西アンテナショップイメージ

さらに、近隣県との連携を進め、初めて北陸三県知事による懇話会等を開催し、三県のマラソンの交流促進（ふくい桜マラソンと金沢マラソンは連携協定も締結）や、三県連携の関西アンテナショップの整備決定等につなげました。滋賀県とは、福井県が誘致する木材B材工場への原木供給等について合意しました。

少子化対策・移住定住の推進

日本一幸福な子育て県「ふく育県」の推進



今年度から子育て支援予算を倍増し、第2子の保育料無償化の範囲の拡充や男性トイレへのおむつ交換台の設置（ベビサポトイレ）、全天候型の遊び場の整備のほか、日本一充実した不妊治療費助成制度の創設などを行いました。

2月には、第1回目の「こども政策対話」が本県にて開催され、岸田首相から「福井県の子育ては目指すべきモデルケース」と評価されました。

子育て世帯の移住支援の強化



「ふく育県」テレビCM

県・市町の支援によりUIターンした「新ふくい人」の数が1,200人を超え、過去最高を更新した昨年度からさらに2割増加しました。

大都市圏の子育て世帯をターゲットに、「ふく育県」をPRする動画を制作しました。テレビCMなどで流した結果、約250万回再生されました。

移住支援金制度について、子どもを帯同して移住する世帯への加算制度を新設し、全国からの子育て世帯の移住を促進しました。

誰もがチャレンジできる社会に

若者のチャレンジを応援



「エキセントリック・カレッジ
ふくい」開校式

地域のリーダーとなる若者を育成する実験的仮想大学「エキセントリック・カレッジふくい」を9月に開校しました。県内外のエキセントリックな講師を招き、様々な講義やフィールドワークを実施しました。

県の若手職員が企画立案する「チャレンジ政策提案」を行いました。14チームが知事へプレゼンし、過去最多の73名の職員が参加しました。

「フクション！」が本格化 (福祉に、アクションを)



フクション！フェス

福祉に新たなアクションを起こすプロジェクト「フクション！」で初めてフェスを開催しました。障がい者スポーツ体験や手話カフェ、アート展示などの企画を行い、様々な面から障がい者福祉を見て、知って、楽しみながら触れてもらう機会を創出。延べ2,000人超の県民が来場しました。

女性活躍の推進



女性の積極的な人材育成・登用を進める「女性活躍推進企業」が339社に拡大。また、企業で働く女性リーダー育成研修「ハッピーキャリア”緑”カレッジ」を開校しました。

県庁では、男性職員の育休取得の促進、女性管理職の登用、各種委員会での女性委員選出などを率先して実践。2023年都道府県版ジェンダー・ギャップ指数の行政分野にて全国5位となりました。

外国人が住み・働きやすい環境を整備



ウクライナからの避難家族と面談

多文化共生の地域づくりを行う団体に向けた「多文化共生推進応援金」による支援に加え、地域住民とのコミュニケーションの橋渡しや災害時の自助・共助を担う「外国人コミュニティリーダー」の委嘱により、多文化共生を推進しました。

また、ロシアによるウクライナ侵攻に伴う避難民の方々が県内で安心して生活できる環境を整えたほか、日本語学習や就労等に関する支援を行いました。

将来を担う人材の育成

県内定着に向け多様な学びの場の提供



【内観イメージ】

恐竜学部（仮称）学部棟イメージ

福井県立大学において、令和7年4月に開設予定の「恐竜学部（仮称）」について、県立恐竜博物館の隣接地に整備する学部棟の基本設計を行うなど、準備を進めました。

また、次世代の地域リーダーを養成する文系の新学部の設置に向け、有識者会議にて検討を行いました。

探究的な学びの推進



第2回全国高校生プレゼン甲子園

県立高校では魅力化を図るため、新学科・新コースを設置し特色的なカリキュラムを設けるとともに、生徒が主体となって探究的な活動を進めました。こうした探究活動の発表の場として、全国高校生プレゼン甲子園（34都道府県から441チームが応募）を開催しました。

百年に一度のまちづくり・にぎわいづくり

高速交通網の整備促進



新幹線福井駅の外観

北陸新幹線は、駅舎の工事や新九頭竜橋の開通など着実に進展しました。駅周辺の整備も進み、芦原温泉駅西口賑わい施設「アフレア」や福井市観光交流センター、道の駅「越前たけふ」、敦賀駅前複合施設「TSURUGA POLT SQUARE otta」が完成しました。



大野IC - 勝原IC開通式

中部縦貫自動車道は、各ICの名称が正式決定するとともに、県内道路最長のトンネルの貫通や、大野IC - 勝原IC間の開通など、順調に整備が進みました。

敦賀港では、3月末に、国が鞆山南地区の岸壁220メートルを延伸する新規事業化を決定。県では、本事業との連携を図りながら、背後のふ頭用地を整備し、敦賀港の機能強化を進めていきます。また、アメリカの大型クルーズ客船「ウエステルダム」が敦賀に初寄港しました。コロナ禍の影響により止まっていた、海外クルーズ客船の受入が約3年ぶりに実現しました。



「ウエステルダム」敦賀初寄港

県内観光地の磨き上げ



一乗谷朝倉氏遺跡博物館

10月1日に一乗谷朝倉氏遺跡博物館を開館し、3月末までの来館者は9万人を超えました。また、恐竜博物館のリニューアル工事や、東尋坊再整備の支援などを進めました。



レイクセンター

三方五湖周辺では、レインボーライン山頂公園のレストランのオープンや、「BRIDAL LAND WAKASA」の開館のほか、日本初の電池推進遊覧船が発着するレイクセンターが完成しました。

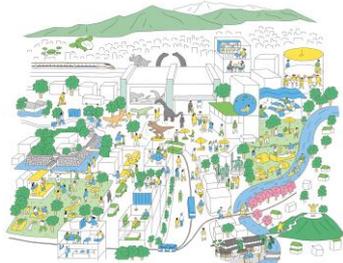
魅力的な宿泊施設の増加に向け、旅の目的地となる民宿等への改修支援を行うとともに、リゾートホテルの整備・運営に向けて星野リゾートと協定を締結しました。



永平寺整備イメージ

また、世界的に高い評価を受けるシェフが料理を提供するオーベルジュの整備を働きかけ、三国湊エリアと永平寺町に進出が決定しました。

魅力あるまちづくり



県都グランドデザイン
将来像のイメージ

県都にぎわい創生協議会において、「誰もが主役に！楽しさあふれる県都」を将来像とした「県都グランドデザイン」をとりまとめました。

並行在来線会社「株式会社ハピラインふくい」において、新駅整備や駅を中心としたまちづくりなどに着手しました。

WAKASABAY リフレッシュエリア



若狭湾サイクリングルート

敦賀駅から若狭高浜駅を結ぶ若狭湾サイクリングルート（わかさいくる）のナショナルサイクルルートの指定に向け、矢羽根等の整備、ガイド養成講座、SNSによる情報発信などを進めました。

また、2024嶺南誘客キャンペーンの誘客コンセプトを「青々吉日（あおあおきじつ）」とし、基本計画を策定しました。

新幹線開業に向けた交流拡大・魅力発信

新幹線開業カウントダウン



カウントダウンイベント

北陸新幹線福井・敦賀開業まで、いよいよ1年を切りました。

起点となる東京駅や丸の内周辺施設において、約1か月にわたりカウントダウンキャンペーンを実施しました。また、県内では、開業に向けたワクワク・ドキドキを実感いただくため、県民のみなさんのメッセージ動画のお披露目など、カウントダウンイベントを開催しました。

新アンテナショップのオープン



ふくい食の国 291

“県内企業の販路とふくいファンの裾野”の拡大をコンセプトとする新アンテナショップ「ふくい食の国 291」が、2月に銀座にオープンしました。

また、「ふくい南青山 291」は、県内中小企業の新たなビジネス展開と食によるブランド発信の新たな拠点をコンセプトとし3月にリニューアルオープンしました。

ふくいの食のトップブランド化



いちほまれ新CM発表会

じゃらん宿泊旅行調査2022の「地元ならではのおいしい食べ物が多かった」ランキングで全国1位になりました。

デビュー5周年を迎えたいちほまれば、新米販売開始に先がけ、9月に鈴木福さん、誉さん兄妹を起用した新CM発表会を開催しました。また、北陸新幹線で獲れたたの「ふくい甘えび」の輸送を始めたほか、首都圏等で活躍するトップシェフを講師に迎え人材を育成する「サスティナブル・カリナリー・カレッジ」を開講しました。

価値づくり産業の創出

新たな経済ビジョンの策定



新たな経済ビジョンの策定に向けたワーキンググループ

県内企業を取り巻く社会経済情勢の変化に対応し、アフターコロナ時代の産業政策の方向性を示すため、新たな経済ビジョンの策定を進めています。

県内企業の付加価値や生産性に加え、従来の経済戦略にはなかった県民のウェルビーイングの向上に着目するとともに、福井の未来を担う「人への投資」を戦略の柱に位置付けています。

高付加価値企業等の立地を推進



誘致企業からの報告会

企業立地セミナー等での知事トップセールスを契機として、海外企業と共同で日本酒の輸出拡大を図る企業の進出が実現しました。

昨年度に新設した補助制度を活用し、県外のIT企業がシステム開発の拠点となるオフィスを県内に新設しました。

また、約30年ぶりとなる県営産業団地の整備を進めており、候補地を福井、敦賀、小浜の3市に決定しました。

農林水産業の成長拡大



あわら市清滝の実証地の様子

スマート農業機械の実演会や全国農業担い手サミットの開催、GPS基地局の利用促進等により、スマート農業導入面積は、前年度の約1.2倍の5,060haまで拡大しました。

条件の良い森林において、所有者と事業者の間で10年程度の長期一括契約を締結し、効率的な主伐、再造林・保育を行うことにより収益の向上等を図る「ふくい型林業経営モデル」の構築を目指しています。9月からは伐採から運搬までの作業の効率化などの現地実証を行いました。

スポーツと文化で福井を盛り上げ

スポーツは福井の活力



北陸新幹線開業実感リレーウオーク

ふくい桜マラソン1年前プレ大会や、北陸新幹線開業実感リレーウオーク、福井丸岡RUCKと福井ユナイテッドFCによる「フットボールデー」など、多彩なスポーツイベントを開催しました。また、2023 WORLD BASEBALL CLASSICの日本の劇的な優勝に貢献した吉田選手、中村選手や、バドミントン世界選手権女子シングルスにて連覇を果たした山口選手など、本県ゆかりのスポーツ選手が躍動しました。

本県ゆかりの紫式部が大河ドラマに



PR用紫式部キャラクター

NHKに対し、本県ゆかりの人物を主人公とし、本県が舞台となるドラマの実現を要望しました。5月に、令和6年のNHK大河ドラマは、本県ゆかりの紫式部が主人公の「光る君へ」になることが発表されました。紫式部と本県の関係性や、ゆかりの地を歴史・旅行雑誌や新聞広告で発信し、観光誘客につなげていきます。

安全安心なふくいの実現

頻発する自然災害への対応



武田自民党災害対策特別委員会委員長への大雨災害に関する緊急要請

8月に発生した大雨災害では、嶺北と嶺南の交通が遮断された際の移動手段の確保等とともに、国への緊急要請を行い、激甚災害への指定などにつなげたほか、被災した道路等の速やかな復旧や災害防止対策を進めました。

3月には、地球温暖化対策の推進に向け、2030年度の温室効果ガス排出量を49%削減（2013年度比）すること等を目標に掲げた、新しい環境基本計画を策定しました。

新型コロナへの対応



インフルエンザとの同時流行に備え、医師会と協力し、1日最大5千人受診可能な医療体制を確保するなど、先手先手の対応を行いました。

また、感染症法上の5類移行後も安心して医療機関を受診できる体制について、医師会など関係機関と連携して準備を進めました。

DXによるポストコロナの社会変革

DXで暮らしを豊かに

デジタル(テレマティクス)技術を活用した
新たな交通安全対策



冬のDigi田甲子園
内閣総理大臣賞受賞

冬のDigi田甲子園にて、福井県と県警、あいおいニッセイ同和損保(株)が取り組んだ「デジタル技術を活用した新たな交通安全対策」が内閣総理大臣賞(全国1位)を受賞しました。

また、サービス連携基盤を活用し、子育て世帯限定のふく割を発行したほか、スマート農林水産業の推進や県制度融資手続の電子化など、県民や企業が利便を実感できるデジタル活用を推進しました。

新型コロナ・物価高騰からの経済再生

新型コロナからの経済再生に向けた消費喚起策として「ふく割」を発行し、県民の約半数の方に日常的に利用いただいています。また、全国を対象に「ふくいdeお得キャンペーン」を実施しました。

さらに、物価高騰の資金需要にも対応できる制度融資への改正や、電気・ガス価格高騰の影響を受ける事業者への給付制度の創設など、機動的に対応しました。



新時代スタートアップ

主要プロジェクト

2020年～2024年の合言葉は

\\とんがろう、ふくい//

新時代スタートアップ★プロジェクト



ふくいの魅力をとがらせよう

～ふくいエンタメ計画～

観光や文化、スポーツなどのとがった魅力でたくさんの人を呼び込もう！

みんなが楽しめるまちを作ろう！

チャレンジで未来を作ろう

～次世代チャレンジ宣言～

おもしろい仕事をみんなで増やそう！

みんながしあわせな、新しい働き方を実現しよう！

一人ひとりがプレイヤーになろう

～しあわせアクション運動～

一人ひとりのできることを考えて、持ち寄ろう！

みんなの「小さなアクション」を積み重ねて、ふくいを変えよう！



(1)ふくいエンタメ計画 ~ふくいの魅力をとがらせよう~

観光、文化、スポーツ等の尖った魅力で多くの人を呼び込み、県民も来訪者も、誰もが楽しめる場所・機会をみんなで作ります。

○観光・まちづくりに重点投資

新幹線駅周辺のまちづくり

北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、新幹線駅設置市と協働し、駅周辺に各地域の特長を活かした魅力的な空間を形成し、賑わいを創出します。

■ 福井駅西口市街地再開発を支援

福井駅前電車通り北地区において、A街区では建築工事等に対する支援、B街区では解体工事等に対する支援を行いました。



■ 福井駅周辺のにぎわいづくりに向けた官民連携によるまちづくりを推進

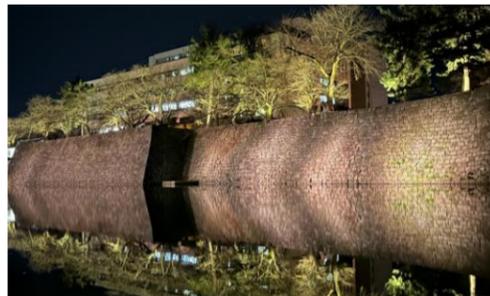
県都にぎわい創生協議会において、「誰もが主役に！楽しさあふれる県都」を将来像とした「県都グランドデザイン」を策定しました。



県都グランドデザイン 将来像のイメージ

■ 「福井城址活用検討懇話会」の提言に基づき、福井城址の活用を推進

福井城址の活用に向けた気運醸成を図るため、福井城セミナーを開催しました。また、石垣のライトアップ整備などを進めました。



■ 各新幹線駅の駅前広場や観光交流センター等の整備を促進

芦原温泉駅西口賑わい施設「アフレア」や、福井市観光交流センター、道の駅「越前たけふ」が完成しました。また、敦賀駅の新幹線駅前広場などの整備に対して支援しました。



芦原温泉駅 西口賑わい施設「アフレア」

■ 金ヶ崎地区を中心に氣比神宮など周辺エリアを含む敦賀のまちづくりを推進

金ヶ崎周辺魅力づくり協議会において、金ヶ崎地区のオーベルジュを核とした複合施設整備や、氣比神宮の大鳥居に面する神楽通りの参道化等についての検討を進めました。



■ 観光型MaaSを推進

JR西日本が、11月に観光型MaaS「tabiwa」をリリースし、周遊パス等の販売を開始しました。



観光客の心をつかむ魅力づくり

観光リゾートエリアの形成により、本県の観光資源の魅力を高めるとともに、食の発信や観光列車の運行などを推進し、新幹線開業に向け、誘客を拡大します。

■ 恐竜博物館のフルモデルチェンジに向け、整備を促進

世界に誇る恐竜化石の研究ならびに情報発信の拠点を目指し、恐竜研究を体験できる「化石研究体験室」の設置など恐竜博物館の機能強化を図るための整備を進めました。



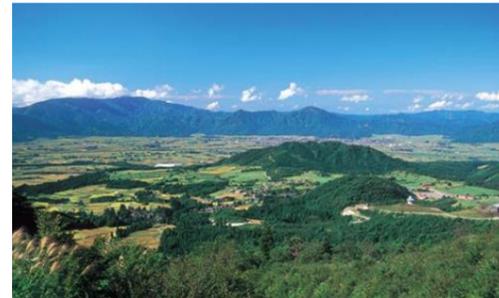
■ **東尋坊・三方五湖エリア**における観光拠点整備を支援

東尋坊の駐車場一元化や、三方五湖の新レイクセンター等の整備を支援しました。



■ **六呂師高原**の活性化策や誘客の柱となる事業を検討

六呂師高原活性化構想の実現に向け、民間事業者の誘致・事業者選定を進めました。



■ **若狭湾サイクリングルート**の走行環境・受入環境等を整備

ナショナルサイクルルートの指定に向け、案内看板等の整備、モニターツアーや地域でのワークショップの開催、SNSによる情報発信等を進めました。



■ 県内へ**リゾートホテル**を誘致

県内複数か所におけるリゾートホテル整備運営について、星野リゾートと協定を締結しました。



■ 福井を舞台とした**大河ドラマ**や**朝ドラ**を誘致

4月および5月にNHKに対し本県ゆかりの人物を主人公とし、本県が舞台となるドラマの実現を要望しました。5月に、令和6年の大河ドラマは、本県ゆかりの紫式部が主人公の「光る君へ」と発表されました。紫式部と本県の関係性や、ゆかりの地を歴史・旅行雑誌や新聞広告で発信しました。



PR用紫式部キャラクター

■ **日本一選ばれるお米「いちほまれ」** に向け販売店舗を拡大

4月からJAと一体となって卸業者へ販促活動を実施し、イオンなど量販店での販促キャンペーンに対する支援を行うことで、取扱店舗数を拡大しました。また、鈴木福さん、誉さん兄妹を起用したいちほまれの新CMを作成し、10月から11月にかけて県内ほか首都圏等で放映しました。



■ **「日本一のそばどころ」**ふくいを全国に発信

本県の特徴ある在来種そばを広く味わってもらうため、「おいしい福井県産そば使用店」の参加店舗をめぐる「スマホ de スタンプラリー」を8月から2カ月間ずつ3回実施しました。



■ ブランド魚「若狭ぐじ」「**越前がれい**」「**ふくい甘えび**」「若狭まはた」等、四季を通して発信

5月から北陸新幹線を使って「ふくい甘えび」を首都圏に7回輸送し、水揚げの翌日に飲食店に提供しました。さらに、11月からは「越前がれい極」を高級和食店に提供。12月には「若狭ぐじ極」を京料理展示大会に出展するなど、県産水産物の認知度と魅力の向上を図りました。



■ **新しい代表食材5品目**の一体的なプロモーションを強化

首都圏スーパーマーケットでの県産品フェアを拡大し、代表食材の販売を行ったほか、10～11月には首都圏飲食店での福井フェアに合わせて新幹線開業カウントダウンキャンペーンを実施しました。また、飲食店向けの食材セミナー、メディア向けの試食会、キッチンカーでのマルシェ出店等を行い、「若狭ぐじ」「さかほまれ地酒」等の新しい代表食材の認知度向上を図りました。



■ 都市圏のターゲット層に対して**“売り”となる必食の逸品**を創出

食のトップバイヤー岩城紀子氏提案の福井の新名物料理 6 品を決定し、お披露目会を開催しました。九頭竜まいたけを使った「九頭竜まいたけカレー」などの新名物料理は、参加店舗において 3 月から販売を開始しました。



■ **食文化魅力創造スクール**により人材を育成

学長に京都の老舗料亭「菊乃井」の村田吉弘氏を迎え、7 月に開講。3 月末までに 3 コース合わせて 14 回の実習および講義等を実施し、35 人が受講しました。



■ 一流シェフによる地域の食材を活かした**オーベルジュ**を誘致

県内でのオーベルジュ整備を働きかけた結果、坂井市および永平寺町で事業者がオーベルジュの整備に着手しました。



永平寺整備イメージ

■ 食ブランド力向上につながる**飲食店**等の開設を支援

国内外の有名店で修業したシェフが運営するフランス料理店など 5 件の県内出店に対し支援しました。また、道の駅越前たけふ内でのシェアキッチンの開設を支援しました。



■ JR小浜線における**観光列車**の乗り入れ・周遊ツアーを実施

丹後くろまつ号の小浜線乗り入れ運行を 10 月に実施しました。4 日間で 6 コース 12 便を運行するとともに、駅からの周遊ツアーを開催しました。



■ インバウンド対策 **Wi-Fi・キャッシュレス決済・免税店**を整備

道の駅「若狭美浜はまびより」における多言語看板の設置等を支援したほか、インバウンドアドバイザーの働きかけにより、伝統工芸やメガネ等 5 店舗が免税店として登録されました。



■ 敦賀以西への誘客促進のため**嶺南誘客キャンペーン**を開催

嶺南誘客キャンペーン実行委員会「若者チャレンジ会議」において地元の若手事業者等と意見交換を行い、新しい誘客コンセプトなどを盛り込んだ基本計画を作成しました。



○ **国体レガシー**を活かし、「アスリートの聖地」へ

スポーツによるまちづくり・交流人口拡大

スポーツ大会の連続開催や県内のトップスポーツチームの活躍応援など、スポーツをまちづくりや交流人口の拡大に活かします。

■ **アスリートナイトゲームズ、日本スポーツマスターズ2023福井大会**などスポーツイベントの開催を支援

アスリートナイトゲームズなど大規模スポーツイベントの開催を支援したほか、日本スポーツマスターズ 2023 福井大会の開催に向け、市町や競技団体との協力体制を構築しました。



■ **ふくい桜マラソン開催**に向けた機運を醸成

ふくい桜マラソン 1 年前プレ大会の開催やルー
ーマラソン、目的地をめぐるロゲイニングなど、初心
者でも気軽に参加できるランニングイベントを毎月
開催。また、市町と連携し、スマートフォンアプリを
使ってランニングなどでポイントを集めるオンライン
イベントも開催しました。



■ トップスポーツチームを「**ふくい県民応援チーム(愛称:FUKUIRAYS)**」

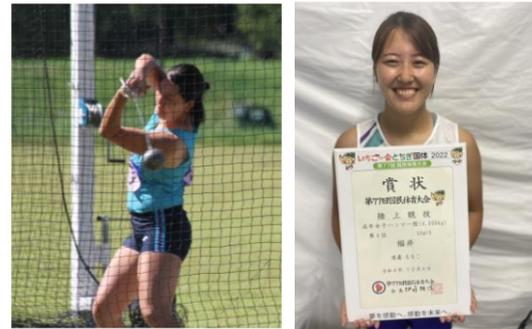
として徹底応援

福井丸岡RUCKと福井ユナイテッドFCの連携に
より、フットサルとサッカーの両方を 1 日で楽しめる
W観戦企画「フットボールデー」が開催され、多く
の県民が運動公園に観戦に訪れました。



■ 「**スポジョブふくい**」によるアスリートのUターンを推進

「スポジョブふくい」によるアスリートの就職支援を
実施し、22 人が令和 5 年春採用内定しました。
また、令和 6 年春就職に向けたインターンシ
ップ等の活動支援も開始しました。



■ 誰もが発表できる「**まちなかステージ**」の設置を支援

昨年度設置した福井駅周辺に加え、5 月には
敦賀市の国道 8 号歩行空間、12 月には大野市
の五番商店街において、新たなまちなかステージ
を設置しました。



■ アーティストが地域資源を活かして制作活動を行う**アートプロジェクト**を応援

5 月から地域資源を活かして新たに取り組むア
ートプロジェクト 2 件を含む芸術文化活動団体の
活動費助成と芸術文化アドバイザーによる相談
支援、研修会を実施しました。



■ **一乗谷朝倉氏遺跡博物館**を開館

10 月 1 日に博物館を開館しました。同時に開
館記念特別展「発掘調査の歩み」をスタートし、
カフェ・ミュージアムショップもオープンしました。
開館から 3 月末までの間に、9 万人を超える
お客様をお迎えしています。



■ **一乗谷朝倉氏遺跡全体の誘客**策を展開

博物館開館に合わせ、10 月 1 日からARアプリ
「戦国時空伝」をリリースするとともに、JR越美北
線「戦国列車」や、案内ガイド付き遺跡周遊バス
の運行を開始しました。



○まちと暮らしに音楽・アート

デザイン・アートなど「若者・よそ者」が集まるまちづくり

芸術文化に親しむ機会を充実するとともに、フェス等の賑わいイベントを拡大し、多彩な楽しみにあふ
れる「おもしろい」まちづくりを進めます。

■ 若手アーティストによる「**まちかどコンサート**」を開催

10 月から 3 月にかけて、県内全市町の身近な
場所で、福井ゆかりのアーティストによる「まちかど
コンサート」を開催しました。



伝統工芸を活かした新時代のまちづくり

千年文化の象徴である伝統工芸産地における体験型イベント等を拡充し、新たな賑わい創出と産地力向上を実現します。

■ 丹南伝統工芸産地における本物体験プログラムを造成

丹南広域観光協議会における、越前和紙や越前打刃物などの伝統工芸体験プログラム等の造成を支援しました。



■ 県内外のデザイナー等とコラボした**伝統工芸ブランド「F-TRAD」**による商品を開発

新進気鋭のデザイナーと伝統工芸職人がコラボレーションして越前和紙のピクニックシート、若狭めのうのイヤリングなど現代生活に調和する7品を新たに開発し、1月から販売を開始しました。



(2)次世代チャレンジ宣言 ～チャレンジで未来をつくらう～

「次世代ファースト」の観点から、創業支援、働き方改革により若者に魅力ある仕事を創り、尖った企業・人材を増やします。

○新分野チャレンジ「創業するならふくい」

多様な企業誘致の推進

大規模な産業団地の造成を進め、高級ホテルやITサテライトオフィス、本社機能の誘致や投資拡大により、さらなる経済発展と雇用創出を実現します。

■ 知事のトップセールスによる先端企業の誘致を促進

企業立地セミナー等での知事トップセールスを契機として、オンラインでのセミナーや面談なども活用して誘致活動を進め、海外企業との共同出資により日本酒の輸出拡大を図る企業、PCR検査試薬を製造する企業等の県内進出を実現しました。



■ 高付加価値企業や、都市圏同様の待遇の維持など魅力ある企業を誘致

令和3年度に創設した補助制度を活用し、社員ファーストの職場環境が整った物流施設や、システム開発の拠点となるIT企業のオフィスを誘致しました。



「福井型エコシステム」の構築

地域内でお金・人・技術等の経営資源が循環する仕組みを構築し、次代を担う産業人材の育成と有望ベンチャーを創出します。

■ 専門家等による事業計画磨き上げや個別メンタリングで有望ベンチャーを育成

県内経営者に対する意識啓発セミナーや若手起業家が集うベンチャー経営塾を開催しました。また、第8回福井ベンチャーピッチを開催し、有望ベンチャー企業等5社が、支援機関やパートナー候補の企業など約270名に対しプレゼンを行いました。



■ 独創的なアイデアを持つ学生・若者スタートアップを創出

30代以下の若者を対象として、起業マインドの醸成、ビジネスアイデアのブラッシュアップを図るとともに、同じ志を持つ仲間とのコミュニティが形成できるよう、ワークショップの実施やメンターによる個別指導を行いました。

アプリの開発・運営事業などを開始する学生3者に対し、起業にかかる初期経費に関する資金支援を実施しました。



■ 事業承継に向けた企業価値向上と県外人材等による第三者承継を支援

県外人材等による第三者承継を進めるために、5月からサーチファンドを活用した事業承継の支援を開始し、サーチファンド運営事業者に対して、後継者不在の県内企業情報を提供しました。また、事業承継に向けて企業価値の向上に取り組む28者に対して補助金を支給し、円滑な事業承継を支援しました。



■ 働きやすい職場づくりに取り組む「社員ファースト企業」を拡大

すべての働く人が安心して働き活躍できる職場を実現するため、県内企業による働きやすい職場環境づくりへの支援や取組事例の積極的な発信を実施。「社員ファースト」宣言企業は209社に拡大しました。

また、特に優れた取組みを実践している7社を「社員ファーストアワード」として表彰しました。



成長産業へのチャレンジ応援

伝統のものづくり技術を活かし、航空機産業やヘルスケア産業など次世代産業における技術・製品開発を進めるとともに、農林水産業の成長産業化を促進します。

■ 企業の人工衛星運用技術の習得を支援し、人工衛星製造のビジネス化を推進

県内企業の衛星運用技術習得を支援するため、新たな衛星の開発を開始。令和6年度の打上げに向け、衛星エンジニアリングモデル(試作機)の開発に着手しました。



■ エネルギー関連など成長の見込まれる分野の可能性調査・技術開発を支援し、企業の稼ぐ力を向上

環境負荷に配慮した水を使わない染色加工機の開発など、6件の省エネルギー・次世代エネルギー関連の共同研究を支援。県内企業が研究開発や販路拡大に向けたPRに取り組みました。



水を使わずに染色・加工した生地

■ 嶺南Eコースト計画に基づくスマートエネルギーエリアを形成

嶺南市町が進めるスマートタウンのモデル地区整備に向けた取組みに対して、嶺南スマートエリア推進補助金を活用し、支援しました。

また、嶺南市町および電力事業者と連携し、EVを活用したVPP(仮想発電所)※の実証実験を行いました。

※地域に分散する自治体や企業等の電力設備(EV、蓄電池等)を制御し、発電所と同様の需給調整機能を持たせる仕組み



■ 「立地地域の将来像に関する共創会議」に参画し、地域の将来像と、その

実現に向けた基本方針等を、国や立地市町、電力事業者とともに策定

共創会議において議論を進めてきた「将来像の実現に向けた基本方針と取組」が6月に取りまとめられ、高速炉研究開発の中核的拠点化に向けた調査の実施や原子力リサイクルビジネスの国のリーディングプロジェクト化、水素の製造・発電実証プラントの整備、大阪・関西万博への水素供給などの取組みが示されました。



■ ICTを活用したスマート農業を推進

GPS田植え機など農作業の省力化・軽労化等を紹介するスマート農業機械の実演会や全国農業担い手サミットin福井大会を開催しました。

また、31のモデルとなる農業経営体を育成し、スマート農業を導入する水田が5,060haに拡大しました。



■ 園芸タウンの整備により園芸産出額を拡大

県内各地区で、10の協議会が設立され、園芸タウンの協議が進められています。

令和4年度は奥越地区の園芸タウンにおいて、サトイモの植付け機や株割り機等を整備しました。また、坂井市の三里浜砂丘地ではメロン等のリースハウスを19棟整備しました。



■ 農遊コンシェルジュの育成、農遊スタンプラリーで農村回遊を促進

4月から農遊コンシェルジュ育成研修を実施し、64名を認定しました。

また、県内の直売所や観光地111か所を繋ぎ、旅行者が農村を巡って楽しむ農遊スタンプラリーを開催。2,600名以上の方が参加しました。



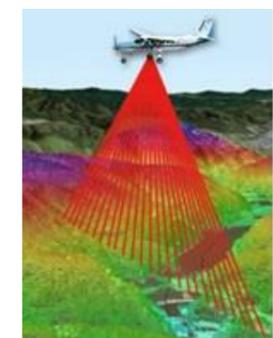
■ 「ふくい型林業経営モデル」の構築による主伐・再造林を推進

条件の良い森林において、所有者と事業者が長期一括契約を締結し、効率的な主伐、再造林・保育を行うことにより収益の向上等を図る「ふくい型林業経営モデル」の構築を目指して、現地実証を実施しました。



■ 航空レーザ計測による高精度の森林情報を共有・活用し、林業DXを推進

南越前町、おおい町において森林航空レーザ計測を進め、年度末までに県内森林面積の46%の計測を終えました。並行して、各自治体や林業事業者間で森林情報を共有する森林クラウドシステムを整備しました。



■ 「ふくいウッドチャレンジ推進ネットワーク」を創設し、
民間施設での県産材利用を拡大

企業における県産材利用を推進するため、関係団体等が連携し、県産材利用に関する情報の共有や企業からの相談対応等を行う「ふくいウッドチャレンジ推進ネットワーク」を10月に創設しました。



■ 水産学術産業拠点で水産増養殖の共同研究を開始、**養殖生産規模の拡大**を支援

小浜市堅海に新たに整備した水産学術産業拠点「かつみ水産ベース」において、4月からサーモンやサバの養殖の効率化、安定供給等に向けた共同研究を開始しました。



■ **農家レストラン**や**観光農園**を整備し、農山漁村の交流人口を拡大

令和5年12月のオープンに向け、南越前町の道の駅「南えちぜん山海里」横に 観光客を農山漁村に呼び込み、回遊してもらうための観光農園の整備を支援しました。



南越前町観光農園イメージ

○次世代を担う人材の輩出

AI時代に活躍する人材育成

AI、IoTなど最新技術を活用できる人材の育成を進め、産業の高付加価値化と関連ビジネスの集積を目指します。

■ DXラボと支援機関が連携し、**企業のDX推進を伴走支援**

ふくいDXオープンラボの相談員が6月から県内の商工会議所や商工会で出張相談会を開催し、63件の相談に対応しました。また、DXに取り組む際の参考として、DXの手引きと事例集を作成しました。



■ 学生、転職者等を対象にITスクールを開講し、企業の**IT人材を育成・確保**

県内で活躍するIT人材を育成するため、10月から「ふくいITエンジニア養成スクール」を開講。49名が受講し、29名が修了しました。
また、IT人材採用に関心のある37社がサポーター企業となり、企業見学会やインターンシップ等を実施して、スクール受講者との交流を図りました。



■ IoT・AI・5G等の先端技術の導入による企業の**業務効率化、高付加価値化**を支援

県内企業の競争力強化のため、IoTなどのデジタル技術や5G通信環境等を活用した新サービスの提供や業務効率化を行う28件の取組みを採択しました。



■ **県外IT人材の雇用、副業・兼業の都市部人材の活用**により

県内企業の成長を支援

県内企業のDXを推進するため、県外IT人材の新規正社員雇用や副業・兼業人材を活用した業務改善、新事業創出など10件の取組みを採択しました。

デジタル技術による業務改善等に向けて
新たな人材確保を行う事業者さまに

正社員雇用：最大250万円
副業・兼業人材活用：最大50万円
を補助！

福井県庁からご案内
『社内変革に向けた**即戦力人材雇用促進補助金**』

産学官連携による地域人材の輩出

若者に魅力のある学びの場の創出や、福井の特色を活かした新学部・新学科の創設等により、県内外から学生を呼び込み、福井を支える産業人材を輩出します。

■ 県立大学に「恐竜学部(仮称)」を新設

令和7年4月の学部開設に向け、勝山市に設置予定の学部棟の基本設計を行うとともに、建設予定地の地質調査を実施しました。



■ 大学と産業界等との連携により社会人のリスキリング教育を展開

地元企業のニーズに応じて、DX実践講座やマネジメント講座、カーボンニュートラル講座を開催しました。



■ 企業・市町・県と協働したPBLを推進し「ふくい創生人材」を輩出

県内大学の学生・教員が企業・市町・県と協働して地域の課題解決に取り組むPBL(プロジェクト型学習)を合計101件実施しました。



■ 園芸・林業・水産カレッジにて次世代の農林水産業人材を育成

園芸カレッジには30名、林業カレッジには13名、水産カレッジには12名が新たに入校し、技術や経営に関する研修に取り組みました。また、修了生が県内で就農・就業しました。



日本一の出会い・子育て応援

県と市町が協力して全県的な出会い応援の仕組みをつくとともに、「子だくさんふくいプロジェクト」を推進し、将来を担う子どもたちが生まれ、育ちやすい「日本一の出会い・子育て応援社会」をつくりま

■ ふくい結婚応援協議会を核としたオールふくいの結婚支援

県全域の独身者を対象に、ツアー型の婚活イベントを開催しました。
また、ふくい婚活サポートセンターのマッチングシステム登録者向けの相談会やセミナーを開催するとともに、民間相談所登録者との引き合わせを可能にした専用サイトを構築しました。



■ 多子世帯への支援を第2子に拡大「子だくさんふくいプロジェクト」を実施

令和4年9月から第2子の保育料無償化の所得制限を年収640万円未満の世帯まで拡大し、多子世帯への支援を強化しました。



■ 第2子以降の3歳未満児童の「在宅育児」を支援

全ての市町と協働し、年収360万円未満世帯を対象に在宅育児応援手当を支給しました。



■ 男性育休や短時間勤務、不妊治療休暇など子育てしやすい職場環境を整備

企業に対し、男性の育児休業等を推進する奨励金を支給したほか、企業のワークライフバランスの推進を図るため、経営者向け講習会の開催やテレビCMによる機運醸成等を行いました。



■ 在宅で子育てしやすい**テレワーク環境**づくりを推進

育児や介護などの事由で通勤が困難な方の雇用や就業継続を促進するため、テレワーク導入企業に対する支援を行うとともに、新たな導入や定着を促進するため、国と連携してセミナーへの参加を働きかけしました。



■ 父親が子どもとお出かけしやすい環境を整える「**ベビサポトイレ**」の整備を支援

「ふく育」応援団参加店舗や県・市町の公共施設など 24 箇所の男性トイレにおいて、オムツ交換台やベビーチェア等の設置を進めました。



■ 「**ふく育**」応援団によるすべての子育て家庭と妊婦を応援、子育て情報を一元化

1,800 以上の県内店舗が「ふく育応援団」に登録。11 月下旬からは応援団店舗で使用できる「ふく育割」を発行し、約 35,000 世帯で子育てに活用されました。



■ 子育てのイメージをプラスに変える**子育てバックアップキャンペーン**を実施

子育てに対するポジティブなイメージを醸成するため、県内向けテレビ CM を放送しました。また、カリスマ保育士を招き「ふく育県」を語るトークイベントを開催したほか、県の子育て支援を紹介する YouTube 動画を制作・公開しました。



■ 地域における**全天候型の遊び場**の整備を支援

心身ともに健やかな子どもの育ちを支援するため、天候に関わらず子どもたちが安心して遊ぶことのできる遊び場の充実を図っています。現在、各市町が全天候型の遊び場整備に向けた検討を進めています。



■ **フォスタリング機関**による里親の確保と質の高い里親養育を実現

里親のリクルートや、里親を対象とした研修の実施に加え、里親家庭への訪問や休日・夜間の相談対応、里親等による相互交流などを実施しました。



(3)しあわせアクション運動 ～一人ひとりがプレイヤーになろう～

それぞれが自分の立場でできることを考え、持ち寄る「県民総参加」の社会をつくれます。

○県民の“夢実現”を徹底応援

県民の主体的な活動を応援

自らの夢実現や生きがい充実に努力する県民の活動を応援し、一人ひとりのアクションの積み重ねにより、地域を活性化します。

■ 地域のリーダーとなる若者を育成する**教育プログラムコース**を実施

地域のリーダーとなる若者を育成する実験的仮想大学「エキセントリック・カレッジふくい」を9月に開校しました。90名の申し込みがあり、その中から25名の受講生を採用。3月までの半年間、県内外のエキセントリックな講師を招き、様々な講義やフィールドワークを実施しました。



■ 若者による若者応援組織「**ふくい若者フォーラム**」の活動を支援

一歩踏み出したい、アクションを起こしたい若者が一同に集まり、地域で活躍するプレイヤーから直接アドバイスを受ける「ふくい若者ミライ会議」を開催しました。57名の若者が参加し、自分が実現したいことへの道筋を、ワークショップを通して具体化しました。



■ **若者・女性・NPO**のチャレンジプランコンテストを開催し、徹底応援

女性や若者、NPOが実施する福井の活性化につながる新たな活動プランを応援する「県民ワクワクチャレンジプランコンテスト2022」を7月に開催しました。女性部門6件、若者部門4件、NPO部門5件のプランを採択しました。



■ ふるさと納税活用の**クラウドファンディング**により県民活動を応援

ふるさと納税を活用し、20事業のクラウドファンディングを支援しました。17事業が目標金額を達成し、福井の食材を使った新商品の開発や、富裕層向けのモニターツアーなどが実現しました。



○課題解決へ**県民アクション**

県民との協働による地域力向上

まちづくりや地域課題解決に向けた県民の主体的な活動を広げるとともに、さまざまなプレイヤーが協働することにより、新たな活力を生み出します。

■ 将来構想実現に向けた県民主権の「**FUKUI未来トーク**」を開催

長期ビジョンの普及に向け、学校や企業を対象としたワークショップや、県民が自らのアクションを考え、発信する「FUKUI未来トーク」を実施しました。また、県立図書館において長期ビジョンを紹介するパネル展示やクイズを初めて実施。「私のアクション」をフリップに書いてもらう「FUKUI未来トーク」コーナーを設け、参加した方のアクションをSNSにおいて紹介しました。



■ 「**SDGsパートナー**」の登録拡大、連携により次世代を育成

「ふくいSDGsパートナー」の取組みをPRするとともに、県民のSDGs活動実践を促進するため、9～10月を独自のSDGs月間に設定。パートナーが実施する135件の県民向けSDGs関連イベント等を一体的に広報しました。



■ 県内デザイナーとの協働による「**政策デザイン**」を強化

県内デザイナー等との政策検討ワークショップを25回、デザイナーとともに潜在的ターゲットとなる現場へ出向くヒアリング調査を5回実施し、電車通勤乗換え促進など新たな政策が10件生まれました。また、政策立案の上流部分から県民目線で質の高い政策を立案するため、知事とデザイナーによる政策検討ミーティングを実施しました。



■ 県と**市町協働**による課題解決策の検討やシステム共同化を推進

全市町にマイナポイント支援員を派遣するなど、県と市町が協働しマイナンバーカード取得促進に取り組んだ結果、普及率は全国平均を上回る86%に達しました。



■ 「ふくい“しあわせ実感”パートナープラン」に基づく男女共生社会の実現に向けた取り組みを促進

お茶の水女子大学と協働による女性リーダー育成研修「ハッピーキャリア“縁”カレッジ」を開校したほか、女性活躍推進コンシェルジュによる企業訪問コンサルティングを実施しました。



■ 県民向け**サービス連携基盤**を活用し、地域課題を解決

デジタルサービスをつなぎ、地域課題解決を図る新たなサービスを創出するデータ連携基盤を整備しました。

第一弾として、ふく育パスポートとふく割を連携させ、子育て世帯を対象としたクーポンをプッシュ型で発行しました。



○ローカルチャレンジ「移住するならふくい」

関係人口の創出・拡大

都市部の学生や社会人に向け、地域との「関わりしろ」となるプロジェクトや交流の機会を提供するなど、福井に呼び込む仕掛けをつくり、地域の活性化につなげます。

■ アートキャンプなど**学生の長期滞在型キャンプ**の実施を支援

県内3地区(鯖江市、坂井市、小浜市)において、県外学生が、夏季の長期滞在キャンプや週末等を利用して継続的に来県し、地域を題材としたアート作品や、地元企業の紹介動画の制作などに取り組みました。



■ 「**多文化共生推進応援金**」により、外国人支援など多文化共生の地域づくりを行う

団体の活動を支援

今年度新たに採択された3団体が活動報告を行い、県内外の留学生に福井の魅力を知らせてもらう就活ツアーや、未来の多文化共生リーダーを育てるワールドキャンプなど特色ある取り組みを発表しました。



■ 都市人材を呼び込む「**地方兼業**」の取り組みを拡大

都市部で働く専門家(データ分析、デジタル人材育成、システム開発等)を兼業委嘱し、政策立案や事業執行のアドバイスや職員向けセミナーを通じ、高度な知見を県施策へ還元しました。



■ 外国人が**住み・働きやすい環境**を整備し、活躍を促進

台風や大雪の際の外国人県民の安心につなげるため、県が委嘱している外国人コミュニティリーダーが自ら災害情報を発信しました。

また、10月に開催した福井国際フェスティバルでは、12か国・地域のリーダーが文化紹介などを行いました。



■ 地域との交流や体験活動を促進する「**ワーケーション**」の受入を推進

7市町のワーケーションパッケージの企画受入を支援したほか、都市部企業や親子、インフルエンサーによる県内でのワーケーション体験を進めました。



■ しごと・住まい・定着支援を組み合わせた「**移住応援パック**」を発信

7月から都市部大手求人情報サイトに福井県特設ページを設け、福井の生活環境や若者・子育て世帯向け求人を掲載(若者向け43件、子育て世帯向け20件)し、マッチングを行いました。



■ **移住サポーター**による情報発信や現地コーディネートなど、「人が人を呼ぶ」活動を促進

移住サポーターをすべての市町に1人以上(19名5団体)委嘱。移住希望者からの相談対応や現地案内、移住者交流会の開催など、移住前から後まできめ細やかに移住者を支援していただきました。



都市部への「攻め」の移住政策

関西・中京からの移住促進体制を強化するとともに、都市部在住者に対する就職・就農・事業承継など、多様なマッチングを行い、ふくいにおける新たなチャレンジを促進します。

■ 子育て世代への「**移住支援金**」を加算

東京圏からの子育て世帯の移住に対し、子ども一人当たり30万円を加算、東京圏以外からの子育て世帯の移住に対しては、最大30万円を加算し、3月末までに49件支援しました。



■ 三大都市圏における**就職支援協定大学**を拡大

新たに7校と協定を締結し、協定校は54校となりました。福井県出身学生を対象に就職支援説明会の開催や支援メニュー等の情報を提供しました。



■ **若者や子育て世代**やシングルマザーなど新たな移住者層を開拓

県内企業の仕事や暮らし、子育て環境を体験するツアーを企画し、若者向けと子育て世帯向けに各2回ずつツアーを実施。関東や関西を中心に29人が参加しました。



分野別の主要政策別 令和4年度の主な成果

<5つの分野>

○将来像の実現を目指して、次の5分野に分けて具体的な政策を企画・実行

○福井の「文化」と「デザイン」の力を活かし、政策の質を向上

学びを伸ばす (人材力)	成長を創る (産業力)	楽しさを広げる (創造力)	安心を高める (地域力)	ともに進める (総合力)
ふくい人が宝。 地域を支え、 未来を創造する 人材の育成	力強い産業基盤 の確立。 チャレンジできる 地域経済の構築	多彩な魅力で 交流拡大。 交通新時代の 活力の創出	人生100年時代の 「健康文化」創造。 くらしを守る 安全・安心	協働による 県民主役の県政。 外に開き 連携強化

	政 策		重点施策	施 策
学びを伸ばす (人材力)	1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成 <ul style="list-style-type: none"> 学力・体力全国トップクラスの高い基礎力をもとに、子ども自身の個性を「引き出す教育」、好奇心や探究心を持って学びを「楽しむ教育」を推進 自らの可能性に挑戦し、一人ひとりの個性が輝く福井の子どもを育成 		個性を引き出し、学びを楽しむ教育プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> 少人数学級や習熟度別指導、ICTの活用等の推進 ふるさと教育・キャリア教育の推進、スポーツ・文化芸術活動の充実 など 	<ul style="list-style-type: none"> 個性や主体性を発揮し、自らの可能性に挑戦する人材の育成 一人ひとりの多様な存在や価値観を認め合い、協働して課題を解決する教育の充実 郷土を学ぶ教育の推進など、ふるさとを愛する子どもの育成 教員の働き方改革や放課後児童クラブ等の充実など、子どもの成長を社会全体で支える教育環境の整備 など
	2 ふくいの産業・社会を支える人づくり <ul style="list-style-type: none"> 産学官連携により、福井の産業や自然を活かした教育・研究を推進し、若者に魅力的な学びの場を創出 人生100年時代のリカレント教育を充実し、生涯活躍し続ける創造性豊かな人材を育成 		「ふくい創生人材」育成プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> 魅力的な大学づくりや高校等との連携強化による県内進学への促進 F A A (ふくいアカデミックアライアンス) による県内大学の連携強化 など 	<ul style="list-style-type: none"> 農や水産増養殖、古生物学の学術拠点など、新たな学部・学科の創設による若者に魅力的な大学づくり 地域でのフィールドワークや共同研究など産学官連携による地域人材の輩出 多様な人生設計を支えるリカレント教育の充実 など
	3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現 <ul style="list-style-type: none"> 女性、若者、高齢者など、性別、年齢に関わらず誰もが様々なことに挑戦できる共生社会を実現 障がい者、外国人など多様な人材が活躍する「ダイバーシティ地域経営」を推進 		みんなが主役「ワンチームふくい」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> 「共働き方改革」による新たなライフスタイルの実現、若者・シニアのチャレンジ応援 障がい者、外国人の就労や生活環境の整備 など 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭でも職場でもワークシェアを進め、男女が互いに尊重しあう「男女共生社会」の実現 若者同士のネットワークを拡大、面白い挑戦を「ちよい足し」応援 全世代の県民や企業等が社会貢献活動に参加しやすい環境づくり 障がい者の就労支援や外国人が住みやすい環境の整備 など
	4 希望が叶う「結婚・出産・子育て」応援 <ul style="list-style-type: none"> 将来を担う子どもたちを産み育てる若い世代を社会全体で支える仕組みを拡充 「日本一の出会い・子育て応援社会」を構築 		子たくさんふくいプロジェクト <ul style="list-style-type: none"> 多子世帯への経済的支援を2人目からに拡大 保育人材の確保など保育の受け皿の強化 など 	<ul style="list-style-type: none"> 「自然な出会い」の環境づくりなど新たな出会いのサポート 妊娠・出産前後からの切れ目ない支援体制を強化するなど安心して出産・子育てできる環境の整備 男性の育児・家事参加の促進やシニア・学生による子育て支援など子どもの健全な成長を社会全体で支える仕組みづくり など
成長を創る (産業力)	5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ <ul style="list-style-type: none"> 福井の生活・文化を形づくってきた農林水産業を大切に守り、次世代に引き継いでいくとともに、その魅力を福井の発信に最大限活用 新技術の活用などにより、力強い成長産業にレベルアップ 		稼げる農林水産業創出プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> スマート技術の活用による稼げる農林水産業の実現、カレッジ等での人材育成 農林水産業と観光等の他産業を結び付けるプラットフォームの形成 など 	<ul style="list-style-type: none"> スマート農業の普及や大規模経営化による生産性の向上 「いちほまれ」や「ふくいそば」など福井の美味しい食のトップブランド化 観光農園の整備など新たな交流促進による農山漁村の魅力創出 県産材の需要と供給を拡大し、育てる林業から稼げる林業へ転換 養殖生産やスマート漁業の推進など水産業の成長を促進 など
	6 地域経済のイノベーション <ul style="list-style-type: none"> 地域内の経営資源が循環する「福井型エコシステム」の構築、デザインの活用等による地域経済のイノベーションを創出 新技術の活用による生産性向上や人材確保、人を幸せにする働き方改革の推進など地域経済の持続的発展を応援 		お金・人・技術の地域内循環・拡大プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> 有望ベンチャーへの投資などスタートアップ企業の発掘・育成 「後継ぎベンチャー」の支援など事業創継の推進 など 	<ul style="list-style-type: none"> 起業家による創業支援など地域内でお金や人を循環 デザインの力によるものづくり産地の魅力向上 和菓子店や酒蔵、伝統工芸など暮らしに根差した小さな企業の応援 AI、IoT等の新技術の活用による地域企業の生産性向上や外国人材の受入促進等による人材確保 幸せと生産性を両立する「しあわせ働き方改革」の実行 など
	7 Society5.0 時代の新産業創出 <ul style="list-style-type: none"> 高いものづくり技術を活かした成長産業への進出や新技術を活かした高付加価値産業への転換 若者や女性を惹きつける企業の誘致 		ものづくり産業の新市場挑戦プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> 生産・データ利活用の拡大、人材集積を通じ、衛星ビジネスの国内拠点を形成 未来型エネルギー技術や自然に優しい新素材の開発 など 	<ul style="list-style-type: none"> 航空・宇宙、ヘルスケア産業など成長産業への進出を応援 AI・IoTなど技術革新を活かした新サービスの創出、高付加価値化 企業誘致による若者や女性を惹きつけるしごと創出 スマートエネルギーエリアの整備や研究・人材育成の拠点形成など、嶺南「E コースト」の形成 など
	8 拡大する世界市場をふくいの成長へ <ul style="list-style-type: none"> 成長する地域や分野など世界市場の動向を見極め、県内企業の新たな海外展開に向けた支援を強化 食や伝統工芸など本物の魅力を海外に売り込むなど、世界市場の拡大を本県に取込み 		世界市場チャレンジプロジェクト <ul style="list-style-type: none"> 県民・企業のニーズに即したミッション型海外事務所の設置 国・地域ごとのニーズに応じたプロモーションなどインバウンドの拡大 など 	<ul style="list-style-type: none"> アジア・環日本海諸国への進出や販路開拓の支援など海外ネットワークの充実・強化 福井の文化や食を活かした海外売り込みの強化 オリンピックや大阪・関西万博等を活かした発信 敦賀港・福井港を活かした貿易拡大 環日本海、アジア、欧米諸国等との交流促進、国際人材育成 など

	政 策		重点施策	施 策
楽しみを広げる (創造力)	9 100年に一度のまちづくり ・北陸新幹線などの高速交通網の整備にあわせ、新幹線駅周辺のまちづくりや二次交通を整備 ・県内外との交流を拡大する県境フロンティア政策を推進		新幹線ゲートウェイ開発プロジェクト ・新たな4つの新幹線駅周辺のまちづくりを市町と協働し推進 ・観光型 MaaS の構築 など	○北陸新幹線や中部縦貫自動車道など高速交通網の整備促進 ○新幹線駅周辺のまちづくりを市町等と協働して推進 ○二次交通の充実や地域鉄道等への支援など持続可能な地域交通ネットワークシステムの構築 ○港・空港・道路などのふくいを支える交流基盤の整備・活用の推進 ○関西との近接性を活かした「WAKASA リフレッシュエリア」の形成 など
	10 北陸新幹線開業効果を最大化 ・誘客プロモーションによるふくいブームの創出や観光地の磨き上げ、インバウンド誘客などを集中的に実行し、新幹線開業効果を最大化		観光リゾートエリア形成プロジェクト ・恐竜博物館、東尋坊、丹南伝統的工芸品産地、三方五湖、若狭湾など観光地のスケールアップ など	○観光資源の魅力向上や周遊・滞在を促進する仕掛けづくり ○ブランド力向上やデジタル情報の発信拡大などによるふくいブーム創出 ○国・地域の特徴に応じた外国人目線のインバウンド誘客 ○おもてなしの向上などリピートしたくなる環境づくり ○DMO など地域が一体となった観光産業化の基盤づくり など
	11 人が人を呼ぶ、移住・定住新戦略 ・Uターン支援体制を強化するなど「待ち」から「攻め」の移住政策に転換 ・交流人口の拡大や多様な福井との「関わり」から移住・定住につなげる新たな仕組みを構築		関係人口拡大プロジェクト ・県外学生等の長期滞在・地域フィールドワークの促進 ・テレワーク、ワーケーションなど新たな働き方による都市人材の呼び込み など	○県内企業と県外大学生や都市圏の地方転職希望者との接点の拡大などによるUターンの促進 ○教育機関と産業界が一体となった学生の地元定着の促進 ○学生を滞在させるキャンプの拡大や市町と連携した「微住」の促進 など
	12 文化・スポーツがふくいの活力 ・長い歴史・生活が培った文化力や芸術文化への関心の高まり、国体・障スポ等を通して高まったスポーツ熱をまちづくりや交流人口の拡大に活用 ・デザイン・アートの充実やフェスの開催など若者に魅力あるイベントを拡充し、楽しみにあふれるまちづくりを推進		文化・スポーツによる「エンタメ福井」実現プロジェクト ・全国規模のスポーツ大会の誘致や参加型のスポーツイベントの企画・開催 ・音楽フェスなどにぎわいを創出するまちなかイベントの拡大 など	○千年を超える本県の歴史・文化遺産などをネットワーク化し、歴史ミュージアムふくいを発信 ○サブカルチャー・ポップカルチャーの振興など、「若者・よそ者」が集まるまちづくりの推進 ○スポーツツーリズムの推進や県内を拠点に活躍するスポーツチームの応援 など
安心を高める (地域力)	13 人生100年時代の健康ライフスタイル ・何歳になっても元気なうちは社会を“支える”役割を担うという新しい高齢者観を共有 ・人生100年を健康に過ごすための「ふくい型健幸サポートシステム」を構築し、福井発の「健康文化」を創造		ふくい発「健康文化」創造プロジェクト ・血液一滴がん検診の導入、ハイシルバークの促進など「いきがい寿命」の延長 ・「ふくい型健康リテラシープログラム」の開発 など	○フレイル予防等の促進による疾病・要介護化の徹底防止など100歳までの「健活力」の向上 ○通勤や買い物での歩く習慣づくり、健康的な食生活など、日常生活の中で健康に配慮した活動ができる環境整備 ○地域の健康づくりの担い手育成など住民サポートの強化 など
	14 いつでもどこでも安心の医療・介護・福祉 ・医療、介護、予防、生活支援がトータルで提供される「次世代包括ケアシステム」を展開 ・誰もが住み慣れた地域で安心して医療や介護、福祉サービスを受けられる環境を整備		次世代包括ケアシステム推進プロジェクト ・東大との新たな「ジェロントロジー4.0」共同研究や「回復型」フレイル予防の導入 ・医療・介護に生活支援を融合 など	○先端技術を活用したスマート医療、ドクタープール制度、ドクターヘリの活用等による地域医療の充実・強化 ○訪問介護の提供体制の充実や医療・介護・福祉に従事する人材の確保・育成 ○8050問題や育児と介護のダブルケアなど様々な課題に対応する包括的な福祉サービスの充実強化 など
	15 ふるさとの暮らしと風景の維持 ・新たな技術や有償ボランティアなどの新たな共助の仕組みを活用し、いつでも安心して暮らすことができる地域を構築 ・豊かな自然環境を保全するとともに、2050年の二酸化炭素排出実質ゼロを目指し、再生可能エネルギー導入等を推進		持続可能な次世代コミュニティ創出プロジェクト ・安心して暮らせる集落生活圏の形成、有償ボランティアの仕組みづくり ・ICTなど新技術の活用による地域の課題解決 など	○集落機能維持に対する支援やICT活用による新たな共助の仕組みづくり ○歴史的まちなみや自然景観など美しい景観の保全・形成 ○豊かな里山里海湖の保全と交流人口拡大への活用 ○再生可能エネルギー等の導入拡大や地球温暖化対策の強化、スマートエリアの整備 など
	16 防災・治安先進県ふくいの実現 ・頻発・激甚化する自然災害に対し、県土強靱化の推進や地域防災力の向上により備えを万全 ・子どもや女性、高齢者などが犯罪等に巻き込まれない安心して暮らせる社会を実現		安心の防災基盤強化プロジェクト ・大規模災害団員の確保支援や企業との連携等による防災力強化 ・治水・土砂災害対策など県土強靱化の推進 など	○県と市町の連携強化や地域の自助・共助による防災力と新技術の力の融合による災害への対応力の向上 ○インフラ老朽化対策や建設産業の担い手確保 ○子ども、女性、高齢者など県民を守る犯罪・事故対策を強化 ○県民の安全最優先の原子力政策の推進 など
ともに進める (総合力)	17 「チームふくい」の行政運営 ・徹底現場主義に基づき、県民主役の県政を実現 ・市町とのコミュニケーション強化や価値創造型の政策立案の推進		市町協働による行政サービス向上プロジェクト ・行政システムの共同化など県・市町共通の課題をチームにより課題解決 ・市町職員の確保支援、人事交流 など	○徹底現場主義やクレドに基づく県民主役の県政、市町との協働強化 ○SDGsの推進や政策デザインの考え方にに基づく政策立案と実行 ○AI等の活用による仕事の進め方改革と人材確保・育成 ○歳入確保と歳出の合理化・重点化、健全財政運営 など
	18 広域パートナーシップの強化 ・地方間の連携強化による高速交通網の整備促進 ・広域観光の推進など、県境をつなぐインフラを活用し、人・モノ・情報の活発な交流を促進		地方連携による基盤整備・交流拡大プロジェクト ・関係自治体と一体となった高速交通網の整備促進と県境フロンティア観光の推進 など	○高速交通網の整備促進や広域観光など連携による交流拡大 ○災害や疾病などに備えた広域連携の強化 ○全国の自治体と連携した政策立案や国等への提言 など

政策1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成

【政策目標】

- 一人ひとりが個性を發揮し、自らの可能性に挑戦する人材が育成されていること
- 多様な人々と協働し新たな価値を創出する人材が育成されていること
- ふるさとや自然を愛し、社会や地域に貢献する人材が育成されていること

令和4年度の主な成果

【施策1-1】個性や主体性を育む探究的な学びの推進

若狭高校、丸岡高校において県内で初めて、地域みらい留学による県外生徒を募集し、令和5年4月に1期生として若狭高校に5名、丸岡高校に4名の入学が決定しました。
新学科・コースを設置する普通科系高校に、探究学習のためのアドバイザー配置や、理数教育のための実験機器、スポーツ探究のための動作解析装置等の機器を整備しました。



【施策1-4】新たな時代を見据えた教育環境の整備

時代に即した学習環境を整えるため、県立学校の長寿命化や機能向上を推進し、県立学校5校で大規模改修工事などを行いました。
また、教員の働き方改革の一環として、県立高校・県立中学校にデジタル採点システムを導入しました。
さらに、現場教員へのインタビューなどを通して教職員の魅力や本県の教育の特徴を伝える動画を作成し、ホームページ等で発信しました。



改修後（木質化）

【施策1-2】一人ひとりの多様性を認め合う教育の充実

生徒にとって望ましい持続可能な部活動の実現を目指し、4市1町の学校で部活動地域移行の実践研究を実施しました。
また、特別支援教育において、病気療養中の児童生徒が病室から授業に参加できる遠隔ロボットの整備や、高校通級で人との接し方等を学ぶ学習用VRゴーグルを導入するなど、教育環境の充実に取り組んでいます。



【施策1-5】私立学校の振興

各学校が取り組む特色ある教育活動や学業・スポーツ文化活動を支援し、魅力ある学校づくりの推進を図りました。また、職業系学科・コースの充実や地元定着を促進する取組みを支援しました。
さらに、県内の専門学校が行う入学者確保や地元就職を促進する取組みを支援しました。



【施策1-3】ふるさとへの誇りと愛着を育む教育の推進

ふるさとへの理解と愛着を深め、継承発展や社会に貢献しようとする心を育むため、地域の魅力を伝える「ふるさと福井の魅力プレゼンテーション大会」や「ふるさと福井CMコンテスト」を開催しました。
また、学制発布から現在までの本県学校教育の足跡や各学校の変遷を展示した、学制150年記念企画展「学校150年物語」を教育博物館において開催しました。



政策2 ふくいの産業・社会を支える人づくり

【政策目標】

- 高校生の県内大学進学率が向上するとともに、大学生等の県内企業就職が増加していること
- 大学等における地域や社会のニーズに応える教育が充実し、福井の産業・社会を支える人材が輩出されていること

令和4年度の主な成果

【施策2-1】若者に魅力的な大学づくり

県立大学における令和7年4月の「恐竜学部（仮称）」開設に向け、勝山市に設置予定の学部棟の基本設計を行うとともに、建設予定地の地質調査を実施しました。

また、県内高校から県内大学への進学率を高めるため、各大学において入試対策講座を実施。県内大学生のキャンパスライフを紹介する大学共同パンフレットも作成しました。



【施策2-2】産学官連携による地域人材の輩出

県内大学の学生・教員が企業・市町・県と協働して地域の課題解決に取り組むPBL（プロジェクト型学習）を101件（企業・団体等65件、自治体36件）実施しました。

また、伝統工芸の技能等を学んだ「伝統工芸職人塾」の修了生11名が産地で就業するなど、地域産業を担う人材を育成しました。



【施策2-3】多様なライフコースを支える学びの充実

地元企業のニーズに応じて、DX実践講座やマネジメント講座、カーボンニュートラル講座を開催しました。

また、従業員の資格取得を推進する企業に対する奨励金支給などにより、企業独自のキャリアアップの取組みを応援しました。

リカレント教育総合支援センターにおいては、企業内の人材育成や個人のキャリアアップを支援しました。

ふるさと文学館においては、県外の文学館との連携により資料を借用したパネル展示を実施し、様々な文学・作家にまつわる資料を間近に見る機会を提供しました。



政策3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現

【政策目標】
 ○就業やボランティアなど、年齢や性別、国籍、障がいの有無等に関わらず、一人ひとりの適性や希望に沿った活動が活発になっていること
 ○多様な存在や価値観を認め合い、誰もがチャレンジできる社会が築かれていること

令和4年度の主な成果

【施策3-1】男女が互いに尊重しあう「男女共生社会」の実現

女性の積極的な育成・登用を進める「ふくい女性活躍推進企業」は339社となり、新たに「女性活躍推進コンシェルジュ」による企業訪問コンサルティングを開始しました。
 また、企業で働く女性リーダー育成研修「ハッピーキャリア”縁”カレッジ」を開校し、管理職育成コース21名、リーダー育成コース47名が約8か月のカリキュラムを受講しました。



【施策3-4】多様な人材が活躍する「ダイバーシティ地域経営」の推進

障がい者が生き生きと暮らせる社会を目指し、「フクシオンフェス」を開催するなど、障がい者の就労や文化活動への支援を行ったほか、県民に対して共生社会の理念を周知し、意識の醸成を図りました。また、障がい者の就労支援では、就職後の定着支援等を通し48名の就労を後押ししました。
 障がい者スポーツの推進に向けては、障がい者トップアスリートによる小学校等への出前講座を72回開催し、障がいのある人となない人が共にスポーツを楽しむ機会を創出しました。また、県外指導者による練習会や健常者との合同練習会を開催し、障がい者スポーツ選手を育成しました。
 ウクライナ避難民の高校生が通う高校においては、学習支援および日常会話の補助をするコミュニケーションサポーターを配置しました。
 人と動物の共生を目指し、県内各所で動物愛護教室やふれあい・飼養体験等を実施し、動物愛護や適正飼育について啓発しました。また、実態調査や関係団体との意見交換等を踏まえて「福井県動物愛護管理計画」の改定を行いました。



【施策3-2】若者・シニアのチャレンジ応援

若者のチャレンジ応援については、福井の未来を創る若者が集まり、交流する「ふくい若者ミライ会議」を3回開催し、57名の若者が参加しました。
 また、ふるさと納税を活用して、20事業のクラウドファンディングを支援し、17事業が目標金額を達成しました。
 福井県シニア人材活躍支援センターにおいては、マッチングまでの総合的な支援を行ったほか、県内6地域でシニア向けのセミナー・就職面接会を開催し、シニアの活躍を後押ししました。



【施策3-3】社会貢献活動の参加拡大

NPO法人や地域団体が新たな地域貢献活動にチャレンジする取組みを応援し、5組のプランに資金支援を行うとともに、11件のプラン実現のための相談支援を行いました。
 また、8月の大雨災害時には、ボランティアを送迎するバスを運行するなど、県内各市町、福井県社会福祉協議会、NPO団体等とともに現地ボランティアセンターと約5,000人のボランティア活動を支援しました。



【施策3-5】認知症の人やがん患者が自分らしい生活を送れる社会の実現

県内観光・宿泊施設へのアンケートをもとに、認知症の方への対応方法等をまとめたガイドライン「認知症フレンドリープログラム（観光業編）」を新たに作成しました。
 また、認知症の方を地域で支える「チームオレンジ」を県内3市町で立ち上げるとともに、世界アルツハイマー月間に合わせて認知症ご本人による講演会を開催しました。



政策4 希望が叶う「結婚・出産・子育て」応援

【政策目標】

- 将来を担う子どもたちを産み育てる若い世代を社会全体で支える仕組みが拡充されていること
- 「日本一の出会い・子育て応援社会」および希望出生率の実現に向け、合計特殊出生率が上昇していること

令和4年度の主な成果

【施策4-1】若者の出会いと結婚応援

ふくい婚活サポートセンター（ふくい結婚応援協議会）が、9月から10月にかけて県内全域を対象の婚活イベントを開催しました。
また、民間事業者と連携し、マッチングシステム登録者向けのスキルアップセミナーや個別相談会を開催するなど、サポートを強化しました。
あわせて、システム登録者と民間結婚相談所登録者を引き合わせる専用サイトの運用を1月末から開始し、出会いの機会を広げました。



【施策4-3】待機児童ゼロの実現

保育園等が安定して保育を提供できるよう、保育人材センターを運営し、保育士の就職マッチング支援や現役保育士への相談支援、就職面談会の開催等を行いました。
また、保育現場に復帰したい方が安心して戻る事ができるよう、トライアル就労への支援や就職支度金の貸付などを行い、保育人材の確保を図りました。



【施策4-2】安心して出産・子育てできる環境の整備

「ふく育県」の実現に向け、日本一充実した不妊治療費助成制度を創設したほか、令和4年9月からは保育料無償化の対象を拡大しました。
また、全天候型遊び場の整備や「ふく育割」の発行を行うなど、本県での子育ては「負担が軽く」、「楽しく」、「得する」子育てを実感できる環境づくりに努めました。



【施策4-4】社会全体で子育てを応援する仕組みづくり

子育て世帯に割引・優待サービス等を提供する「ふく育応援団」の店舗数が1,800件を超えました。
また、県内報道機関と連携したテレビCMの放映や講習会の開催等を通じ、男性の育休取得促進やワークライフバランスへの理解を深めるなど、社会全体で子育てを応援する機運醸成を図りました。



政策5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ

【政策目標】

- 最新のスマート技術の活用や都市と農村の交流により産出額が増加し、若者に魅力のある稼げる農林水産業にレベルアップしていること
- 小規模な農林漁家や農山漁村に暮らす女性・高齢者も生き生きと活躍していること

令和4年度の主な成果

【施策5-1】夢のある次世代の農業を推進

スマート農業機械の実演会や全国農業担い手サミットの開催、GPS基地局の利用促進等により、水田での導入面積は5,060haに拡大しました。また、スマート農業モデル経営体（ICT農機を3種類以上導入）を新たに9経営体育成し、計31経営体となりました。

さらに、園芸カレッジ、林業カレッジ、水産カレッジ、田んぼ道場の修了生が県内で就農・就業し、即戦力として活躍し始めました。



【施策5-4】県産材の需要・供給の拡大と林業の活性化

企業における県産材利用を推進するため、県建築士事務所協会や県インテリアコーディネーター協会などの関係団体等が連携し、「ふくいウッドチャレンジ推進ネットワーク」を10月に創設。県産材利用に関する情報の共有や企業からの相談対応を行いました。



【施策5-2】「ふくいの食」のトップブランド化

首都圏のスーパー（4系列）や飲食店（76店舗）でのフェア開催による販路開拓、代表食材を使ったキッチンカー出店やメディア試食会などを通じて認知度向上を図りました。

いちほまれについては、デビュー5周年を記念したキャンペーンの展開や、全国のイオン（約360店舗）等と連携した販促企画により販売店舗を2,243店舗まで拡大しました。

そばについては、「そばと言えば福井」のイメージ定着と認知度向上を図るため、魅力を伝えるキャッチコピーやロゴマーク等の検討などを行いました。



【施策5-5】ふくいの水産業のステップアップ

養殖生産拡大の推進に向け、水産学術産業拠点「かつみ水産ベース」において、サーモンやサバの共同研究を進め、養殖施設の規模拡大や新規養殖就業者の設備投資を支援しました。

また、ブランド魚の認知度を高めるため、「ふくい甘えび」を北陸新幹線で首都圏に輸送し、「若狭ぐじ極」は京料理展示大会に出展するなど、県内外においてその魅力を発信しました。

さらに、天然ウナギの漁獲量を増やし誘客の目玉とするため、放流調査を実施しました。



【施策5-3】農山漁村の魅力創出・交流人口の拡大

体験農園や農家レストランの事業者など64名を農遊コンシェルジュに認定。農村におけるイベントや特産物を活用した商品開発の支援、直売所や観光地などを巡る農遊スタンプラリーの実施など、観光客が農村を回遊し、楽しむ「農遊」の取り組みを進めました。

また、里山里海湖ビジネスの人材育成や地産地消キャンペーン、鳥獣害防止対策の実施等により、農山漁村の魅力を向上しました。



【施策5-6】農山漁村地域の基盤づくり

老朽化した農業水利施設、治山施設、海岸・漁港施設などの機能強化や長寿命化に向けた機能保全計画の策定、長寿命化計画に基づく工事を実施しました。また、ため池の豪雨・耐震対策調査を実施し、災害に強い農山漁村地域の基盤づくりを推進しました。



政策6 地域経済のイノベーション

【政策目標】

- 地域内のお金・人・技術等の経営資源が循環する「福井型エコシステム」が構築されていること
- デザインや経営革新により地域産業の稼ぐ力が向上するとともに、誰もが活躍できる就業環境が整備されていること
- 持続的に地域産業が発展し、県民生活が向上していること

令和4年度の主な成果

【施策6-1】「福井型エコシステム」の構築

若手起業家が集う経営塾・セミナーの開催や専門家による経営戦略のブラッシュアップの支援など、ベンチャー企業の成長支援と機運の醸成に取り組みました。

また、11月に開催した第8回「福井ベンチャーピッチ」には5社が登壇し、支援機関やパートナー候補の企業など約270名に対しプレゼンを行いました。終了後は名刺交換会で交流を図り、販路開拓や事業提携の機会をつくとともに、事業拡大に向けた伴走支援を実施しました。



【施策6-4】地域企業の生産性向上・人材確保

ふくいDXオープンラボの相談員が6月から県内の商工会議所や商工会など32か所で出張相談会を開催し、県内企業からの相談63件に対応しました。

経営トップを中心に自社のDX推進を行う「ふくいDX宣言企業」の登録制度を創設し、3月末現在で56社が登録。専門家等の助言を受け業務改善などに取り組んでいます。

非正規労働者への相談対応や、無業者への就職支援プログラムを実施し、正規就労を支援しました。また、福井ものづくり改善インストラクタースクールを開催し、12名の企業従業員が生産性向上の手法を学びました



【施策6-2】デザインの力で魅力あるものづくり産地を創出

新進気鋭のデザイナーとのコラボやオープンファクトリーツアーの開催支援等により、デザインを活かした商品づくりや国内外からの取引の活発化を後押ししました。

また、丹南地域において、越前和紙、越前打刃物などの伝統工芸体験プログラム等の造成を支援しました。



【施策6-5】働く人のための「しあわせ働き方改革」を実行

働きやすい職場環境づくりに向け、特に優れた取組みを実践している企業を「社員ファーストアワード」として表彰し、その取組みを紹介する動画をSNS等で発信しました。

また、子育てと仕事を両立できる柔軟な働き方を促進するため、定時退社・育児休業取得促進キャンペーンである「かえるプロジェクト」を実施。啓発CMの放映や経営者等を対象にした男性育休に関する講演会等を実施しました。



【施策6-3】くらしに根差した小さな企業の応援

新型コロナウイルス感染症の影響により売上げが減少した事業者の事業継続を支援するため、中小企業者等事業継続支援金を18,724件、41億6,360万円支給しました。

また、求職者に職業訓練とトライアル就労の機会を提供したほか、奨励金の支給やミニ合同説明会の開催等により、成長分野や人手不足業種に219名が就職しました。



政策7 Society5.0時代の新産業創出

【政策目標】

- AI・IoTなどの新技術の導入が進むとともに、新市場を見据えた高付加価値なビジネスが多く生まれていること
- 県内外の若者や女性からも注目される、魅力的で多様な産業が集積する地域となっていること

令和4年度の主な成果

【施策7-1】成長産業へのチャレンジ応援

県内企業の人工衛星運用技術習得を支援するとともに、農業分野をはじめとした様々な行政分野における衛星データの利活用を推進しました。
また、ふくいオープンイノベーション推進機構を中心に25件の研究開発プロジェクトを支援し、県外大手企業に本県企業の技術シーズを紹介する交流会を開催するなど、県内企業の新商品開発や販路開拓を後押ししました。



【施策7-3】多様な企業誘致の推進

知事のトップセールスや企業立地セミナーの開催等の企業誘致活動により、県外IT企業のシステム開発拠点や、海外企業と共同で日本酒の輸出拡大を図る企業、半導体関連の先端生産施設などの誘致が決定しました。



【施策7-2】AI・IoTなど技術革新を活かした新サービスの創出

県内企業26社が行う、デジタル技術を活用した自社の生産性向上や新サービスの創出等を図る取組みを支援しました。
さらに、DXを積極的に推進する企業として「ふくいDX推進宣言企業」の登録制度を創設し、3月末までに51社の企業が宣言しました。
また、未来技術活用プロジェクトとして、加害度の高いサルの検出・通報にAIを活用する害獣対策など計6件の実証事業を行いました。



【施策7-4】嶺南Eコストの実現

昨年度に引き続き、嶺南スマートエリアの形成に向けたVPP（仮想発電所）※の実証や地域の特色を活かしたスマートタウンの検討のほか、原子力リサイクルビジネス推進のための地元企業や住民への理解促進活動、新たな試験研究炉に関する講習会など、計画に掲げた主要プロジェクトを推進しました。

10月には国や県、電力事業者が参加する嶺南Eコスト計画推進会議を開催し、計画に位置づけた各施策の進捗管理や、来年度以降の行動方針の決定などを行いました。

※地域に分散する自治体や企業等の電力設備（EV、蓄電池等）を制御し、発電所と同様の需給調整機能を持たせる仕組み



政策8 拡大する世界市場をふくいの成長へ

【政策目標】

- 世界市場につながるネットワークが充実・強化され、海外との人・物・情報の往来が活発化していること
- 様々な分野でグローバル化に対応した国際人材が活躍して海外からの注目を集め、世界市場を取り込んでいること

令和4年度の主な成果

【施策8-1】海外ネットワークの新展開

自治体国際化協会（クレア）主催の日本の食材の魅力を伝える事業（タイ・シンガポール）にて県内企業3社の商品を提供し、参加したインフルエンサー等に対して、福井の魅力を発信しました。
また、中国国際輸入博では、県内企業2社が福井県ブースで出展し、16回の商談のサポートを行いました。



【施策8-3】国際交流の推進

近々、福井県を離れる予定の外国人の方々に母国や他県で福井県のPRをしてもらうため、43人を友好大使に委嘱しました。
また、県内在住の外国人29人を「Fukuiレポーターズ」に委嘱し、個人のSNSを通じて、観光地や食など福井県の魅力発信を促進しました。
併せて、製菓店、珈琲豆店でブラジルから2名の技術研修員を受け入れ、研修を行うなど、国際交流を進めました。



【施策8-2】福井の文化や食を活かした海外売り込みの強化

フランスにおいて、県内企業8社の商品の営業代行や商談イベント、トライアル販売を実施しました。商談イベントでは、約50名のバイヤー等に商品をPRしました。
また、タイ、シンガポールへの食の営業代行の配置やマカオ、ベトナムの食品バイヤーとのオンライン商談会により農林水産物の輸出拡大を図るとともに、「シャインパール」の名称発表と出荷式を行い、県産米の輸出拡大を支援しました。
今後の来県者数の増加が見込まれる東南アジアをターゲットに、有名俳優や県内在住の学生・研修生等のSNSにより、食や伝統工芸、お祭りなど福井の魅力を発信しました。



フィリピン人俳優による情報発信



政策9 100年に一度のまちづくり

【政策目標】

- 北陸新幹線福井・敦賀開業や中部縦貫自動車道の開通などに合わせ、新幹線駅周辺のまちづくりや道の駅等の交流拠点が整備されていること
- 観光型Ma a Sや並行在来線など地域の新交通システムが整備されていること
- 国内外からの交流が増加し、賑わいにあふれるまちがつけられていること

令和4年度の主な成果

【施策9-1】北陸新幹線など高速交通網の整備促進

令和5年度末の北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、県内3駅舎（芦原温泉駅、福井駅、越前たけふ駅）が完成するなど、工事が着実に進みました。中部縦貫自動車道については、10本あるトンネルの6本目が貫通するなど順調に工事が進められており、3月19日には大野～勝原間が開通しました。また、舞鶴若狭自動車道については、トンネル工事が公告されるなど、全線4車線化に向けた工事が進められています。



【施策9-3】地域の新交通システムの構築

観光客の利便性向上に向け、路線バスへの交通系ICカード導入を支援し、北陸新幹線福井・敦賀開業までに運用を開始します。福井鉄道、えちぜん鉄道についても導入を決定しました。また、JR西日本が、観光型Ma a S「tabiwa」をリリースしました。



【施策9-2】新幹線駅周辺のまちづくり

各新幹線駅の駅前広場や観光交流センター等の整備に対して支援を行い、芦原温泉駅西口賑わい施設「アフレア」や、福井市観光交流センター、道の駅「越前たけふ」が完成しました。また、県都にぎわい創生協議会において、「誰もが主役に！楽しさあふれる県都」を将来像とした「県都グランドデザイン」を策定しました。福井駅西口の市街地再開発を支援し、B街区建築工事着手の前提となる解体工事が概ね完了しました。また、各新幹線駅へつながる道路として、3月10日に芦原温泉停車場北野線、3月18日には越前たけふ駅線・武生インター線が供用開始しました。



【施策9-4】飛躍するふくいを支える基盤の整備・活用

新九頭竜橋が10月22日に供用開始となるなど、物流・交流を支える基盤の整備を推進しました。敦賀港については、鞠山南地区の拡張整備において、ふ頭用地造成の埋立てが完了しました。また、寄港地ツアーの造成等により海外クルーズ客船の誘致を強化し、寄港回数を拡大するなど、港の賑わい創出につなげました。



【施策9-5】「WAKASAリフレッシュエリア」の形成

北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、丹後くろまつ号の小浜線乗入れ運行を行うとともに、駅からの周遊ツアーを造成・販売するなど、小浜線を活用した誘客や周遊を促進しました。また、嶺南振興プロジェクト枠予算を活用し、レインボーラインや若狭湾サイクリングルートなど観光地周辺の景観等の整備を行いました。



政策10 北陸新幹線開業効果を最大化

【政策目標】

- 県民一人ひとりが観光の将来性、自らが果たすべき役割等に対する理解を深め、観光客目線の情報発信やおもてなし等に取り組むこと
- 誰もが福井に魅力を感じて来県し満足する、ふくいブームが創出され、持続的に発展していること

令和4年度の主な成果

【施策10-1】観光客の心をつかむ魅力づくり

県内の開業機運を高めるため、開業1年前である3月にカウントダウンイベントを開催したほか、新幹線駅設置4市が中心に行う開業1年前イベントに支援を行いました。

また、丹南伝統的工芸品産地において、観光客等の受入環境を整備するとともに、RENEWや千年未来工藝祭などのイベント開催を支援し産地の魅力を全国に発信しました。



新幹線開業カウントダウンイベントの様子

【施策10-3】世界を魅了するインバウンド強化

欧米向けのZENをテーマにしたプロモーションとして、フランスでは初となる現地イベントを開催したほか、米仏西3カ国の旅行社に対し旅行商品の造成を働きかけました。

また、駅周辺や主要観光地のおもてなし環境を整えるため、観光客向けの店舗改装や体験施設の整備を支援しました。



仏でのイベントの様子

【施策10-2】ふくいブームの創出

東京駅や丸の内周辺施設において大規模な観光プロモーションを実施したほか、大宮駅や長野駅等沿線地域において年間を通じて出向宣伝を実施しました。

また、2月には、銀座に「県内企業の販路とふくいファンの裾野の拡大」をコンセプトとした「ふくい食の国291」を新規オープンしました。さらに3月には「県内中小企業の新たなビジネス展開と食によるブランド発信」をコンセプトとした「ふくい南青山291」をリニューアルオープンしました。



東京駅でのプロモーションの様子



【施策10-4】すべての人が満足できる観光環境づくり

美浜町の道の駅における多言語案内板や三方五湖周辺の観光施設におけるデジタルサイネージの整備を支援しました。また、観光事業者等に対し、インバウンドアドバイザーが免税カウンターの導入にかかる課題整理や手続きを支援し、新たに5店舗が免税店として登録されました。

県内観光地・観光施設70地点に来訪した観光客から、出発地や年齢層などの基本情報、スポットの推奨度などを調査するデジタルアンケートを実施し、その結果をオープンデータとして公式観光サイト「ふくいドットコム」上で公開。観光事業者のサービス改善や商品開発、プロモーションなどに繋げる福井県版観光DXを開始しました。



新たに登録された免税カウンター

【施策10-5】観光産業化の基盤づくり

福井県観光連盟の支援により、福井鉄道との鉄道御乗印や天空のいちご狩り体験等の新しい体験モデルを構築しました。

また、福井県観光アカデミーを開講し、地域の観光を牽引するリーダーおよび観光ビジネスを実践するプレイヤーを育成しました。



福井西武屋上「天空のいちご狩り」

政策11 人が人を呼ぶ、移住・定住新戦略

【政策目標】

- 都市部の社会人や学生など、多様な形で福井と関わる人が増え、県内各地で賑わいや活力が生まれていること
- 福井への移住や県内定着が増加し、社会増が実現すること

令和4年度の主な成果

【施策11-1】産学官連携による学生の県内就職の促進

高校生の「起業家精神」を育むため、起業家によるオンライン講演を実施したほか、県独自のビジネスアイデアコンテストを開催しました。
また、UIターン奨学金返還支援や理系学生を対象とした企業見学ツアー、企業技術者と学生が交流する業界研究会の開催等により、理系学生の県内就職を促進しました。



【施策11-3】関係人口の創出・拡大

都市部で働く専門家（データ分析、デジタル人材育成等）を兼業人材として活用する未来戦略アドバイザーに計4名を任用しました。県・市町に対する専門的知見を活用した高度な助言や講演等を通じ、行政施策の底上げと「地方兼業」による関係人口の拡大を図りました。
また、学生が多い京都市内に、県外学生と県内地域を結びつける中間支援拠点を設置し、鯖江市、坂井市、小浜市における学生の地域滞在キャンプの実施を支援しました。



【施策11-2】都市部への「攻め」の移住政策

移住支援金制度の対象を県・市町独自で東京圏以外にも拡充したほか、県内企業への就職や、就農、事業承継など多様な就業形態と移住者とのマッチングを促進しました。
さらに、子どもを帯同して移住する世帯への加算制度を新設し、子育て世帯の移住を促進しました。



政策12 文化・スポーツがふくいへの活力

【政策目標】

- 感動とにぎわいが生まれる文化・スポーツのイベント・大会が持続的に開催されること
- 国内外から多くの参加者が福井を訪れ県民と交流するとともに、日頃から文化芸術やスポーツを楽しむ県民が増えていること

令和4年度の主な成果

【施策12-1】歴史ミュージアムふくいの発信

10月1日に一乗谷朝倉氏遺跡博物館を開館しました。同時に開館記念特別展「発掘調査のあゆみ」をスタートし、カフェ、ミュージアムショップもオープン。3月末までの来館者は9万人を超えました。

また、本県ゆかりの先人を学ぶことも歴史文化館などと連携し、小中学校や地域住民へ文化財の魅力伝える出前授業・出前講座を開催しました。



【施策12-3】スポーツによるまちづくり・交流人口拡大

県内マラソン大会や金沢・富山マラソン等でふくい桜マラソンの開催をPRするとともに、県内10ヶ所においてランニングイベントや1年前プレ大会を実施しました。

台湾で開催された「台北マラソンエキスポ」に出展し、ふくい桜マラソンと県内観光をPRしました。また、プレ大会にあわせ台湾の現地旅行社を招聘し、マラソンと観光をあわせた旅行商品の造成を行いました。

そのほか、街なかにバスケやポッチャなど、スポーツのできるコート等を設置し、県民がいつでもスポーツを「する」ことができる環境を整備しました。

アスリートナイトゲームズのような、大規模なスポーツイベントの開催を支援する一方、「禅カップ」フリースタイルカヤック競技会のように、将来的に地域に根付いていくことが期待されるイベントも支援しました。



台北マラソンエキスポでのPR

【施策12-2】デザイン・アートなど「若者・よそ者」が集まるまちづくり

8月27日・28日の2日間にわたり、越前市内のまちなかを会場に、仁愛大学生が企画したワークショップや、絵本作家によるお話し会など地域資源を活用したアートイベントを開催しました。

また、9月3日・4日の2日間にわたり、福井市中央公園をメイン会場に、ワンパークフェスティバル2022を開催し、県内外から約8,000人が来場しました。



政策13 人生100年時代の健康ライフスタイル

【政策目標】

- 県民が100歳まで幸せに生きることを目標とした「ふくい型健幸サポートシステム」に基づき、健康リテラシー教育の実践や健康づくり、運動習慣等に関する県民行動が改善されること
- 何歳になっても支え手として活躍できる社会の実現に向けた第一歩が踏み出していること

令和4年度の主な成果

【施策13-1】100歳までの「健活力」の向上

東大との共同研究に基づく「ふくい型フレイル予防プログラム」を活用し、県内のすべての市町において高齢者約1,200名へのフレイルチェックを実施しました。
また、オーラルフレイルに関する研修会を開催し、歯の健康に関する現状や取組みについて関係者間での情報共有を行いました。



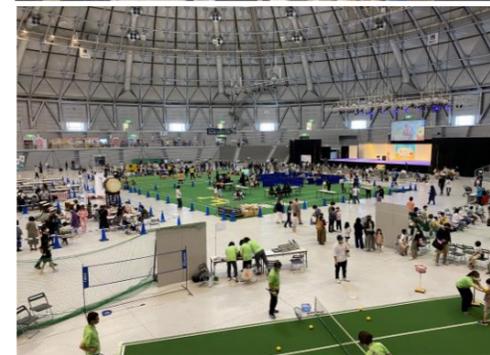
【施策13-3】地域の健康づくりに専門家を活用し住民サポートを強化

県が認定する「フレイルサポーター」の交流・情報発信の場として「ふくいフレイルコミッティー」を2回開催したほか、「ふくいフレイルニュース」を年3回作成し公開しました。
このほか、わがまち健康推進員リーダー研修会を開催し、地域に根差した健康づくりを進めました。



【施策13-2】日常生活の中に仕掛ける健康づくりを促進

健康的な食生活の実践を促進するため、大豆製品を取り入れた栄養バランスの良い献立を提案する「大豆料理100」レシピを活用し、イベント会場での試食配布や量販店などでの普及・啓発活動を実施しました。
また、県内最大規模のスポーツ体験イベント「はぴりゅうフェスタ」や、企業に出向いての軽運動の体験会、県民スポーツ祭（70競技156部門）などを開催し、スポーツに親しむ機会を創出しました。



政策14 いつでもどこでも安心の医療・介護・福祉

【政策目標】

- 施設や地域における医療、介護等を担う人材が確保されていること
- 「次世代包括ケアシステム」が構築され、症状や本人の希望に応じた医療・介護サービス等を県内どこでも受けられる体制が整備されていること

令和4年度の主な成果

【施策14-1】「地域完結型」の医療体制の確立

福井県ドクターヘリについては405件（前年比+94件）出動したほか、滋賀県や岐阜県と協定を締結し、複数のドクターヘリにより、重層的に救急搬送を行う体制を構築しました。

医師確保については、自治医科大卒医師やドクタープール医師等の派遣調整を行い、令和5年度、83人（前年比+10人）を医師不足医療機関に派遣することが決定しました。

薬剤師確保については、県外薬学部の就職合同説明会に参加し、県内就職を呼びかけるとともに、薬学部を目指す学生を増やすための高校生セミナーを開催し、UIターンを促進しました。



【施策14-3】「次世代包括ケアシステム」の推進

次世代型の地域包括ケアシステムを推進していくため、就労や社会参加を通じた地域におけるシニア世代の活躍を支援しました。

就労に関しては、東京大学が開発した就労マッチングアプリGBER（ジーバー）を活用し、福井県民協同組合をモデル団体としてシニア世代の就労支援を実施しました。

また、シニア世代の地域社会での活躍を促進するため、3月に東京大学教授を招き、「人生100年時代アクティブシニアのためのセカンドライフセミナー」を開催しました。



【施策14-2】「スマート医療」の推進

県立病院において、患者の身体への負担が少なく、高度な手術が可能な手術支援ロボットを導入し、約150件の手術を実施しました。

また、在宅医療における見守り機能を強化するため、医師や看護師等が訪問先等から患者情報を閲覧・入力できるシステムの整備に着手し、令和6年度の本格運用に向けて実証実験を行いました。

さらに、へき地に位置する4診療所等と協力し、社会実装に向けて、へき地医療におけるオンライン診療実証事業に取り組みました。



【施策14-4】包括的な福祉相談体制の構築

包括的な支援体制の構築に向け、知見のある学識経験者等をアドバイザーとして市町に派遣し、地域の実情に応じた助言を行うなど、市町の体制構築を支援しました。

また、教育、労働、福祉分野が連携した「発達障がい児者への福井型就労支援プロジェクトチーム」が、自己理解ツールの試行、発達障がい者サポーターの育成、特性に応じた福井県版就労支援プログラムの開発・導入、企業等への研修等を行いました。



政策15 ふるさとの暮らしと風景の維持

【政策目標】

- 都市部との交流の増加やシェアサービス、有償ボランティア等の新たな共助の仕組みの構築などにより、地域コミュニティが持続して運営されていること
- 県民一人ひとりの環境を守り、活かす行動が進み、豊かな自然環境や美しい景観が磨かれていること

令和4年度の主な成果

【施策15-1】「住みやすさ改革」による豊かな地域コミュニティづくり

各市町が独自に実施する集落活性化対策や、地域住民が主体となって地元農産物等の販売などを行う「福井ふるさと茶屋」の整備に対し支援しました。

空き家の購入やリフォーム等に対する補助を実施し、子育て世代等の空き家の活用や街なかへの誘導を促進したほか、地域への悪影響が大きい老朽空き家等100戸の除却に対し補助を実施しました。



【施策15-3】里山里海湖の保全・活用

自然再生のシンボルとなるコウノトリの野外定着のため、県内4か所で巣塔やビオトープが設置されました。また、鯖江市吉川地区において新たにコウノトリが繁殖するとともに、県内4ペアから12羽のヒナが巣立ち、コウノトリが舞う豊かな自然環境づくりが進みました。



【施策15-2】美しい景観の保全・形成

重要文化的景観に選定された、福井市・越前町・南越前町の「越前海岸の水仙畑」の景観を紹介するため案内看板を設置したほか、水仙を育てる住民の魅力を発信するローカルフォトスクールを開催しました。

また、北陸新幹線を軸とした景観が楽しめる視点場を4箇所整備し、広域景観の形成を推進しました。



【施策15-4】エネルギーと資源の循環型社会の構築

2030年度の温室効果ガス排出量の49%削減(2013年度比)や、再生可能エネルギーの導入量約1.6倍増加(2020年度比)などの目標を掲げた、新しい環境基本計画を策定しました。

また、循環型社会の構築に向けて、マイボトル運動の拡大、食品ロス削減を実践するフードロスマスターの養成、民間事業者向けの紙資源分別の優良事例集の作成など、ごみの減量化とリサイクルを推進しました。



政策16 防災・治安先進県ふくいの実現

【政策目標】

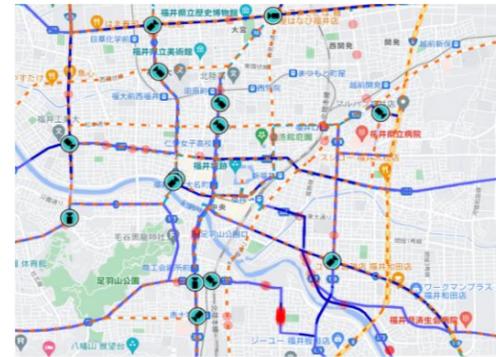
- 災害から県民を守るための施設や情報基盤が整備されていること
- 日ごろから県民が災害に備える意識を持ち、地域で対応する力を高めて、万一の災害に対し総合力により被害を最小限にする体制が構築されていること
- 犯罪や事故が減少し、安心して暮らせる社会が実現していること

令和4年度の主な成果

【施策16-1】人と技術による地域防災力の向上

県内の道路状況を発信するサイト「みち情報 ネットふくい」上で、県と13市町の幹線道路の除雪状況を表示するなど、県民やドライバーに分かりやすい除雪路線情報を提供しました。また、AIを活用した河川水位予測や道路舗装等の変状のAI自動判別など、企業と連携した実証実験を行いました。

このほか、避難行動要支援者の個別避難計画作成を促進するため、ヒアリングによる市町の課題把握や研修会を実施し、全17市町において計画の作成に着手しました。



【施策16-4】県民の安全最優先の原子力政策

美浜地域の広域避難計画に基づき、3年ぶりに県外避難を実施しました。また、初めて石川県や奈良県への住民避難を行ったほか、新たに水陸両用車を活用した避難など、様々な避難方法の手順を確認しました。



【施策16-2】災害に強く、安心して暮らせる福井の基盤を構築

吉野瀬川ダム本体の基礎掘削工事が概ね完了したほか、浚渫・伐木等の治水対策、道路における斜面や雪対策、インフラ老朽化対策等を実施し、県土の強靭化を推進しました。

また、建設産業の担い手確保のため、県発注工事における完全週休2日制の推進、生産性の向上のためのICT活用工事の導入など働き方改革を推進しました。



【施策16-5】拉致問題への対応

国に対し、拉致問題の一刻も早い解決を求める要望を行いました。また、12月の北朝鮮人権侵害問題啓発週間には街頭啓発や各市町庁舎・県立施設でのパネル展示、アニメ「めぐみ」の上映、さらに県立高校2校で地村保志氏による講演会などを行いました。

北朝鮮人権侵害問題啓発週間にブルーリボンシールを配布し、県職員への着用を促しました。



【施策16-3】県民を守る犯罪・事故等の対策

自治会による防犯カメラ設置を市町とともに支援することにより、地域の自主防犯力向上を図りました。

また、県内事業者の協力を得ながら横断歩道での歩行者優先を呼びかけるキャンペーンを実施するなど、交通事故防止対策を推進するとともに、令和4年7月1日施行の「福井県自転車の安全で適正な利用に関する条例」の周知を図りました。

加えて、通学路等において歩道整備や防護柵設置など道路の安全対策を実施し、児童、生徒の安全を確保しました。



政策17 「チームふくい」の行政運営

【政策目標】

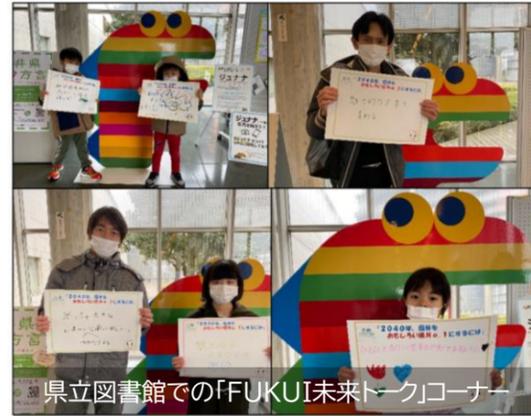
- 職員一人ひとりがクレドに基づき自らの判断で責任を持って行動し、徹底現場主義による県民主役の県政が推進されていること
- 健全財政が維持されていること

令和4年度の主な成果

【施策17-1】県民主役の県政推進

長期ビジョンの普及に向け、初めて県立図書館において長期ビジョンを紹介するパネル展示やクイズを実施しました。また、「私のアクション」をフリップに書いてもらう「FUKUI未来トーク」コーナーを設け、参加した方のアクションをSNSで発信しました。

若狭町の小学校においては、小学生向けに作成した動画を活用して福井県や若狭町の未来を考えるワークショップを初めて開催し、理想の福井県の将来像や自分自身のチャレンジについて考える機会を創出しました。



【施策17-4】仕事の進め方改革と人材の育成

RPAや業務改善ツール等の研修に160名が参加し、233業務で導入しました。

また、行政手続きについて、新たに397手続きのオンライン化を実施し、全体の96%（申請数ベース）にあたる手続きのオンライン化を達成しました。

こうしたDXの取組みをさらに拡大するため、職責ごとの役割・求められるスキルを定め、その習得に向けた育成プログラム等を整理した「福井県職員デジタル人材育成方針」を策定しました。



【施策17-2】市町との協働強化

市町と協働した施策を推進するため、「知事と市町長との政策ディスカッション」を5回実施し、市町長からの提案や要望を県の予算案に反映させました。

全市町にマイナポイント支援員を派遣するなど、県と市町が協働しマイナンバーカード取得促進に取り組んだ結果、普及率は全国平均を上回る86%に達しました。



【施策17-5】健全財政の維持

政策トライアル枠予算について、45事業を実施し、令和5年度当初予算において15事業に反映しました。また、29事業については令和5年度も引き続き検討します。

行政改革や財政健全化を推進した結果、「行政改革アクションプラン」（令和元年～5年度）に掲げる財政指標を達成する見込みです。



【施策17-3】未来をデザインする政策イノベーション

「ふくいSDGsパートナー」の登録数は900機関を超え、活動事例集の作成・公表やフォーラムの開催など、さらなる活動や連携を促進しました。また、新たに9・10月を福井県独自のSDGs月間に設定し、期間中に、パートナーが県内各地でSDGs関連イベント等を開催するなど、連携したキャンペーンを展開しました。

また、政策イノベーションを推進するため、政策立案プロセスの様々な場面でデザイン思考を活かした「政策デザインワークショップ」を展開したほか、事例などを紹介する情報誌「政策デザインnavi」を新たに発行しました。



政策18 広域パートナーシップの強化

【政策目標】

- ブロック知事会等を通じた国への要望など近隣県との連携により、北陸新幹線や中部縦貫自動車道など高速交通網の整備が促進されること
- 人・モノ・情報の活発な県際交流が拡大していること

令和4年度の主な成果

【施策18-1】広域連携による高速交通網の整備促進

北陸新幹線について、関西や北陸など沿線の自治体や議会、経済界と一体となって、令和5年度末の福井・敦賀開業や敦賀以西の令和5年度当初着工を政府・与党に要請しました。

令和5年度末の福井・敦賀開業に向けて工事が着実に進捗するとともに、敦賀以西については、令和5年度政府予算に「北陸新幹線事業推進調査」が計上されました。

また、中部縦貫自動車道や舞鶴若狭自動車道、福井港丸岡インター連絡道路等の整備推進について、沿線自治体等とともに国に対し働きかけ、補正予算等の確保につなげました。



【施策18-3】広域連携による防災・医療体制の強化

大規模災害に迅速かつ的確に対応するため、県境を越えた連携体制の構築を進めています。令和4年度には、道路管理者や警察、気象台、自衛隊等の関係機関による雪害対策合同訓練を実施し、道路除雪体制を強化しました。



【施策18-2】広域連携による交流の拡大

日本の自然や文化に興味のある海外富裕層を対象にした、関西地域を広域にめぐり、農村体験や伝統工芸を実感できる旅行商品を開発し、海外向け旅行社での販売を開始しました。

今後は、大阪・関西万博の来場者をターゲットに、万博ホームページや関連団体等において購入できる仕組みを構築していきます。



【施策18-4】自治体ネットワークによる政策立案と提言

全国知事会、近畿ブロック知事会、中部圏知事会の一員として、北陸新幹線などの高速交通インフラ整備、エネルギー政策等について、国に提言を行いました。

また、金沢市において石川県知事と懇談し、北陸新幹線の全線整備に向けた連携等に合意したほか、長浜市において滋賀県知事と懇談し、広域観光の連携等に合意しました。

さらに、北陸三県知事による懇談を行い、並行在来線の魅力向上に向けた連携等を合意しました。



＜巻末資料＞未来をつくる実践目標「チャレンジ2022」の結果概要について

令和4年度の分野別の進捗状況を以下のとおりまとめました。

福井県長期ビジョン実行プランにおけるKPI および「チャレンジ2022」における実践目標の進捗については、右の5区分に分類しています。

また、達成度の割合は、以下のように算出しています。

上段 目標数から「判断時期未到来（－）」を除いたもののうち、90%以上進捗したものの（「◎」および「○」）の割合
 （下段）目標数から「コロナ等特殊事情（※）」、「判断時期未到来（－）」を除いたもののうち、90%以上進捗したものの（「◎」および「○」）の割合

進捗	内容	判断基準
◎	想定を超えて進捗	110%超え
○	概ね順調に進捗	90~110%
△	対策強化が必要	90%未滿
※	特殊事情による中止、延期等	コロナ等特殊事情
－	判断時期未到来	数値の未公表

なお、年度途中に、新型コロナウイルス感染症対策等、必要に応じて施策を追加していますが、特殊事情により事業の中止や見直しを行った場合でも、実践目標の削除や変更は行っていません。

分野	長期ビジョン実行プランKPI 進捗							2022 実践目標						
	計	◎	○	△	※	－	達成度 (%)	計	◎	○	△	※	－	達成度 (%)
学びを伸ばす (人材力)	26	4	12	1	3	6	80% 16/20 (94%)	136	26	71	16	13	10	77% 97/126 (86%)
成長を創る (産業力)	24	6	6	0	1	11	92% 12/13 (100%)	123	32	59	13	9	10	81% 91/113 (88%)
楽しみを広げる (創造力)	18	1	8	0	3	6	75% 9/12 (100%)	155	32	87	16	12	8	81% 119/147 (88%)
安心を高める (地域力)	23	3	12	1	1	6	88% 15/17 (94%)	124	25	62	18	10	9	76% 87/115 (83%)
ともに進める (総合力)	7	4	2	0	1	0	86% 6/7 (100%)	31	9	16	2	3	1	83% 25/30 (93%)
計	98	18	40	2	9	29	84% 58/69 (97%)	569	124	295	65	47	38	79% 419/531 (87%)

(令和5年4月28日時点)

未来をつくる実践目標

チャレンジ 2022

【ver.3】
(令和4年度 分野別の主要政策)

<5つの分野>

- 将来像の実現を目指して、次の5分野に分けて具体的な政策を企画・実行
- 福井の「文化」と「デザイン」の力を活かし、政策の質を向上

学びを 伸ばす (人材力)	成長を 創る (産業力)	楽しみを 広げる (創造力)	安心を 高める (地域力)	ともに 進める (総合力)
ふくい人が宝。 地域を支え、 未来を創造する 人材の育成	力強い産業基盤 の確立。 チャレンジできる 地域経済の構築	多彩な魅力で 交流拡大。 交通新時代の 活力の創出	人生100年時代の 「健康文化」創造。 くらしを守る 安全・安心	協働による 県民主役の県政。 外に開き 連携強化

【施策の変更内容と項目数】

- 追加**…新たに施策を追加 (20項目)
- 縮小**…開催回数や規模を縮小 (43項目)
- 延期**…翌年度以降の実施に変更 (3項目)
- 中止**…施策の実施を取りやめ (1項目)

	政 策		重点施策	施 策
学びを伸ばす (人材力)	1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成 <ul style="list-style-type: none"> 学力・体力全国トップクラスの高い基礎力をもとに、子ども自身の個性を「引き出す教育」、好奇心や探究心を持って学びを「楽しむ教育」を推進 自らの可能性に挑戦し、一人ひとりの個性が輝く福井の子どもを育成 		個性を引き出し、学びを楽しむ教育プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> 少人数学級や習熟度別指導、ICTの活用等の推進 ふるさと教育・キャリア教育の推進、スポーツ・文化芸術活動の充実 など 	<ul style="list-style-type: none"> 個性や主体性を発揮し、自らの可能性に挑戦する人材の育成 一人ひとりの多様な存在や価値観を認め合い、協働して課題を解決する教育の充実 郷土を学ぶ教育の推進など、ふるさとを愛する子どもの育成 教員の働き方改革や放課後児童クラブ等の充実など、子どもの成長を社会全体で支える教育環境の整備 など
	2 ふくいの産業・社会を支える人づくり <ul style="list-style-type: none"> 産学官連携により、福井の産業や自然を活かした教育・研究を推進し、若者に魅力的な学びの場を創出 人生100年時代のリカレント教育を充実し、生涯活躍し続ける創造性豊かな人材を育成 		「ふくい創生人材」育成プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> 魅力的な大学づくりや高校等との連携強化による県内進学への促進 F A A (ふくいアカデミックアライアンス) による県内大学の連携強化 など 	<ul style="list-style-type: none"> 農や水産増養殖、古生物学の学術拠点など、新たな学部・学科の創設による若者に魅力的な大学づくり 地域でのフィールドワークや共同研究など産学官連携による地域人材の輩出 多様な人生設計を支えるリカレント教育の充実 など
	3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現 <ul style="list-style-type: none"> 女性、若者、高齢者など、性別、年齢に関わらず誰もが様々なことに挑戦できる共生社会を実現 障がい者、外国人など多様な人材が活躍する「ダイバーシティ地域経営」を推進 		みんなが主役「ワンチームふくい」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> 「共働き方改革」による新たなライフスタイルの実現、若者・シニアのチャレンジ応援 障がい者、外国人の就労や生活環境の整備 など 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭でも職場でもワークシェアを進め、男女が互いに尊重しあう「男女共生社会」の実現 若者同士のネットワークを拡大、面白い挑戦を「ちよい足し」応援 全世代の県民や企業等が社会貢献活動に参加しやすい環境づくり 障がい者の就労支援や外国人が住みやすい環境の整備 など
	4 希望が叶う「結婚・出産・子育て」応援 <ul style="list-style-type: none"> 将来を担う子どもたちを産み育てる若い世代を社会全体で支える仕組みを拡充 「日本一の出会い・子育て応援社会」を構築 		子たくさんふくいプロジェクト <ul style="list-style-type: none"> 多子世帯への経済的支援を2人目からに拡大 保育人材の確保など保育の受け皿の強化 など 	<ul style="list-style-type: none"> 「自然な出会い」の環境づくりなど新たな出会いのサポート 妊娠・出産前後からの切れ目ない支援体制を強化するなど安心して出産・子育てできる環境の整備 男性の育児・家事参加の促進やシニア・学生による子育て支援など子どもの健全な成長を社会全体で支える仕組みづくり など
成長を創る (産業力)	5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ <ul style="list-style-type: none"> 福井の生活・文化を形づくってきた農林水産業を大切に守り、次世代に引き継いでいくとともに、その魅力を福井の発信に最大限活用 新技術の活用などにより、力強い成長産業にレベルアップ 		稼げる農林水産業創出プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> スマート技術の活用による稼げる農林水産業の実現、カレッジ等での人材育成 農林水産業と観光等の他産業を結び付けるプラットフォームの形成 など 	<ul style="list-style-type: none"> スマート農業の普及や大規模経営化による生産性の向上 「いちほまれ」や「ふくいそば」など福井の美味しい食のトップブランド化 観光農園の整備など新たな交流促進による農山漁村の魅力創出 県産材の需要と供給を拡大し、育てる林業から稼げる林業へ転換 養殖生産やスマート漁業の推進など水産業の成長を促進 など
	6 地域経済のイノベーション <ul style="list-style-type: none"> 地域内の経営資源が循環する「福井型エコシステム」の構築、デザインの活用等による地域経済のイノベーションを創出 新技術の活用による生産性向上や人材確保、人を幸せにする働き方改革の推進など地域経済の持続的発展を応援 		お金・人・技術の地域内循環・拡大プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> 有望ベンチャーへの投資などスタートアップ企業の発掘・育成 「後継ぎベンチャー」の支援など事業創継の推進 など 	<ul style="list-style-type: none"> 起業家による創業支援など地域内でお金や人を循環 デザインの力によるものづくり産地の魅力向上 和菓子店や酒蔵、伝統工芸など暮らしに根差した小さな企業の応援 AI、IoT等の新技術の活用による地域企業の生産性向上や外国人材の受入促進等による人材確保 幸せと生産性を両立する「しあわせ働き方改革」の実行 など
	7 Society5.0 時代の新産業創出 <ul style="list-style-type: none"> 高いものづくり技術を活かした成長産業への進出や新技術を活かした高付加価値産業への転換 若者や女性を惹きつける企業の誘致 		ものづくり産業の新市場挑戦プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> 生産・データ利活用の拡大、人材集積を通じ、衛星ビジネスの国内拠点を形成 未来型エネルギー技術や自然に優しい新素材の開発 など 	<ul style="list-style-type: none"> 航空・宇宙、ヘルスケア産業など成長産業への進出を応援 AI・IoTなど技術革新を活かした新サービスの創出、高付加価値化 企業誘致による若者や女性を惹きつけるしごとの創出 スマートエネルギーエリアの整備や研究・人材育成の拠点形成など、嶺南「E コースト」の形成 など
	8 拡大する世界市場をふくいの成長へ <ul style="list-style-type: none"> 成長する地域や分野など世界市場の動向を見極め、県内企業の新たな海外展開に向けた支援を強化 食や伝統工芸など本物の魅力を海外に売り込むなど、世界市場の拡大を本県に取込み 		世界市場チャレンジプロジェクト <ul style="list-style-type: none"> 県民・企業のニーズに即したミッション型海外事務所の設置 国・地域ごとのニーズに応じたプロモーションなどインバウンドの拡大 など 	<ul style="list-style-type: none"> アジア・環日本海諸国への進出や販路開拓の支援など海外ネットワークの充実・強化 福井の文化や食を活かした海外売り込みの強化 オリンピックや大阪・関西万博等を活かした発信 敦賀港・福井港を活かした貿易拡大 環日本海、アジア、欧米諸国等との交流促進、国際人材育成 など

	政 策		重点施策	施 策
楽しみを広げる (創造力)	9 100年に一度のまちづくり ・北陸新幹線などの高速交通網の整備にあわせ、新幹線駅周辺のまちづくりや二次交通を整備 ・県内外との交流を拡大する県境フロンティア政策を推進		新幹線ゲートウェイ開発プロジェクト ・新たな4つの新幹線駅周辺のまちづくりを市町と協働し推進 ・観光型 MaaS の構築 など	○北陸新幹線や中部縦貫自動車道など高速交通網の整備促進 ○新幹線駅周辺のまちづくりを市町等と協働して推進 ○二次交通の充実や地域鉄道等への支援など持続可能な地域交通ネットワークシステムの構築 ○港・空港・道路などのふくいを支える交流基盤の整備・活用の推進 ○関西との近接性を活かした「WAKASA リフレッシュエリア」の形成 など
	10 北陸新幹線開業効果を最大化 ・誘客プロモーションによるふくいブームの創出や観光地の磨き上げ、インバウンド誘客などを集中的に実行し、新幹線開業効果を最大化		観光リゾートエリア形成プロジェクト ・恐竜博物館、東尋坊、丹南伝統的工芸品産地、三方五湖、若狭湾など観光地のスケールアップ など	○観光資源の魅力向上や周遊・滞在を促進する仕掛けづくり ○ブランド力向上やデジタル情報の発信拡大などによるふくいブーム創出 ○国・地域の特徴に応じた外国人目線のインバウンド誘客 ○おもてなしの向上などリピートしたくなる環境づくり ○DMO など地域が一体となった観光産業化の基盤づくり など
	11 人が人を呼ぶ、移住・定住新戦略 ・Uターン支援体制を強化するなど「待ち」から「攻め」の移住政策に転換 ・交流人口の拡大や多様な福井との「関わり」から移住・定住につなげる新たな仕組みを構築		関係人口拡大プロジェクト ・県外学生等の長期滞在・地域フィールドワークの促進 ・テレワーク、ワーケーションなど新たな働き方による都市人材の呼び込み など	○県内企業と県外大学生や都市圏の地方転職希望者との接点の拡大などによるUターンの促進 ○教育機関と産業界が一体となった学生の地元定着の促進 ○学生を滞在させるキャンプの拡大や市町と連携した「微住」の促進 など
	12 文化・スポーツがふくいの活力 ・長い歴史・生活が培った文化力や芸術文化への関心の高まり、国体・障スポ等を通して高まったスポーツ熱をまちづくりや交流人口の拡大に活用 ・デザイン・アートの充実やフェスの開催など若者に魅力あるイベントを拡充し、楽しみにあふれるまちづくりを推進		文化・スポーツによる「エンタメ福井」実現プロジェクト ・全国規模のスポーツ大会の誘致や参加型のスポーツイベントの企画・開催 ・音楽フェスなどにぎわいを創出するまちなかイベントの拡大 など	○千年を超える本県の歴史・文化遺産などをネットワーク化し、歴史ミュージアムふくいを発信 ○サブカルチャー・ポップカルチャーの振興など、「若者・よそ者」が集まるまちづくりの推進 ○スポーツツーリズムの推進や県内を拠点に活躍するスポーツチームの応援 など
安心を高める (地域力)	13 人生100年時代の健康ライフスタイル ・何歳になっても元気なうちは社会を“支える”役割を担うという新しい高齢者観を共有 ・人生100年を健康に過ごすための「ふくい型健幸サポートシステム」を構築し、福井発の「健康文化」を創造		ふくい発「健康文化」創造プロジェクト ・血液一滴がん検診の導入、ハイスルバワークの促進など「いきがい寿命」の延長 ・「ふくい型健康リテラシープログラム」の開発 など	○フレイル予防等の促進による疾病・要介護化の徹底防止など100歳までの「健活力」の向上 ○通勤や買い物での歩く習慣づくり、健康的な食生活など、日常生活の中で健康に配慮した活動ができる環境整備 ○地域の健康づくりの担い手育成など住民サポートの強化 など
	14 いつでもどこでも安心の医療・介護・福祉 ・医療、介護、予防、生活支援がトータルで提供される「次世代包括ケアシステム」を展開 ・誰もが住み慣れた地域で安心して医療や介護、福祉サービスを受けられる環境を整備		次世代包括ケアシステム推進プロジェクト ・東大との新たな「ジェロントロジー4.0」共同研究や「回復型」フレイル予防の導入 ・医療・介護に生活支援を融合 など	○先端技術を活用したスマート医療、ドクタープール制度、ドクターヘリの活用等による地域医療の充実・強化 ○訪問介護の提供体制の充実や医療・介護・福祉に従事する人材の確保・育成 ○8050問題や育児と介護のダブルケアなど様々な課題に対応する包括的な福祉サービスの充実強化 など
	15 ふるさとの暮らしと風景の維持 ・新たな技術や有償ボランティアなどの新たな共助の仕組みを活用し、いつまでも安心して暮らすことができる地域を構築 ・豊かな自然環境を保全するとともに、2050年の二酸化炭素排出実質ゼロを目指し、再生可能エネルギー導入等を推進		持続可能な次世代コミュニティ創出プロジェクト ・安心して暮らせる集落生活圏の形成、有償ボランティアの仕組みづくり ・ICTなど新技術の活用による地域の課題解決 など	○集落機能維持に対する支援やICT活用による新たな共助の仕組みづくり ○歴史的まちなみや自然景観など美しい景観の保全・形成 ○豊かな里山里海湖の保全と交流人口拡大への活用 ○再生可能エネルギー等の導入拡大や地球温暖化対策の強化、スマートエリアの整備 など
	16 防災・治安先進県ふくいの実現 ・頻発・激甚化する自然災害に対し、県土強靱化の推進や地域防災力の向上により備えを万全 ・子どもや女性、高齢者などが犯罪等に巻き込まれない安心して暮らせる社会を実現		安心の防災基盤強化プロジェクト ・大規模災害団員の確保支援や企業との連携等による防災力強化 ・治水・土砂災害対策など県土強靱化の推進 など	○県と市町の連携強化や地域の自助・共助による防災力と新技術の力の融合による災害への対応力の向上 ○インフラ老朽化対策や建設産業の担い手確保 ○子ども、女性、高齢者など県民を守る犯罪・事故対策を強化 ○県民の安全最優先の原子力政策の推進 など
ともに進める (総合力)	17 「チームふくい」の行政運営 ・徹底現場主義に基づき、県民主役の県政を実現 ・市町とのコミュニケーション強化や価値創造型の政策立案の推進		市町協働による行政サービス向上プロジェクト ・行政システムの共同化など県・市町共通の課題をチームにより課題解決 ・市町職員の確保支援、人事交流 など	○徹底現場主義やクレドに基づく県民主役の県政、市町との協働強化 ○SDGsの推進や政策デザインの考え方に基づく政策立案と実行 ○A I等の活用による仕事の進め方改革と人材確保・育成 ○歳入確保と歳出の合理化・重点化、健全財政運営 など
	18 広域パートナーシップの強化 ・地方間の連携強化による高速交通網の整備促進 ・広域観光の推進など、県境をつなぐインフラを活用し、人・モノ・情報の活発な交流を促進		地方連携による基盤整備・交流拡大プロジェクト ・関係自治体と一体となった高速交通網の整備促進と県境フロンティア観光の推進 など	○高速交通網の整備促進や広域観光など連携による交流拡大 ○災害や疾病などに備えた広域連携の強化 ○全国の自治体と連携した政策立案や国等への提言 など

政策1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成



目指す姿	主な施策	目標 (KPI)												
<p>【施策1-1】 ○個性や主体性を育む探究的な学びの推進</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 子どもの意欲や能力を最大限に引き出す教育や、幼児教育と小学校教育とのスムーズな接続、豊かな感性やチャレンジする力を育む文化芸術・スポーツ活動などを充実し、一人ひとりが個性を発揮し挑戦する人材を育成する。 </p>	<p>確かな学力の育成</p> <p>○ 高志中学校に教師用・学習者用デジタル教科書を導入し活用方法を研究 【教育庁】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・高志中学校内で、教師用デジタル教科書を使用した授業を展開 ・生徒とともに考えるデジタル教科書（英語）の活用に関する意見交換会実施（3/17） </div> <p>○ 教育総合研究所においてタブレット端末の先進的活用方法を学ぶ実践研修を実施するとともに、各学校においてタブレット端末を活用した授業研究会や教材作成を実施 【教育庁】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・学習アプリケーション別研修、学校種別タブレット端末活用研修、デジタル・シティズンシップ教育研修の実施 ・タブレット端末通信発行およびタブレット端末活用サポートサイト運営 ・「授業づくりに役立つ！タブレット端末活用事例集」を発行（10月）、義務教育課HPに掲載 </div> <p>○ 少人数学級や習熟度別学習（中学校 数学14校、英語16校）を通じた学力向上の推進 ※小中学校の学級編成基準（小学校全学年35人編制、中学校全学年32人編制） 【教育庁】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校で、習熟度別学習を数学科、英語科において実施（数学14校、英語16校） </div> <p>○ 小学校高学年における加配教員を活用した教科担任制の拡大（4教科：理科、英語、算数、体育） 【教育庁】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・教科担任制加配（会計年度任用職員を含む）を、小学校184校中、109校に配置し、教科担任制を実施 </div> <p>○ 学びを楽しむ授業や、子どもの好奇心を刺激するクラブ活動を実践 【教育庁】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・補助の活用を希望する研究グループ、活動グループの募集、審査、決定（4、5月） ・小学校クラブ活動の募集継続の案内、募集（6、7月） ・実績報告・研究成果の提出（2月） </div>	<p>目標 (KPI)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末を活用した授業研究会の実施回数 60回 (R3:59回) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 61回 (3月末) </div> <ul style="list-style-type: none"> ・授業がわかる児童生徒の割合 小学校国語 90% (R3:90.2%) 小学校算数 90% (R3:87.7%) 中学校国語 85% (R3:85.3%) 中学校数学 80% (R3:74.6%) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table border="0"> <tr><td>小学校国語</td><td>89.7%(R4)</td></tr> <tr><td>小学校算数</td><td>85.9%(R4)</td></tr> <tr><td>中学校国語</td><td>88.2%(R4)</td></tr> <tr><td>中学校数学</td><td>81.2%(R4)</td></tr> </table> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・教科担任制の実施校 40% (R3:30%) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 59%(R4) </div> <ul style="list-style-type: none"> ・引き出す教育・楽しむ教育実践事業の補助件数 先端技術活用研究10件 (R3:14件) 小学校クラブ活動20件 (R3:21件) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table border="0"> <tr><td>先端技術活用研究</td><td>6件 (3月末)</td></tr> <tr><td>小学校クラブ活動</td><td>14件 (3月末)</td></tr> </table> </div>	小学校国語	89.7%(R4)	小学校算数	85.9%(R4)	中学校国語	88.2%(R4)	中学校数学	81.2%(R4)	先端技術活用研究	6件 (3月末)	小学校クラブ活動	14件 (3月末)
小学校国語	89.7%(R4)													
小学校算数	85.9%(R4)													
中学校国語	88.2%(R4)													
中学校数学	81.2%(R4)													
先端技術活用研究	6件 (3月末)													
小学校クラブ活動	14件 (3月末)													

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>○ 各小中学校において「引き出す・楽しむ教育」に向けて重点的に取り組むテーマを設定して実践するとともに、子ども同士や教員による意見交換会、テーマに応じた研修等を開催 【教育庁】</p> <div data-bbox="846 220 1686 284" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講師による学校訪問、テーマに応じた研修を開催（3回） ・ 各学校の取組みを「ふくいわくわく学びWeb」に掲載（R5.2月公表） </div> <p>魅力ある県立学校づくりの推進</p> <p>○ 大学進学サポートセンターによる1年間を通しての大学進学支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の進路志望に合わせて「難関大学志望」と「地元大学志望」に分けたプログラムを導入。難関大学志望者向けに、個別添削指導を充実・強化 【教育庁】 <div data-bbox="846 467 1686 595" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集合型補習（1年生5回、2年生3回、3年生2回）および学習合宿を実施 ・ 難関大学志望と地元大学志望のそれぞれに合わせて、通信型補習および動画配信を実施（国・数・英・物・化） ・ 個別添削指導を実施（随時） </div> <p>○ 県版SSH（スーパー・サイエンス・ハイスクール）を整備し、県内の理数教育を充実 【教育庁】</p> <div data-bbox="846 699 1686 802" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度当初予算から「高校生次世代理系人材育成プロジェクト」として、SSH4校（藤島、高志、武生、若狭）と理数科設置校（武生東、敦賀）を対象としたゼミや生徒研究支援を実施 </div> <p>○ 新学科・コースを設置する普通科系高校に、探究学習のためのアドバイザー配置や、理数教育のための実験機器、スポーツ探究のための動作解析装置等の機器を整備 【教育庁】</p> <div data-bbox="846 930 1686 1058" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 探究アドバイザーによる探究プログラムを実施（羽水、勝山など計15回） ・ 探究アドバイザーによる教員向け研修を実施 ・ 探究的な理科実験ができる実験機器類を購入（武生東） ・ スポーツ探究のための動作解析機器、エルゴメーターなどの機器を購入（丸岡） </div>	<p>・ サポートセンター登録者数 140人（R3:178人）</p> <div data-bbox="1742 467 2123 531" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>254人（3月末）</p> </div> <p>・ 県版SSHのスキームを今年度中に構築 （R3:-）</p> <div data-bbox="1742 699 2123 762" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>基本計画を策定済み（3月）</p> </div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>○ 検証委員会の報告を踏まえ、高志高校に探究創造科を設置。連携型中高一貫教育校は、高校教員等による中学での先取り学習とアドバイザー設置による探究学習を充実 【教育庁】</p> <div data-bbox="846 193 1686 339" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度高志高校入学生より探究創造科を設置 ・あわら地区では金津高校の数学・英語の教員が毎週、中学校での先取り学習を実施 ・越前地区ではAI教材を用いた中学校での個別最適な学習を実施 ・連携型中高一貫教育校にて探究アドバイザーによる探究プログラムを実施 </div> <p>○ 若狭高校、丸岡高校で地域みらい留学による県外生徒募集を開始。若狭高校において寮を整備するとともに、民間資金等を活用した寮整備のほか、民間住宅を含めた住環境の整備を検討 【教育庁】</p> <div data-bbox="846 464 1686 651" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン合同説明会（全6回）、対面説明会（1回）に参加 ・令和5年度入試において地域みらい留学1期生として若狭高校5名、丸岡高校4名を选考 ・若狭高校の寮整備に着工（令和5年8月完成予定） ・魅力化や部活動の強化等により入寮者が期待できる高校について、民間資金等を活用した整備手法を検討 </div> <p>○ 勝山市立中学校による勝山高校敷地内での共同利用に向けた施設整備や中高連携の具体的な方策を検討 【教育庁】</p> <div data-bbox="846 743 1686 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・勝山市教育委員会と定期的に検討会を実施（計7回） </div> <p>○ 武生商工高校の令和7年度の1キャンパス化に向け、2階建の体育館と新商業棟の新設のほか、図書室や職員室の拡充、女子トイレの整備を含む本棟などの大規模改修を実施 【教育庁】</p> <div data-bbox="846 935 1686 1002" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・体育館・新商業棟新設に係る基本設計完了（R4.6月）、実施設計完了（R5.3月） ・管理・普通教棟改修に係る実施設計完了（R4.10月）、工事着手（R5.3月） </div> <p>○ 産業界と県立学校が一体となり、新技術やDX等の産業構造の変化に対応した魅力あるカリキュラムを実施 【教育庁】</p> <div data-bbox="846 1094 1686 1193" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・マイスター・ハイスクールの指定を受けている2校において 運営委員会・事業推進委員会を実施 CEO・産業実務家教員の授業を実施 </div> <p>○ 学校教育DXを戦略的に推進していくため「福井県学校教育DX推進計画」（仮称）を策定 【教育庁】</p> <div data-bbox="846 1286 1686 1353" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・福井県学校教育DX推進計画を策定（R5.3月） </div>	<p>・マイスター・ハイスクールの指定 2校以上（R3:2校）</p> <div data-bbox="1738 1094 2123 1161" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>2校指定（坂井・若狭）（3月末）</p> </div> <p>・今年度中に策定（R3:-）</p> <div data-bbox="1738 1286 2123 1353" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>策定済（3月）</p> </div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>幼児教育の推進</p> <p>○ 市町幼児教育アドバイザーや園内リーダーを養成・支援する研修を実施</p> <p style="text-align: right;">【教育庁】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・市町幼児教育アドバイザー・園内リーダー養成研修を実施 (5/11, 6/22, 8/24, 10/28, 11/2, 12/23) ・市町幼児教育アドバイザーや園内リーダーを支援するフォローアップ研修を実施 (5/19, 6/1, 11/8, 2/22) </div> <p>○ 環境アドバイザー等の専門家を活用した幼児の自然体験活動プログラムを作成</p> <p style="text-align: right;">【教育庁】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふくいっ子の自然あそびプログラム」を作成し、県HPに掲載 ・家庭教育支援講座（10/12）において環境アドバイザーの活用と併せて保育者や小学校教員に紹介 </div> <p>○ 保育者や小学校教員を対象とした「家庭教育支援講座」を開催</p> <p style="text-align: right;">【教育庁】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「自然の中で遊びこむ子どもの学び」をテーマとした講座を県生活学習館にて開催 (10/12) </div> <p>文化芸術活動の充実</p> <p>○ 小学校で越前荒土を使った図画工作科の授業を実施し、福井ふるさと教育フェスタおよび県ホームページにて、写真作品展を開催</p> <p style="text-align: right;">【教育庁】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の図画工作科、中学校の美術科で、越前荒土を活用した授業実施 ・福井ふるさと教育フェスタ（2/4）で写真作品展、義務教育課HPにて写真作品公開 </div> <p>○ 児童生徒の豊かな感性や音楽文化に親しむ態度を育む「県立音楽堂空席利用鑑賞」の実施</p> <p style="text-align: right;">【交流文化部】</p> <p style="text-align: right;">【教育庁】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・県立音楽堂が主催する公演の空席を小中高生に無償で提供 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・空席利用鑑賞対象の13公演のうち、9公演で空席利用鑑賞実施 </div>	<p>・ 園内リーダー認定者がいる園の割合 89%（R3:89%）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">89%（3月末）</div> <p>・ 令和4年10月に開催 （R3:10/13オンライン開催）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">令和4年10月12日に開催</div> <p>・ 越前荒土を体験する児童数 4,000人（R3:3,318人）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">2,554人（3月末）</div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>トップアスリートの養成</p> <p>○ 福井大学との連携により「合同競技体験会」や「ふくいジュニアアスリートアカデミー」を開催し、子どもの可能性を引き出しながら、有望なジュニア選手を発掘・育成 【交流文化部】</p> <p>・自分の才能や可能性を発見する場として「合同競技体験会」を開催（7/10） ・運動能力が高くトップアスリートを目指す5・6年生58名を対象に、年間を通じて専門的なトレーニング方法などを学ぶ「ふくいジュニアアスリートアカデミー」を開催（4/16～）</p> <p>○ 県・スポジョブ選手・競技団体が一体となったスカウト活動で、「スポジョブふくい」によるアスリートのU I ターンを推進 【交流文化部】</p> <p>・「スポジョブふくい」によるアスリートの就職支援を実施（令和5春採用22人内定） ・令和6年春就職に向けたインターンシップ参加の働き掛けやスカウト活動を開始</p> <p>○ ロサンゼルス五輪（2028）出場を目指すトップアスリートにU I ターン就職の働きかけ 【交流文化部】</p> <p>・ロサンゼルス五輪を目指すトップアスリートに県の支援制度を説明（3名）</p> <p>○ 競技団体の中核的な指導者の世代交代を円滑に進めるため、若手指導者を対象にした「トップ指導者育成」研修会を開催 【交流文化部】</p> <p>・競技団体から推薦のあった32名をトップ指導者育成研修受講生として決定（9/1） ・3年間の研修カリキュラム2年目の今年は「異業種会のリーダーから学ぶ」をテーマに研修会を5回実施（11/5～）</p>	<p>・ 競技スポーツの全国大会での上位入賞数（1～3位） 100件（R3:188件）</p> <p>200件（3月末）</p> <p>・ 公認スポーツ指導者新規登録数 100件（R3:90件）</p> <p>154件（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策1-2】</p> <p>○一人ひとりの多様性を認め合う教育の充実</p> <p>誰もが主役の共生社会を目指し、子どものころから一人ひとりの多様な存在や価値観を認め合い、協働して課題を解決する人材を育成する。</p>	<p>お互いを尊重し豊かな心を育む教育の推進</p> <p>○ 中学生を対象としてビブリオバトルを開催 ・ 県立図書館を会場に、参加希望者を募り予選・決勝を実施 ・ 「チャンプ本」（最も読みたい本）を紹介した生徒は、3月の全国大会（東京）に出場 【教育庁】</p> <p>・ 中学生を対象としてビブリオバトルを開催（会場：県立図書館） ・ 「チャンプ本」を紹介した生徒は、3月の全国大会（東京）に出場</p> <p>○ 部活動地域移行研究事業の実施 ・ 休日の文化部活動の段階的な地域移行に向けた国のモデル事業の実施 【教育庁】</p> <p>・ 敦賀市において吹奏楽部を有する4中学校の休日部活動の地域移行を実施</p> <p>○ ジュニア司書養成講座について、小学生対象に加えて、職業選択に関心の高い中学生を対象に、より専門的な養成講座を開催 【教育庁】</p> <p>・ 福井県ジュニア司書養成講座中学生の部を実施し、3名を認定（県立図書館：8/14、8/21）</p> <p>たくましく健やかな体を育む教育の推進</p> <p>○ 生徒にとって望ましい持続可能な運動部活動の実現を目指した実践研究の推進 ・ 3市、1町をモデルとし実践研究 ・ 県の検討委員会を開催し、モデル事業の進め方や他市町への普及等について検討 【教育庁】</p> <p>・ 3市1町をモデルに実証研修を実施 ・ 実証地域モデル事業の進め方を他市町へ普及する取組みを実施 ※県検討委員会3回開催（公開1回）、全市町を対象に実践地域の視察を実施（2回） ・ モデル事業開催市町を含め9市町において検討会議が開催された（福井市、大野市、鯖江市、美浜町、あわら市、小浜市、おおい町、越前市、池田町）</p>	<p>・ 普段30分以上読書をする生徒の割合 中学校 28.0%（R3:28.7%）</p> <p>25.6%（R4）</p> <p>・ 1市で実施（R3:1市）</p> <p>1市で実施</p> <p>・ ふだん読書をしない小・中学生の割合 小学校 15%（R3:24%） 中学校 30%（R3:37%）</p> <p>小学校 25.9%（R4） 中学校 37.7%（R4） 縮小</p> <p>・ 3市、1町で実施（R3:1市1町）</p> <p>3市、1町で実施</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>○ 小・中学校の体育の授業にトップアスリートを派遣し、短距離走やボール投げ等の正しい動作を楽しみながら学ぶ機会を提供【教育庁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「トップアスリート派遣による体育授業」の実施（6月～2月） 小学校57校、中学校23校 （内訳）①ベースボール型…小学校19校 ②体ほぐし（なわとび）…小学校19校 ③陸上…小学校19校、中学校7校 ④球技（ハンドボール）…中学校7校 ⑤ダンス…中学校9校 <div data-bbox="846 368 1686 579" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校56校、中学校22校、計78校実施（2校については、コロナ感染症の影響で中止） （内訳）①ベースボール型…小学校18校 ②体ほぐし（なわとび）…小学校19校 ③陸上…小学校19校、中学校7校 ④球技（ハンドボール）…中学校6校 ⑤ダンス…中学校9校 実技指導者研修会（ベースボール型） 小学校18校 中学校10校 計28校 </div> <p>グローバル化に対応した教育の推進</p> <p>○ タブレット端末の活用などALTによるスピーキングテストを充実し、中学生のスピーキング力・リスニング力を向上【教育庁】</p> <div data-bbox="846 767 1686 879" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・スピーチやプレゼンテーション、インタビュー形式（面接・対話等）のスピーキングテストを、ほぼすべての学校で実施 ・ALTは評価の補助 </div> <p>○ 県内の高校生を対象とした英語ディベート大会（即興型、準備型）を開催【教育庁】</p> <div data-bbox="846 995 1686 1059" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・即興型を実施（11/13） ・準備型を実施（11/3） </div> <p>○ 職業系高校等において、「話せる英語」の授業等を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語で福井県の観光名所を紹介するための「福井県ふるさとツーリズム英会話検定」を実施 ・全職業系高校において「話せる英語」を習得するためにオンライン英会話を実施【教育庁】 <div data-bbox="846 1235 1686 1347" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・福井ふるさとツーリズム英会話検定 11校で1,872名受験 合格者数：2級 66名、3級 177名、4級 1,498名 ※合格者数は3月22日現在 ・オンライン英会話 11校で3,191名が実施 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・派遣校数（小中学校） 80校（R3:68校） <div data-bbox="1738 368 2123 432" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>106校（3月末）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・CEFR A1レベル以上（英検3級など）に相当する英語力を持つ中学3年生の割合 65%（R3:85.8%） <div data-bbox="1738 767 2123 831" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>R5.5月頃公表予定</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・英検準2級相当以上の英語力を持つ高校3年生の割合 60.0%（R3:59.6%） <div data-bbox="1738 995 2123 1059" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>R5.5月公表予定</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・スピーキングテストおよびライティングテストを実施している学校の割合 高校 80.0%（R3:52.2%） <div data-bbox="1738 1235 2123 1299" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>R5.5月公表予定</p> </div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>特別支援教育の推進</p> <p>○ 嶺南地区の聴覚障がい児童生徒等の支援充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 嶺南東特別支援学校の聴覚管理室を活用した聴覚障がい児教育相談の本格実施 嶺南教員の専門性向上に向けた研修会を実施 【教育庁】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 嶺南教育事務所指導主事とろう学校教員が連携して、嶺南地区聴覚障がい児教育相談の実施（年間110回） 言語聴覚士による研修会の実施（年間5回） </div> <p>○ 特別支援教育におけるDXの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 病気療養中の児童生徒が病室から授業に参加できる遠隔ロボットの整備 高校通級で人との接し方等を学ぶ学習用VRゴーグルの導入 【教育庁】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 関係学校および市町教育委員会を対象に説明会やデモンストレーションを実施（8月、2月） 使用方法についての研修会を実施（8月） 使用実績や成果等を蓄積および分析 </div> <p>○ 特別支援学校や行政、農業法人等による農業体験実習等を拡充 （知的6校年3回以上） 【教育庁】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 知的6校（福井南・嶺北・奥越・南越・嶺南東・嶺南西）が農業体験実習および講師来校による技術指導を実施 6校分の計（体験実習21回・参加生徒のべ147人） （技術指導10回・生徒のべ68人） </div> <p>○ 本県独自の技能検定として、清掃技能検定に加え、喫茶サービスの検定を実施 【教育庁】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 第7回特別支援学校技能検定（清掃・喫茶サービス）認定大会（12/17） 清掃部門に28名、喫茶サービス部門に14名が参加 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 遠隔ロボットを活用した授業時数 年間80時間以上（R3:-） 縮小 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">15時間（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> VRゴーグルを活用した授業時数 240時間以上（R3:-） 縮小 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">47時間（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> 農業体験活動参加生徒数 200人（R3:178人） 縮小 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">147人（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> 喫茶サービス技能検定の導入に向けた検討会議・研修会開催 年3回（R3:2回） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">2回（3月末）</div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>○ 新たな特別支援学校設置基準を踏まえた施設整備を実施し、教育環境を充実 ・福井南特別支援学校、嶺北特別支援学校の校舎を増築 【教育庁】</p> <p>・校舎増築に係る設計完了（R4.12月）</p> <p>いじめ・不登校対策の充実</p> <p>○ いじめ、不登校の未然防止や早期対応に向け、臨床心理士などの資格を持つ相談員の配置によるSNS等を活用した相談窓口を開設 〔相談受付〕 ・令和4年4月から毎週土曜日、日曜日、祝日 ・4月29日～5月8日は毎日開設 ・8月20日～9月7日は毎日開設 ・12月31日、1月1日、2日は休み ・5月2日、6日、1月6日開設 ・17時～21時 【教育庁】</p> <p>・相談件数827件（2月末時点）</p> <p>○ 福井弁護士会と連携し、学校からの法的相談に対し、スクールロイヤーが助言する事業を実施 【教育庁】</p> <p>・利用件数14件（県立9件、義務5件）（2月末時点） ・相談事例集を作成（3月末）</p> <p>外国人児童生徒等に対する教育環境の整備</p> <p>○ 足羽高校、武生商工高校、武生高校定時制に日常会話を補助するコミュニケーションサポーターを配置、日本語能力検定の検定料を補助 【教育庁】</p> <p>・コミュニティサポーターを足羽高校（3人）、武生商工高校（2人）、武生高校定時制（1人）に配置 ・日本語能力試験検定料補助（5人）</p> <p>○ ウクライナ避難民の高校生が通う高校に、学習支援および日常会話の補助をするコミュニケーションサポーターを配置 追加【教育庁】</p> <p>・ウクライナ避難民の高校生が通う足羽高校にコミュニケーションサポーターを配置（1人）</p> <p>○ 日本語指導が必要な児童生徒が在籍する学校の体制づくりや指導方法等に関する支援を実施 ・外国人児童生徒等教育連絡協議会の開催 ・日本語指導アドバイザーによる相談支援 【教育庁】</p> <p>・外国人児童生徒等教育連絡協議会実施（5/25、8/25、11/25） ・日本語指導アドバイザーによる支援や指導に関する指導助言（県内：小学校3校 中学校3校）</p>	<p>・学校や相談機関で相談を受けていない不登校生徒の割合10%以下（R3:8.4%）</p> <p>R5.6月公表予定</p> <p>・コミュニケーションサポーター6人配置（R3:4人配置）</p> <p>6人配置（3月末）</p> <p>・コミュニケーションサポーター1人配置 追加</p> <p>1人配置（3月末）</p> <p>・日本語指導を行う教員等を対象とした研修会の参加人数60人（R3:24人）</p> <p>70人（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（K P I）
	<p>家庭環境や地域に左右されない教育環境の確保</p> <p>○ 遠隔授業・研修システムや理科実験動画を活用して、理科への興味・関心を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育総合研究所のサイエンスラボから学校では困難な実験を配信 ・ 他校の児童生徒と交流する授業を実施 ・ 配信用の動画作成 <p style="text-align: right;">【教育庁】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・ 配信用の動画作成（15本）</p> </div>	<p>・ オンデマンド配信用の新規理科実験動画を作成 15本（R3:20本）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>15本（3月末）</p> </div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策1-3】</p> <p>○ふるさとへの誇りと愛着を育む教育の推進</p> <p>地域の人々とふれあいながら、郷土について学び発信する教育や地域課題を発見・解決する教育等を推進し、ふるさとや自然を愛し、社会や地域に貢献する人材を育成する。</p>	<p>ふるさと教育の推進</p> <p>○児童生徒が自らの地域を探究し、地域の魅力を発信する「ふるさとの魅力発信推進事業」の実施 ・地域の探究活動・発信活動（CM作成）の実施 ・「ふるさと福井CMコンテスト」の開催 ・県内道の駅、ハビテラス等で入賞作品放映 【教育庁】</p> <p>・CM作成講習会実施（県内2会場 5/28、29 26名参加）、オンデマンド視聴44名 ・ふるさと福井CMコンテスト開催 応募66校（小学校43校、中学校23校） ・福井ふるさと教育フェスタにて表彰式・上映（2/4） ・ハビテラス大型ビジョンで放映（2/18）、複数の県内道の駅で3月中旬から放映</p> <p>○地域の魅力を伝える「ふるさと福井の魅力プレゼンテーション大会」の開催 ・聞き手に自分の考えを自分の言葉で論理的に分かりやすく伝えられるようにするため「プレゼン力向上セミナー」を開催 【教育庁】</p> <p>・プレゼン力向上セミナー（県内3会場、7/30、31 76名参加）、オンデマンド視聴72名 ・ふるさと福井の魅力プレゼンテーション大会開催（12/4 応募数19、入賞6） ・福井ふるさと教育フェスタにて入賞チーム・個人が発表（2/4）</p> <p>○「福井ふるさと教育フェスタ」を開催 ・小中学校での体験学習や地域の伝統文化活動の発信 ・「ふるさと福井の魅力プレゼンテーション大会」、「ふるさと福井CMコンテスト」の入賞者の作品を発表 【教育庁】</p> <p>・ふるさと学習のステージ発表5校、郷土芸能発表1校 ・「ふるさと福井の魅力プレゼンテーション大会」上位入賞者発表 4チーム ・「ふるさと福井CMコンテスト」表彰、優秀作品の上映 ・「ふるさとの学び特別賞」表彰11校</p> <p>○「体験・探究活動おすすめスポット」を活用した嶺南・嶺北を交流する体験活動の充実 【教育庁】</p> <p>・小中学校および放課後子どもクラブにおける、嶺北から嶺南、嶺南から嶺北の体験・探究施設での活動にかかる経費を補助</p> <p>○福井の自然や水産業を学ぶため、若狭高校実習船「雲龍丸」を活用した体験航海を実施 【教育庁】</p> <p>・小中学生を対象とした体験航海を実施（5～10月）30回実施 参加者734人 ・一般県民を対象とした体験航海を実施（8月）12回実施 参加者156人</p>	<p>・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童・生徒の割合 小学校 60%（R3:55.8%） 中学校 47%（R3:47.1%）</p> <p>小学校 54.9%（R4） 中学校 46.3%（R4）</p> <p>・自分の考えがうまく伝わるよう、工夫して発表している児童の割合 65%（R3:63.7%）</p> <p>65.4%（R4）</p> <p>・参加児童生徒数 300人（R3:369人）</p> <p>ステージに登壇した児童生徒数 167人（3月末）</p> <p>・嶺南から嶺北、嶺北から嶺南へ訪問する児童生徒数 10,000人（R3:16,397人）</p> <p>9,332人（3月末）</p> <p>・体験航海運航回数 小中学生対象 36回（R3:24回） 一般県民対象 14回（R3:14回）</p> <p>縮小</p> <p>小中学生 30回（3月末） 一般県民 12回（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>○ 学制150年記念企画展「学校150年物語」を開催し、学制発布から現在までの本県学校教育の足跡や各学校の変遷を展示、未来への教育遺産として継承 【教育庁】</p> <div data-bbox="846 172 1688 264" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年8月2日から令和5年1月29日まで、教育博物館において開催 来館者数、7,580人 ・関連イベントとして、講演会、給食販売、アートワークショップなど開催 </div> <p>社会や地域を担う人材の育成</p> <p>○ 普通科高校1年生を主な対象に「キャリア教育セミナー」を開催 ・理系分野および歴史分野で活躍する女性による講演を拡充 【教育庁】</p> <div data-bbox="846 418 1688 485" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・社会の第一線で活躍している職業人を講師に、年間13回講演を実施 (3回は看護師・作家、スポーツトレーナー、弁護士の女性による講演) </div> <p>○ 起業家によるオンライン講演や県独自のビジネスアイデアコンテストを開催 【教育庁】</p> <div data-bbox="846 571 1688 673" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業診断士によるビジネスアイデア講習会を5校で各3回ずつ実施 ・県独自のビジネスアイデアコンテストを11月12日に実施し、県内高校135エントリーの中から、一次審査を通過した本選出場5チームが参加 </div> <p>○ 経営者等を講師に招き、地域産業や企業を学ぶ、本県独自の共通科目「ふくいの産業」を実施。AIやIoT等についての実践的な情報教育を実施（普通科の生徒も後日自由に視聴できるよう録画してライブラリー化） 【教育庁】</p> <div data-bbox="846 791 1688 938" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふくいの産業」において年間16回実施し、すべての講座を県立高校、県内中学校で閲覧可能なようにアーカイブ化 ・「デジタル教育講座」では、情報デザインやホームページの作成等5テーマについての講義を実施するとともに、ビッグデータを活用したアプリケーション開発のための動画を制作 </div> <p>文化財の保存・継承</p> <p>○ 指定文化財の現状や保存状況を確認する調査を実施し、これらの情報を保存・活用するため新たにデジタル化を実施 【教育庁】</p> <div data-bbox="846 1062 1688 1155" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財の所在確認・保存環境状況調査を実施し、デジタルカメラで画像等記録保存を実施。 </div> <p>○ 本県ゆかりの先人を学ぶことも歴史文化館などと連携し、小中学校や地域住民へ文化財の魅力伝える出前授業・出前講座を開催 【教育庁】</p> <div data-bbox="846 1248 1688 1337" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・出前授業を実施（6/23順化小、6/24坂口小、6/30武生西小、ほか計11回） ・発掘調査現地説明会を実施（6/18大森鐘島遺跡、6/25袋田遺跡、ほか計6回） ・出前講座を県立図書館と連携開催（7/16発掘調査報告会 ほか計3回） </div>	<p>・ 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 高校生 75.0% (R3:78.1%)</p> <div data-bbox="1738 418 2123 485" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>75.6% (R4)</p> </div> <p>・ 調査件数 50件 (R3:29件) 縮小</p> <div data-bbox="1738 1062 2123 1129" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>35件 (3月末)</p> </div> <p>・ 出前授業等回数 12回 (R3:20回)</p> <div data-bbox="1738 1248 2123 1315" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>20回 (3月末)</p> </div> <p>・ 受講者数 240人 (R3:622人)</p> <div data-bbox="1738 1391 2123 1458" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>886人 (3月末)</p> </div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>生涯学習の推進</p> <p>○ 県や市町の文化施設が個々に所有しているデジタルデータを文書館HP「デジタルアーカイブ福井」に集約し、情報を発信 【教育庁】</p> <p>・あわら市郷土歴史資料館寄託「大連三郎左衛門家文書」46件を公開（11/17） ・小浜市文化交流課所蔵「酒井家文庫」1,129件を公開（11/17）</p> <p>○ 県外の文学館との連携により資料を借用した展示を実施し、様々な文学・作家にまつわる資料を間近に見る機会を提供 【教育庁】</p> <p>・文京区立森鷗外記念館の資料「鷗外が愛でた草花」をパネル展示（4/16～6/21） ・青森県近代文学館の資料「寺山修司没後30年」をパネル展示（1/27～3/21）</p> <p>○ 嶺南地域を含め全ての県民が生涯学習センターまたは若狭図書学習センターから同時配信する講座を双方で受講できる環境を整備 【教育庁】</p> <p>・「ふるさと未来講座」のうち6講座を生涯学習センターから若狭図書学習センターへ同時配信（7/16、1/21、2/21、3/4、3/14、3/18） ・若狭図書学習センターから生涯学習センターへ2講座を同時配信（10/29、2/12）</p> <p>○ 社会教育関係団が公民館等と連携して実施する、SDGsの理念に沿った活動を支援することにより、団体の活性化を図り、地域住民の社会教育を推進 【教育庁】</p> <p>・社会教育関係団体がSDGsの理念に沿って実施した活動23件を支援</p>	<p>・文書館に集約した資料群数 2件（R3:5件）</p> <p>2件（3月末）</p> <p>・企画展における県外文学館からの資料提供の割合（件数） 100%（2件/2企画）（R3:100%）</p> <p>100%（2件/2企画）</p> <p>・同時配信する講座数 生涯学習センター 6講座（R3:11講座） 若狭図書学習センター 2講座（R3:-）</p> <p>生涯学習センター 6講座（3月末） 若狭図書学習センター 2講座（3月末）</p> <p>・活動数 42件（R3:12件） 縮小</p> <p>23件（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策1-4】</p> <p>○新たな時代を見据えた教育環境の整備</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>学校における働き方改革や教職員の資質・能力の向上、地域・家庭・学校の連携・協働を進めるとともに、学校の安全・安心対策を充実する。</p> </div>	<p>学校における働き方改革の推進</p> <p>○ 時間外在校等時間月80時間以上の教職員0%を継続、さらに月45時間以内、年間360時間以内の教職員の割合を増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動顧問の選出勤務など、個々の働き方に応じた勤務時間見直しを奨励 ・長時間勤務者には、月途中で管理職が面談を行って業務を見直し・平準化 ・小学校高学年における教科担任制の拡大【再掲】 ・DXの推進 ・外部人材の業務整理と活用促進 <p style="text-align: right;">【教育庁】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的な出退勤時間管理・面談および県独自調査の勤務実態調査の実施 ・校務支援システムの機能追加（保護者と学校間の欠席・連絡機能等） ・業務改善に係る優良校の表彰および優良実践の共有 </div> <p>○ 県立高校・県立中学校にデジタル採点システムの導入</p> <p style="text-align: right;">【教育庁】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・4月から導入し、定期的に活用状況調査を実施（6月、9月、3月） </div> <p>○ タブレット端末等の学校業務改善への活用を検討。高志中学選抜にWEB出願を導入</p> <p style="text-align: right;">【教育庁】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度高志中学入学者選抜においてWEB出願を実施（出願者307人） </div> <p>○ 中学校において、複数体制で部活動指導が行えるよう、部活動数を教員数のおおむね1/2になるよう見直しを継続</p> <p style="text-align: right;">【教育庁】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・進捗状況の定期的な把握（4月、8月、12月） ・市町教委や学校への働きかけを継続実施 </div> <p>教職員の資質・能力の向上</p> <p>○ 教員免許状更新制の発展的解消を踏まえ、教職員の資質・能力の向上を支援する教員研修を充実</p> <p style="text-align: right;">【教育庁】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・教員免許状更新講習を兼ねて実施予定であった福井大学との共催研修を、更新制廃止後も共催で実施 ・管理職を含め、幅広い世代の教員に対し、タブレット活用を推進するための研修を実施 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・時間外在校等時間月80時間以上の教職員の割合 0%（R3:1.2%（R3.4～R4.3月）） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>R5.5月公表予定</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・教員1人当たり採点業務時間の削減率 20%（R3:年間平均時間54時間） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>15.9%（3月末）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・県内部活動削減数 10（R3:19） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>15（3月末）</p> </div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>○ 幅広い優れた人材を確保するため、教員採用選考試験において、加点を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 英語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、中国語等の検定資格者に加点（R2年度～実施） ・ 特別支援免許保有者等を対象とした加点（R4年度～実施） ・ 司書教諭免許、複数教員免許状保有者を対象とした加点（R4年度～実施） <p style="text-align: right;">【教育庁】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・ 第1次選考および第2次選考それぞれにおいて、記載通りに実施</p> </div> <p>○ 本県教育の特徴や教職の魅力動画を発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現場教員へのインタビュー動画 ・ 専門教科の面白さ、やりがいなどを紹介 ・ 理数グランプリ、CMコンテストなどの福井の教育の特徴も紹介 <p style="text-align: right;">【教育庁】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・ 現場教員による教職のやりがいや魅力などの動画や手記をホームページに掲載</p> <p>・ 福井の特長的な取組みの紹介コラムをホームページに掲載</p> </div> <p>家庭教育支援の充実</p> <p>○ 県PTA連合会と連携し、効果的な家庭教育を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 親学びプログラム集の作成と活用 ・ 県内企業と連携し、企業に出向いて講座を実施 <p style="text-align: right;">【教育庁】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・ 親学びプログラム集「親はびトーク」を作成し、県ホームページに掲載</p> <p>・ 「親はびトーク」を活用するための研修会の実施 9/19（月）実施 18名参加</p> <p>・ 「親はびトーク」を用いた学習会 3回実施 11/17（木）、12/15（木）、1/27（金） 合計20名参加</p> <p>・ 企業に出向いての講座は新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p> </div> <p>安全・安心な学校づくり</p> <p>○ 時代に即した学習環境を整えるため、県立学校の長寿命化や機能向上を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大規模改修工事、空調設備の更新、バリアフリー化など <p style="text-align: right;">【教育庁】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・ 県立学校の大規模改修工事（工事5校、設計2校）を実施</p> <p>・ スロープ等設置工事（3校）、トイレ洋式化工事（5校）、空調設備設置工事（15校）、Wi-Fi環境整備（4校）、LED照明整備（11校）を実施</p> </div>	<p>・ 1月下旬に動画発信（R3:R4.1月公開）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p>R5.2月公開</p> </div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策1-5】 ○私立学校の振興</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">私立学校の特色ある教育を支援し、福井の将来を担う人材を育成する。</p>	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">私立高校や専門学校などの特色ある教育の充実</p> <p>○ 私立高校の魅力ある学校づくりや学業・スポーツ文化活動を支援 【総務部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・各高校から取組みに係る事業計画提出（7月） ・各学校の事務担当者や教務担当者等にヒアリングを行い、計画の進捗状況や実施内容を確認（12月） ・年度末に実施内容や成果を評価 </div> <p>○ 私立高校の職業系学科・コースの充実や県内企業への就職、県内大学・短大・専門学校への進学など地元定着を促進する取組みを支援 【総務部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・各高校から取組みに係る事業計画提出（7月） ・各学校の事務担当者や教務担当者等にヒアリングを行い、計画の進捗状況や実施内容を確認（12月） ・年度末に実施内容や成果を評価 </div> <p>○ 専門学校の魅力ある学校づくりや地元就職を促進する取組みを支援 【総務部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・各専門学校から取組みに係る事業計画提出（5月） ・各学校の事務担当者等にヒアリングを行い、計画の進捗状況や実施内容を確認 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・私立高校卒業生県内定着率 47%（R3：43.3%） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">42.4%（R4）</div>

政策1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成

指標	実行プラン記載の現状	実績		実績 (2021年度)	実績 (2022年度)	目標 (2024年度)	達成度
		2019年	(2020年度)				
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 (全国学力・学習状況調査) (高校生学習状況調査)	小学校88.4% 中学校74.2% 高校73.5% (2019)	同左	小学校 1% 中学校 1% 高校75.9% (小中学校は 2020調査中止)	小学校82.9% 中学校71.2% 高校78.1% (2021)	小学校83.2% 中学校70.3% 高校75.6% (2022)	小学校90.0% 中学校75.0% 高校75.0% (2024)	○
課題の解決に向け、自分で考え、自分から取り組む児童生徒の割合 (全国学力・学習状況調査)	小学校80.5% 中学校78.2% (2019)	同左	小学校 1% 中学校 1% (2020調査中止)	小学校81.3% 中学校81.5% (2021)	小学校79.7% 中学校82.3% (2022)	小学校85.0% 中学校80.0% (2024)	○
学校に行くのは楽しいと思う児童生徒の割合 (全国学力・学習状況調査)	小学校88.4% 中学校84.9% (2019)	同左	小学校 1% 中学校 1% (2020調査中止)	小学校87.5% 中学校84.3% (2021)	小学校88.7% 中学校87.3% (2022)	小学校90.0% 中学校85.0% (2024)	○
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童生徒の割合 (全国学力・学習状況調査)	小学校58.7% 中学校44.7% (2019)	同左	小学校 1% 中学校 1% (2020調査中止)	小学校55.8% 中学校47.1% (2021)	小学校54.9% 中学校46.3% (2022)	小学校60.0% 中学校45.0% (2024)	○
競技スポーツの全国大会での上位入賞数 (1～3位) (福井県調べ)	290件 (2018)	196件 (2019)	130件 (2020)	188件 (2021)	200件 (2022)	100件/年を維持 (2020～2024)	◎

(達成度の区分) ◎…想定を超えて進捗、○…概ね順調に進捗、△…対策強化が必要、※…特殊事情による、中止、延期等、—…判断時期未到来

令和5年度の対応

<p>【施策1-1】個性や主体性を育む探求的な学びの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 小中学校でICT教育推進モデル校に希望する指導者用・学習者用デジタル教科書を1教科導入し、タブレット端末活用を通して児童生徒の主体的な学びや個別最適な学びを実現するとともに、教員の授業づくりを支援 高校生および教員を対象としてスーパーサイエンスハイスクール校の成果普及と支援を行い、理系人材の育成を図る <p>【施策1-2】一人ひとりの多様性を認め合う教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 持続可能な中学生のスポーツ・文化芸術活動の機会を確保するため、段階的な休日の部活動の地域移行に向けてコーディネーターを配置するなどの市町の取組みを支援 学校・家庭・地域および関係機関と連携し、児童生徒へのきめ細かな対応を通して、不登校の未然防止・初期対応・自立支援を図るために支援員の配置などを行う <p>【施策1-3】ふるさとへの誇りと愛着を育む教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ふるさとへの理解と愛着を深め、継承発展や社会に貢献しようとする心を育むため、地域の魅力を伝える「ふるさと福井の魅力 プレゼンテーション大会」や「ふるさと福井CMコンテスト」を開催 県内外の産業教育を学ぶ高校生の学習成果の発表を目的に、令和5年10月に「第33回全国産業教育フェア福井大会」を開催 <p>【施策1-4】新たな時代を見据えた教育環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校現場における業務改善のため、外部人材の活用やDXの推進により教員の負担を軽減する <p>【施策1-5】私立学校の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> 福井の将来を担う人材育成のため、私立学校の特色ある教育への支援を実施し、特に地元定着に向けた取組みに対しての支援を強化 若者の地元定着に向け、魅力ある学校づくりや地元就職を促進する取組みを行う専門学校に対して支援を実施
--

政策2 ふくいの産業・社会を支える人づくり



目指す姿	主な施策	目標 (KPI)
<p>【施策2-1】 ○若者に魅力的な大学づくり</p> <p>ふくいアカデミックアライアンス (FAA) と連携し、若者のニーズや地域・社会の要請に応えた魅力ある学びの場の創出や、福井の特色を活かした新学部・学科の創設等により、県内外から学生を呼び込む。</p>	<p>新学部・学科の創設</p> <p>○ 県立大学において、嶺南地域の産業の担い手となる人材を育成するため、「持続可能な水産増養殖」を専門的に学ぶ「先端増養殖科学科」の開設 (R4.4) に向け、国との協議、施設整備等を実施 【総務部】</p> <p>・ R4.4月に新学科開設 ・ 内閣府交付金を活用し、かつみキャンパス新学科棟の整備を進行中</p> <p>世界的な学術研究拠点の創出</p> <p>○ 恐竜などの古生物学を中心に地質や古気候学なども取り入れた「恐竜学部（仮称）」 (R7.4) を県立大学に開設するため、施設整備等を実施 【総務部】</p> <p>・ 学部棟の基本設計を行うとともに、建設予定地の地質調査を実施 ・ 令和5年度末の文部科学省への認可申請に向け、教員の人選やカリキュラムの構築を進めた</p> <p>県立大学にシンクタンク機能を整備</p> <p>○ 持続可能な地域社会の形成を支援するため、自治体の政策立案・計画策定や産業界が抱える課題解決、地域資源の発掘など実践的調査・研究、提言を実施 【総務部】</p> <p>・ 地域経済社会の発展に寄与することを目的として、東京大学地域未来社会連携研究機構と連携協定を締結 (R5.7月)</p>	<p>・ 先端増養殖科学科の開設 (R4.4)</p> <p>小浜キャンパス講義棟完成 (R5.2月) かつみキャンパスの学科棟・飼育実験棟の建築工事に着手 (R4.6月)</p> <p>・ 県立大学での官民協働により年度中に実施する共同研究数 16件 (R3:8件)</p> <p>24件 (3月末)</p> <p>・ 県内大学の学部・学科・コースの見直し (累計) 6件 (R3:4件)</p> <p>6件 (3月末)</p> <p>・ 恐竜学部 (仮称) の開設 (R7.4月) に向け、9月に基本設計に着手</p> <p>学部棟の基本設計が完成 (R5.2月)</p> <p>・ 信州大学と連携し、共同研究を年度内に実施</p> <p>東京大学と連携し、フィールドワークを通じた学生間の交流研究事業を実施 (2回)</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>若者に魅力ある学びの場の創出</p> <p>○ 県内大学の個性や魅力を向上するため、各大学の新たな教育や地域貢献活動等を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな取組み例 <ul style="list-style-type: none"> ① 福井高専：ビジネスプランコンテストを開催し、優れたアイデアを提案した学生の起業を支援 ② 福井大学：ビックデータをビジネス利用できる人材育成のため、データサイエンス教育を開始 ③ 福井工大：地元企業（特に県内化学系企業）の大卒技術者を対象に、会社の実務に直結するリカレント講義・実習の開講 【総務部】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルスの影響を受けながらも、大学、短大、高専が個別に実施する計48事業を採択した ・ 個別事業について視察を行い、他大学へ展開する事業や未来協働プラットフォームふくいで連携すべき事業を検討 </div> <p>○ 進学先決定の参考になるよう高校生を対象に県内大学で学べる内容や魅力を発信 【総務部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内大学短大の情報をまとめた共同パンフレットを4月に高校へ配布（12,000冊） ・ 県内大学短大のオープンキャンパス情報をまとめたチラシを6月に高校へ配布（データ） ・ 2023年度用の大学共同パンフレットを作成 </div> <p>留学生の受入れ・定着の促進</p> <p>○ 外国人留学生と県内企業との合同企業説明会や企業向けの採用支援セミナーを開催して、卒業後の県内定着を促進 【産業労働部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内企業と外国人留学生との合同企業説明会を開催し、企業と留学生がマッチングする機会を創出（県内参加企業12社、参加留学生数49人） ・ 北陸3県合同企業説明会を共催（参加企業26社、参加留学生数53人） ・ 県内企業訪問・交流ツアーを共催（県内参加企業5社、参加留学生数29人） ・ ジェトロ福井との連携を強化し、企業向け採用支援の周知・普及 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各大学の魅力向上事業実施件数 60件（R3:47件） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: right;"> <p>縮小</p> <p>48件（3月末）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内大学等卒業者の県内就職内定率 61%（R3:57.2%） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>R5.5月公表予定</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生向けに構築した特別公開講座等を10月頃に開催 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>6～11月に51講座開催</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 留学生の県内就職者数 30人（R3:27人） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: right;"> <p>縮小</p> <p>18人（3月末）</p> </div>

目指す姿	主な施策	目標（K P I）
<p>【施策2-2】 ○産学官連携による地域人材の輩出</p> <p>学生が企業・自治体等の現場における課題を学ぶ実践的な教育や企業実習、共同研究を推進し、福井を支える産業人材を育成する。</p>	<p>県立大学等の連携強化</p> <p>○ 県内高校から県内大学等への進学率を高めるため、県内高校生を対象とした進学強化策を展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 各大学やFスクエアにおいて予備校講師による県内大学向け入試対策講座を開催 F A A参加の大学・短大が合同で県内高校へ出向き、「模擬授業」や「学部・学科の紹介」などを行う出張講義を開催 <p style="text-align: right;">【総務部】</p> <p>・ 県内大学短大において入試対策講座や高校への出張講義を展開 ・ 県内進学を希望する高校生に対して大学生がアドバイスなどを行う進路相談会を11月と2月に開催</p> <p>○ 未来協働プラットフォームふくいによる大学と産業界等との連携機会の創出</p> <p style="text-align: right;">【総務部】</p> <p>・ 大学の副学長クラスと産業界等の専務理事からなる調整会議や、プラットフォームに設置した6つの実行部門会議を開催した</p> <p>現場の学びを通じた実践力の強化</p> <p>○ 地元の課題に適切に対応し得る人材を輩出するため、地元企業・市町・県と協働したP B L（※）・共同研究を実施 ※Project-Based Learning（地域や企業の課題解決に取り組む授業・ゼミ・課外活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> R 4 実施計画:約100件（内訳） 県内企業等:約65件 市町 :約25件 県・学校 :約10件 <p style="text-align: right;">【総務部】</p> <p>・ 各大学と企業・市町・県が協働したP B Lを101件実施（県内企業等65件、自治体36件）</p> <p>大学連携センター「Fスクエア」の充実</p> <p>○ Fスクエアを発展的に継続し、県内大学における教養科目の共同化を促進するため、大学連携講義を拡大して実施</p> <p style="text-align: right;">【総務部】</p> <p>・ 新型コロナウイルスの影響を受けながらも、大学連携講義を43科目開講（前期21科目、後期22科目）</p>	<p>・ 県内高校卒業生の県内大学進学率 38.6%（R2年度卒34.3%）</p> <p>R5. 8月公表予定</p> <p>・ 予備校講師による入試対策講座を9月頃に開催</p> <p>7～10月に6大学において開催</p> <p>・ 県内高校への合同出張講義を7～12月に開催</p> <p>7～12月に県内16高校において開催</p> <p>・ 実行部門会議の開催回数 12回（2回×6部門）（R3:-）</p> <p>12回開催（部門会議11回、調整会議1回）</p> <p>・ P B L、学生が参加する共同研究実施件数 100件（R3:101件）</p> <p>101件（3月末）</p> <p>・ Fスクエアにおける大学連携講義 50科目（R3:32科目）</p> <p style="text-align: right;">縮小</p> <p>43科目（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（K P I）
	<p>地域産業を担う人材の育成</p> <p>○ 若者等をターゲットに、産地企業での技能習得に加え、魅力ある商品づくり、デザインや経営的な視点等を総合的に学ぶ「職人塾」と、未経験者でも気軽に自分に合った工芸を体験できる「職人体験学校」を開催 【産業労働部】</p> <p>・ 伝統工芸職人塾（4月～3月）を開催し、修了生12名中11名が就業 ・ 初心者が越前焼や越前和紙など各産地の製造工程を一通り体験等できる職人体験学校を開催（4月～2月）し、修了生5名中1名が次年度の職人塾へ入塾予定</p> <p>共同研究の充実</p> <p>○ ふくいオープンイノベーション推進機構のネットワークを強化し、大学、企業等との共同研究や新分野展開を支援するほか、プロフェッショナル人材総合戦略拠点の体制を強化し、県内企業の副業・兼業人材の受入れを促進 【産業労働部】</p> <p>・ プロ人材活用セミナーや大手企業との人材情報交換会を開催するとともに、新たに社会保険労務士をアドバイザーに採用するなど、人材マッチング支援体制を強化 ・ 国等の公募資金を活用した共同研究に新たに4件が採択。計25プロジェクトを展開し、新技術・新製品の開発を推進</p>	<p>・ 職人塾修了生の産地での就業率 90%（R3:100%）</p> <p>92%（3月末）</p> <p>・ プロフェッショナル人材の成約件数 90件（R3:80件）</p> <p>74件（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策2-3】 ○多様なライフコースを支える学びの充実</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">多様な生き方・働き方が可能となるよう、社会人を対象としたリカレント教育を充実し、生涯活躍し続けるイノベータティブな人材を育成する。</p>	<p>リカレント教育の充実</p> <p>○ 大学連携センター等において、地元企業の人材ニーズに応じた社会人も受講可能なプログラムを県内大学が連携して実施 【総務部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">・ 地元企業のニーズに応じたDX実践講座やマネジメント講座、カーボンニュートラル講座を開催しました。</p> <p>○ 従業員の学位や資格取得によるキャリアアップを推進する県内中小企業等に奨励金を支給 【産業労働部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">・ 規程を持たない企業への周知や社会保険労務士等への働きかけを通して、従業員のキャリアアップを支援する規程を新たに整備する企業を募集・認定 ・ 社員ファースト企業宣言において、企業が今後行う取組内容として、キャリアアップに関する項目を追加</p> <p>○ 中小企業産業大学校内の「リカレント教育総合支援センター」において、個人・企業の学び直しを支援 【産業労働部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">・ リカレント教育総合支援センターにおける相談、支援数54件 ・ 学びに関する情報提供や、学習スペースの無料提供を実施</p> <p>生涯学習の推進</p> <p>○ 県や市町の文化施設が個々に所有しているデジタルデータを文書館HP「デジタルアーカイブ福井」に集約し、情報を発信 ※再掲（施策1-3） 【教育庁】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">・ あわら市郷土歴史資料館寄託「大連三郎左衛門家文書」46件を公開（11/17） ・ 小浜市文化交流課所蔵「酒井家文庫」1,129件を公開（11/17）</p> <p>○ 県外の文学館との連携により資料を借用した展示を実施し、様々な文学・作家にまつわる資料を間近に見る機会を提供 ※再掲（施策1-3） 【教育庁】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">・ 文京区立森鷗外記念館の資料「鷗外が愛でた草花」をパネル展示（4/16～6/21） ・ 青森県近代文学館の資料「寺山修司没後30年」をパネル展示（1/27～3/21）</p>	<p>・ 大学連携センター等における社会人受講者数 150人（R3:81人）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">224人（3月末）</p> <p>・ キャリアアップに係る支援制度を新たに設けた企業数（累計） 120社（R3：97社）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">128社（3月末）</p> <p>・ リカレント教育総合支援センターにおける相談・支援数 40件（R3：65件）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">67件（3月末）</p> <p>・ 文書館に集約した資料群数 2件（R3:5件）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">2件（3月末）</p> <p>・ 企画展における県外文学館からの資料提供の割合（件数） 100%（2件/2企画）（R3:100%）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">100%（2件/2企画）</p>

政策2 ふくいの産業・社会を支える人づくり

指標	実行プラン 記載の現状	2019年	実績 (2020年度)	実績 (2021年度)	実績 (2022年度)	目標 (2024年度)	達成度
県内高校卒業生の県内大学進学率 (福井県調べ)	35.8% (2018年度卒)	35.6% (2019年度卒)	36.2% (2020年度卒)	34.3% (2021年度卒)	— (8月公表予定)	40% (2024年度卒)	—
県内大学等卒業者の県内就職内定率 (福井県調べ)	60.6% (2018年度卒)	52.3% (2019年度卒)	56.7% (2020年度卒)	57.2% (2021年度卒)	— (5月公表予定)	65% (2024年度卒)	—
PBL・学生が参加する共同研究数 (福井県調べ)	40件 (2018)	—	75件 (2020)	101件 (2021)	101件 (2022)	100件 (2024)	○
県内大学の学部・学科・コースの見直し (福井県調べ)	— (2018)	—	3件 (2020)	4件 (2020～2021計)	6件 (2020～2022計)	7件 (2020～2024計)	○
Fスクエア等における社会人受講者数 (福井県調べ)	— (2018)	—	—	81人 (2021)	224人 (2022)	150人 (2024)	◎
キャリアアップに係る支援制度を新たに設けた 企業数 (福井県調べ)	— (2018)	—	44社 (2020)	97社 (2020～2021計)	128社 (2020～2022計)	150社 (2020～2024計)	◎

(達成度の区分) ◎…想定を超えて進捗、○…概ね順調に進捗、△…対策強化が必要、※…特殊事情による、中止、延期等、—…判断時期未到来

令和5年度の対応

<p>【施策2-1】若者に魅力的な大学づくり ・令和7年4月に全国初となる「恐竜学部（仮称）」を県立大学に開設するため、新キャンパスの整備を実施</p> <p>【施策2-2】産学官連携による地域人材の輩出 ・地域の課題に適切に対応し得る人材を輩出するため、県内大学と地元企業等が協働で実施するPBL・共同研究を継続して支援 ・金融機関と連携し、地域の中小企業の人材ニーズをきめ細やかに聞き取り、プロフェッショナル人材の活用を促す。</p> <p>【施策2-3】多様なライフコースを支える学びの充実 ・多様なライフコースを支える学びの充実に向け、大学連携センター等において、地元企業のニーズに応じた社会人も受講可能なリカレント/リスキリングプログラム等を県内大学が連携して実施 ・ふるさと文学館において、県外の文学館との連携により資料を借用した展示を実施し、様々な文学・作家にまつわる資料を間近に見る機会を提供</p>
--

政策3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現



目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策3-1】 〇男女が互いに尊重しあう「男女共生社会」の実現</p> <p>家事や育児などで女性の負担が大きい本県の社会構造を転換することにより、男女が性別に関わりなく多様な活躍ができる真の「男女共生社会」を実現する。</p>	<p>「共家事（トモカジ）」の促進</p> <p>〇 県内量販店等と協働し「共家事」促進キャンペーン（11月）や新婚世帯を対象とした普及講座、男性向け料理教室を実施し、夫婦・家族と一緒に家事を楽しむ「共家事」を促進 【地域戦略部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新婚世帯向け「共家事」講座 8回開催（9/11、10/15、10/22、11/12、11/26、12/11、2/19、3/5） ・共家事Weeksキャンペーンの実施（11/13～11/27） ・PR動画をテレビCMで放映（11/13～11/27） ・SNSを活用した「プラス3宣言投稿キャンペーン」開催（11/13～12/31） <p>働く女性の活躍支援</p> <p>〇 県内企業の女性の管理職登用を促進するため、「女性活躍推進企業」の登録を拡大するとともに、「女性活躍推進コンシェルジュ」による企業の女性管理職登用を支援 【地域戦略部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性活躍推進コンシェルジュによる訪問コンサルティングを実施（8/1～年度末） ・県内企業経営者向け講演会・勉強会の開催（12/13） ・「ふくい女性活躍推進企業優良活動表彰」の実施（3/2、企業部門4社、個人・グループ部門12件受賞） <p>女性のキャリアアップ支援</p> <p>〇 お茶の水女子大学と協働による「女性のためのキャリアアップ研修事業」を実施し、県内企業の女性管理職・リーダー人材を育成 【地域戦略部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性リーダー育成研修「ハッピーキャリア”縁”カレッジ」の実施 ・H24～R3（10年間）実施した「未来きらりプログラム」を拡充発展し開校（6/27） ・県内外で活躍するロールモデルとの交流会開催（9/9、9/16、10/12、10/13） ・タレント・放送作家 野々村由紀子氏による講演会開催（11/21） ・受講生およびその上司による発表会の開催（1/12、1/13、1/17） 	<p>共家事促進店舗数 180店舗（R3:156店舗）</p> <p>183店舗（3月末）</p> <p>女性活躍推進企業登録数 330社（R3.:308社）</p> <p>339社（3月末）</p> <p>企業における女性管理職比率 18.0%（R3:20.0%）</p> <p>R5.5月公表予定</p> <p>研修受講者総数 300人（R3:-） 管理職育成コース 20人（R3:-） リーダーコース 40人（R3:42人）</p> <p>研修受講者総数 301人（3月末） うち 管理職育成コース 21人 リーダーコース 47人</p>

目指す姿	主な施策	目標（K P I）
	<p data-bbox="831 118 1308 145">女性が福井で多様な夢を実現できる環境づくり</p> <p data-bbox="831 156 1682 213">○ 趣味や特技を活かした地域おこしや社会貢献、起業を目指すなど、女性の夢へのチャレンジを資金面で応援 【地域戦略部】</p> <div data-bbox="846 233 1688 296" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「県民ワクワクチャレンジプランコンテスト（女性部門）」により6件を採択（7/10） ・ 不採択プランのうち2件に対し実現のためのマネタイズ等の実行支援を実施 </div>	<p data-bbox="1727 156 2107 209">・ チャレンジプランに対する支援件数 8件（R3:6件）</p> <div data-bbox="1742 233 2123 296" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p data-bbox="1765 252 1877 279">8件（3月末）</p> </div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策3-2】 ○若者・シニアのチャレンジ応援</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">若者の自由な発想や活動の多様性を広げることで、若者が自らの個性を活かすと同時に、シニアの経験やスキルを活かす活躍の場を拡大し、全ての世代がいきいきと暮らし、地域に貢献する社会を構築する。</p>	<p>若者の交流拡大</p> <p>○ 県内各地で若者同士の「ツナガリづくりイベント」を開催するとともに、若者を対象にした「若者チャレンジ相談室」を開設 【地域戦略部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ふくい世代わかものサミット」のような若者が福井の未来を考えるイベントから「ボードゲーム交流会」のような若者が楽しく集まれる交流会まで、多種多様な若者が集まり、交流できる企画を県内各地で開催（12回） ・ 若者のチャレンジの相談に応える「若者チャレンジ応援相談室」を県内6箇所で開催 </div> <p>若者の主体的な活動を応援</p> <p>○ 「チャレンジ応援ディレクター」によるワクワクドキドキを高める若者等の発掘・発信や「若者のチャレンジプラン」を資金面や県内地域事業者による伴走型支援により応援 【地域戦略部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 約110名の若者と面会し、関係者等とのマッチングやSNS、ラジオ等で情報発信 ・ 「県民ワクワクチャレンジプランコンテスト（若者部門）」により4件を採択 ・ プラン実現のためマネタイズ等の実行支援を実施（6件・38回） </div> <p>○ 新たに活動を始めたい若者たちを応援する「若者ミライ会議」や、「ふくい若者ステーション」での交流をきっかけに地域活性化のチャレンジを応援 【地域戦略部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 若者ミライ会議では、地域で活躍するプレーヤーが直接アドバイスをを行い、活動のスタートを後押し（9/11、1/7、3/24 57人参加） ・ 「ふくい若者ステーション」運営者が集まり、若者の新たな活動を創出するきっかけをつくる交流会を開催（11/12 59人参加） ・ 寺井CODによる若者のチャレンジ応援35名 </div> <p>○ 大学や企業と連携した若者への教育プログラムコースを提供し、地域のリーダーとなる人材を育成 【地域戦略部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 慶應義塾大学SFC研究所と連携し「エキセントリック・カレッジふくい」を開学 ・ 大学教授や県外の自治体の市長などの講師による講演、フィールドワークを実施 </div> <p>ふるさと納税を活用したチャレンジ応援</p> <p>○ ふるさと納税を活用したクラウドファンディングにより、県内事業者等の課題解決を支援 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月から事業者を募集し、20事業者がクラウドファンディングを実施 ・ 17事業者が目標金額を達成し、起業や新商品開発、イベント開催などを実現 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベント参加者 120人（R3:-） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">208人（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活性化に取り組む若者グループ数 140グループ（R3:137グループ） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">145グループ（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活性化に新たにチャレンジする若者の活動応援 150人（R3:122人） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">151人（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育プログラムコースの受講者 10名（R3:-） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">25名（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ クラウドファンディング実施件数 30件（R3:16件） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">20件（3月末）</div>

目指す姿	主な施策	目標（K P I）
	<p>社会参加を通じた「生涯活躍」の推進</p> <p>○ 次世代型の地域包括ケアシステムの推進を図るため、東京大学が開発した就労マッチングアプリ「GBER」活用するモデル地区を増やしていくことで、第4期ジェロントロジー共同研究テーマである高齢者の地域における就労等支援を推進</p> <p style="text-align: right;">【健康福祉部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県民せいきょうをモデル団体としてジョブマッチングアプリGBERを導入 ・ 福井、坂井、丹南地区の3地区で延べ29件マッチング成立（R5.3月末） </div> <p>シニア人材活躍支援センターによる就業促進</p> <p>○ シニア人材活躍支援センターにおいて、企業訪問や求人開拓等の機能を強化し、専門的な技術や経験を有するシニア人材と企業とのマッチングを促進</p> <p style="text-align: right;">【産業労働部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規に求職者113名、132事業所が登録 ・ シニアの就労意欲を喚起するセミナーおよび、県内企業の担当者と直接話ができる就職面接会をそれぞれ12回開催 </div>	<p>・ 就労マッチングアプリ「GBER」を活用したモデル事業の実施 延べ3地区（R3:1地区）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 延べ3地区（3月末） </div> <p>・ シニア人材活躍支援センターを通じた高齢者の就職人数 80人（R3:103人）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 81人（3月末） </div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策3-3】 ○社会貢献活動の参加拡大</p> <p>すべての世代の県民、企業、団体等が、もっと気軽に楽しみながら社会貢献活動ができるよう、参加しやすい環境づくりと活動のモチベーション向上を推進する。</p>	<p>社会貢献活動に参加しやすい環境づくり</p> <p>○「県民総参加」の社会を目指し、社会貢献活動の支援に関する施策の方向性と具体策を示す「県民社会貢献活動推進計画」の改訂を実施 【地域戦略部】</p> <p>・若者、シニア、NPO団体等、広く県民と意見交換会を実施（計4回） ・学識経験者、社会貢献活動団体の代表者などによる県民社会貢献活動推進協議会を開催し、計画の基本的方向性や具体的施策について議論（計4回）</p> <p>社会貢献活動の活性化や有償性導入による参加者層の拡大</p> <p>○地域課題の解決に資するため、NPO法人や地域団体が新たな地域貢献活動にチャレンジする取組みを資金面で応援 【地域戦略部】</p> <p>・「県民ワクワクチャレンジプランコンテスト(NPO部門)」により5件採択 ・不採択プランのうち1件に対し実現のためのマネタイズ等の実行支援を実施</p> <p>災害ボランティア活動の推進</p> <p>○災害ボランティアセンターの設置・運営に携わる地域の各種団体が、災害時に必要な知識の習得のために実施する研修の開催を支援 【地域戦略部】</p> <p>・8月大雨災害における南越前町、勝山市の災害ボランティアセンターの運営支援 ・8月大雨災害における災害ボランティアセンター運営の振り返りの研修や、運営に関して当事者から学ぶ研修に講師を派遣</p>	<p>・年度内に計画を改訂</p> <p>計画を改訂（3月）</p> <p>・NPO等への支援件数 6件（R3:7件）</p> <p>6件（3月末）</p> <p>・災害ボランティア講師派遣 5件（R3:4件）</p> <p>3件（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策3-4】</p> <p>○多様な人材が活躍する「ダイバーシティ地域経営」の推進</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>県民の障がい者への理解を深めるとともに、障がい者が更に生き生きと働き、生活できる地域にする。</p> </div>	<p>県民の共生社会への意識の醸成</p> <p>○子ども達に関心を持てるような動画等を活用し、県民が日常生活の中で共生社会について考える機会を増やすとともに、共生社会のシンボルとしてのカーポート設置を広げ、シンボルマークをカーポート等に掲示するなど、多様な価値観を認め合う豊かな社会の実現を図る。</p> <p style="text-align: right;">【健康福祉部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・手話動画ダンスコンテストの開催やハートフルパーキング周知啓発動画の配信、共生社会かたるたの作成を実施 ・カーポート設置に向け、民間企業や社会福祉施設等に営業活動を実施 </div> <p>障がい者の就労支援</p> <p>○付加価値やデザイン性の高い新商品の開発や、WEBサイトの事業者情報等を拡充し就労支援事業所に関する情報発信を行い、障がい者就労に対する県民の理解や関心を深め、一般企業等からの受注増につなげる。</p> <p style="text-align: right;">【健康福祉部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・県産米粉ようかん、焼鯖削りぶし、ガトーショコラ4種の新商品を開発し、マルシェで披露 ・WEBサイトの情報発信に加え、インスタグラムも開設したほか、フクション！フェスを開催し2000人を集客した結果、受注増につながった </div> <p>○農業分野での障がい者の就労を支援し、障がい者の職域拡大を図るとともに、農業の担い手不足の解消につなげるため、福祉サイドと農業サイドが協同し、農業法人に対するセルフ振興センターの営業活動を強化し、農福連携の促進を図る。</p> <p style="text-align: right;">【健康福祉部・農林水産部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・6次化商品を開発したほか、農福マルシェを4回開催 ・既存顧客等の紹介による営業活動の実施 </div> <p>○障がい者雇用推進員の増員や、インターンシップ、企業見学バスツアー、短期の就業体験の実施により、障がい者の就労を支援</p> <p style="text-align: right;">【産業労働部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・短期就業を61人が体験し、うち22人が一般企業へ就労（1月末） ・就労後、雇用促進支援員の企業訪問等による定着支援を実施 </div> <p>○特別支援学校や行政、農業法人等による農業体験実習等を拡充 （知的6校年3回以上）※再掲（施策1-2）</p> <p style="text-align: right;">【教育庁】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・知的6校（福井南・嶺北・奥越・南越・嶺南東・嶺南西）が農業体験実習および講師来校による技術指導を実施 6校分の計（体験実習21回・参加生徒のべ147人） （技術指導10回・生徒のべ68人） </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・カーポートパーキング整備箇所 民間20箇所（R3:12箇所） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;">7箇所（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品開発 3商品（R3:3商品） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;">3商品（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・WEBサイトを通じたマッチング件数 10件（R3:-） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;">43件（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者就労施設と農業法人等の マッチング 年間8件（R3:4件） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;">5件（3月末）</div> <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto 10px auto;">縮小</div> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者雇用率 2.54%（R3:2.53%） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;">2.48%（R4）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・農業体験活動参加生徒数 200人（R3:178人） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;">147人（3月末）</div> <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto 10px auto;">縮小</div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>○ 本県独自の技能検定として、清掃技能検定に加え、喫茶サービスの検定を実施 ※再掲（施策1-2） 【教育庁】</p> <p>・第7回特別支援学校技能検定（清掃・喫茶サービス）認定大会（12/17） ・清掃部門に28名、喫茶サービス部門に14名が参加</p> <p>障がい者スポーツ・アートの推進</p> <p>○ 障がい者の芸術文化活動に対する理解と関心を深めてもらうため、展覧会における優秀な作品を表彰し、県有施設に展示するとともに、障がい者芸術文化支援センターを活用し、障がい者の芸術作品の普及啓発や、芸術に関する相談支援・人材育成等を実施 【健康福祉部】</p> <p>・障がい者アートを県有施設に展示 ・障がい者芸術文化活動支援センターによる人材育成研修の実施</p> <p>○ 障がいのある人とない人が共にスポーツを楽しむ機会を創出するため、障スポ☆フェスタやeスポーツを通じた交流のほか、障がい者トップアスリートによる小学校への出前講座を開催 【交流文化部】</p> <p>・9月に運動会やスポーツ体験教室、トップアスリートによる講習会等を行った障スポ☆フェスタを開催 ・出前講座を72回開催（3月末）</p> <p>○ 障がい者スポーツ選手を育成するため、強化練習会や県外指導者による特別練習会、健常者（小・中・高校生、社会人チーム）との合同練習会や練習試合の開催、障がい者スポーツチームと特別支援学校等が連携した競技体験会を開催 【交流文化部】</p> <p>・強化練習会を710回、健常者との合同練習会を38回、県外指導者による特別練習会を9回、障がい者スポーツチームによる競技体験会を2回開催（3月末）</p> <p>外国人が安心して快適に暮らし、働くことができる環境の構築</p> <p>○ 「ふくい多文化共生ネットワーク」を通じて、行政・教育機関、民間団体等が連携し、情報共有や課題解決を行うとともに、「多文化共生推進応援金」により、多文化共生の地域づくりを行う団体の活動を応援 【産業労働部】</p> <p>・SNSを通じた情報発信や多文化共生推進ネットワークミーティングの開催などにより、ネットワーク加盟者が拡大（R5.2末 80団体/個人） ・応援金事業に新たに3団体を採択し、計7団体に対して多文化共生の先進的な取組みを応援</p>	<p>目標（KPI）</p> <p>・喫茶サービス技能検定の導入に向けた検討会議・研修会開催 年3回（R3:2回）</p> <p>2回（3月末）</p> <p>・作品の展示 8箇所（R3:8箇所）</p> <p>8箇所（3月末）</p> <p>・人材育成研修 2回実施（R3:1回）</p> <p>3回実施（3月末）</p> <p>・障スポ☆フェスタ参加者数 600人（R3:400人）</p> <p>642人（3月末）</p> <p>・出前講座の受講者数 2,800人（R3:2,455人）</p> <p>3,525人（3月末）</p> <p>・トップアスリート認定選手による全国大会等での上位入賞（1～3位） 回数 20回（R3:29回）</p> <p>50回（3月末）</p> <p>・応援団体数（累計） 7団体（R3:4団体）</p> <p>7団体（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>○ 外国人コミュニティリーダーによる地域住民との橋渡しや生活に必要な情報の提供、日本語ボランティア講座の開催など外国人が暮らしやすい環境づくりを推進 【産業労働部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・14ヶ国・地域 66名のリーダーを委嘱。県内の外国人コミュニティへの生活・災害情報の拡散や、災害時の自助・共助等の担い手として活躍 ・県内4ヶ所（福井市、敦賀市、奥越・坂井市、越前市）で日本語ボランティア講座を開始し、63名が参加 </div> <p>○ 足羽高校、武生工商高校、武生高校定時制に日常会話を補助するコミュニケーションサポーターを配置、日本語能力検定の検定料補助 ※再掲（施策1-2） 【教育庁】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティサポーターを足羽高校（3人）、武生工商高校（2人）、武生高校定時制（1人）に配置 ・日本語能力試験検定料補助（5人） </div> <p>○ ウクライナ避難民の高校生が通う高校に、学習支援および日常会話の補助をするコミュニケーションサポーターを配置 ※再掲（施策1-2） 追加 【教育庁】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ウクライナ避難民の高校生が通う足羽高校にコミュニケーションサポーターを配置（1人） </div> <p>○ 教員採用選考試験において、英語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、中国語等の検定資格者に加点を実施 【教育庁】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・第1次選考および第2次選考において、それぞれ記載通りに実施 </div> <p>外国人材の活躍促進</p> <p>○ 外国人労働者の受入れを拡大するため、「FUKUI外国人材雇用サポートデスク」によるマッチングを促進するとともに、外国人労働者の就業・生活環境整備等の支援を実施 【産業労働部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・FUKUI外国人材雇用サポートデスクに配置した雇用推進員が95社の相談に対応 ・外国人労働者の就業、生活環境の改善や地域交流イベントを実施する企業を支援 </div>	<p>・外国人コミュニティリーダーの設置人数（累計） 70人（R3:52人）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">66名（3月末）</div> <p>・コミュニケーションサポーター 6人配置（R3:4人配置）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">6人配置（3月末）</div> <p>・コミュニケーションサポーター 1人配置</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">1人配置（3月末）</div> <p>追加</p> <p>・外国人労働者の就業環境等を改善した企業数 40社（R3:29社）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">64社（3月末）</div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>人権意識の啓発</p> <p>○ 県民の人権意識を高めるため、人権啓発フェスティバルなどの各種イベントや研修会を開催 【健康福祉部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県民を対象とした人権啓発フェスティバルをオンラインで開催（11/10～12/10） ・ 企業、団体、教育、行政の担当者を対象とした人権啓発セミナーを開催（2/10） </div> <p>人と動物が幸せに暮らす社会の実現</p> <p>○ 園児や児童等に動物の命を大切にする心を育むとともに、ペットを適正に飼養する優良な飼い主を育成 【健康福祉部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童クラブや地域の施設において、動物愛護教室等を実施 ・ 動物愛護センターの休日開所日に、ふれあいや飼育体験等を実施（コロナの影響を鑑み、予約制で人数制限し実施） </div> <p>○ 第3次福井県動物愛護管理推進計画の策定に向けて動物愛護に関する実態を把握するとともに、関係団体との意見交換を実施 【健康福祉部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 動物愛護に関する実態把握のためのアンケートを実施（有効回答1,701件） ・ 県獣医師会や動物愛護団体、民間事業者、施設等と意見交換を実施 </div>	<p>・ 人権フェスティバル（オンライン）の参加者数 1,500人（R3:1,428人）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">1,041人（R4）</div> <p>・ 人権啓発セミナー（オンライン）の参加者数 200人（R3:214人）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">110人（R4） ※オンラインでなく生活学習館で開催</div> <p>・ 動物愛護教室の参加者数 400人（R3:353人）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">540人（3月末）</div> <p>・ ふれあい・飼養体験等の参加者数 600人（R3:568人）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">584人（3月末）</div> <p>・ 意見交換の開催数 10回（R3:-）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">9回（3月末）</div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策3-5】</p> <p>○認知症の人やがん患者が自分らしい生活を送れる社会の実現</p> <p>県民一人一人が認知症に関する正しい知識を持ち、理解を深めることで、認知症の人が安心して自分らしく暮らせる。</p>	<p>認知症フレンドリー社会の実現</p> <p>○ 企業向けに策定した認知症の方への対応ガイドライン「認知症フレンドリープログラム」を企業でのサポーター養成講座等で周知し、プログラム利用のアンケートにより活用の効果等を把握し内容の検討を行うとともに、認知症本人が地域で活躍できるよう企業との連携により社会参加の場を創出</p> <p style="text-align: right;">【健康福祉部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 金融機関や店舗職員向けの認知症サポーター養成講座において、フレンドリープログラムを活用 ・ 県内観光施設、ホテル等にアンケートを実施し、認知症の人や認知症の疑いがある人への対応方法や施設におけるバリアフリー・案内表示の工夫等を記載した観光業編を策定（R5.3月末） <p>認知症サポーターの養成促進</p> <p>○ 認知症サポーターや地域の企業等の協力により、認知症の人や家族を地域で支える支援チーム（チームオレンジ）の先行事例立上げを支援するとともに、その取組みを県内市町に周知し、全県展開を促進</p> <p style="text-align: right;">【健康福祉部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ チームオレンジ市町担当者会議（8/3） ・ オレンジチューター研修の開催（10/24）1名養成（累計4名） ・ チームオレンジコーディネーター研修の開催（12/20）44名養成（累計146名） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度中に観光業編の認知症フレンドリープログラムを策定（R3:小売業編、金融機関編、公共交通機関編を策定） <p>観光業編を策定（R4）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな社会参加の場の創出 3か所（R3:-） <p>3か所（3月末）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ チームオレンジの設置市町数 3市町（R3:0市町） <p>3市町（3月末）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業・職域型の認知症サポーター養成数 27,132人（R3:24,035人） <p>R5.6月公表予定</p>

政策3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現

指標	実行プラン記載の現状	実績					達成度
		2019年	(2020年度)	(2021年度)	(2022年度)	(2024年度)	
有業者における男女の家事・育児時間の差 (社会生活基本調査)	2時間24分 (2016)	—	—	2時間10分 (2021)	数値確定済	2時間 (2021)	○
企業における女性管理職の割合 (福井県勤労者就業環境基礎調査)	15.4% (2018)	15.3% (2019)	17.0% (2020)	20.0% (2021)	— (5月公表予定)	20.0% (2024)	—
地域活性化に取り組む若者グループ数 (福井県調べ)	102グループ (2018)	112グループ (2019)	120グループ (2020)	137グループ (2021)	145グループ (2022)	160グループ (2024)	○
働く意欲のある高齢者の有業率 (就業構造基本調査)	全国3位 (27.8%) (2017)	— (2023データ公表)	— (2023データ公表)	— (2023データ公表)	— (2023データ公表)	全国1位 (2022)	—
ボランティア行動者率 (社会生活基本調査)	32.2% (2016)	—	—	21.7% (2021)	数値確定済	34.0% (2021)	※
障がい者雇用率 (障害者雇用状況)	2.35% (2019)	2.35% (2019)	2.44% (2020)	2.53% (2021)	2.48% (2022)	2.50% (2024)	○
カーポートパーキングの整備箇所数 (福井県調べ)	—	—	7箇所 (2020)	19箇所 (2020～2021計)	26箇所 (2020～2022計)	100箇所 (2020～2024計)	△
外国人コミュニティリーダーの設置人数 (福井県調べ)	—	—	32人 (2020)	52人 (2021)	66人 (2022)	60人 (2024)	○
企業・職域型の認知症サポーター養成数 (福井県調べ)	—	19,842人 (2019)	20,264人 (2020)	24,035人 (2021)	— (6月公表予定)	34,000人 (2024)	—

(達成度の区分) ◎…想定を超えて進捗、○…概ね順調に進捗、△…対策強化が必要、※…特殊事情による、中止、延期等、—…判断時期未到来

令和5年度の対応

<p>【施策3-1】男女が互いに尊重しあう「男女共生社会」の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふくい女性活躍推進企業」登録を進め、企業の女性活躍の取組みを促進。また、女性リーダー育成研修「ハッピーキャリア” 縁” カレッジ」を引き続き実施し女性のなりたい自分や叶えたいキャリアを応援 <p>【施策3-2】若者・シニアのチャレンジ応援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井の活性化につながる若者の新たなチャレンジを応援する「県民ワクワクチャレンジプランコンテスト」を引き続き開催。また、審査会出場プランのうち希望者に対し、県内の地域事業家等による伴走型支援を実施することにより、着実なプランの実現を支援 ・ふるさと納税を活用したクラウドファンディング支援により、引き続き、個人、企業、地域団体など幅広い方々の課題解決や夢の実現を応援 ・シニア人材活躍支援センターにおいて、マッチングの支援を進めるとともに、人材確保支援センターとの連携を強化し、さらなる求人・求職者開拓を実施 <p>【施策3-3】社会貢献活動の参加拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会貢献活動を身近に感じる多様な情報発信を行うとともに、若者がやってみたいと感じる社会貢献活動の企画作りを支援 <p>【施策3-4】多様な人材が活躍する「ダイバーシティ地域経営」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シニア人材活躍支援センターにおいて、マッチングの支援を進めるとともに、人材確保支援センターとの連携を強化し、さらなる求人・求職者開拓を実施 ・福井しあわせパラスポーツデーや障がい者トップアスリートによる小学校等への出前講座の開催、eスポーツの普及促進により、障がいのある人とない人が共にスポーツを楽しむ機会を創出 ・強化練習会や県外指導者による特別練習会、健常者との合同練習会や練習試合の開催、障がい者スポーツチームと特別支援学校等が連携した競技体験会を開催し、障がい者スポーツ選手を育成 <p>【施策3-5】認知症の人やがん患者が自分らしい生活を送れる社会の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症になっても安心して自分らしく暮らせる「認知症フレンドリー社会」の実現のため、認知症の正しい知識を伝える認知症サポーター養成講座を開催 ・企業向けに認知症の対応方法等を記載した「認知症フレンドリープログラム（金融機関編・公共交通機関編・小売業編・観光業編）」の活用 ・世界アルツハイマー月間（9月）にオレンジハート運動を実施し、県民向けに認知症啓発を実施

政策4 希望が叶う「結婚・出産・子育て」応援



目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策4-1】 ○若者の出会いと結婚応援</p> <p>8割近い県民が結婚を望んでいることから、日本一の結婚応援政策を次のステージに引き上げ、特に若い世代が求める「自然な出会い」の環境づくりを進める。</p>	<p>オールふくい体制による新たな出会い応援</p> <p>○ 県と市町からなるふくい結婚応援協議会において、広域的な婚活イベントや民間事業者のノウハウを活用したセミナーや相談会を開催するなどオール福井での結婚支援を実施 【地域戦略部】</p> <p>・ 福井市と連携し、県全域の独身者を対象とした婚活スクールを開催（5月～1月） ・ 結婚相談員や地域の縁結びさん等の結婚支援者を対象に研修会を開催（8月） ・ 民間事業者と連携しスキルアップセミナーや個別相談会を開催（8月～3月）</p> <p>若い世代のニーズに合った婚活サポートの充実</p> <p>○ 「ふくい婚活サポートセンター」において、AIを活用したマッチングシステムの運用やSNS等による婚活支援情報の発信など若い世代のニーズにあった婚活サービスを提供 【地域戦略部】</p> <p>・ 民間事業者と連携しスキルアップセミナーや個別相談会を開催（8月～3月） ・ システム登録者と民間結婚相談所登録者を引き合わせる専用サイトを運用（1月～）</p> <p>自然な出会いの環境づくり</p> <p>○ ふくい結婚応援企業に配置する職場の縁結びさんや企業間交流婚シェルジュによる交流イベントの開催などにより、若手社員の自然な出会いの機会を創出 【地域戦略部】</p> <p>・ 企業間交流婚シェルジュが企画するセミナー（2回）や婚活イベント（1回）を開催 ・ 職場の縁結びさん向け研修会・交流会を開催（各1回）</p> <p>人の手によるあたたかな出会いのサポート</p> <p>○ 「地域の縁結びさん」や結婚相談員によるきめ細やかな結婚相談を行い、地域のつながりを生かした縁結びを推進 【地域戦略部】</p> <p>・ 地域の縁結びさんが対面を中心とした相談対応やお見合い同行支援を実施 ・ 県内23箇所において結婚相談員による結婚相談を実施</p> <p>結婚観・家族観の醸成</p> <p>○ 大学におけるキャリア教育の一環として、結婚・子育てに関するライフデザインセミナーを開催することにより、若者の結婚・子育てに対する意識を醸成 【地域戦略部】</p> <p>・ 県内2大学において、結婚・子育てについて考えるライフデザインセミナーを開催</p>	<p>・ 県・市町の結婚応援事業をきっかけとする婚姻数 170件（R3:110件）</p> <p>縮小</p> <p>135件（3月末）</p> <p>・ マッチングシステム登録者数 1,300人（R3:1,181人）</p> <p>1,359人（3月末）</p> <p>・ 若手社員の交流人員 400人（R3:143人）</p> <p>481人（3月末）</p> <p>・ 地域の縁結びさん 290人（R3:274人）</p> <p>266人（3月末）</p> <p>・ ライフデザイン講座受講者数 160人（R3:126人）</p> <p>161人（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策4-2】 ○安心して出産・子育てできる環境の整備</p> <p>様々な子育て世帯へのきめ細やかな支援を市町とともに 行い、日本一の子育て環境をレベルアップ。子どもを望む 家庭が望むように出産・子育てできる環境をつくる。</p>	<p>仕事と妊娠・出産の両立支援の推進</p> <p>○ 共働き・核家族での子育てや不妊治療と仕事を両立できる柔軟な働き方について、 企業の取り組みを促進するため、経営者の意識啓発、推進企業への奨励金支給を 実施 【健康福祉部】</p> <p>・ 定時退社・育児休業取得促進キャンペーン「かえるプロジェクト」を実施。 テレビCM放映、先進的に取り組む県内企業8社をテレビ番組で紹介 ・ 経営者等を対象に男性育休に関する講演会等を2回開催（11/14、3/9） ・ ライフプランサポート企業促進奨励金支給件数 5件</p> <p>不妊検査・治療への支援</p> <p>○ 子どもを希望する方を総合的に支援するため、令和4年4月からの特定不妊治療費助 成制度拡充（助成限度額引上げ）や不妊検査・一般不妊治療費助成制度拡充（助成 対象者拡大）について県民に広く周知 【健康福祉部】</p> <p>・ 特定不妊治療の自己負担額が基本的に6万円を超えないように助成制度を拡充（10月） ・ 助成制度に関するチラシを作成し、市町や医療機関等を通じて対象者へ周知</p> <p>妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援体制の強化</p> <p>○ 高度化する母子保健のニーズに対応するため、母子保健に精通した保健師OGを スーパーバイザーとして健康福祉センターに配置し、市町の困難事例への対応支援 や幼児健康診査等の技術支援を行うことにより、市町の母子保健事業への支援を強 化 【健康福祉部】</p> <p>・ 母子保健スーパーバイザーを健康福祉センターへ配置 ・ 市町ヒアリングや健診現場視察、各種統計データ分析により、市町の母子保健事業の 現状と課題を把握。具体的な支援策について市町との検討会を開催</p> <p>2人目からの経済的支援</p> <p>○ 第2子の保育料無償化の所得制限緩和（年収640万円世帯まで拡大（R4.9～））、 第2子以降の一時預かり利用料等の無償化を全県的に展開 【健康福祉部】</p> <p>・ 令和4年9月から、全市町において、年収640万円世帯までの第2子の保育料を無償化</p> <p>3人目からの支援の強化</p> <p>○ 子どもが3人以上の世帯に対し、子どもが2人以下の世帯よりも手厚い優待サービ スを提供する「ふく育プレミアム・パスポート」を発行 【健康福祉部】</p> <p>・ 10月下旬に県内関係団体等（福井県まちづくりセンター、福井県美容業生活衛生 同業組合等）に登録を訪問依頼</p>	<p>・ 父親の育児休業取得率 17.0%（R3:12.9%）</p> <p>R5.5月公表予定</p> <p>・ 保育料や一時預かりサービス無償化 実施市町数 17市町（R3:17市町）</p> <p>17市町（3月末）</p> <p>・ 「ふく育」応援団（優待・割引型） 登録店舗数 1,800箇所（R3:1,533箇所）</p> <p>1,830箇所（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（K P I）
	<p data-bbox="831 121 1016 148">在宅育児への応援</p> <p data-bbox="822 156 1686 209">○ 特に子育ての負担が大きい乳幼児を在宅で育児している家庭への手当を支給 【健康福祉部】</p> <div data-bbox="846 212 1686 276" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p data-bbox="853 220 1507 264">・市町と協働し、0～2歳の子どもを在宅で育児する世帯に手当を支給 (年収360万未満世帯が対象)</p> </div> <p data-bbox="831 320 1263 347">子ども医療費助成による経済的負担の軽減</p> <p data-bbox="822 355 1686 408">○ 県の子ども医療費助成を中学3年生まで対象とし、市町による高校生までの助成拡充など地域のニーズに応じた独自の子育て支援の充実を促進 【健康福祉部】</p> <div data-bbox="846 443 1686 507" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p data-bbox="853 451 1404 496">・市町と協働し、中学3年生までの子ども医療費助成を実施 ・16市町で高校生までを対象に助成を拡充</p> </div> <p data-bbox="822 547 1686 624">○ 5つのがん診療連携拠点病院の診療科やがん相談室および県が開催する生殖医療に関する講演会を通じて、生殖機能温存治療や治療費の助成制度を周知し、出産を希望する患者の精神的、経済的負担を軽減 【健康福祉部】</p> <div data-bbox="846 632 1686 695" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p data-bbox="853 639 1361 687">・助成制度のパンフレットを関係機関に配布 ・生殖機能温存治療などを解説した動画をWEBで公開</p> </div>	<p data-bbox="1727 156 1944 201">・実施市町数 17市町（R3:17市町）</p> <div data-bbox="1742 212 2123 276" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p data-bbox="1765 228 1910 252">17市町（3月末）</p> </div> <p data-bbox="1727 355 2101 427">・中学生までの医療費助成を実施する市町数 17市町（R3:17市町）</p> <div data-bbox="1742 443 2123 507" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p data-bbox="1765 459 1910 483">17市町（3月末）</p> </div> <p data-bbox="1727 547 1888 592">・助成件数 10件（R3:5件）</p> <div data-bbox="1742 632 2123 695" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p data-bbox="1765 647 1888 671">3件（3月末）</p> </div>

目指す姿	主な施策	目標（K P I）
<p>【施策4-3】</p> <p>○待機児童ゼロの実現</p> <p>必要な人が必要な時に保育所等を利用できる受け皿整備を進め、待機児童ゼロを実現・継続</p>	<p>子育て・保育の受け皿整備</p> <p>○一定期間、保育現場から離れていた保育士のトライアル雇用を促進し、保育の受け皿を支える保育士を確保</p> <p style="text-align: right;">【健康福祉部・教育庁】</p> <p>・短時間勤務等からの働き方を希望する保育士等を新たに雇用するために必要な経費を補助</p> <p>保育人材の確保</p> <p>○保育人材を安定的に確保するため、保育人材センターにおいて潜在保育士の再就職マッチングを支援するとともに、現役保育士等への相談支援を実施</p> <p style="text-align: right;">【健康福祉部】</p> <p>・保育人材センターによる保育士等就職マッチングの実施 ・保育士就職面談会の開催（10月）</p> <p>保育の仕事の魅力向上</p> <p>○保育士を安定的に確保するため、高校生等を対象とした保育体験や魅力を伝えるセミナー等の実施</p> <p style="text-align: right;">【健康福祉部】</p> <p>・高校生対象に保育の魅力や資格の取得方法についての出前説明会を実施（3回）</p>	<p>・保育士等トライアル就労応援事業により雇用された保育士数 50人（R3:-）</p> <p>20人（3月末）</p> <p>・保育所等の待機児童 0人（R3:0人）</p> <p>0人（R4）</p> <p>・保育人材センターによる保育士就職者数 30人（R3:39人）</p> <p>51人（3月末）</p> <p>・職場体験参加者数 30人（R3:-）</p> <p>55人（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策4-4】 ○社会全体で子育てを応援する仕組みづくり</p> <p>男性の育児・家事参加をさらに進めるとともに、地域の高齢者や学生等の子育て参加など、子どもの健全な成長を社会全体で支える仕組みをつくる。</p>	<p>育児での男性活躍社会</p> <p>○ 子どもとお出かけしやすい環境を整えるため、男性用トイレ等へのおむつ交換台等の設置費用を支援し、「ベビサポトイレ」の整備を促進 【健康福祉部】</p> <p>・「ふく育応援団」参加店舗に対し、補助制度の積極的な活用を依頼（8月～） ・市町担当課長と個別打合せを実施し、補助制度の積極的な活用を依頼（10月） ・トイレ設備業者と連携し、補助制度の広報を実施（12月、2月）</p> <p>企業による子育て世帯の支援</p> <p>○ 従業員が仕事と子育てを両立しやすいよう、企業トップによる職場環境づくりを進めるため、ふく育応援団「従業員応援企業」への登録を促進 【健康福祉部】</p> <p>・経済団体等（福井商工会議所、県経営者協会、ふくい産業支援センター等）を通じて積極的な登録を依頼（4月～）</p> <p>子育てにやさしい地域づくり</p> <p>○ 社会全体で子育てを応援する機運を醸成するため、「ふく育」応援団参加店による子育て世帯への優待サービスを提供するとともに、子育て応援サイト「ふく育」により子どもや子育てに関する情報を一元的に発信 【健康福祉部】</p> <p>・10月下旬に県内関係団体等（福井県まちづくりセンター、福井県美容業生活衛生同業組合等）に登録を訪問依頼</p> <p>困難な環境にある子どもへの支援</p> <p>○ 社会的養育が必要な児童がより家庭的な環境の中で養育されるよう、里親のリクルートや研修、相談対応等を包括的に行うフォスタリング機関により、受け皿となる里親を増やし、質の高い里親養育を推進 【健康福祉部】</p> <p>・里親のリクルートや、里親を対象とした研修の実施に加え、里親家庭への訪問や休日・夜間の相談対応等を実施（4月～）</p>	<p>・設置箇所数 70箇所（R3:-）</p> <p>24箇所（3月末）</p> <p>・ふく育応援団「従業員応援企業」登録数 50箇所（R3:15箇所）</p> <p>100箇所（3月末）</p> <p>・「ふく育」応援団（優待・割引型）登録店舗数 1,800箇所（R3:1,533箇所）</p> <p>1,830箇所（3月末）</p> <p>・里親登録数 150人（R3:141人）</p> <p>161人（3月末）</p> <p>・里親委託率 21.0%（R3:20.6%）</p> <p>21.7%（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（K P I）
	<p>○ 一時保護・児童相談所の人員体制の強化を図るとともに、令和5年度中の完成に向けて環境改善のための一時保護所等再整備に着手 【健康福祉部】</p> <div data-bbox="846 181 1684 245" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・一時保護所の工事着工（R4.9） ・児童相談所の工事着工（R5.1） </div> <p>ひとり親家庭等が自立して暮らすことができる環境づくり</p> <p>○ ひとり親家庭等への支援を充実するため、実態調査や市町および関係者の意見を踏まえ、ひとり親家庭自立支援計画を改定 【健康福祉部】</p> <div data-bbox="846 533 1684 619" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・実態調査（R4.7～8）、関係機関からの意見聴取（R4.6～9）、ひとり親家庭自立支援計画策定委員会の開催（3回）、パブリックコメント（R5.2）の結果を踏まえ年度内に策定 </div> <p>児童の健全育成</p> <p>○ 県子ども家族館の展示内容等の改善に向け、リニューアル工事を実施 【健康福祉部】</p> <div data-bbox="846 762 1684 826" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度リニューアル工事を実施し、3月完成・4月リニューアルオープン予定 </div> <p>○ 子どもたちや親子が天候にかかわらず地域で安心して過ごせるよう、補助要件を緩和したうえで全天候型の遊び場の整備を推進 【健康福祉部】</p> <div data-bbox="846 916 1684 979" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・市町担当課長会議（4月、10月）において、補助制度を活用した整備の推進を依頼 ・福井市／福井中央公園内への全天候型遊び場に向け実施設計を実施 </div>	<p>・ 令和4年9月までに一時保護所着工</p> <div data-bbox="1738 181 2123 245" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>令和4年9月に一時保護所着工</p> </div> <p>・ 令和5年1月までに児童相談所着工</p> <div data-bbox="1738 325 2123 389" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>令和5年1月に児童相談所着工</p> </div> <p>・ 年度内に計画改定</p> <div data-bbox="1738 526 2123 590" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>年度内に計画改定</p> </div> <p>・ 年度内に工事完了</p> <div data-bbox="1738 762 2123 826" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>3月27日工事完了</p> </div> <p>・ 整備した市町数 3市町（R3:2市町）</p> <div data-bbox="1738 916 2123 979" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>0市町（3月末）</p> </div>

政策4 希望が叶う「結婚・出産・子育て」応援

指標	実行プラン記載の現状	2019年	実績 (2020年度)	実績 (2021年度)	実績 (2022年度)	目標 (2024年度)	達成度
合計特殊出生率 (人口動態統計調査)	1.67 (2018)	1.56 (2019)	1.56 (2020)	1.57 (2021)	— (6月公表予定)	1.80 (2030)	—
県・市町の結婚応援事業をきっかけとする婚姻数 (福井県調査)	163件 (2018)	169件 (2019)	113件 (2020)	110件 (2021)	135件 (2022)	200件 (2024)	※
保育所等の待機児童 (保育所等関連状況取りまとめ)	10人 (2019.4.1現在)	10人 (2019.4.1現在)	待機児童0人 (2020.4.1現在)	待機児童0人 (2021.4.1現在)	待機児童0人 (2022.4.1現在)	待機児童ゼロ (2020～)	○
保育人材センターによる保育士就職者数 (福井県調べ)	—	9人 (2019)	38人 (2020)	77人 (2020～2021計)	128人 (2020～2022計)	150人 (2020～2024計)	◎
地域の子育てを応援する高齢者やシニア世代の養成数 (福井県調べ)	—	—	—	560人 (2021)	880人 (2021～2022計)	2,000人 (2020～2024計)	※
ひとり親家庭等の児童向け学習支援箇所数 (福井県調べ)	39箇所 (2018)	48箇所 (2019)	55箇所 (2020)	55箇所 (2021)	55箇所 (2022)	60箇所 (2024)	○

(達成度の区分) ◎…想定を超えて進捗、○…概ね順調に進捗、△…対策強化が必要、※…特殊事情による、中止、延期等、—…判断時期未到来

令和5年度の対応

【施策4-1】若者の出会いと結婚応援

・ふくい結婚応援協議会（ふくい婚活サポートセンター）において結婚を希望する独身者に対しさらなるサポートや出会いの機会を提供していくとともに、結婚の機運醸成につながるキャンペーン・広報等を実施

【施策4-2】仕事と妊娠・出産の両立支援の推進

・子育てや不妊治療と仕事を両立できる柔軟な働き方を推進するため、男性の育児休業、長期間の短時間勤務、不妊治療休暇に取り組む企業への奨励金を支給
 ・子育て応援サイト「ふく育」などにより、ふく育応援団「従業員応援企業」登録制度について普及促進

【施策4-3】待機児童ゼロの実現

・保育人材センターにおける保育士の就職マッチングを実施するとともに、潜在保育士のトライアル就労を支援し、保育人材を安定的に確保
 ・保育園等が設置基準以上に保育士を配置する場合の財政的支援を行い、質の高い保育を提供するとともに、低年齢児の途中入所などに対応

【施策4-4】社会全体で子育てを応援する仕組みづくり

・「ふく育応援団」参加店の協力により子育て世帯への優待サービス提供等を行うとともに、県子育て応援サイト「ふく育」により様々な子育て情報を一元的に発信
 ・「ふく育応援団」と連携し、「ふく育応援推進月間」を定めイベントを開催
 ・父親が子どもとお出かけしやすい環境を整備するため、男性用トイレにチャイルドシート等を整備する費用を助成
 ・親子が天候に関わらず地域で安心して過ごせる遊び場の整備費用を助成

政策5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ



目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策5-1】 〇夢のある次世代の農業を推進</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">若者や地域を支える人材が、ICT等を活用したスマート技術の活用により、稼げる農林水産業を実現する。</p>	<p>水田経営の大規模法人の育成</p> <p>〇 実演会等を開催し、自動操舵システムやドローン等によるスマート農業を推進【農林水産部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・GPS田植機、直進アシストトラクタ等の実演会を開催（17回） ・全国農業担い手サミットinふくい大会でスマート農機の展示（10月） ・GPS固定基地局利用（42→107件） ・スマート農機を導入するモデル経営体を育成（9経営体増 22→31経営体） </div> <p>大規模水田園芸の推進</p> <p>〇 ネギ・ブロッコリー等機械化体系モデルを推進し、大規模水田園芸を拡大【農林水産部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ネギの掘取機やタマネギの移植機等を整備（ネギ99→115ha、タマネギ26→30ha、エタマメ31→38ha、カボチャ8→21haなど） </div> <p>大規模施設園芸の全県展開</p> <p>〇 実証データに基づき、温度、湿度、CO2を自動で適正管理するスマート園芸（キュウリの夏越し栽培、イチゴの11～5月出荷など）を全県展開【農林水産部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・敦賀市でキュウリの大規模施設を整備 ・南越前町でイチゴの大規模施設を整備中（R5繰越） </div> <p>〇 1億円産地を目指すサトイモ等の園芸タウンを整備し、県、市町、JA等の連携による指導、販売、機械投資等の効率的なサポートにより、園芸産出額を拡大【農林水産部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・県内10カ所で協議会（部会）を設立 ・奥越ではサトイモの掘取機や株割機等を整備 ・坂井市の砂丘地ではメロン等のリースハウスを19棟整備（R7までに60棟） ・美浜町ではリースハウスの継続して整備（R5までに15棟） </div> <p>儲かる畜産経営の展開</p> <p>〇 畜産物生産の拡大に向け、作業の効率化および省力化を図るスマート畜産を推進【農林水産部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・畜産経営基盤強化事業でスマート機器の導入支援（3戸） ・令和5年度にスマート畜産の研修会開催を決定（農林水産支援センターと連携） </div>	<p>・スマート農業導入面積 5,000ha（R3:4,180ha）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">5,060ha（3月末）</div> <p>・水田を活用した園芸面積 540ha（R3:480ha）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">540ha（3月末）</div> <p>・大規模施設園芸数（累計） 22か所（R3:20か所）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">22か所（3月末）</div> <p>・園芸タウンの整備数 2か所（R3:2か所）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">2か所（累計4か所）（3月末）</div> <p>・スマート畜産導入農家数 30戸（R3:22戸）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">31戸（3月末）</div>

目指す姿	主な施策	目標（K P I）
	<p>植物工場の拡大</p> <p>○ 電気料金が安価で、関西・中京圏まで近距離という嶺南地域を中心に、最先端技術を導入した植物工場を誘致</p> <p style="text-align: right;">【農林水産部】</p> <p>・新たに、株式会社椿本チェーンが美浜町に県内最大規模の植物工場を建設することが決定</p> <p>次世代の農業を担う人材育成</p> <p><農業></p> <p>○ 農業法人等でのインターンシップ型研修「OTAMESHI（お試し）就農」により人材を確保し、「越前若狭田んぼ道場」において、農業機械の実践的な操作を学習し、水田経営の新規就業者を育成</p> <p style="text-align: right;">【農林水産部】</p> <p>・「OTAMESHI（お試し）就農」を通じて、研修生1人が就業。 ・「越前若狭田んぼ道場」において、3期生31人が研修や機械操作実習を終えて（4～10月）、農業法人集落営農組織等の主力として活躍。12月に入校した23人は水稻の基礎栽培等を研修中。</p> <p>○ ふくい園芸カレッジにおいて、実践研修により即戦力となる園芸の新規就農者を育成するとともに、新たに果樹研修圃場を整備し、果樹の新規就農者を育成</p> <p style="text-align: right;">【農林水産部】</p> <p>・令和3年度入校生は、2年目の現地での里親研修を終え、26人が就農。 ・令和4年度入校生30人は、園芸カレッジで研修中。</p> <p>森林経営・管理を担う人材育成</p> <p><林業></p> <p>○ ふくい林業カレッジにおいて、伐倒練習機を用いた実技研修の導入等により、林業事業体で活躍できる新規林業就業者を育成</p> <p style="text-align: right;">【農林水産部】</p> <p>林業PR動画のテレビCM、SNS配信による人材の確保</p> <p>・13名（長期8名、短期5名）が入校し、林業に対する知識・技術の習得や林業機械の操作に必要な資格を取得、県内の林業事業体へ就業 ・林業PR動画のテレビCMや林業就業相談会の開催等により、林業事業体への新規就業者26名を確保</p> <p>○ 自伐林家や特用林産物生産者が生活できる環境づくりや自立に向けた活動に支援し山村で活動する山の担い手拡大と地域活性化を推進</p> <p style="text-align: right;">【農林水産部】</p> <p>・県内の自伐型林業団体（2団体）が技術向上に必要な自伐林家向けの研修を開催 ・自伐型林業を目指して県外から1名が移住し、活動を開始</p>	<p>・ 立地決定企業数 1企業（R3:2企業）</p> <p>1企業（3月末）</p> <p>・ 新規就農者数（農業） 120人（R3:121人）</p> <p>121人（3月末）</p> <p>・ 新規園芸農家 60人（R3:61人）</p> <p>67人（3月末）</p> <p>・ 新規林業就業者数（林業） 20人（R3:25人）</p> <p>26人（3月末）</p> <p>・ 県内の自伐林家数（自伐型林業） 28人（R3:23人）</p> <p>28人（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p data-bbox="831 118 1122 145">ふくいの海を担う人材育成</p> <p data-bbox="831 150 909 172"><水産></p> <p data-bbox="831 181 1682 256">○ 定着支援資金により扶養者等を支援、ふくい水産カレッジの漁船漁業コース等や新規養殖業者に対する設備投資への補助により独立就業を支援し、新規就業者を確保 【農林水産部】</p> <div data-bbox="846 293 1688 400" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定着支援資金により新規就業者23人を支援し自立を促進 ・ ふくい水産カレッジには12名が漁船漁業コースに入校。新規漁業就業者数のうち7人が独立就業、養殖就業者1名に設備投資を支援 </div> <p data-bbox="831 443 1301 470">生産・販売の拡大を目指した試験研究の推進</p> <p data-bbox="831 480 1682 555">○ 安定良食味な水稲早生品種や病気に強いミディトマトの開発やキュウリ栽培の自動環境制御技術の現地導入の実証、ならびに有機無農薬栽培の省力化に資する水田除草機の普及を推進 【農林水産部】</p> <div data-bbox="846 571 1688 635" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安定良食味な水稲早生品種の系統選抜（R3：10系統 → R4：5系統） ・ 病気に強いミディトマト品種の系統選抜（R3：15系統 → R4：3系統） </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規漁業就業者数（水産） 21人（R3:21人） 内新規養殖就業者 1人 新規養殖参入拡大企業 1社 <div data-bbox="1742 293 2123 357" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>25人（3月末） 内新規養殖就業者 2人</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 品種登録出願（R6予定）に向けた品目の選定 2品目（R3:1品目） <div data-bbox="1742 571 2123 635" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>2品目（3月末）</p> </div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策5-2】</p> <p>○「ふくい食」のトップブランド化</p> <p>米やそば、地酒、トマト、かに、地魚など、美味しい「ふくい食」の認知度を高めることにより、販売額を拡大する。</p>	<p>いちほまれを全国トップのブランドに確立</p> <p>○ CM放映エリアの拡大や全国量販店での「いちほまれの日」販売促進企画の展開により、いちほまれの販売量を拡大 【農林水産部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 量販店での販促キャンペーンに対し支援を実施（4月～） 首都圏、中京圏、関西圏等で、鈴木兄妹を起用した新テレビCMを放映（10、11月） 電車ラッピング広告（JR山手線）や、駅構内（東京、名古屋、新大阪）のサイネージ広告を実施 全国のイオン約360店舗と連携し、店頭でのマネキン推奨販売やECサイトキャンペーンを実施（9月～2月） <p>「ふくいそば」のブランド確立</p> <p>○ 新幹線開業に向けたそばをメインとする全国規模のイベントの開催準備やふくいそばのブランディングなどにより、本県のそばの魅力を発信 【農林水産部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「おろしそば」だけではない本県のそばの魅力を発信するキャッチコピーやロゴマークを検討するワークショップを開催し、令和5年度6月に発表予定。 6年秋の、全国に福井のそばを発信する「日本全国そばグルメ博（仮称）」の実施に向け、5年秋にイベントの開催を決定した。 <p>地魚の戦略的販売</p> <p>○ ふくいフィッシュソリューション（魚種ごとの課題解決）により販売を促進 若狭ぐじ：京都でのイベント出展、ふくい甘えび：首都圏へ新幹線輸送 若狭まはた：情報サイトでのプロモーション 【農林水産部】 越前がれい：取扱量の拡大</p> <p>若狭ぐじ：京都のみやこめっせで開催された京料理展示大会に出展（12/13、14） ふくい甘えび：北陸新幹線で首都圏へ7回輸送（5～6月、9～10月） 若狭まはた：あわら温泉6旅館で提供、まるごとフェスタ（11/12、13）や軽井沢での福井フェア（3/11、12）など県内外でPRを実施 越前がれい：首都圏の新規店舗へサンプル提供（11月）、ふくい鮮いちばで越前がれいウイークの開催（1/21～28）</p> <p>ふくいオリジナル地酒の商品化</p> <p>○ 酒米生産および酒醸造の品質向上と併せ、県内一般消費者向けの試飲会や都市圏の飲食店等での試飲機会の創出により販売量を拡大 【農林水産部】</p> <ul style="list-style-type: none"> お歳暮の時期に合わせ、県内一般消費者向けの試飲提供（11/26、27） 都市圏で全国の酒を多く取り扱う酒販店への試飲酒提供、アンケートを実施（3月） 東京アンテナショップのリニューアルオープンに合わせて試飲酒を提供（2/24～26） 	<p>・ いちほまれの販売量 7,000t（R3:6,000t）</p> <p>7,000t</p> <p>・ ブランディング検討会の開催 7回（R3:-）</p> <p>7回（3月末）</p> <p>・ 新規取扱店舗数 30店舗（R3:22店舗）</p> <p>48店舗（3月末）</p> <p>・ R4年販売量（R3年醸造量） 4合瓶換算で9万本（R3:6万本）</p> <p>4合瓶換算で9万本（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>ふくいの畜産ブランドの確立</p> <p>○ 若狭牛と福地鶏の給餌技術の実証と子牛・ヒナの導入支援により、飼養頭数を拡大 【農林水産部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・畜産経営基盤強化事業で肉牛農家の規模拡大を支援（4戸） ・若狭牛を増頭する農家に導入経費192千円/頭を支援（40頭） ・畜試から福地鶏ヒナ5,180羽を供給 </div> <p>○ 価格が高騰している配合飼料の購入経費を支援し、畜産農家の負担を軽減 【追加】農林水産部</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・畜産農家61戸※に対し、7,000円/t（第1、2四半期）、10,000円/t（第3、4四半期）を緊急支援 ※少頭羽数で配合飼料価格安定制度に加入していない農家を除く </div> <p>美味しい「ふくいの食」の認知度向上で販売拡大</p> <p>○ 首都圏のスーパーマーケットでの福井フェア開催店舗を拡大（3系列→5系列）し、新たに商談を進めるとともに、全国飲食チェーン店とのタイアップや首都圏飲食店フェアにより、県産農林水産物や加工品の販売を拡大 （越のルビー、里いも、らっきょう、とみつ金時、福井梅ほか） 【農林水産部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・全国のくら寿司511店舗において、ふくいサーモンを販売（5/10～22） ・食品スーパー「三徳」にて北陸・信州フェア（5/14～15）、クイーンズ伊勢丹にて福井・京都うまいもん市（9/29～10/2）、イオン（北関東）にて北陸フェア（11/23～27）、イオン（南関東）にて福井フェア（2/23～27）を開催 ・また、銀座を中心とする首都圏の飲食店76店舗において、県産食材を使用したメニューを提供する「福井美食フェア」を開催（10/14～11/30） </div> <p>○ 越前がにやいちほまれに次ぐ本県が誇る代表食材を創出するため、新たに制作した動画を活用し、首都圏でのプロモーションを強化 （そば、若狭ぐじ、越前がれい、甘えび、さかほまれ地酒） 【農林水産部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・福井美食フェアの参加シェフ向けに県産食材セミナーを開催（10/5） ・福井美食フェアのオープニング周知を兼ね、メディア向け試食会を開催（10/14） ・恵比寿ガーデンプレイスでのマルシェにキッチンカーで出店し、代表食材メニューを提供（10/23、11/13、11/27） ・フェアの中核店舗5店舗のシェフによる福井産地ツアーを実施（2/20、21） ・マイクロインフルエンサーを活用し、首都圏でのイベント情報の拡散 </div>	<p>・若狭牛・福地鶏の飼養頭数 5,200頭（R3:5,000頭）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">R5.5月集計予定</div> <p>・農林水産物の首都圏フェア販売額 25百万円（R3:21百万円）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">46百万円（3月末）</div> <p>・代表食材5品目の産出額 21億円（R3:17.2億円）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">R5.5月集計予定</div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>○ 肥料や燃油、農業資材等の価格高騰分を緊急支援し、経営が圧迫されている農家の経営継続を支援 追加【農林水産部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水稲、麦、大豆、そば等の土地利用型作物農家に対し、2,000円/10aを緊急支援（10,488件） ・ 園芸品目の販売農家に対し、11,000円/10aを緊急支援（1,745件） ・ 施設園芸セーフティネット構築事業の生産者積立金の1/2相当を緊急支援（36件） ・ 園芸用ハウスのビニル張替えに150円/㎡を緊急支援（127件） </div> <p>○ 輸入小麦の価格が高水準・不安定となる中、国産麦への切り替えを推進するため、営農技術の導入や生産性向上に必要な機械・施設整備の導入を支援 追加【農林水産部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 先進的な営農技術の導入に対し、取組内容によって2,000～5,000円/10aを支援（9件） ・ 小麦の生産拡大に対し、10,000円/10aを支援（1件） ・ 生産性向上に必要な機械・施設整備の導入に対し1/2相当を支援（11件） </div> <p>○ 嶺南地域の農産物等の販路拡大や知名度向上を図るため、県内事業者が行う県外へのアンテナショップや飲食店等の開設を支援 【嶺南振興局】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症や異常気象による影響を受け、事業実施を中止 </div> <p>「ふくい食」の輸出拡大</p> <p>○ 営業代行やオンライン商談会などにより、県内事業者の海外販路開拓の機会を確保するとともに、米について、新品種米の実証栽培の拡大、初輸出を行うとともに、香港・台湾での営業と併せたレセプションや即売・商談会の開催を進め、アジアへの販路を拡大 【農林水産部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 香港・台湾にて、百貨店等での福井フェアや業者向けの試食商談会を開催（10～2月） ・ 多収・良食味の新品種米「シャインパール」の国際商標等を取得。12月には名称発表と初出荷を行い、J A福井県とシンガポールでのトップセールスを実施（2月） ・ シンガポール、タイを対象に営業代行を設置（6～3月） ・ マカオ、ベトナムのバイヤーとのオンライン商談会を開催（9/14、15） </div> <p>○ 輸出先のニーズ、規制等に対応した生産販売計画の作成や加工施設の整備を支援 【農林水産部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 輸出向け産地づくりのための市場調査や商品改良を支援（5事業者） ・ 輸出に必要なHACCP等認証に対応した施設・設備の整備を支援（2事業者） </div>	<p>・ 支援件数 12件（R3:-）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">12件（3月末）</div> <p>追加</p> <p>・ 新規県外アンテナショップ設置箇所数 1箇所（R3:0箇所） 中止</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">0箇所</div> <p>・ アジアへの農林水産物・食品輸出額 18億円（R3:16億円）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">R5.5月集計予定</div> <p>・ 支援件数 6件（R3:5件）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">7件（3月末）</div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策5-3】 ○農山漁村の魅力創出・交流人口の拡大</p> <p>直売所などを中心に、交流活動を拡大し、女性や高齢者を含めみんなが活躍することにより、稼げる農山漁村を実現する。</p>	<p>農山漁村を満喫する「農遊地域」づくりで交流人口を倍増</p> <p>○「農遊コンシェルジュ」の育成や「農遊スタンプラリー」の実施により、大型直売所を中心とした農村回遊を促進し、農山漁村の交流人口を拡大 【農林水産部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 農遊コンシェルジュの育成：地区ごとに研修会を開催し、64名を認定（4月～） 農遊スタンプラリーの実施：直売所や観光地など111か所で実施し、2,644名が参加 <p>○里山里海湖ビジネス研修の実施により、教育旅行受入地域の体制強化、農家民宿や農家レストラン、体験農園を開業・運営する人材を育成 【農林水産部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題解決コース 15名の事業者が経営上の課題に応じた専門講師からのアドバイスを受講 農家民宿コース、農家レストランコース 9～10月に各5回講座で開催（農家民宿：5名、農家レストラン：10名） 里山資源活用サロンコース 11月～2月に10回講座で開催（188名） <p>「知る」、「つくる」、「買う」による食育・地産地消の推進</p> <p>○農産物直売所間の相互輸送販売や、直売所・スーパー等でのキャンペーンの実施等により、地場産食材の購入を促進 【農林水産部】</p> <ul style="list-style-type: none"> J A 福井県を中心に県内9か所の主要直売所間で相互輸送販売を実施（通年） 福井産食べて当てようキャンペーンの実施（9/1～11/30、県産食材5品購入で計500名に特産品進呈、応募4,539件） <p>○「ふくいの食育リーダー」による食育・料理教室等を開催し、参加者に食を支える農林水産業への理解と地産地消を呼びかけ 【農林水産部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公民館等において、「ふくい 	<p>・農山漁村の交流人口数 160万人（R3：113万人）</p> <p>R5. 8月集計予定</p> <p>・研修受講者数 180人（R3：196人）</p> <p>218人（3月末）</p> <p>・直売所販売額（売上3千万円以上の店舗） 43億円（R3：45億円）</p> <p>R5. 5月集計予定</p> <p>・既存産地の新たなチャレンジ活動（累計） 15事業（R3：-）</p> <p>29事業（3月末）</p>
	<p>小規模農家等の生産意欲の向上とチャレンジ活動を応援</p> <p>○既存産地を下支えしている小さな農家や女性グループ、集落営農組織の新たなチャレンジに対して「ちょい足し」支援 【農林水産部】</p> <ul style="list-style-type: none"> スイートコーンの規模拡大や完熟ウメの販売拡大などを支援（個人：25経営体、組織：4経営体） 	

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>農業で魅力のある田園風景を維持</p> <p>○ 県内各地域の農村ならではの風景を収集、県のホームページやSNS等で県民にPRし、農村の保全活動を活性化 【農林水産部】</p> <p>・ 農村の暮らしや文化など人の営みを感じられる風景の写真を募集し（ふくいの農ある風景フォトコンテスト）、入賞作品の巡回展を実施</p> <p>鳥獣害に負けない体制づくりの強化</p> <p>○ 複数集落の連携による侵入防止柵の設置や維持管理など、集落を越えた共助による鳥獣害対策の取組みを推進・拡大 【農林水産部】</p> <p>・ 柵設置、柵点検、柵周辺の除草、サルの追い払いなど</p> <p>・ 複数集落が協働して実施するサルの追い払い対策に活用する電動エアガン等の購入を支援</p> <p>○ 近年、被害が拡大するシカの捕獲強化のため、新技術（誘引餌やICT機器等）を活用した猟法を実証・普及するとともに、市町と連携した捕獲を推進 【農林水産部】</p> <p>・ 広域捕獲事業：捕獲実績75頭（関係市町と連携してシカを捕獲） ・ 指定管理鳥獣捕獲等事業：捕獲実績169頭（越前海岸の水仙畑の保全および県内養豚場の豚熱感染防止のため、関係市町と連携してシカ、イノシシを捕獲） ・ 誘引餌やICT等の新技術を活用したシカの猟法を実証：捕獲実績39頭</p>	<p>・ 巡回展 3回（R3:3回）</p> <p>6回（3月末）</p> <p>・ 連携による鳥獣害対策実施集落数 10集落（5集落群） （R3:23集落（5集落群））</p> <p>49集落（5集落群）（3月末）</p> <p>・ イノシシ、シカ捕獲 500頭（R3:135頭）</p> <p>283頭（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策5-4】 ○県産材の需要・供給の拡大と林業の活性化</p> <p>利用可能な森林資源が増えている中、県産材の需要と供給を拡大し、林業の活性化を図る。</p>	<p>間伐の加速化と主伐の促進による循環型林業経営を推進</p> <p>○主伐・再生林のコスト分析、長期的な林業収支の把握、林業事業者と森林所有者との間で主伐から再生林・保育を含む長期一括契約の締結などを行うことでふくい型林業経営モデルを構築し、主伐・低コスト再生林を推進 【農林水産部】</p> <p>・ふくい型林業経営モデルの構築に向け、福井市とあわら市において現地実証を実施 ・主伐の低コスト化や10年程度の長期一括契約の手法などについてのマニュアルを作成</p> <p>○航空レーザ計測により得られた地形や単木データ等精度の高い森林情報をクラウドシステムで共有・活用し、木材生産適地の抽出を行うとともに、施業地確保の省力化を推進 【農林水産部】</p> <p>・おおい町、南越前町において、航空レーザ計測33,217haを実施 ・クラウドシステムを整備し、地形や単木データ等精度の高い森林情報を共有・活用し、木材生産適地の抽出を実施</p> <p>新たな手法の導入による施業集約化の促進</p> <p>○林業DXによる施業地確保の省力化、施業地の集約化を図るためのコミュニティ林業の拡大、高性能林業機械の導入による県産材（丸太）の生産性の向上 【農林水産部】</p> <p>・施業地の集約化を図るため、26集落においてコミュニティ林業を実施（累計241集落） ・生産性向上に資する高性能林業機械の導入支援（購入4台、レンタル87台） ・2林業事業者において資源解析アプリや日報管理アプリを導入</p> <p>森林経営・管理を担う人材育成</p> <p>○ふくい林業カレッジにおいて、伐倒練習機を用いた実技研修の導入等により、林業事業者で活躍できる新規林業就業者を育成 林業PR動画のテレビCM、SNS配信による人材の確保 ※再掲（施策5-1） 【農林水産部】</p> <p>・13名（長期8名、短期5名）が入校し、林業に対する知識・技術の習得や林業機械の操作に必要な資格を取得、県内の林業事業者へ就業 ・林業PR動画のテレビCMや林業就業相談会の開催等により、林業事業者への新規就業者26名を確保</p> <p>○自伐林家や特用林産物生産者が生活できる環境づくりや自立に向けた活動に支援し山村で活動する山の担い手拡大と地域活性化を推進 【農林水産部】 ※再掲（施策5-1）</p> <p>・県内の自伐型林業団体（2団体）が技術向上に必要な自伐林家向けの研修を開催 ・自伐型林業を目指して県外から1名が移住し、活動を開始</p>	<p>・ふくい型林業経営モデルの検証 2か所（R3:-）</p> <p>2か所（3月末）</p> <p>・航空レーザ計測面積（累計） 128,000ha（R3:93,093ha）</p> <p>126,310ha（3月末）</p> <p>・コミュニティ林業実施集落数 （累計） 245集落（R3:215集落）</p> <p>241集落（3月末）</p> <p>・新規林業就業者数（林業） 20人（R3:25人）</p> <p>26人（3月末）</p> <p>・県内の自伐林家数（自伐型林業） 28人（R3:23人）</p> <p>28人（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>県産材の利用拡大</p> <p>○ 都市圏における大規模展示会への出展や、台湾企業（代理店）との連携による台湾での展示会・商談会を開催し、県産材の需要を拡大 【農林水産部】</p> <p>・ 東京で開催された大規模展示会「国際ホテル・レストランショー」への出展（2月） ・ 台湾での常設展示（4月～2月）や台湾企業との商談会の開催（3月）</p> <p>○ 県産材利用に関する情報の共有や利用に向けた協議・検討を行う「ふくいウッドチャレンジ推進ネットワーク」を創設し、民間施設での県産材利用を拡大 【農林水産部】</p> <p>・ 関係団体等と連携し、ふくいウッドチャレンジ推進ネットワークを創設（10月創設） ・ 県内企業を対象とした木づかいセミナー（14回）、県産材製品を活用する施設などを巡る見学会（2回）を開催（セミナー：7月～、見学会：8月、3月に開催）</p> <p>森林の多様な活用による山村の活性化</p> <p>○ 森林を観光や保養のフィールドとして活用するため、県内各地にトレイルイベントや森林体験など森林を活用した取組を拡大 【農林水産部】</p> <p>・ 県内のトレイルコースを活用したイベントを開催し2,794人が参加 ・ 新たな活用団体の育成に向けた研修会を2回（11月,3月）開催</p> <p>緑と花の県民運動を推進</p> <p>○ 駅や観光地周辺での花づくりの実践研修の他、県内各地で花の体験講座や技術研修を開催し、花づくりに取り組む人材を育成 【農林水産部】</p> <p>・ グリーンセンターにおいて、レベルに応じた花づくり研修を12回実施 ・ 県内各地で若い世代を対象とした寄せ植え研修を7回実施 ・ 県内各地で主要駅や観光地周辺の景観づくり研修を10回実施</p>	<p>・ 県産材製品の県外・海外への販売額 1.6億円（R3:1.5億円）</p> <p>1.7億円（3月末）</p> <p>・ ネットワークへの参加企業（ふくいの木づかい企業）（累計） 100社（R3:56社）</p> <p>109社（3月末）</p> <p>・ 新たな森林活用に取り組む団体 3団体（R3:2団体）</p> <p>2団体（3月末）</p> <p>・ 花の景観づくり研修 28回（R3:28回）</p> <p>29回（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策5-5】 〇ふくいの水産業のステップアップ</p> <p>新技術を活かした養殖業による生産拡大と地魚の戦略的な販売促進により、豊かな浜のくらしを実現する。</p>	<p>養殖業の拡大と販路開拓</p> <p>〇 栽培漁業センターで育てたマハタ種苗を県内養殖業者へ出荷し、生産を拡大 【農林水産部】</p> <p>・マハタ養殖生産拡大に取組む10事業者を支援、養殖事業者25業者に拡大</p> <p>〇 トラウトサーモンの生産増大に向け、養殖施設の拡大を支援 【農林水産部】</p> <p>・トラウトサーモンの飼育水槽の増設を支援し、増産に向けて飼育を開始。令和6年度に400トンの生産を目指す。</p> <p>〇 小浜市堅海地区に整備した水産学術産業拠点施設において、産学官連携による水産増養殖の共同研究を開始 【農林水産部】</p> <p>・水産振興センターが2企業と共同研究に関する協定を締結し（4/25）、トラウトサーモンとサバの養殖に関する共同研究を開始</p> <p>漁船漁業の効率化と地魚の戦略的販売</p> <p>〇 ふくいフィッシュソリューション（魚種ごとの課題解決）により販売を促進 若狭ぐじ：京都でのイベント出展、ふくい甘えび：首都圏へ新幹線輸送 若狭まはた：情報サイトでのプロモーション 【農林水産部】 越前がれい：取扱量の拡大 ※再掲（施策5-2）</p> <p>若狭ぐじ：京都のみやこめっせで開催された京料理展示大会に出展（12/13、14） ふくい甘えび：北陸新幹線で首都圏へ7回輸送（5～6月、9～10月） 若狭まはた：あわら温泉6旅館で提供、まるごとフェスタ（11/12、13）や軽井沢での福井フェア（3/11、12）など県内外でPRを実施 越前がれい：首都圏の新規店舗へサンプル提供（11月）、ふくい鮮いちばで越前がれいウィークの開催（1/21～28）</p> <p>〇 漁業用資材の高騰分に対し緊急支援を行い、影響の緩和を図ることにより漁業者の安定した経営を確保 【追加】【農林水産部】</p> <p>・漁業者が使用する魚箱や氷の価格上昇分の一部を支援し、1割程度の上昇に抑えられた</p>	<p>・ 種苗出荷数 30,000尾（R3:18,000尾） 縮小</p> <p>20,000尾（3月末）</p> <p>・ 施設整備への支援 1施設（R3:-）</p> <p>1施設（3月末）</p> <p>・ 事業実施数 2事業（R3:-）</p> <p>2事業（3月末）</p> <p>・ 新規取扱店舗数 30店舗（R3:22店舗）</p> <p>48店舗（3月末）</p> <p>・ 支援件数 3件（R3:-） 追加</p> <p>4件（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>ふくいの海を担う人材育成</p> <p>○ 定着支援資金により扶養者等を支援、ふくい水産カレッジの漁船漁業コース等や新規養殖業者に対する設備投資への補助により独立就業を支援し、新規就業者を確保 ※再掲（施策5-1） 【農林水産部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・定着支援資金により新規就業者23人を支援し自立を促進 ・ふくい水産カレッジには12名が漁船漁業コースに入校。新規漁業就業者数のうち7人が独立就業、養殖就業者1名に設備投資を支援 </div> <p>漁村の活性化</p> <p>○ 漁獲量増大に向け、若狭地域への誘客の目玉とするため、三方五湖において天然ウナギの放流調査を実施 【農林水産部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・三方湖に標識したウナギ稚魚300kg（8,600尾）を放流し追跡調査を実施した。6月の放流時は1尾あたり36gであったが、11月には72gとなり、成長が確認できた </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・新規漁業就業者数（水産） 21人（R3:21人） 内新規養殖就業者 1人 新規養殖参入拡大企業 1社 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>25人（3月末） 内新規養殖就業者 2人</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ウナギ稚魚放流 300kg（R3:-） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>300kg（3月末）</p> </div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策5-6】 ○農山漁村地域の基盤づくり</p> <p>農林水産業の生産基盤を堅持するため、老朽化する既存インフラへの長寿命化対策や自然災害による被害防止対策など、防災・減災対策を推進し、災害に強い農山漁村地域を創る。</p>	<p>農林水産業の生産力を高める基盤整備</p> <p>○スマート水田農業の導入効果を最大限発揮する基盤整備を推進 【農林水産部】</p> <p>・圃場の大区画化等によりスマート農業の効果を発現し、担い手の生産コストを低減</p> <p>○ズワイガニ、アカガレイなどの生息環境を改善するための漁場保全（海底耕耘）を実施 【農林水産部】</p> <p>・ズワイガニ、アカガレイなどの生息環境改善のため、漁場保全（海底耕耘）を実施</p> <p>災害から農山漁村の暮らしを守る基盤整備</p> <p>○老朽化した農業水利施設、治山施設、海岸・漁港施設などの機能強化や長寿命化に向けた機能保全計画の策定や長寿命化計画に基づく工事を施工し、災害に強い生産基盤を整備 【農林水産部】</p> <p>・長寿命化計画を策定した中で、優先順位を決定し、老朽化対策工事を実施</p> <p>○ため池の豪雨・耐震対策調査を実施 【農林水産部】</p> <p>・大雨や地震に対する安全性を確認する調査業務を実施</p> <p>被害防止につながる地域活動の継続</p> <p>○農地の保全管理活動を強化するため、集落を超えた組織の広域化を推進 【農林水産部】</p> <p>・農地の保全管理活動を強化するため、集落を超えた組織の広域化を推進</p>	<p>・大区画圃場整備に着手する面積 88ha（R3:41ha）</p> <p>88ha（3月末）</p> <p>・漁場保全（海底耕耘）実施面積 8,510ha（R3:8,530ha）</p> <p>8,446ha（3月末）</p> <p>・長寿命化計画策定箇所数 111箇所（R3:91箇所）</p> <p>91箇所（3月末）</p> <p>・施設の老朽化対策工事箇所数 39箇所（R3:42箇所）</p> <p>39箇所（3月末）</p> <p>・ため池調査箇所数 35箇所（R3:32箇所）</p> <p>34箇所（3月末）</p> <p>・広域化の協定を締結する組織数 1組織（R3:1組織）</p> <p>2組織（3月末）</p>

政策5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ

指標	実行プラン記載の現状	実績			目標 (2024年度)	達成度	
		2019年	(2020年度)	(2021年度)			(2022年度)
米・園芸産出額 (福井県調べ)	490億円 (2018)	501億円 (2019)	484億円 (2020)	441億円 (2021)	453億円 (2022)	550億円 (2024)	※
林業産出額 (福井県調べ)	23億円 (2018)	24億円 (2019)	25億円 (2020)	27億円 (2021)	— (6月公表予定)	30億円 (2024)	—
漁業産出額 (福井県調べ)	100億円 (2018)	100.5億円 (2019)	83.5億円 (2020)	80.6億円 (2021)	— (24年3月末公表予定)	110億円 (2024)	—
直売所販売額 (福井県調べ)	36億円 (2018)	37.5億円 (2019)	40億円 (2020)	45億円 (2021)	— (5月公表予定)	46億円 (2024)	—
新規就農・就業者数 (福井県調べ) ※策定時実績 (R元) は2014～2018の累計 ※KPI目標 (R6) は2020～2024の累計	(農業) 413人 (林業) 73人 (水産) 94人	(農業) 94人 (林業) 34人 (水産) 20人	(農業) 120人 (林業) 27人 (水産) 20人	(農業) 241人 (林業) 52人 (水産) 41人	(農業) 362人 (林業) 78人 (水産) 66人	(農業) 600人 (林業) 100人 (水産) 100人	○

(達成度の区分) ◎…想定を超えて進捗、○…概ね順調に進捗、△…対策強化が必要、※…特殊事情による、中止、延期等、—…判断時期未到来

令和5年度の対応

<p>【施策5-1】夢のある次世代の農業を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 園芸タウンの整備、大規模施設園芸の全県展開等を通じ、園芸産出額を拡大
<p>【施策5-2】「ふくいの食」のトップブランド化</p> <ul style="list-style-type: none"> いちほまれについて、特徴ある産地ブランドの生産販売支援や、CMと相乗効果のある認知機会を創出するなど、県とJAが一体となって全国消費者への認知度向上や販路を拡大 北陸新幹線福井・敦賀開業を見据えて、あわら温泉や福井駅前においてグルメイベントや飲食店フェアを開催。県内外にブランド食材やそばなどの福井の「食」をPR 県産食材のストーリー発信を強化し、来県者の食の満足度向上を図る
<p>【施策5-3】農山漁村の魅力創出・交流人口の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 被害が拡大する有害鳥獣の捕獲強化のため、市町と連携した捕獲の推進や、総合的な鳥獣害対策を行うモデル地区を設置し、県全体への普及拡大を図る 直売所間での相互輸送拡大を支援し、品揃えの強化を進めるとともに、デジタル技術の導入により、県内における消費者と生産者の交流拠点ともなる販売拠点の整備を支援 農遊コンシェルジュのスキルアップを支援するとともに、スタンプラリーやモニターツアーを開催し、旅行者が農村を巡る動きを促進する。
<p>【施策5-4】県産材の需要・供給の拡大と林業の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> 条件の良い森林において、所有者と事業者が長期一括契約を締結し、効率的な主伐、再造林・保育を行うことにより収益の向上等を図る「ふくい型林業経営モデル」を構築し、県産材の生産を拡大 木材利用の理解と関心を深める「ふくいの木の祭典（仮称）」を開催し、県産材の利用を促進
<p>【施策5-5】ふくいの水産業のステップアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> 小浜市に整備した水産学術産業拠点施設において、産学官連携による水産増養殖の共同研究を実施 漁獲量増大に向け、若狭地域への誘客の目玉とするため、三方五湖において天然ウナギの放流調査を実施 「越前がに」資源を効率的に利用していくため、スマート水産業を活用した取り組みを実施
<p>【施策5-6】農山漁村地域の基盤づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> スマート農業の効果を発揮する基盤整備、ズワイガニなどの生息環境を改善するための漁場保全（海底耕耘）を実施 老朽化した農業水利施設や治山施設、漁港・漁港海岸について、機能保全計画や長寿命化計画を策定し、老朽化対策工事を実施

政策6 地域経済のイノベーション



目指す姿	主な施策	目標 (KPI)
<p>【施策6-1】 ○「福井型エコシステム」の構築</p> <p>地域内でお金・人・技術等の経営資源が循環する仕組みを構築し、次代を担う産業人材の育成と創業や有望ベンチャーの創出、事業創継等を拡大する。</p>	<p>クラウドファンディング等の活用促進</p> <p>○ 「ふくい地域経済循環ファンド」により、全国・海外展開に取組む創業者や事業者を支援するとともに、支援機関と協力し事業のフォローアップ等を実施 【産業労働部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学発ベンチャーによる販路拡大事業やシステム開発・販売にかかる新事業の拡大など、全国・海外展開を目指す県内中小企業の新事業10件を補助 ベンチャー支援への接続により、資金支援に加え、経営ノウハウも合わせた一体的な、企業の急成長支援を実施 <p>起業家・ベンチャー企業の発掘・育成</p> <p>○ 市町や各地域の商工団体・金融機関と協力し、新たな創業者の創出とともに、独創的なアイデアを持つ学生や若者スタートアップを創出・育成 【産業労働部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 支援機関の相談事業と一体的に行う創業初期の経費支援や県内移住した創業者への資金面での支援を実施（156件） 起業機運を醸成し、先輩起業家や民間VCによるブラッシュアップを通して起業に導くプログラム（R4:40者）や、学生が起業する際の初期投資に対する補助（R4:3件）、起業直後の若手起業家に対する信用獲得支援（R4:3件）など、起業前後を通じた重点的な支援を実施 <p>有望ベンチャー企業への投資</p> <p>○ 意欲ある若者に働きかけベンチャー起業家を育成するとともに、「福井ベンチャーピッチ」や専門家や県内支援機関による個別メンタリングにより更なる成長支援を実施 【産業労働部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ベンチャー創出セミナー」（6月17日）を実施し、約450名が参加 「福井ベンチャーピッチ」（11月17日）では5社が登壇、支援機関・パートナー候補など約270名が参加 「U29限定ビジネスプレゼン合宿」、「ベンチャー戦略塾」、「アクセラレーションメンタリング」を開催し、ベンチャーピッチ登壇予定者、さらなる成長を求める経営者など合計19名が参加 <p>民間インキュベーション施設の整備促進</p> <p>○ インキュベートを行う投資会社（VC）等と連携し、学生や若者スタートアップの創出・育成を実施するとともに、県内外の企業や起業家等とのコミュニティ形成や交流を促進 【産業労働部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内外の民間企業と連携し、学生・若者に特化した起業機運醸成事業を実施。プログラムを通じた仲間づくりを実施するとともに、オンラインコミュニティを構築 	<p>・ 全国・海外展開に取組む事業者数 6件（R3:12件）</p> <p>10件（3月末）</p> <p>・ 県の支援による創業数 200件（R3:222件）</p> <p>232件（3月末）</p> <p>・ ベンチャーピッチ登壇者数 5人（R3:5人）</p> <p>5人（3月末）</p> <p>・ 県内外の起業家等が交流する場を創出</p> <p>オンラインコミュニティを構築 （若者参加人数：24名）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>次世代の経営者への円滑な事業承継</p> <p>○ 事業承継に向けた企業価値向上の取組みを支援するとともに、従業員や産地内企業に加え、サーチファンドを活用した県外人材による第三者承継を推進 【産業労働部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 円滑な事業承継に向けた、企業価値向上につながる取組みを28件補助 ・ 地方自治体として全国で初めてサーチファンドを活用した事業承継支援の取組みを開始し、県外人材に対して県内の後継者不在企業の情報を提供（11社） </div> <p>跡継ぎベンチャーの推進</p> <p>○ 経営意欲を持つ県外人材による県内企業の承継を支援し企業の成長を促進するとともに、優れたビジネスモデルを持つ事業者に対しベンチャーピッチ等のベンチャー支援に繋げ、更なる事業展開を支援 【産業労働部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営意欲を持つ県外人材による、後継者不在に悩む県内企業への視察訪問を実施（2社） ・ 「福井ベンチャーピッチ」に、承継を機に事業転換し、株式上場など急成長を目指す県内企業が登壇（2社） </div>	<p>・ 県による事業承継支援件数 70件（R3:55件）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;">76件（3月末）</div> <p>・ 県外人材による事業承継件数 5件（R3:-）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;">0件（3月末）</div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策6-2】 ○デザインの手で魅力あるものづくり産地を創出</p> <p>産地全体にデザインの意識を浸透させることにより、国内外からの取引・観光が活発化する魅力的なものづくり産地を形成する。</p>	<p>デザインを活かした産地ブランディングの強化</p> <p>○ デザインコネクトセミナー開催やデザイナーの派遣など、企業に対するデザイン分野における支援を強化し、新商品・新ブランドの開発を促進 【産業労働部】</p> <p>・デザイナーを派遣し、商品パッケージ製作等のブランディングの助言等により、10社が新商品・新ブランドを開発 ・デザインセンターが企業からのブランディング等の相談（約1,150件）に対応し、デザイン導入等を後押し。また「デザインコネクトセミナー」を開催（4回、延べ2,524人参加）し、ビジネスへのデザイン導入の有効性を啓発</p> <p>○ 県内外のデザイナー等とのコラボによる伝統工芸ブランド「F-TRAD」の商品開発や、商品群をPR・販売する専用ECサイトの整備 【産業労働部】</p> <p>・県外デザイナーと伝統工芸産地の事業者がコラボレーションして越前和紙のピクニックシート、若狭めもの細工のイヤリングなど新たに7商品を開発 ・専用ECサイトを整備し、12月から順次、F-TRADの認定・開発商品の販売を開始</p> <p>繊維・眼鏡産業や伝統工芸の振興</p> <p>○ 意欲ある企業グループが実施するBtoB向けのオープンファクトリーの取組みを支援し、繊維、眼鏡、伝統工芸の産地活性化を促進 【産業労働部】</p> <p>・複数の企業を巡るオープンファクトリーツアーの開催を支援し、新規受注を後押し（新規受注5件）</p> <p>○ 繊維企業の非衣料分野への進出や新商品開発に加え、海外アパレル市場での販路拡大に向けた国際環境認証取得の支援を実施 【産業労働部】</p> <p>・産地組合（3団体）による展示会出展等や繊維企業（7社）の新商品開発・技術開発を支援し、市場の新規開拓や販路拡大を後押し ・コーディネーターによるセミナー開催や個別訪問を通じ、繊維企業の環境認証取得を推進 ・生地が残反等のリサイクルを調査・提案するコーディネーターを配置し、リサイクル方法を実証</p> <p>○ 眼鏡企業の国内外の国際展示会への出展や産地組合の情報発信力の強化を支援し、福井の眼鏡の販路開拓や認知度向上を促進 【産業労働部】</p> <p>・リアル開催の東京国際メガネ展への共同出展（26社）を支援し、販路開拓を後押し ・産地をPRするコーディネーターを新たに配置し、国内の眼鏡小売店と連携した販売促進について現地訪問・調査を実施</p>	<p>・デザインセンターを活用した新商品・新ブランドの開発件数 10件（R3:10件）</p> <p>10件（3月末）</p> <p>・年度内に専用ECサイトを整備</p> <p>12月に整備完了し運用開始</p> <p>・支援件数 4グループ（R3:-）</p> <p>2グループ（3月末）</p> <p>・新商品開発等に伴う販売額 70,000千円（R3:52,276千円）</p> <p>70,316千円（3月末）</p> <p>・環境認証取得支援企業数 2社（R3:1社） 縮小</p> <p>1社（3月末）</p> <p>・展示会での成約件数 4,100件（R3:1,279件） 縮小</p> <p>2,083件（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>産業観光の拡大</p> <p>○ 観光開発プロジェクトや福井県インバウンド推進連携協議会との連携により、体験メニューやアクティビティ等の開発を支援</p> <p style="text-align: right;">【交流文化部】</p> <p>・丹南地域における、越前漆器や越前打刃物などの伝統工芸体験プログラム等の造成を支援</p> <p>人材育成の強化</p> <p>○ 若者等をターゲットに、産地企業での技能習得に加え、魅力ある商品づくり、デザインや経営的な視点等を総合的に学ぶ「職人塾」と、未経験者でも気軽に自分に合った工芸を体験できる「職人体験学校」を開催 ※再掲（施策2-2）</p> <p style="text-align: right;">【産業労働部】</p> <p>・伝統工芸職人塾（4月～3月）を開催し、修了生12名中11名が就業 ・初心者が越前焼や越前和紙など各産地の製造工程を一通り体験等できる職人体験学校を開催（4月～2月）し、修了生5名中1名が次年度の職人塾へ入塾予定</p> <p>○ ビジネスモデルの変革による企業の持続的な成長を促進するため、経営層を対象とした新事業創出のためのセミナーを開催</p> <p style="text-align: right;">【追加】【産業労働部】</p> <p>・新規事業を創出するためのノウハウを学ぶセミナーを試行的に実施し、20人の経営者・経営幹部等が参加。経済団体と連携した本格実施に向けた事業計画を検討</p>	<p>・体験メニュー等の開発支援件数 20件（R3:-）</p> <p style="text-align: right;">縮小</p> <p>5件（3月末）</p> <p>・職人塾修了生の産地での就業率 90%（R3:100%）</p> <p>92%（3月末）</p> <p>・セミナーへの参加者数 30人（R3:-）</p> <p style="text-align: right;">追加</p> <p>20人（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策6-3】 〇くらしに根差した小さな企業の応援</p> <p>商工会・商工会議所等と一体となり、豊かなくらしの基盤となる小規模企業を継承・発展する。</p>	<p>プッシュ型の課題掘起しの強化</p> <p>〇 商工会・商工会議所や産業支援センターと協力し、企業訪問による積極的な課題の掘り起こしを重点化するとともに、課題解決に向け、経営指導員等による伴走型の支援を実施 【産業労働部】</p> <p>・ 商工会・商工会議所において企業訪問を延べ41,878件行い、伴走型の支援を実施 ・ ふくい産業支援センターにおいて企業訪問を延べ393回行い、伴走型の支援を実施</p> <p>課題解決のための支援充実</p> <p>〇 小規模企業のDX化や後継者不足等の課題解決のため、デジタル技術導入支援や事業承継の支援を行うとともに、商工会・商工会議所に専門家を配置するなど相談体制を強化 【産業労働部】</p> <p>・ ふくいDXオープンラボの相談員が各商工会・商工会議所や金融機関に出向き、出張相談会を開催。延べ32か所で63件の相談対応を実施 ・ 小規模事業者による事業承継に向けた取組みに対し、補助金を支給（24件）</p> <p>支援機関の横断的ネットワークによる支援</p> <p>〇 商工団体や金融機関、土業等が連携し、事業承継やDX分野等に関する相談会の開催や情報共有を行い、一体となって小規模企業の成長を支援 【産業労働部】</p> <p>・ 商工会議所において経営上の問題に関する無料弁護士相談会を月1回実施し、46件の相談に対応 ・ 商工会・商工会議所において価格転嫁に関するセミナーを7回実施し、144者が参加</p> <p>新型コロナウイルス・物価高騰の影響を受けた事業者の事業継続への支援</p> <p>〇 売上等が減少した中小企業に対して、金融機関が伴走型の支援を行う制度融資の限度額の引き上げや、融資期間の延長によって発生した追加保証料への補助により、事業継続への支援を継続 【産業労働部】</p> <p>・ 伴走支援資金（3月末）483件、9,593百万円実行 ・ 追加保証料への補助（3月末）41件、2,864千円補助</p>	<p>・ 巡回指導数 延べ42,000件（R3:45,203件）</p> <p>延べ42,271件（3月末）</p> <p>・ 小規模企業の新事業支援 50件（R3:10件）</p> <p>87件（3月末）</p> <p>・ 小規模企業支援による売上向上率 3%（R3:9.0%）</p> <p>R5.9月頃公表予定</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>○ コロナ禍の影響が長期化する中、事業継続支援金や感染症対策助成金により売上が減少した事業者や感染対策に取り組む事業者を支援 【産業労働部】</p> <div data-bbox="846 188 1688 256" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・事業継続支援金を18,724件、41億6,360万円支給 ・感染症対策助成金を3,415件、1億9,052万円支給 </div> <p>○ 県産品を製造する県内事業者と県外流通業者等のマッチング機会を創出するため、展示会への出展等を支援 【産業労働部】</p> <div data-bbox="846 352 1688 469" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・9月および2月に首都圏で開催される日本最大規模のパーソナルギフト・生活雑貨の国際見本市（9/7～9）と食品展示会（2/15～17）への出展事業者25社を支援 ・オンライン商談会に参加する52社を支援 </div> <p>○ 原材料・原油価格の高騰や令和4年8月の大雨の影響により影響を受けた事業者への制度融資の創設や利子補給により、事業継続を支援 【追加】【産業労働部】</p> <div data-bbox="846 571 1688 639" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・経営安定資金（原材料・原油価格高騰対策分）（3月末）17件、383百万円実行 ・中小企業支援緊急資金（令和4年8月大雨）（3月末）6件、285百万円実行 </div> <p>○ 原材料・原油価格の高騰に対応した経営体質への転換を図れるよう、国の緊急経済対策と連動し、県内企業が行うエネルギー効率に優れた設備等の導入促進を支援 【追加】【産業労働部】</p> <div data-bbox="846 767 1688 836" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・照明のLED化や空調の高効率化など企業の省エネ設備導入を支援（採択29件） ・省エネや脱炭素の推進を啓発するセミナーを開催（4回、延べ178人参加） </div> <p>○ 生産性向上等による賃上げを支援する国の業務改善助成金に県独自で上乘せ支援を行い、中小企業の経営改善と労働者の所得向上を促進 【追加】【産業労働部】</p> <div data-bbox="846 954 1688 1062" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・国の業務改善助成金の支給決定企業に対する上乘せ助成（19社） ・経営者向けセミナーや専門家による特別相談会等の開催し、県・国の支援制度を活用した生産性向上および適切な価格転嫁の取組を促進 </div>	<p>目標（KPI）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・省エネに取り組む事業者数 20件（R3:-） <div data-bbox="1738 735 2123 836" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>【追加】</p> <p>29件（3月末）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・最低賃金引上げに取り組む企業数 250社（R3:-） <div data-bbox="1738 911 2123 1011" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>【追加】</p> <p>56社（3月末）</p> </div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>雇用の維持・確保への支援</p> <p>○ 担い手不足が深刻な業種に就職する求職者へ奨励金を支給することにより、雇用機会の創出と雇用のミスマッチ解消を促進 【産業労働部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 担い手不足が深刻な業種（建設・運輸・IT・介護）に就職する求職者に奨励金を支給し、198人が正社員として就職 ・ 建設57名、運輸74名、IT4名、福祉63名 </div> <p>○ 経済団体等で構成する「雇用シェア促進協議会」を開催し、労働力過剰企業と人手不足企業との間の雇用シェア（在籍型出向制度）等のマッチングを実施 【産業労働部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 雇用シェア促進協議会の構成員における情報共有・マッチングや、企業等への制度周知 ・ 雇用シェアを行う企業に対する応援金を支給（1社1名） </div> <p>○ 国や県の職業訓練および正規就労を前提としたトライアル就労の機会を提供し、成長産業や人手不足分野への労働移動を促進 【産業労働部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 求職者に職業訓練とトライアル就労の機会を提供し、19名が参加 ・ トライアル就労先企業の情報を求職者に提供する合同就職説明会を開催（6回） </div> <p>○ 子育て、介護支援等の幅広い分野での担い手の確保や多様な働き方の受け皿として期待される「協同労働」について、県民に周知し、活用につなげることにより、雇用を創出 【追加】【産業労働部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 労働者協同組合に関するセミナーの開催（基礎セミナー2回、応用セミナー2回） ・ ボランティア団体やNPO法人等1,500団体を対象に、労働者協同組合設立に関する意向調査を実施 </div>	<p>・ 担い手不足が深刻な業種に就職した求職者数 200人（R3:180人）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;">198人（3月末）</div> <p>・ 雇用シェアによるマッチング人数 15人（R3:-）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;">2人（3月末）</div> <p>・ 労働移動による新規就職者数 200人（R3:20人）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;">19人（3月末）</div> <p>・ 労働者協同組合に関するセミナー受講者数 150人（R3:-）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;">156人（3月末） 【追加】</div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>地域経済の回復・再生</p> <p>○ 新分野進出や新商品の開発等を行う中小企業者に対して制度融資により支援 【産業労働部】</p> <p>・産業活性化支援資金（3月末）8件、167百万円実行</p> <p>○ 県内小売・サービス業店舗や飲食店で利用できるデジタルバウチャー「ふく割」を発行し、” ついで買い”を誘発・喚起 【産業労働部】</p> <p>・登録全店舗で使えるクーポンや小規模店限定クーポン、衣料品や地酒の購入に使えるクーポンなどを発行し、計264.7万枚が使用され、10.4億円以上の消費を喚起</p> <p>○ 商店街等における空き店舗への新規出店のための店舗改装・設備導入を支援し、店舗周辺のにぎわいを創出 【産業労働部】</p> <p>・敦賀市、大野市、あわら市、越前市の商店街における空き店舗への出店を支援（計5事業者）</p> <p>○ 国のG o T o トラベルを利用して、旅行者による伝統工芸品の購入を促進するキャンペーンを展開し、産地の売上回復を後押し 【産業労働部】</p> <p>・福井で倍返しキャンペーン（ふくいdeお得キャンペーンのクーポンで伝統工芸品を購入する場合、クーポン同額分を更に割引）を展開し、約4千万円の消費を喚起</p>	

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策6-4】 ○地域企業の生産性向上・人材確保</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> Society5.0時代の未来技術を担う人材を育成するとともに、多様な人材が活躍できる就業環境づくりを進め、各産業における人材確保を促進する。 </p>	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> AI・IoT等の新技術導入による生産性の向上 </p> <p>○ DXラボと支援機関が連携し、県内企業にプッシュ型でDX推進を働きかける仕組みを構築するとともに、社内体制整備に向けてITコーディネーター等からなる専門家チームによる伴走支援を実施 【産業労働部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術や5G等の通信技術を活用して自社の付加価値向上や新商品・サービスの開発を図る取組みを支援（15社） ・専門家チームの伴走支援により自立的にDXに取り組むための体制整備を支援（5社） ・デジタル技術を活用した業務効率化や新事業の展開事例を紹介する事例集、デジタル活用のための手引きの発行 </div> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> IT人材の確保・育成 </p> <p>○ 学生、転職者等を対象にITスキルを習得するITスクールを開講し、県内企業のIT人材の育成・確保を支援するとともに、県外IT人材の雇用促進や副業・兼業をする都市部IT人材の活用により県内企業の成長を支援 【産業労働部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふくいITエンジニア養成スクール」を開講（フロントエンドコース18名、バックエンドコース31名） ・37社のサポーター企業と連携し、交流会やインターンシップなどを実施 ・デジタルに精通したIT人材の正規雇用などを支援（10件） </div> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 多様な人材が活躍できる就業環境の整備 </p> <p>○ 障がい者雇用推進員の増員や、インターンシップ、企業見学バスツアー、短期の就業体験の実施により、障がい者の就労を支援 ※再掲（施策3-4） 【産業労働部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・短期就業を61人が体験し、うち22人が一般企業へ就労（1月末） ・就労後、雇用促進支援員の企業訪問等による定着支援を実施 </div> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 就職氷河期世代への就職支援 </p> <p>○ 就職氷河期世代への支援として、非正規労働者等に対する相談対応や定着支援を実施。また、無業者等に対する就職支援プログラムをアウトリーチ先でも実施 【産業労働部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・非正規労働者等に対し、キャリアアドバイザーによる個別相談を実施（87人 3月末） ・無業者に対し臨床心理士のカウンセリング、相談員の個別相談を実施（213人 3月末） </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・DX推進企業の創出 17社（R3:16社） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 20社（3月末） </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ITスクール修了者 35人（R3:35人） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 29人（3月末） </div> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者雇用率 2.54%（R3:2.53%） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 2.48%（R4） </div> <ul style="list-style-type: none"> ・就職氷河期世代の正規雇用者数 400人増／年（R3:1,395人） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> R5.7月公表予定 </div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p data-bbox="828 119 1131 143">企業が求める産業人材の育成</p> <p data-bbox="828 151 1680 207">○ 「福井ものづくり改善インストラクタースクール」において、生産現場の業務改善活動を進める人材の養成、修了生の企業派遣による業務改善指導を実施</p> <p data-bbox="1545 215 1680 239">【産業労働部】</p> <div data-bbox="846 247 1684 306" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第7期福井ものづくり改善インストラクタースクールを開催し、企業従業員12名が修了 ・ インストラクター派遣事業を5社が利用 </div> <p data-bbox="828 343 1680 391">○ 求人企業にワンストップで対応する「人材確保支援センター」において、求職支援機関と連携したマッチング支援や採用力向上のための企業向けセミナーを開催</p> <p data-bbox="1545 399 1680 422">【産業労働部】</p> <div data-bbox="846 430 1684 545" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人材確保支援センターにおいて、中小企業診断士によるアドバイスや求職者とのマッチングのサポートを実施（就職者数280人） ・ 採用力の強化や職場定着の促進に向けた企業向けセミナーを開催 </div>	<p data-bbox="1724 151 2004 207">・ スクール修了者数（累計） 83人（R3:71人）</p> <div data-bbox="1736 239 2123 306" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p data-bbox="1758 263 1892 287">83人（3月末）</p> </div> <p data-bbox="1724 343 2105 391">・ インストラクター派遣企業数（累計） 32社（R3:27社）</p> <div data-bbox="1736 430 2123 497" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p data-bbox="1758 454 1892 478">32社（3月末）</p> </div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策6-5】 ○働く人のための「しあわせ働き方改革」を実行</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 幸せと生産性を両立する働き方改革や労働者のワークライフバランスの向上を進め、日本一社員を大事にする県を実現する。 </p>	<p>社員ファースト企業の拡大</p> <p>○ 「社員ファースト企業」の優れた取組みを「社員ファーストアワード」として表彰し、効果的なPR活動により働きやすい職場環境づくりに取り組む企業を拡大 【産業労働部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・働きやすい職場環境づくりに関し、特に優れた取組みを実践している企業7社を「社員ファーストアワード」として表彰 ・アワード受賞企業の取組みを紹介する動画を作成し、SNS等を通じて発信 </div> <p>柔軟な働き方の促進</p> <p>○ 新しい生活様式に対応し、多様な人材が活躍できるテレワーク導入を促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナーの開催、テレワーク利用を促進する補助金の支給 【産業労働部】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・新たにテレワークを導入する中小企業に対し、テレワークに使用するPC、タブレット等の端末購入費用を助成 ・テレワーク制度の新たな導入や定着を促進するため、セミナーへの参加の働きかけを国との連携により実施 </div> <p>仕事と妊娠・出産の両立支援の推進</p> <p>○ 共働き・核家族での子育てや不妊治療と仕事を両立できる柔軟な働き方について、企業の取組みを促進するため、経営者の意識啓発、推進企業への奨励金支給を実施 ※再掲（施策4-2） 【健康福祉部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・定時退社・育児休業取得促進キャンペーン「かえるプロジェクト」を実施。テレビCM放映、先進的に取り組む県内企業8社をテレビ番組で紹介 ・経営者等を対象に男性育休に関する講演会等を2回開催（11/14、3/9） ・ライフプランサポート企業促進奨励金支給件数 5件 </div>	<p>・ 「社員ファースト企業」宣言企業数（累計） 200社（R3:157社）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">209社（3月末）</div> <p>・ テレワーク機器導入支援企業数 5社（R3:7社）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">1社（3月末）</div> <p>・ 父親の育児休業取得率 17.0%（R3:12.9%）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">R5.5月公表予定</div>

政策6 地域経済のイノベーション

指標	実行プラン 記載の現状	2019年	実績 (2020年度)	実績 (2021年度)	実績 (2022年度)	目標 (2024年度)	達成度
1人当たり県民所得 (福井県民経済計算)	316万円 (2016)	328万円 (2018)	338万円 (2018)	334万円 (2019)	— (5月公表予定)	356万円 (2024)	—
製造品出荷額 (工業統計)	2兆1,062億円 (2017)	2兆2,494億円 (2018)	2兆2,494億円 (2018)	2兆2,591億円 (2019)	2兆1,431億円 (参考値) (2020)	2兆2,800億円 (2024)	—
創業者数 (福井県調べ)	405人 (2015～2018計)	124人 (2019)	115人 (2020)	337人 (2020～2021計)	569人 (2020～2022計)	600人 (2020～2024計)	◎
小規模企業支援による売上向上 (福井県調べ)	—	—	44.3%向上 (平成30年度の売上高比)	9.0%向上 (平成30年度の売上高比)	— (9月頃公表予定)	支援した企業全体で 3%増加 (2024)	—
I o T 導入率 (福井県調べ)	8.2% (2018)	—	18.2% (2020)	— (2年に1度の調査のため、 2021未実施)	27.3% (2022)	27% (2024)	◎
就職氷河期世代の正規雇用者 (就業実態調査から県推計)	—	—	1,276人 (2020)	1,395人 (2021)	— (7月公表予定)	2,000人増加 (2020～2024計)	—

(達成度の区分) ◎…想定を超えて進捗、○…概ね順調に進捗、△…対策強化が必要、※…特殊事情による、中止、延期等、—…判断時期未到来

令和5年度の対応

【施策6-1】「福井型エコシステム」の構築

- ・有望ベンチャーのシードとなる学生・若者起業家を創出するため、ベンチャーキャピタル等と連携した起業人材の掘り起こしと起業に向けた育成支援を実施
- ・ふくい地域経済循環ファンド(100億円ファンド)を利用し、成長意欲の高い県内企業が行う全国・海外に向けた新事業による事業規模拡大を支援

【施策6-2】デザイン力で魅力あるものづくり産地を創出

- ・企業に対するデザイン分野の支援を強化し、新商品・新ブランドの開発を促進
- ・繊維・眼鏡分野では、海外展開や産地でのオープンファクトリーによる販路拡大を進めるとともに、伝統工芸分野では県内外のデザイナー等とのコラボによる「F-TRAD」ブランドの商品開発や専用ECサイトの整備を促進
- ・旅行会社等と連携した体験メニュー等の開発を支援

【施策6-3】くらしに根差した小さな企業の応援

- ・電気・ガス料金の高騰に伴い大きな影響を受ける事業者に対し給付金を支給
- ・成長分野や人手不足分野の企業とのマッチングを促進するため、バスツアーやインターシップ、職業訓練およびトライアル就労の機会を提供し、正社員就職後に奨励金を支給

【施策6-4】地域企業の生産性向上・人材確保

- ・ふくいDXオープンラボと支援機関が連携し、県内企業にプッシュ型でDX推進を支援
- ・県外IT人材の雇用、または副業・兼業をする都市部IT人材の活用を支援するとともに、DXを推進するデジタル技術の導入に対して助成
- ・ふくいジョブステーションにおける相談対応や就労後の定着支援、若者サポートステーションにおけるプログラムの実施により、就職氷河期世代への就職支援を展開

【施策6-5】働く人のための「しあわせ働き方改革」を実行

- ・働く人たちが自己実現を可能にできるような職場環境づくりの促進のため、社員ファーストアワードの実施による社員ファースト企業の普及・拡大

政策7 Society5.0時代の新産業創出



目指す姿	主な施策	目標 (K P I)
<p>【施策7-1】 ○成長産業へのチャレンジ応援</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">繊維や眼鏡などこれまで培ったものづくり技術などを応用し、需要増が見込まれる航空機産業やヘルスケア産業の分野で世界をリードする技術・製品開発を進め、県内産業の多様化や規模拡大を実現する。</p>	<p>宇宙産業の拠点化</p> <p>○ 県内企業が衛星運用技術の習得を目指した超小型衛星の製造・打上げを支援し、人工衛星製造分野のビジネス化を推進 【産業労働部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内企業グループが、衛星の運用技術を習得し、製造から運用まで一気通貫の体制を構築することを目的に、新たな衛星の開発を開始（8月） </div> <p>○ 農業分野における衛星データ利活用研究等により、衛星データ利活用事例を拡大 【産業労働部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 衛星データを活用した麦の収穫時期予測、米の食味推定、主要農作物の品種判別に關する実証を実施 ・ 県内外の企業と連携し、衛星データを活用した行政課題（9件）の解決に關する実証を実施 </div> <p>航空機産業への参入促進</p> <p>○ 工業技術センターの共同研究支援を通して、県内企業の高いものづくり技術を活かした航空機産業への新規参入を促進 【産業労働部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ ㈱SUBARU、JAXA等と共同で航空機胴体専用の炭素繊維シート製造技術の開発を推進（H30～R4） ・ 航空機内装品への炭素繊維複合材料の適用に關する講習会を開催 </div> <p>航空・宇宙産業の人材育成拠点化</p> <p>○ 人工衛星を製造する実地研修を開催し、意欲のある企業の参入および人材育成を促進 【産業労働部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 衛星の製造を体験できる「人工衛星設計基礎論2022」（12～3月）を開催。新たに宇宙産業への参入を目指す県内企業の技術者等が参加 </div> <p>ヘルスケア産業の育成</p> <p>○ 医療・介護・健康分野における製品開発、販路開拓の重点支援により、成長が見込まれるヘルスケア分野でのビジネス創出を支援 【産業労働部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 製品開発・実証化のコンサルティングやマーケティング伴走支援に9社が参加。自社技術の強みを活かした事業展開について専門家による指導を実施 </div>	<p>・ 宇宙産業における県内企業売上額 7億円（R3:6.6億円）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">8億円（3月末）</div> <p>・ 衛星データ活用事例件数（累計） 13件（R3:10件）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">13件（3月末）</div> <p>・ 普及講習会の参加企業数 15社（R3:41社）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">33社（3月末）</div> <p>・ 参加企業・団体数 5企業・団体（R3:6企業・団体）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">6企業・団体（3月末）</div> <p>・ ヘルスケア産業売上額 137億円（R3:137億円）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">R5.5月公表予定</div>

目指す姿	主な施策	目標（K P I）
	<p>持続可能な社会に向けた技術開発の促進</p> <p>○ エネルギー関連技術分野での研究開発を支援し、県内企業のエネルギー関連産業への参入を促進 【産業労働部】</p> <p>・ 県の技術開発補助制度に、新たにエネルギー枠を創設。県内企業・大学等が保有する技術シーズ情報を発信し、地元企業が参画するエネルギー関連の技術開発を支援</p> <p>オープンイノベーションによる稼ぐ力の強化</p> <p>○ ふくいオープンイノベーション推進機構のネットワークを強化し、大学、企業等との共同研究や新分野展開を支援 ※再掲（施策2-2） 【産業労働部】</p> <p>・ 産学官金が連携して行う共同研究（25プロジェクト）を展開し、新技術・新製品の開発を推進</p> <p>○ 県内企業の販路拡大のため、大手企業の企画開発・研究部門に対する技術シーズの売り込みを実施し、商品開発の初期段階における県内技術の採用を促進 【追加】【産業労働部】</p> <p>・ 大手化学メーカーに向け県内企業（10社）が技術を紹介し、うち1社が共同研究に向けた協議を開始見込み</p> <p>観光の産業化促進</p> <p>○ 魅せる工場見学や多彩な体験メニューなど、産業観光の拠点となる店舗や産地全体の情報発信機能を担う施設を整備 【産業労働部】</p> <p>・ 越前海岸の塩づくり体験、永平寺町のそば打ち体験など福井の自然や特産物を活かした観光客向け体験メニューを提供するための施設整備や設備導入を支援</p>	<p>・ エネルギー関連技術開発件数 3件（R3:-）</p> <p>6件（3月末）</p> <p>・ 技術開発案件数 10件（R3:14件）</p> <p>14件（3月末）</p> <p>・ 共同研究による製品化率 37%（R3:36%）</p> <p>37.5%（3月末）</p> <p>・ 技術交流会への参加企業数 10社（R3:-）</p> <p>10社（3月末） 【追加】</p> <p>・ 常設の産業観光施設整備数 5箇所（R3:5箇所）</p> <p>5箇所（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策7-2】</p> <p>〇AI・IoTなど技術革新を活かした新サービスの創出</p> <p>AI・IoTなどの技術革新を取り込み、産業の高付加価値化や関連ビジネスの集積を目指す。</p>	<p>企業の課題を解決するシステムの研究・開発</p> <p>○ DXラボと支援機関が連携し、県内企業にプッシュ型でDX推進を働きかける仕組みを構築するとともに、社内体制整備に向けITコーディネーター等からなる専門家チームによる伴走支援を実施 ※再掲（施策6-4） 【産業労働部】</p> <p>・デジタル技術や5G等の通信技術を活用して自社の付加価値向上や新商品・サービスの開発を図る取組を支援（15社） ・専門家チームの伴走支援により自立的にDXに取り組むための体制整備を支援（5社） ・デジタル技術を活用した業務効率化や新事業の展開事例を紹介する事例集、デジタル活用のための手引きの発行</p> <p>Society5.0関連ビジネスの集積促進</p> <p>○ 県内IT企業と協力し、IoT・AI・5G等の先端技術を導入して業務効率化、高付加価値化を目指す企業を支援 【産業労働部】</p> <p>・デジタル技術を活用して付加価値向上や業務変革に取り組む企業を支援（26社） ・5G等の通信技術を活用して新商品・サービスの開発を図る取組を支援（1社）</p> <p>AI時代に対応できる人材の育成</p> <p>○ 学生、転職者等を対象にITスキルを習得するITスクールを開講し、県内企業のIT人材の育成・確保を支援するとともに、県外IT人材の雇用促進や副業・兼業をする都市部IT人材の活用により県内企業の成長を支援 【産業労働部】</p> <p>・「ふくいITエンジニア養成スクール」を開講（フロントエンドコース18名、バックエンドコース31名） ・37社のサポーター企業と連携し、交流会やインターンシップなどを実施 ・デジタルに精通したIT人材の正規雇用などを支援（10件）</p> <p>未来技術の活用促進</p> <p>○ 国内外の企業による未来技術を活用したプロジェクトの誘致や住民とIT企業等によるシックテックの推進により地域の課題解決を支援 【地域戦略部】</p> <p>・未来技術を活用したプロジェクト誘致に県内外から25件の応募があり、6件を採択し実証実験を実施 ・福井市にて稼く観光をテーマに（7月県内外34名参加）、鯖江市にてゴミ問題をテーマに（12月県内外29名参加）、アイデアソン・ハッカソンを実施</p>	<p>・DX推進企業の創出 17社（R3:16社）</p> <p>20社（3月末）</p> <p>・県内企業によるIoT・AI等を活用したサービス提供件数 12件（R3:13件）</p> <p>13件（3月末）</p> <p>・ITスクール修了者 35人（R3:35人）</p> <p>29人（3月末）</p> <p>・未来技術を活用したプロジェクトの件数 8件（R3:9件）</p> <p>8件（3月末） 未来技術活用プロジェクト 6件 アイデアソン・ハッカソン 2件</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策7-3】 ○多様な企業誘致の推進</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">対話型トップセールスにより、ITサテライトオフィスや、本社機能の誘致など、若者や女性を惹きつける企業の立地を促進する。</p>	<p>対話型トップセールスの推進</p> <p>○ 東京、大阪、名古屋における企業立地セミナーでの知事トップセールス、オンラインセミナーによる誘致活動など、企業の県内立地を促進 【産業労働部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都で関東圏等の企業を対象に、福井県の企業立地環境や港湾などを知事がトップセールスする企業立地・港セミナーを開催（11/15） ・地方展開に関心を持つ企業等を対象にオンラインセミナー・トライアルツアーを開催 </div> <p>人と企業のセット誘致</p> <p>○ 若者や女性のUIターンを促すことができるよう、県内への企業進出にあわせ住環境や働きやすい職場環境の整備を支援 【産業労働部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・都市圏と変わらない給与や待遇の企業への上乗せ支援など、企業規模に関わらず、UIターンの受け皿となる、若者や女性が働きやすい魅力ある企業の誘致を推進 ・社員ファーストの環境整備を行う物流施設やシステム開発の拠点となるIT企業のオフィスの新規開設を実現 </div> <p>産業団地の整備促進</p> <p>○ おい町の産業団地造成を支援し、県内全域における企業立地の受け皿整備を推進するとともに、市町と県営団地の整備を検討 【産業労働部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・おい町の産業団地整備を支援し、令和5年3月に整備完了 </div> <p>○ 北陸新幹線福井・敦賀開業や中部縦貫自動車道全線開通を見据えた企業誘致を促進するため、市町と協働して新たな県営産業団地の整備に着手 追加【産業労働部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・産業団地の候補地の公募を実施し、4市から応募。 ・応募があった4市のうち、福井市、敦賀市、小浜市で新たな県営産業団地を整備すべく、実現可能性の調査および基本計画の作成を実施 </div> <p>多様な業種の企業誘致</p> <p>○ 県の施策・プロジェクトと連携する県内企業や県営団地に立地する県内企業を支援対象に追加し、高い付加価値を生み出す企業や、小さくても魅力ある企業の県内立地を推進 【産業労働部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・県の施策・プロジェクトと連携する企業への支援制度を活用して、交流人口の拡大につながるリゾートホテル、ふくいサーモン等の生産拡大に資する養殖生産施設の県内立地を実現 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・企業立地・港セミナー参加者数180人（過去3年平均:180人） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">190人（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・新規雇用に占めるUIターン雇用率25%（H30-R3:15.1%） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">25.2%（R2-R4実績）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・おい町の産業団地の完成（R5年2月分譲開始予定） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">おい町しごとみらい産業団地の整備完了</div> <ul style="list-style-type: none"> ・年度内に基本計画を完成 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">追加 基本計画の完成</div> <ul style="list-style-type: none"> ・地域経済牽引事業枠による誘致1件（R3:0件） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">2件（3月末）</div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策7-4】 ○嶺南Eコストの実現</p> <p>嶺南地域においてスマートエネルギーエリアの整備、廃炉関連産業の育成、試験研究炉を核とした研究・人材育成拠点の形成を進め、人・企業・技術・資金が集まるエリアの形成を目指す。</p>	<p>立地地域の持続的発展に向けた行動計画の策定</p> <p>○ 国が開催する「立地地域の将来像に関する共創会議」に参画し、地域の将来像とその実現に向けた基本方針と取組を、国や立地市町、</p> <p>【地域戦略部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国や立地市町、電力事業者等とともに、基本方針と取組を策定（6/10） ・万博への水素供給や原子力リサイクルビジネスなどテーマごとにタスクフォースを開催し、課題の洗い出しや事業内容の検討を実施（7/27、8/18、8/31、9/1、11/7、2/13、2/21、3/29） ・実務担当者による事業推進ワーキンググループにおいて、取組の進捗報告や、取組の充実に向けた民間有識者との意見交換を実施（8/22、11/9、3/30） <p>スマートエリアの整備や農林水産業のスマート化</p> <p>○ 嶺南市町におけるスマートタウンの整備に向け、外部専門人材を活用するなどして、エネルギー利用の最適化やIoTを活用した魅力的なまちづくり等、市町の特徴ある施策を支援</p> <p>【地域戦略部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートタウン整備の事業化に向けて高浜町および若狭町によるスマートタウン等の整備に向けた計画策定費等を支援 ・外部人材を招聘し、若狭町におけるIoTを活用したサービス導入検討に対して支援 <p>原子力リサイクルビジネスの育成</p> <p>○ 地元企業等による連合体結成に向け、廃止措置工事に伴って発生するクリアランス対象物の再利用ビジネスに必要な設備等を検討</p> <p>【地域戦略部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業内容をより具体化するため、必要となる設備やコスト、スケジュールなどを調査・検討 ・地元企業や地域住民を対象に、本事業の内容や、クリアランス制度に関する意見交換を行う場「ステーキホルダーグループ」を嶺南地域で設け、理解を促進 <p>新たな試験研究炉の利活用促進</p> <p>○ 「もんじゅ」サイトに新たに整備される試験研究炉について、講習会の対象を高校生にも拡充。具体的な活用が見込まれる企業に対するニーズ調査の対象を県外へ広げ、地元機関が参加するコンソーシアム会議で利用ニーズを集約し、国が行う概念設計等に反映</p> <p>【地域戦略部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内企業の活用ニーズ調査のため、繊維・化学やR I 関連企業など約270社へアンケート調査（約60社より回答有） ・県内企業および高校生、大学生向けの講習会を開催（計10回） ・近畿大学原子力研究所への視察バスツアーを実施（1回） 	<p>支援する市町数 5市町（R3:3市町）</p> <p>5市町（3月末）</p> <p>講習会等参加者数 150人（R3:150人）</p> <p>487人（3月末）</p>

政策7 Society5.0時代の新産業創出

指標	実行プラン 記載の現状	2019年	実績 (2020年度)	実績 (2021年度)	実績 (2022年度)	目標 (2024年度)	達成度
製造業の1人当たり付加価値額 (工業統計から県推計)	1,020万円/人 (2017)	1,060万円/人 (2018)	1,060万円/人 (2018)	1,105万円/人 (2019)	1,054万円/人 (参考値) (2020)	1,173万円/人 (2024)	—
宇宙産業における県内企業の売上額 (福井県調べ)	2億円 (2018)	2億円 (2019)	2.3億円 (2020)	6.6億円 (2021)	8億円 (2022)	23億円 (2024)	◎
ヘルスケア産業売上額 (福井県調べ)	111億円 (2018)	126億円 (2019)	138億円 (2020)	137億円 (2021)	— (5月公表予定)	155億円 (2024)	—
県内企業によるI・o・T・A・I等を活用したサービス提供数 (福井県調べ)	6件 (2018)	16件 (2019)	9件 (2020)	22件 (2020～2021計)	35件 (2020～2022計)	50件 (2020～2024計)	○
本社機能移転・拡充件数 (福井県調べ)	—	1件 (2019)	2件 (2020)	7件 (2020～2021計)	10件 (2020～2022計)	5件 (2020～2024計)	◎
嶺南地域においてVPPに参加する箇所数 (福井県調べ)	—	—	22箇所 (2020)	25箇所 (2021)	73箇所 (2022)	100箇所 (2024)	◎
廃止措置工事への県内企業参入割合 (福井県調べ)	約4割 (2018)	約5割 (2019)	約5割 (2020)	約5割 (2021)	2023年12月 とりまとめ予定	5割 (2024)	—

(達成度の区分) ◎…想定を超えて進捗、○…概ね順調に進捗、△…対策強化が必要、※…特殊事情による、中止、延期等、—…判断時期未到来

令和5年度の対応

【施策7-1】成長産業へのチャレンジ応援

- 産業技術総合研究所「北陸デジタルものづくりセンター」と連携し、デジタルものづくりをテーマとした共同研究プロジェクトを実施

【施策7-2】AI・IoTなど技術革新を活かした新サービスの創出

- 国内外の企業の実証プロジェクトを誘致する未来技術活用プロジェクトを通じて、先端技術・サービスを活用した地域課題解決を支援
- 県内中小企業等のDX推進に向けて、IoTやAI等のデジタル技術を活用して行うモデル的な取組みを支援

【施策7-3】多様な企業誘致の推進

- 都市圏と変わらない給与や待遇の企業への上乗せ支援など、企業規模に関わらず若者や女性が働きやすい魅力ある企業の誘致を推進
- 企業立地セミナーでの知事トップセールスや民間企業との連携によるオンラインセミナー・トライアルツアーなどの誘致活動により、先端企業等の県内立地を推進

【施策7-4】嶺南Eコストの実現

- 共創会議で示された取組について、国や立地市町、電力事業者等と連携して実施
- 原子力リサイクルビジネスにおいて、企業連合体が行う廃棄物の集中処理に必要な施設・設備等の検討
- スマートエネルギーエリア形成に向けて、外部専門人材を活用し、嶺南市町のスマートタウン整備を支援
- 新たに設置される試験研究炉の利用促進に向けた周知活動やニーズの掘り起こしを実施

政策 8 拡大する世界市場をふくいの成長へ



目指す姿	主な施策	目標 (K P I)
<p>【施策 8-1】 ○海外ネットワークの新展開</p> <p>県海外事務所やジェトロ、現地の貿易サポート会社等と連携し、世界の幅広い地域でのネットワークを構築することにより、県内企業の国際ビジネス展開を活性化する。</p>	<p>アジア・環日本海諸国でのビジネス展開の強化</p> <p>○ 県海外事務所（上海・バンコク）を拠点に、アジア・環日本海諸国での展示会への出展支援や海外企業の信用調査等を実施し、県内企業のビジネス展開を支援 【産業労働部】</p> <p>・ 県内企業からの依頼により、新規取引先や商談先の海外企業の信用調査を48件実施 ・ 中国国際輸入博覧会、Food Japan Singapore、(一財)自治体国際化協会主催の日本の食材の魅力を伝える事業への参加により、合計県内企業7社の販路開拓を支援</p> <p>海外ネットワークの活用</p> <p>○ 「ふくいグローバルビジネスプラザ」を拠点に、上海・バンコクの各サポートセンターをつなぎ、県内企業の販路開拓や海外拠点開設等に関する相談対応を実施 【産業労働部】</p> <p>・ 「ふくいグローバルビジネスプラザ」において、県内企業からの303件の相談に対応 ・ 新型コロナウイルスによる影響等を現地関係機関から情報収集し、県内企業へ提供 ・ 世界的なUDI規制（機器固有識別規制）の実施に伴い、県内の眼鏡会社から問い合わせが多数寄せられたことから、JETROと協力しUDIに関するセミナーを開催</p>	<p>・ 新規輸出件数 65件 (R3:64件)</p> <p>65件 (3月末)</p> <p>・ 相談件数 360件 (R3:323件)</p> <p>303件 (3月末)</p> <p style="text-align: right;">縮小</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策8-2】 ○福井の文化や食を活かした海外売り込みの強化</p> <p>食や伝統工芸品等の本県産品の販路開拓を促進し、拡大する世界市場を取り込むことにより本県の経済成長を実現する。</p>	<p>「ミッション型海外事務所」の設置</p> <p>○「ふくいパブリックビジネスサポートセンター」において、現地バイヤー向けに県産品のPR商談会を開催するとともに、県内企業の商品の営業代行を実施 【産業労働部】</p> <p>・フランス人デザイナーを交え県内企業8社の商品を選定し営業代行を実施。 ・営業代行で得られたバイヤーの反応は、都度県内企業に伝え営業戦略の改善。 また、県内企業に対し輸送・通関や海外送金に関するレクチャーも実施 ・営業代行商品のPR商談イベントの開催や、バイヤーの購入を促すためのトライアル販売を実施</p> <p>越境ECの活用</p> <p>○越境ECの参入対象国や参入形態の選定、販売促進策等について専門家による伴走型支援を実施 【産業労働部】</p> <p>・県内企業10社に対し、越境ECへの取組みの段階に応じて専門家による伴走型のコンサルティングを実施 ・ターゲットとする国やEC形態の選定、越境ECサイトの選定方法、参入後の販売促進策等についてアドバイスを実施</p> <p>海外展開の支援強化</p> <p>○繊維企業の非衣料分野への進出や新商品開発に加え、海外アパレル市場での販路拡大に向けた国際環境認証取得の支援を実施 ※再掲（施策6-2） 【産業労働部】</p> <p>・産地組合（3団体）による展示会出展等や繊維企業（7社）の新商品開発・技術開発を支援し、市場の新規開拓や販路拡大を後押し ・コーディネーターによるセミナー開催や個別訪問を通じ、繊維企業の環境認証取得を推進 ・生地が残反等のリサイクルを調査・提案するコーディネーターを配置し、リサイクル方法を実証</p> <p>○眼鏡企業の国内外の国際展示会への出展や産地組合の情報発信力の強化を支援し、福井の眼鏡の販路開拓や認知度向上を促進 ※再掲（施策6-2） 【産業労働部】</p> <p>・リアル開催の東京国際メガネ展への共同出展(26社)を支援し、販路開拓を後押し ・産地をPRするコーディネーターを新たに配置し、国内の眼鏡小売店と連携した販売促進について現地訪問・調査を実施</p>	<p>・新規輸出件数 65件（R3:64件）</p> <p>65件（3月末）</p> <p>・越境ECサイトへの出店企業 30社（R3:20社）</p> <p>37社（3月末）</p> <p>・環境認証取得支援企業数 2社（R3:1社）</p> <p>1社（3月末） 縮小</p> <p>・展示会での成約件数 4,100件（R3:1,279件）</p> <p>2,083件（3月末） 縮小</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p data-bbox="831 116 1211 145">「ふくいのおいし」の輸出拡大（再掲）</p> <p data-bbox="819 156 1682 260">○ 営業代行やオンライン商談会などにより、県内事業者の海外販路開拓の機会を確保するとともに、米について、新品種米の実証栽培の拡大、初輸出を行うとともに、香港・台湾での営業と併せたレセプションや即売・商談会の開催を進め、アジアへの販路を拡大 ※再掲（施策5-2） 【農林水産部】</p> <div data-bbox="846 268 1686 435" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 香港・台湾にて、百貨店等での福井フェアや業者向けの試食商談会を開催（10～2月） ・ 多収・良食味の新品種米「シャインパール」の国際商標等を取得。12月には名称発表と初出荷を行い、JA福井県とシンガポールでのトップセールスを実施（2月） ・ シンガポール、タイを対象に営業代行を設置（6～3月） ・ マカオ、ベトナムのバイヤーとのオンライン商談会を開催（9/14、15） </div> <p data-bbox="819 472 1682 520">○ 輸出先のニーズ、規制等に対応した生産販売計画の作成や加工施設の整備を支援 ※再掲（施策5-2） 【農林水産部】</p> <div data-bbox="846 536 1686 603" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 輸向け産地づくりのための市場調査や商品改良を支援（5事業者） ・ 輸出に必要なHACCP等認証に対応した施設・設備の整備を支援（2事業者） </div> <p data-bbox="831 643 1066 671">港を活かした貿易拡大</p> <p data-bbox="819 683 1682 762">○ 敦賀港において、鞠山南地区国際物流ターミナルの拡張事業（岸壁延伸・ふ頭用地埋立）を推進 【土木部】</p> <div data-bbox="846 770 1686 837" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国への要望活動を実施し、岸壁延伸の令和5年度新規事業化決定 ・ ふ頭用地の埋立・舗装等の工事を実施し、一部供用開始 </div> <p data-bbox="819 871 1682 935">○ 福井港において、北防砂堤の延伸、中央航路の浚渫による航路確保 【土木部】</p> <div data-bbox="846 943 1686 1010" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 航路幅確保のための浚渫工事を実施 </div>	<p data-bbox="1727 156 2119 209">・ アジアへの農林水産物・食品輸出額 18億円（R3:16億円）</p> <div data-bbox="1742 268 2125 331" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">R5.5月集計予定</div> <p data-bbox="1727 472 1872 520">・ 支援件数 6件（R3:5件）</p> <div data-bbox="1742 536 2125 603" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">7件（3月末）</div> <p data-bbox="1727 683 1984 754">・ 敦賀港の取扱貨物量 16,700千トン（1～12月） （R3:16,738千トン）</p> <div data-bbox="1742 770 2125 837" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">16,939千トン（1～12月）</div> <p data-bbox="1727 871 1895 919">・ 航路幅 230m（R3:220m）</p> <div data-bbox="1742 943 2125 1010" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">220m（3月末）</div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>インバウンドの拡大</p> <p>○ 新たなインバウンド市場として経済発展著しいフィリピン・ベトナムをターゲットに、温泉やグルメ等国民性にあわせたコンテンツを発信 【交流文化部】</p> <div data-bbox="846 229 1688 363" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東南アジアの旅行博「VITM」（ベトナム）、「TTE」（フィリピン）におけるPRや、現地の旅行社へのセールスコールを実施（12月、2月） ・ フィリピンの有名俳優を招聘（1月）し、SNSによる情報発信を行ったほか、福井県在住の留学生等のSNSを活用し、国ごとに受けるコンテンツを調査 </div> <p>○ 海外富裕層の関心が高いZENをテーマにした旅行商品の磨き上げや現地での「salon de ZEN」イベントの開催 【交流文化部】</p> <div data-bbox="846 469 1688 635" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ フランス、スペイン、アメリカの旅行社が、それぞれの国民性を踏まえ、ZENをテーマに、禅と伝統工芸やアクティビティ等が体験できるハイエンド向けの旅行商品を造成 ・ 10月の訪日旅行再開にあわせ、パリでは初となる現地イベント「ZEN, Alive. Fukui」を開催（10月）し、メディアや旅行社など15社にプロモーションを実施 </div> <p>○ 大阪万博などにより訪日客が見込まれる関西の観光団体等と連携し、伝統工芸やアクティビティなどテーマ性を持った広域周遊観光ルートを開発 【交流文化部】</p> <div data-bbox="846 756 1688 874" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ “伊賀、琵琶湖から福井を巡る田園風景と伝統工芸の旅”、“京都北部から若狭地域を巡る農漁村体験旅行”を造成し、旅行社で販売開始 ・ 今後、大阪・関西万博に向け、関西の観光団体等と連携しプロモーションを強化 </div> <p>○ 市町が選定する重点整備エリア内における多言語化や無料エリアWi-Fi、キャッシュレス決済・免税店等の整備を支援 【交流文化部】</p> <div data-bbox="846 963 1688 1027" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 美浜町の道の駅や三方五湖周辺の観光施設における多言語表示等の整備を支援 ・ インバウンドアドバイザーの支援等により、新たに5店舗が免税店として登録 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ KOL（多くのフォロワーを持つインフルエンサー）のSNSリーチ数 10万件（R3:-） <div data-bbox="1742 229 2123 293" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">27.2万件（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ イベント参加者 100名（R3:-） <div data-bbox="1742 469 2123 533" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">67名（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広域周遊観光ルートの共同開発件数 1件（R3:1件） <div data-bbox="1742 756 2123 820" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">2件（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市町に対する整備支援件数 6件（R3:5件） <div data-bbox="1742 963 2123 1027" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">1件（3月末）</div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策8-3】 ○国際交流の推進</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">歴史的につながりの深い環日本海諸国や経済交流が進む東南アジア諸国、欧米諸国等と、地域や民間レベルでの交流を進め、グローバル化に対応した国際人材の育成等を図るとともに、交流の基盤を企業の海外展開や誘客に活かす。</p>	<p>青少年交流や地域間交流の推進</p> <p>○ 中国浙江省、ドイツハールブルク郡ヴィンゼン市、米国フィンドレー市と青少年や研修生の相互派遣など人的交流を実施 【産業労働部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・ アフターコロナにおける人的交流の再開に向けて、友好都市と継続的に協議</p> </div> <p>留学生や県内企業に勤務する外国人等を通じた交流推進</p> <p>○ 県内在住外国人をFukuiレポーターズに、県内滞在経験がある外国人を福井県友好大使に委嘱し、SNS等で新幹線開業など福井県の魅力を国内外に発信 【産業労働部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・ 県のSNSで海外向けに発信する情報（技術や伝統工芸、観光や食べ物、自然など）をFukuiレポーターズや福井県友好大使を通じて国内外に投稿・発信（約200件） 県内在住外国人をFukuiレポーターズに委嘱（12/22 29人） 福井県を離れる外国人を友好大使に委嘱（7/4 27人、2/24 16人）</p> </div> <p>国際協力の推進</p> <p>○ 中国浙江省とブラジルから技術研修員を受入れ、同省国の経済発展に寄与するとともに、本県との経済交流に繋がる人的ネットワークを構築 【産業労働部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・ 県内製菓店、珈琲豆店にてブラジルから2名受入し、支援 ・ 県内の小学校2校とブラジルの日本語学校の絵画交流に協力</p> </div>	<p>・ 海外機関等との交流や協力関係の構築（累計） 316件（R3:260件）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>306件（3月末）</p> </div> <p>・ レポーターズおよび友好大使の委嘱者数 80人（R3:68人）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>72人（3月末）</p> </div> <p>・ 技術研修員の受入人数（累計） 436人（R3:-）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>438人（3月末）</p> </div>

政策8 拡大する世界市場をふくいの成長へ

指標	実行プラン 記載の現状	2019年	実績 (2020年度)	実績 (2021年度)	実績 (2022年度)	目標 (2024年度)	達成度
県輸出額 (福井県の貿易)	1,861億円 (2017)	2,247億円 (2018年)	2,080億円 (2019年)	1,679億円 (2020)	2,162億円 (2021)	2,000億円 (2024)	○
新規輸出件数 (福井県調べ)	50件 (2014～2018平均)	53件 (2019)	47件 (2020)	64件 (2021)	65件 (2022)	80件 (2024)	○
越境ECサイトへの出店企業 (福井県調べ)	— (2018)	8社 (2019)	18社 (2020)	20社 (2021)	37社 (2022)	60社 (2024)	◎
海外機関等との交流や協力関係の構築 (福井県の国際化の現状)	253件 (2018)	253件 (2019)	260件 (2020)	260件 (2021)	306件 (2022)	360件 (2024)	○
アジアへの農林水産物・食品輸出額 (福井県調べ)	8億円 (2017)	9.8億円 (2018)	13億円 (2020)	16億円 (2021)	— (5月集計予定)	22億円 (2024)	—
クルーズ客船寄港回数 (福井県調べ)	5回 (2018)	6回 (2019)	0回 (2020)	0回 (2021)	3回 (2022)	10回 (2024)	○

(達成度の区分) ◎…想定を超えて進捗、○…概ね順調に進捗、△…対策強化が必要、※…特殊事情による、中止、延期等、—…判断時期未到来

令和5年度の対応

<p>【施策8-1】海外ネットワークの新展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上海、バンコクの海外事務所のネットワークを活かし、海外企業の招聘等により、県内企業に海外バイヤーとの商談の機会を提供し、海外販路開拓にチャレンジする県内企業を支援 ・米国等高所得国への高付加価値製品の販路開拓方策について検討 <p>【施策8-2】福井の文化や食を活かした海外売り込みの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意欲のある県内企業の海外販路開拓を後押しするため、グループで海外での展示会等に出展する県内企業を支援 ・ZENの認知度が高い欧米をターゲットに、禅や伝統工芸など福井が誇る本物のコンテンツを活用したインバウンド誘客を実施 <p>【施策8-3】国際交流の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井県を離れる外国人を友好大使、県内在住外国人をFukuiレポーターズに委嘱し、各自のSNS等を通じて、福井県の魅力をPR ・アフターコロナにおける人的交流の再開に向けて、友好都市と継続的に協議
--

政策 9 100年に一度のまちづくり



目指す姿	主な施策	目標 (KPI)
<p>【施策 9-1】 ○北陸新幹線など高速交通網の整備促進</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">令和5年度末の北陸新幹線福井・敦賀開業の確実な実現と、北海道新幹線札幌開業（令和12年度末）頃までの全線開業、幹線道路網の構築により広域的な物流・交流を担う県土の骨格を形成する。</p>	<p>北陸新幹線の整備促進</p> <p>◀金沢・敦賀間▶</p> <p>○ 令和5年度末までの確実な開業と地方負担の更なる縮減に向け、工程・事業費管理連絡会議を通じて、機構の事業執行を確認するとともに、沿線自治体等と連携して政府・与党に要請 【地域戦略部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・ 毎月の工程・事業費管理連絡会議において、工程・事業費ともに計画の範囲内で進捗していることを確認するとともに、令和5年度末までの確実な開業を政府・与党に要請（連絡会議：4/21、5/27、6/28、7/26、9/1、9/30、10/31、11/28、12/22、1/30、3/3、3/29 要請：4/20、5/24、5/31、7/15、8/8、11/16）</p> </div> <p>◀敦賀・新大阪間▶</p> <p>○ 令和5年度当初の着工に向けて山場を迎えることから、関西をはじめとする沿線自治体・経済界と連携して政府・与党への働きかけを強化するとともに、関西の機運醸成に向けてイベントの開催など情報発信を強化 【地域戦略部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・ 北陸新幹線建設促進同盟会や県として、政府・与党への要請活動を11回実施（4/20、5/24、5/31、7/15、8/8、8/26、10/24、11/7、11/8、11/16、12/15）</p> <p>・ シンポジウム等の機運醸成イベントの開催や関西向けパンフレットの作成、早期全線開業レポートの発刊、SNSの活用など、関係自治体等と連携し、情報発信を強化</p> </div> <p>福井・敦賀開業時の利便性確保</p> <p>○ 敦賀駅におけるスムーズな乗り継ぎなど県民の利便性が確保されるよう、沿線自治体・経済界と連携して政府・与党に要請するとともにJRと協議 【地域戦略部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・ 福井・敦賀開業時に利便性が確保されるよう、政府・与党へ要請するとともに、JRと継続的に協議（要請：4/20、5/24、5/31、7/15、8/8、10/24、11/16）</p> </div>	<p>・ 土木工事およびレール敷設工事の完了</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>土木工事4月完了 レール敷設工事10月完了</p> </div> <p>・ 3駅舎（芦原温泉駅、福井駅、越前たけふ駅）の完成</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>芦原温泉駅9月完成、福井駅8月完成、越前たけふ駅9月完成</p> </div> <p>・ 敦賀以西の延伸のための政府予算の確保</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>令和5年度政府予算において、「北陸新幹線事業推進調査」12億円強を計上</p> </div>

目指す姿	主な施策	目標（K P I）
	<p data-bbox="831 121 1077 148">高規格道路の整備促進</p> <p data-bbox="819 156 1686 209">○ 中部縦貫自動車道大野油坂道路の早期開通に向け、トンネルや橋梁等の工事促進 【土木部】</p> <div data-bbox="846 212 1686 312" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国土交通省、財務省、与党への要望活動を実施 (5/29、5/31、8/2、8/10、8/31、11/11、11/24、12/15、2/1) ・ 10本あるトンネルの6本目が貫通するなど、順調に工事が進められている </div> <p data-bbox="819 347 1686 400">○ 舞鶴若狭自動車道の全線4車線化に向け、舞鶴東～小浜間の工事着手および未事業化区間の早期事業化 【土木部】</p> <div data-bbox="846 403 1686 475" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国土交通省、高速道路会社への要望活動を実施（5/31、7/25、8/31、10/31、3/2） ・ 道路設計等が進み、4車線化の着工となる県境部のトンネル工事が公告 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年度内に一部区間開通 <div data-bbox="1738 212 2123 276" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 大野～勝原間が開通（3/19） </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年度内に4車線化の工事着手 <div data-bbox="1738 403 2123 475" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> トンネル工事が公告中（3月末） </div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策9-2】 ○新幹線駅周辺のまちづくり</p> <p>北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、新幹線駅設置市と協働し、駅周辺に各地域の特長を活かした魅力的な空間を形成し賑わいを創出する。</p>	<p>県都のまちづくり</p> <p>○ 福井駅前電車通り北地区（A街区、B街区）、福井駅前南通り地区において、再開発組合に対して補助を行う福井市を支援 【土木部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北地区（A街区）において建築工事等に対する支援を実施 ・北地区（B街区）において解体工事等に対する支援を実施 ・南通り地区において権利変換計画の作成に対する支援を実施 <p>○ 経済界が主体となり県・市が参画する「県都にぎわい創生協議会」において、県都の将来像を構想する県都のグランドデザインを策定するとともに、新幹線福井・敦賀開業に向けたプロジェクトを具体化 【地域戦略部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県都にぎわい創生協議会（2回開催）において「県都グランドデザイン」を策定 ・プロジェクトを推進する「県都デザイン推進会議」を設け（11月）、主要事業について議論 <p>○ 福井駅周辺を魅力ある商業エリアとするため、「県都まちなか再生ファンド」を活用し、県・市・地域金融機関が連携して福井駅中心市街地の店舗改装や空き店舗の改修等を支援 【産業労働部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央1丁目、中央3丁目を対象としたリノベーション支援事業を開始し、飲食店の新規出店や小売店の店舗改修を支援 ・福井駅周辺のまちづくり推進のため、まちづくり会社に専門スタッフを配置し、エリアマネジメント機能を強化 <p>○ 「福井城址活用検討懇話会」の提言に基づき、福井城址活用フォーラムの開催や石垣のライトアップ整備など、福井城址の活用を推進 【地域戦略部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井城址についての理解を深める福井城セミナーを開催（3回） ・本丸西側の石垣ライトアップ整備や福井城の史料・文献調査などを実施 	<p>・年度内にB街区の建築工事に着手</p> <p>縮小</p> <p>年度内にB街区建築工事着手の前提となる解体工事は概ね完了</p> <p>・年内に県都のグランドデザインを策定</p> <p>県都グランドデザインを策定（10月）</p> <p>・商店街の店舗改装支援件数8件（R3:-）</p> <p>10件（3月末）</p> <p>・年度内に西側のライトアップ整備完了</p> <p>西側のライトアップ整備完了（3月）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>新幹線駅周辺の整備</p> <p>○ 新幹線駅設置市が主体的に進める駅前広場や観光交流センターなど新幹線駅周辺の整備を支援 【地域戦略部】</p> <div data-bbox="846 229 1686 371" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 芦原温泉駅 西口交通広場、西口賑わい施設「アフレア」の工事が完了 ・ 福井駅 福井市観光交流センターの工事が完了 ・ 越前たけふ駅 駅前広場、道の駅「越前たけふ」の工事が完了 ・ 敦賀駅 新幹線駅前広場の工事等を促進 </div> <p>○ 県・敦賀市・民間団体による「金ヶ崎周辺魅力づくり協議会」を設置し、金ヶ崎地区を中心に氣比神宮など周辺エリアを含むまちづくり構想を策定 【地域戦略部】</p> <div data-bbox="846 488 1686 596" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 金ヶ崎周辺魅力づくり協議会（2回開催）に加え、氣比神宮周辺魅力アップWG（4回開催）において、金ヶ崎地区や氣比神宮周辺エリアの魅力向上策などについて検討 </div> <p>○ 開業遅延に伴う影響を軽減するため、まちづくり等への継続的な支援を国に要請 【地域戦略部】</p> <div data-bbox="846 708 1686 783" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくりや観光など開業に向けた取り組みを継続的に支援するよう国へ要請（4/20、5/24、5/31、7/15、8/8、11/16） </div> <p>○ 敦賀市中心部をにぎわいあるものとし、観光客の呼び込む核となるエリアのリノベーションを進めるため、県・市・地域金融機関が連携して中心市街地の店舗改装や景観整備等を支援 【追加】【産業労働部】</p> <div data-bbox="846 911 1686 1026" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県、敦賀市、敦賀商工会議所等経済界が連携し、敦賀市店舗等魅力向上支援事業運営委員会を設立 ・ 敦賀駅前から敦賀港エリアまでの商店街を対象に個店、大規模物件の支援を開始 </div> <p>新幹線駅のアクセス道路を整備</p> <p>○ 新たな新幹線駅へつながる道路を整備し、円滑な駅へのアクセスを確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 芦原温泉駅 芦原温泉停車場北野線 ・ 越前たけふ駅 越前たけふ駅線、武生インター線 ・ 敦賀駅 敦賀駅東線 【土木部】 <div data-bbox="846 1209 1686 1323" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 芦原温泉駅 歩道整備等を実施 ・ 越前たけふ駅 道路改良工事を実施 ・ 敦賀駅 道路改良工事を実施 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 芦原温泉駅、福井駅、越前たけふ駅の駅周辺整備工事の年度内完了 <div data-bbox="1738 229 2123 296" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>芦原温泉駅西口、福井駅、越前たけふ駅の周辺整備工事完了（3月）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年度内に金ヶ崎周辺のまちづくり構想を策定 <div data-bbox="1738 488 2123 555" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>令和5年度の早期策定に向けて検討中</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地の店舗改装等支援件数6件（R3:-） <div data-bbox="1738 911 2123 978" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>5件（3月末） 【追加】</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 芦原温泉停車場北野線、越前たけふ駅線、武生インター線の年度内完成 <div data-bbox="1738 1209 2123 1323" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>芦原温泉停車場北野線：3月10日完成 越前たけふ駅線、武生インター線：3月18日供用開始</p> </div>

目指す姿	主な施策	目標（K P I）
<p>【施策9-3】 ○地域の公共交通システムの構築</p> <p>二次交通の利便性向上を図り、北陸新幹線福井・敦賀開業による交流を県内全域に広げ、利用者の増加により地域交通の維持・確保を実現する。</p>	<p>主要交通拠点からの二次交通の充実</p> <p>○ 県内新幹線駅からの二次交通について、市町・交通事業者等と対策を検討・実施。特に、新駅となる越前たけふ駅について、越前市や周辺市町とともに二次交通のあり方について検討 【地域戦略部】</p> <p>・ 嶺北地域公共交通活性化協議会などにおいて、新幹線駅からの2次交通について現状を分析し、強化策を検討 ・ 越前たけふ駅のアクセスについて、定額タクシーの活用やデマンド交通の実証を今後実施予定</p> <p>○ 北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、市町や事業者とともに観光型MaaSや、公共交通のロケーションシステムの導入、キャッシュレス化などの利便性向上策を推進 【地域戦略部】</p> <p>・ JR西日本の観光型MaaSを北陸に拡大し「tabiwa」をリリース、周遊バス等の販売開始（11月） ・ 路線バスへの交通系ICカード導入を支援（9月補正予算）。新幹線開業までに運用開始予定 ・ 福井鉄道とえちぜん鉄道において、交通系ICカードを導入することを決定し、詳細な整備内容を検討</p> <p>持続可能な交通ネットワークの構築</p> <p>○ 嶺北地域の地域公共交通計画の策定に向け、市町や事業者とともに法定協議会を設置し、持続可能な交通ネットワークのあり方について検討 【地域戦略部】</p> <p>・ 嶺北地域公共交通活性化協議会を設立（4月） ・ 協議会を3回（6月、11月、3月）開催し、現状分析を踏まえ施策の方向性について取りまとめ</p> <p>○ サイクリングルート の環境整備のため、シェアサイクル設置の検討や自転車の駅の充実・拡大を推進 【地域戦略部】</p> <p>・ 福井市内においてシェアサイクルサービス 新「ふくチャリ」を開始（3月） ・ 若狭湾サイクリングルート上の自転車の駅の充実のため、市町が実施する自転車の駅整備に対し支援</p>	<p>・ 公共交通機関利用者数 1,800万人（R3:1,653万人）</p> <p>R5.9月頃公表予定</p> <p>・ 今年度中に観光型MaaSに掲載する周遊パスの商品化</p> <p>JR西日本の観光型MaaS「tabiwa」にて周遊バスを販売(11月)</p> <p>・ 嶺南地域のコミバス等に交通系ICカードを導入</p> <p>嶺北地域を含め、路線バスや地域鉄道等への導入を決定し、支援を実施</p> <p>・ 令和5年度の計画策定に向け現状調査等を実施</p> <p>現状調査や課題整理等を実施、施策案を検討</p> <p>・ 嶺南地域の自転車の駅を新たに整備12か所（R3:13か所）</p> <p>12か所（3月末） （敦賀市内3カ所、小浜市内1カ所、高浜町内5カ所、おおい町内3カ所）</p>

目指す姿	主な施策	目標（K P I）
	<p>地域鉄道の運行への支援</p> <p>○ 福井鉄道・えちぜん鉄道において、車両更新や道床更新など、安全・安定運行に必要な設備更新を計画的に支援 【地域戦略部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福井鉄道への新型車両フクラムライナーの導入、えちぜん鉄道への除雪車の導入など車両更新 ・ マクラギやレールの交換、信号保安設備の更新など安全・安定運行に必要な設備更新について支援 </div> <p>○ 福井鉄道の次期支援スキーム（令和5年度～）について、沿線市とともに検討 【地域戦略部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県、沿線市、鉄道事業者による作業部会を開催（3回） ・ 福井鉄道福武線活性化連携協議会（2/14）において令和5年度以降の次期支援スキーム（R5～9）を決定 </div> <p>並行在来線の開業・運営</p> <p>○ 並行在来線会社を本格会社へと移行させるため増資を実行 【地域戦略部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県、全市町、民間企業および鉄道・運輸機構により、並行在来線会社の企業力を強化する増資を実施（7月：6億円→25.2億円） </div> <p>○ 並行在来線会社において設置が決定された新駅について、開業後、速やかに工事着手できるよう、同社の取組みを支援 【地域戦略部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 越前市の新駅（王子保・武生間）について、ハビラインが基本設計等を実施 ・ 福井市の新駅（福井・森田間）について、「近町踏切」付近と決定（1/11福井市からハビラインに提言）し、整備に向けて意見交換（2/20、3/22） </div> <p>○ 駅まち空間の魅力づくり、利用促進に取り組む地域活動の創出・支援など、利用促進に向けた取組みに着手 【地域戦略部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅まち魅力づくり支援事業にかかる沿線市町との勉強会を開催（計7回） ・ 鯖江市（鯖江駅）および越前市（新駅）の駅周辺整備計画について、事業計画認定審査会を開催（11/4）。意見を反映し、計画を認定（3月末） ・ 並行在来線の利用促進に取り組む地域団体の活動を支援（7団体） ・ 開業1年前イベントとして有識者講演会を開催（3/5） </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次期支援スキームを年度内に決定 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>次期支援スキーム（期間：R5～9年度）が決定（2/14）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7月頃に増資を実行 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>7月に増資を実施（6億円→25.2億円）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本設計を年度内に完了（王子保・武生間） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>新駅（王子保・武生間）の基本設計が完了（3月末）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅まち魅力づくり 計画策定3ヶ所、事業認定1ヶ所 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>計画策定2ヶ所、事業認定2ヶ所（3月末）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活動を支援する団体数 7団体（R3:-） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>7団体（3月末）</p> </div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p data-bbox="846 124 1240 148">地域鉄道の連携による利用促進の強化</p> <p data-bbox="824 156 1659 212">○ 福井鉄道とえちぜん鉄道が連携して、ゲームアプリを活用したイベント等を開催し、県外からの誘客を拡大する取組みを実施 【地域戦略部】</p> <div data-bbox="846 240 1686 368" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内外の観光客が楽しめる鉄道のゲームアプリ（駅メモ！&アワメモ！）を活用したデジタルスタンプラリーを実施 ・ 福井鉄道、えちぜん鉄道 実施期間：R3. 3. 25～R4. 11. 30 ・ J R 小浜線 実施期間：R4. 12. 20～R5. 5. 7 </div> <p data-bbox="846 411 1227 435">J R 小浜線・越美北線の利便性を向上</p> <p data-bbox="824 443 1659 499">○ 新幹線開業に向け、嶺南地域の公共交通の充実を図るため、嶺南鉄道整備促進基金を活用し、美浜駅の駅前広場整備等の環境整備を実施 【地域戦略部】</p> <div data-bbox="846 528 1686 655" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 美浜駅の利便性を向上させる駅前広場のシェルターを整備（3月完成） ・ 美浜駅舎内のWi-Fi整備（7月完成）やトイレ改修等（7月完成） ・ 三方駅、十村駅、上中駅において、駅からの案内機能を強化する案内看板のリニューアルを実施（3月） </div> <p data-bbox="824 699 1659 754">○ 鉄道を利用したイベント等の開催や企画ツアーの実施により、新たな利用者層の獲得を図る利用促進の取組みを行う沿線市町を支援 【地域戦略部】</p> <div data-bbox="846 783 1686 983" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ J R ローカル線の新たな利用者層の獲得を図るサイクルトレイン（9/11、10/16、11/12）、山城巡り列車（10/23）、酒蔵巡り（11/19）などの企画列車を運行 ・ 観光列車「くろまつ号」の運行（10/1、2、8、9）など小浜線開業100周年記念イベントを実施 ・ タイムカプセルイベントなど越美北線開業50周年記念イベントを実施 </div> <p data-bbox="824 1026 1659 1082">○ J R ローカル線を含めた地域鉄道の維持・活性化を図るため、国に対し支援制度の創設や法制化等を要請 【地域戦略部】</p> <div data-bbox="846 1094 1686 1150" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県独自に法制化も含めた運営費支援制度の創設等を国に要望（4/20、5/31、7/15） ・ 全国知事会やブロック知事会で国への要望をとりまとめ要請（5回） </div>	<p data-bbox="1742 156 1973 212">・ イベント等の参加者数 1万人（R3：-）</p> <div data-bbox="1742 240 2123 304" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="1765 248 2033 296">福井鉄道・えちぜん鉄道 1.2万人（うち県外者約95%）</p> </div> <p data-bbox="1742 443 1966 499">・ 小浜線利用者数 118万人（R3：113万人）</p> <div data-bbox="1742 528 2123 592" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="1765 552 1933 576">R5. 9月頃公表予定</p> </div> <p data-bbox="1742 699 1944 754">・ 越美北線利用者数 30万人（R3：26万人）</p> <div data-bbox="1742 783 2123 847" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="1765 807 1933 831">R5. 9月頃公表予定</p> </div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策9-4】 ○飛躍するふくいを支える基盤の整備・活用</p> <p>道路ネットワークや地域鉄道、港湾等物流・交流軸の整備により、大交流化時代の産業基盤を確固にし、活力に満ちた地域をつくる。</p>	<p>主要幹線道路ネットワークの構築</p> <p>○ 国道8号 牛ノ谷道路・金津道路の早期工事着手に向け、用地取得に着手 【土木部】</p> <p>・12月に金津道路の用地取得に着手 ・国土交通省等への要望活動を実施(5/31, 8/29, 8/31, 11/8, 2/4)</p> <p>○ 国道417号 冠山峠道路の令和5年内の確実な開通に向け、トンネル舗装工事や橋梁工事、盛土工事等の促進 【土木部】</p> <p>福井県内、岐阜県内ともトンネル舗装工事や橋梁工事、盛土工事等を実施中 ・国土交通省等への要望活動を実施(5/31, 8/29, 8/31, 11/1)</p> <p>○ 福井港丸岡インター連絡道路の早期開通に向け、用地取得、測量調査、橋梁工事等の推進 【土木部】</p> <p>・I期区間：4号橋・5号橋・側道橋の下部工や、アンダーボックス等の工事を実施 ・II期区間：道路設計および西長田地区において物件調査・用地測量等を実施 ・国交省等への要望活動を実施(5/31, 8/31, 11/9)</p> <p>地域をきずく道づくりの推進</p> <p>○ 地域間の交流拡大、連携促進のための道路整備を推進 ・国道365号（4車線化）、国道157号（勝山・大野間4車線化）、国道417号（板垣坂バイパス）、県道福井森田丸岡線、県道常神三方線 等 【土木部】</p> <p>・国道365号（4車線化）において、道路設計および関係者協議を実施 ・国道157号において、測量、道路設計を実施 ・国道417号板垣坂バイパスにおいて、トンネル覆工、明かり部工事を施工 ・県道福井森田丸岡線において、福井市工区の舗装工事を施工、坂井市工区の用地買収を推進 ・県道坂本高浜線において、10号橋および11号橋の上部工を施工</p>	<p>・年度内に用地取得に着手</p> <p>12月に金津道路の用地取得に着手</p> <p>・令和5年内の確実な開通を国に要請4回（R3:4回）</p> <p>4回</p> <p>・年度内に5号橋（仮称）の下部工事完成</p> <p>2月に下部工全基（6基）が完成</p> <p>・道路改良済延長（県管理）1,514km（R3:1,513km）</p> <p>1,516km（3月末）</p> <p>・県道福井森田丸岡線において、年度内に新九頭竜橋（仮称）を供用</p> <p>福井市寺前町～上野本町：10月22日供用開始</p> <p>・県道常神三方線において、年度内に常神トンネルを供用</p> <p>常神～神子：3月11日供用開始</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>○ レインボーライン（三方五湖有料道路）をリフレッシュし、10月1日から無料開放し県道として供用開始 【土木部】</p> <div data-bbox="846 178 1688 245" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> リフレッシュ事業として、舗装や標識などをリニューアル。 10月1日から一般県道三方五湖レインボーライン線として供用。 </div> <p>道の駅等の整備促進</p> <p>○ 道の駅の事業推進 ・越前たけふ、蓮如の里あわら 【土木部】</p> <div data-bbox="846 370 1688 437" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> 道の駅「越前たけふ」において駐車場整備、照明設置などの工事を実施 道の駅「蓮如の里あわら」において駐車場整備などの工事を実施 </div> <p>港湾機能の強化による物流・人流の活性化</p> <p>港のにぎわい創出</p> <p>○ 敦賀港において、鞠山南地区国際物流ターミナルの拡張事業（岸壁延伸・ふ頭用地埋立）を推進 ※再掲（8-2） 【土木部】</p> <div data-bbox="846 644 1688 711" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> 国への要望活動を実施し、岸壁延伸の令和5年度新規事業化決定 ふ頭用地の埋立・舗装等の工事を実施し、一部供用開始 </div> <p>○ 福井港において、北防砂堤の延伸、中央航路の浚渫による航路確保 ※再掲（8-2） 【土木部】</p> <div data-bbox="846 992 1688 1059" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> 航路幅確保のための浚渫工事を実施 </div> <p>○ 新規航路の開拓により敦賀港の利便性を高め、関西や中京圏に加え、首都圏の企業 に対しても港湾セミナー等により敦賀港利用を働きかけ 【産業労働部】</p> <div data-bbox="846 1171 1688 1267" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> 新規航路誘致のため、船社向け個別説明会を実施（3/23） 東京にて企業立地・港セミナーを開催（11/15）。主に首都圏の物流事業者や荷主に対して、県内港湾利用に関わる助成制度等をPR </div> <p>○ ラグジュアリー客船向け寄港地ツアーの造成等により海外クルーズ客船の誘致活動を強化し、寄港の拡大およびラグジュアリー客船の誘致を推進 【産業労働部】</p> <div data-bbox="846 1378 1688 1445" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> 寄港地ツアーの造成等により海外クルーズ客船の誘致を強化し、寄港を拡大 </div>	<p>・ 10月から県道として供用</p> <div data-bbox="1742 178 2123 245" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>10月1日より県道として供用開始</p> </div> <p>・ 年度内に道の駅「蓮如の里あわら」の駐車場舗装工事完了</p> <div data-bbox="1742 370 2123 437" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>舗装工事完了（3月末）</p> </div> <p>・ 敦賀港の取扱貨物量 16,700千トン（1～12月） （R3:16,738千トン）</p> <div data-bbox="1742 644 2123 711" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>16,939千トン（1～12月）</p> </div> <p>・ 埋立土量 100万m³（R3:89万m³完了） ※埋立完了</p> <div data-bbox="1742 836 2123 903" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>100万m³完了（3月末）</p> </div> <p>・ 航路幅 230m（R3:220m）</p> <div data-bbox="1742 992 2123 1059" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>220m（3月末）</p> </div> <p>・ 港湾セミナー参加企業数 160社（R3:152社）</p> <div data-bbox="1742 1171 2123 1238" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>140社（3月末）</p> </div> <p>・ クルーズ客船寄港回数 3回（R3:0回）</p> <div data-bbox="1742 1378 2123 1445" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>3回（3月末）</p> </div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>福井空港の活用</p> <p>○ 宇宙航空研究開発機構（JAXA）による航空技術の実証実験の場として、福井空港の活用を継続 【地域戦略部】</p> <div data-bbox="846 226 1684 293" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空港敷地内にセンサを設置し雪氷モニタリングシステムの研究開発を実施 ・ 空港敷地内に気象レーダーを設置し被雷危険性予測技術の研究開発を実施 </div> <p>○ 福井空港機能強化等チームにおいて、空港ビルを含む空港全体の再整備について検討 【土木部】</p> <div data-bbox="846 395 1684 564" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福井空港機能強化等タスクフォースで策定した「福井空港の将来像と今後の取組方針について」において、空港全体の機能強化に関する方針を提示するとともに、空港ビルの再整備に向けた検討方針を提示。 </div> <p>○ 福井空港の利活用を促進するため、ヘリコプターや小型ジェット機の運航の実現に向けて民間事業者と協議 【地域戦略部・土木部】</p> <div data-bbox="846 676 1684 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 航空事業者や地元、県内各市町、現在の空港利用者と意見交換を行い、「福井空港の将来像と今後の取組方針について」を策定した。 ・ 小型ジェット機の事業運航は、新型コロナウイルスによる出張機会減少により、利用が6回にとどまった。旅客ヘリコプターについては、試験飛行を1回行った </div> <p>小松空港の利用促進</p> <p>○ 小松空港の国際定期路線の運航再開に向けて、石川県と連携して航空会社に働きかけ 【地域戦略部】</p> <div data-bbox="846 1011 1684 1078" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 石川県と連携してバスラッピングやWeb広告の掲出など広報活動を再開（2月～） ・ 令和5年4月から、台北便の運航が再開 </div> <p>コンパクトな都市づくりの推進</p> <p>○ 福井県都市計画マスタープランの改定に向けた基本方針のとりまとめ 【土木部】</p> <div data-bbox="846 1219 1684 1331" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学識経験者で構成する専門部会、関係市町との意見交換、パブリックコメント募集を実施し、全県的な都市計画の指針となる「県全体の基本方針」の改定素案を取りまとめた。 </div>	<p>・ 空港での実証実験（累計） 2件（R3:1件）</p> <div data-bbox="1738 226 2123 293" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">2件（3月末）</div> <p>・ 年度内に空港全体の再整備について方向性を決定</p> <div data-bbox="1738 395 2123 564" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「福井空港の将来像と今後の取組方針について」を策定し再整備の方向性を決定（空港ビルについては、R5～6年度に具体的な構想（案）をとりまとめ）</p> </div> <p>・ 小型ジェット機の運航回数 12回（R3:7回）</p> <div data-bbox="1738 676 2123 743" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">6回（3月末）</div> <p style="text-align: right;">縮小</p> <p>・ 旅客ヘリコプター便の運航</p> <div data-bbox="1738 810 2123 877" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">民間事業者による試験飛行を1回実施</div> <p>・ 年度内に都市づくりの方針を示す「県全体の基本方針」を取りまとめ</p> <div data-bbox="1738 1219 2123 1286" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「県全体の基本方針」の改定素案を取りまとめ</div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策9-5】 ○「WAKASAリフレッシュエリア」の形成</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 将来の北陸新幹線大阪開業に向け、関西への近接性を生かして、まちづくりや産業のプレイヤーを呼び込み、文化的・健康的に暮らせる生活エリアを形成する。 </p>	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">都市との近接性を活かしたライフスタイル先進地の形成</p> <p>○ 嶺南市町におけるスマートタウンの整備に向け、外部専門人材を活用するなどして、エネルギー利用の最適化やIoTを活用した魅力的なまちづくり等、市町の特色ある施策を支援 ※再掲（政策7-4） 【地域戦略部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートタウン整備の事業化に向けて高浜町および若狭町によるスマートタウン等の整備に向けた計画策定費等を支援 ・外部人材を招聘し、若狭町におけるIoTを活用したサービス導入検討に対して支援 </div> <p>○ 民宿における客室の内装改修や設備改修、地域経営型の民宿や旅の目的となる上質な民宿への改修など受入環境の整備を支援 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・民宿の客室改修や設備改修17件を支援 ・小浜市阿納地区が進める地域経営型民宿の改修を支援 ・旅の目的となる上質な民宿整備を1件採択し、専門家の助言を得ながら改修中（R5に繰越） </div> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">まちづくりや産業のプレイヤーの育成・誘致</p> <p>○ 移住支援金制度を県・市町独自で東京圏以外にも拡充し、県内企業への就職や、就農、事業承継など多様な就業とのマッチングを促進。さらに、子どもを帯同して移住する世帯への加算制度を新設し、子育て世帯の移住を促進 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・移住支援金東京圏型を実施する16市町のうち、8市町が子育て加算を実施 ・移住支援金全国型を実施する12市町のうち、9市町が子育て加算を実施 </div> <p>○ 京都に設けた「ふくいとの関わりステーション」で県外学生の地域滞在型キャンプの実施を支援 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・県内3地区（鯖江市、坂井市、小浜市）において実施 ・夏季の長期滞在キャンプや週末等を活用して継続的に来県し、グループごとに設定した地域課題に関わるプロジェクトを実施 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援する市町数 5市町（R3:3市町） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">5市町（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 民宿の宿泊客 151万人（R3:128万人） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">R5.6月公表予定</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 移住支援金マッチング件数 210件（R3:208件） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">223件（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ キャンプ実施地区 2地区（R3:2地区） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">3地区（3月末）</div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>リフレッシュコンテンツの充実</p> <p>○ 「嶺南振興プロジェクト枠予算」で北陸新幹線福井・敦賀開業、さらには大阪までの早期全線開業に向け、観光振興等の地域課題に対し、迅速に対応 【嶺南振興局】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅若狭おばまの情報館改修と外構を整備 ・レインボーライン第3、第4駐車場の舗装等を補修 </div> <p>○ 嶺南6市町を結ぶ若狭湾サイクリングルートの走行環境、受入環境等の整備を実施 【交流文化部・嶺南振興局】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・敦賀～高浜間の路面表示（矢羽根）、案内看板等の設計 ・サイクリングガイド養成講座（8月～10月）、地域事業者向けワークショップ（6月～10月）、住民向けセミナー（11、12月）の開催 ・モニタリングツアー（国内、国外）の実施（9月、10月） ・インスタグラム等SNSを開設し、積極的にルート情報を発信（6月～） </div> <p>○ 三方五湖エリアにおける観光施設等の拠点整備を支援 【交流文化部・嶺南振興局】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・レイクセンター整備、舟小屋改修を支援 ・三方五湖周辺の飲食空間創出のため、古民家を改修したレストラン整備など2件を支援 </div> <p>○ 北陸新幹線福井・敦賀開業に向けた嶺南地域への誘客促進のため、小浜線沿線観光活性化会議を活用して旅行商品の造成や観光型MaaSの導入を促進 【嶺南振興局】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・小浜線で若狭路を巡るモニターツアーを実施（10月～11月、3テーマ9コース） </div> <p>○ 京都丹後鉄道「丹後くろまつ号」小浜線乗入れ運行を活用したメニューの開発や周遊ツアーの旅行商品化、宿泊施設と連携したレストランバスの運行等、新たな取組を実施 【嶺南振興局】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・丹後くろまつ号を小浜線に12便運行（10/1（土）、2（日）、8（土）、9（日）） ・くろまつ号運行に合わせて駅からの周遊ツアーを3コース5本催行したほか、特産品を活用したオリジナルメニュー11品を新規開発して車内で提供 ・レストランバスを6コース13本運行（10/24～11/17） </div> <p>○ 敦賀駅等から三方五湖エリアへの交通手段を確保するための実証バス「ゴコイチバス」を、期間を拡大して運行 【嶺南振興局】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・敦賀駅や美浜駅、三方駅と三方五湖を結ぶ路線バスを運行（9/17-12/11の土日祝）。令和3年度より運行日数を31日間に拡大したほか、立ち寄り促進のためバス停を増設 </div>	<p>・今年度中に敦賀～三方五湖エリア区間の走行環境整備</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>関係機関との協議および設計完了</p> </div> <p>・レイクセンター整備等を支援</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>レイクセンター完成（R5.4月開業） 舟小屋改修完了（R5.3）</p> </div> <p>・旅行会社に提案する周遊ツアー作成3件（R3:-）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>9件（3月末）</p> </div> <p>・新たに開発する料理メニュー数6件（R3:-）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>11件（3月末）</p> </div> <p>・ゴコイチバスの利用者数1,500人（R3:530人）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>737人（3月末）</p> </div>

縮小

目指す姿	主な施策	目標（K P I）
	<p>○ 北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、市町等とともに「嶺南誘客キャンペーン」基本計画を策定 【嶺南振興局】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2024嶺南誘客キャンペーン実行委員会を立ち上げ（5月） ・ 2024嶺南誘客キャンペーン基本計画完成（3月） </div> <p>玄関口の形成と地域交通ネットワークの強化</p> <p>○ 北陸新幹線敦賀・新大阪間の令和5年度当初の着工に向けて山場を迎えることから、関西をはじめとする沿線自治体・経済界と連携して政府・与党への働きかけを強化するとともに、関西の機運醸成に向けてイベントの開催など情報発信を強化 ※再掲（施策9-1） 【地域戦略部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北陸新幹線建設促進同盟会や県として、政府・与党への要請活動を11回実施（4/20、5/24、5/31、7/15、8/8、8/26、10/24、11/7、11/8、11/16、12/15） ・ シンポジウム等の機運醸成イベントの開催や関西向けパンフレットの作成、早期全線開業レポートの発刊、SNSの活用など、関係自治体等と連携し、情報発信を強化 </div> <p>○ 北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、市町や事業者とともに観光型MaaSや、公共交通のロケーションシステムの導入、キャッシュレス化などの利便性向上策を推進 ※再掲（施策9-3） 【地域戦略部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ JR西日本が観光型MaaS「tabiwa」をリリースし、周遊バス等の販売開始（11月） ・ 路線バスへの交通系ICカード導入を支援（9月補正予算）。新幹線開業までに運用開始予定 ・ 福井鉄道とえちぜん鉄道において、交通系ICカードを導入することを決定し、詳細な整備内容を検討 </div>	<p>・ 実行委員会を立ち上げ、年度内に基本計画を策定</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>基本計画完成（3月）</p> </div> <p>・ 敦賀以西の延伸のための政府予算の確保</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>令和5年度政府予算において、「北陸新幹線事業推進調査」12億円強を計上</p> </div> <p>・ 今年度中に観光型MaaSに掲載する周遊バスの商品化</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>JR西日本の観光型MaaS「tabiwa」にて周遊バスを販売(11月)</p> </div> <p>・ 嶺南地域のコミバス等に交通系ICカードを導入</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>嶺北地域を含め、路線バスや地域鉄道等への導入を決定し、支援を実施</p> </div>

政策9 100年に一度のまちづくり

指標	実行プラン記載の現状	2019年	実績 (2020年度)	実績 (2021年度)	実績 (2022年度)	目標 (2024年度)	達成度
公共交通機関利用者数 (福井県調べ)	2,038万人 (2018)	1,996万人 (2019)	1,527万人 (2020)	1,653万人 (2021)	— (9月頃公表予定)	2,119万人 (2024)	—
道路改良済延長(県管理) (福井県調べ)	1,505km (2018)	1,510km (2019)	1,511km (2020)	1,513km (2021)	1,516km (2022)	1,524km (2024)	○
敦賀港の取扱貨物量 (港湾統計)	15,523千トン (2014～2018平均)	17,146千トン (2019)	16,471千トン (2020)	16,738千トン (2021)	16,939千トン (2022)	16,700千トン (2024)	○

(達成度の区分) ◎…想定を超えて進捗、○…概ね順調に進捗、△…対策強化が必要、※…特殊事情による、中止、延期等、—…判断時期未到来

令和5年度の対応

<p>【施策9-1】北陸新幹線など高速交通網の整備促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度末の福井・敦賀開業を確実に実現するよう工程管理を徹底するとともに、開業時に敦賀駅での乗り換え利便性等が確保されるようJRと協議 敦賀以西について、地元との情報共有を徹底しながら、「北陸新幹線事業推進調査」を着実に進め、全線開業に向けた道筋を早急に明らかにするよう政府・与党に強く要請 中部縦貫自動車道において、秋に勝原～九頭竜間が開通 舞鶴若狭自動車道において、年度内に4車線化工事着手
<p>【施策9-2】新幹線駅周辺のまちづくり (福井駅周辺)</p> <ul style="list-style-type: none"> 県都ランドデザインに基づき、ふくまちなか再生プログラムの実施や、県都まちなか再生ファンドによる店舗のリノベーションなど、県都のまちづくりを推進 福井城セミナーの開催や、本丸石垣のライトアップ、城址周辺の視点場整備など、福井城址の活用を推進 福井駅西口での再開発事業への支援により、福井駅前電車通り北地区A街区において建築工事を推進 <p>(敦賀駅周辺)</p> <ul style="list-style-type: none"> 敦賀駅の新幹線駅前広場や散策路連絡橋の整備等に対して支援を実施 金ヶ崎周辺魅力づくり協議会において、金ヶ崎地区を中心に氣比神宮周辺エリアを含むまちづくりの実行プランを策定し、敦賀まちづくり魅力UP補助金による店舗のリノベーションなど、敦賀のまちづくりを推進 新幹線駅へのアクセス道路である敦賀駅東線の整備を推進
<p>【施策9-3】地域の新交通システムの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 福井鉄道とえちぜん鉄道への交通系ICカード導入に必要な機器製造等に対し支援を行い、鉄道利用者の利便性向上に向けた施設整備を加速 路線バスへの交通系ICカード導入を支援し、新幹線開業までに運用開始
<p>【施策9-4】飛躍するふくいを支える基盤の整備・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 県境道路である国道417号冠山峠道路の供用開始や地域間を結ぶ生命線道路である国道365号梅浦バイパスの供用開始など、物流・交流を支える基盤の整備を推進 敦賀港における鞠山南地区の拡張整備において、岸壁およびふ頭用地の一部供用開始、新たな岸壁延伸工事に着手 県内主要観光地等を結ぶへの試験飛行や、小型ジェット機による観光・ビジネス目的のモニターツアーなどを実施
<p>【施策9-5】「WAKASAリフレッシュエリア」の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> 嶺南振興プロジェクト枠予算を活用し、観光地周辺の景観等を整備 実証バスを運行し、三方五湖エリアにおける二次交通を検証するとともに、周遊促進を目的とした主要観光施設等駐車場の混雑情報配信を支援

政策10 北陸新幹線開業効果を最大化



目指す姿	主な施策	目標 (K P I)
<p>【施策10-1】 ○観光客の心をつかむ魅力づくり</p> <p>観光リゾートエリアの形成や産地連携による産業観光ビジネスへの展開を強化などにより、本県の観光資源の魅力高めるとともに、食の発信や観光列車の運行などを推進し、誘客を拡大する。</p>	<p>恐竜博物館のフルモデルチェンジ</p> <p>○ 恐竜博物館の機能強化について、令和5年夏のリニューアルオープンを目指し整備を促進 【交流文化部】</p> <p>・ 建築工事、展示工事が計画通りに進捗</p> <p>東尋坊周辺のスケールアップ</p> <p>○ 坂井市が実施する誘客拠点施設の整備や駐車場の一元化など、東尋坊再整備基本計画に基づく各種事業を支援 【交流文化部】</p> <p>・ 駐車場一元化、県道拡幅等に係る実施設計業務に対し支援 ・ 商店街再整備、誘客拠点施設整備に係る基本設計等業務に対し支援</p> <p>丹南伝統的工艺品産地の誘客拡大</p> <p>○ 丹南伝統工芸産地において造成した本物の伝統工芸を体験できるプログラムや周遊プランなどの販売を促進 【交流文化部】</p> <p>・ 越前打刃物や越前漆器等の体験メニューの造成、旅行商品化を支援 ・ 体験メニューを含むタクシープランの造成を支援 ・ 体験等の観光素材集の作成を支援</p> <p>○ 魅せる工場見学や多彩な体験メニューなど、産業観光の拠点となる店舗や産地全体の情報発信機能を担う施設を整備 ※再掲（施策7-1） 【産業労働部】</p> <p>・ 越前和紙などの産地における新たな体験プログラムの開発、PR映像の制作や見学・情報発信スペース等の整備を支援</p> <p>○ RENEWや千年未来工芸祭など、伝統工芸の産地組合や商工団体、県、市町の連携により、産業観光イベントやものづくり体験教室等を開催 【産業労働部】</p> <p>・ 産地ツアーの実施など千年未来工芸祭の開催（8月、10月）や工房情報を提供するTRAVEL STANDの開設などRENEWの開催（10月）を支援</p>	<p>・ 増築部の建築工事や展示工事を進め、博物館の改修工事を推進</p> <p>建築工事、展示工事を進め、改修工事を計画通りに推進 （建築工事R3.10～R5.6 展示工事R3.12～R5.6 改修工事R4年度～R5.6）</p> <p>・ 今年度に駐車場の設計業務完了</p> <p>3月に駐車場一元化の実施設計を完了</p> <p>・ 体験商品等の販売件数 3件（R3:造成件数3件）</p> <p>4件（3月末）</p> <p>・ 常設の産業観光施設整備数 5箇所（R3:5箇所）</p> <p>5箇所（3月末）</p> <p>・ RENEW参加者数 3.2万人（R3:2.6万人）</p> <p>3.7万人（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>三方五湖周辺など嶺南地域の魅力拡大</p> <p>○ 三方五湖エリアにおける観光施設等の拠点整備を支援 ※再掲（施策9-5） 【交流文化部・嶺南振興局】</p> <p>・レイクセンター整備、舟小屋改修を支援 ・三方五湖周辺の飲食空間創出のため、古民家を改修したレストラン整備など2件を支援</p> <p>○ 敦賀駅等から三方五湖エリアへの交通手段を確保するための実証バス「ゴコイチバス」を、期間を拡大して運行 ※再掲（政策9-5） 【嶺南振興局】</p> <p>・敦賀駅や美浜駅、三方駅と三方五湖を結ぶ路線バスを運行（9/17-12/11の土日祝）。令和3年度より運行日数を31日間に拡大したほか、立ち寄り促進のためバス停を増設</p> <p>○ 嶺南6市町を結ぶ若狭湾サイクリングルートの走行環境、受入環境等の整備を実施 ※再掲（施策9-5） 【交流文化部・嶺南振興局】</p> <p>・敦賀～高浜間の路面表示（矢羽根）、案内看板等の設計 ・サイクリングガイド養成講座（8月～10月）、地域事業者向けワークショップ（6月～10月）、住民向けセミナー（11、12月）の開催 ・モニタリングツアー（国内、国外）の実施（9月、10月） ・インスタグラム等SNSを開設し、積極的にルート情報を発信（6月～）</p> <p>世界に通用する福井の食・食文化による誘客拡大</p> <p>○ 食のプロデューサーとコラボレーションし、都市圏のターゲット層に対して“売り”となるよう料理のブラッシュアップおよび名物化するとともに、新たな料理のプロデュース 【交流文化部】</p> <p>・3月に6品目決定 （丸頭竜まいたけハヤシorカレー、ふくいフィッシュ&チップス、らっきよサバ寿司、ふくいパインミー、ルビー鯛めし、丸ごとあげ寿司）</p> <p>○ 都市圏で活躍するトップシェフ等による料理講習「食文化魅力創造スクール」を開設し、人材を育成 【交流文化部】</p> <p>・7月に開講式を実施。美味探求コース、サービス技能向上コース、フードビジネスコースの3コース計14回開催</p>	<p>・レイクセンター整備等を支援</p> <p>レイクセンター完成（R5.4月開業） 舟小屋改修完了（R5.3）</p> <p>・ゴコイチバスの利用者数 1,500人（R3:530人）</p> <p>縮小</p> <p>737人（3月末）</p> <p>・今年度中に敦賀～三方五湖エリア区間の走行環境整備</p> <p>関係機関との協議および設計完了</p> <p>・“売り”となる福井の料理の決定 5品目（R3:0品目）</p> <p>6品目（3月末）</p> <p>・「食文化魅力創造スクール」 受講者数 25人（R3:-）</p> <p>35人（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（K P I）
	<p>○ 食ブランド向上につながる飲食店等の開設を支援し、魅力的な食を楽しむ「場」を拡大 【交流文化部】</p> <div data-bbox="846 177 1686 244" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>・応募のあった事業者に対して審査会を実施し、5件を採択</p> </div> <p>○ 世界的に評価の高いシェフが料理を提供するレストランを有するオーベルジュ整備を支援 【交流文化部】</p> <div data-bbox="846 352 1686 419" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>・坂井市および永平寺町で事業者がオーベルジュの工事に着手</p> </div> <p>移動を楽しむコンテンツの開発</p> <p>○ J R と協議し、若狭の食を楽しめる等の福井県版観光列車のコンセプトを決定 【地域戦略部・交流文化部】</p> <div data-bbox="846 549 1686 616" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>・特別な旅を創る新たな観光列車運行決定 ・令和4年10月、J R が小浜線に新たな観光列車運行を発表（2024年秋デビュー）</p> </div> <p>観光を楽しむ・滞在したくなる仕掛けづくり</p> <p>○ 幕末明治や戦国に活躍した本県の先人たちが主人公となり、福井を舞台とした 大河ドラマや朝ドラなどの実現に向け、NHKへ働きかけ 【交流文化部】</p> <div data-bbox="846 762 1686 829" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>・4月に大阪放送局、5月に本局への要望を実施</p> </div> <p>○ 令和7年に開催される大阪・関西万博において、関西広域連合のパビリオンに出展するため、本県独自展示スペースの基本計画策定 追加 【交流文化部】</p> <div data-bbox="846 927 1686 994" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>・出展の目的や目標、展示のテーマ、運営計画などを定める基本計画を策定</p> </div> <p>○ 宿泊につながる夜間イベントを開催するなど「イルミネーションエリア」を創出 【交流文化部】</p> <div data-bbox="846 1082 1686 1149" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>・市町、団体が実施するプロジェクションマッピングの新たな映像制作や夜間開催イベントに対し支援</p> </div> <p>○ 六呂師高原活性化構想に基づく事業実施に向け、新たに参入する民間事業者の誘致・事業者選定を実施 【交流文化部】</p> <div data-bbox="846 1236 1686 1303" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>・民間事業者のヒアリングを行い、公募内容等を検討 ・計画策定事業者の公募を実施（R4.12～）</p> </div>	<p>・開設支援5件（R3:-）</p> <div data-bbox="1742 177 2123 244" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>5件(3月末)</p> </div> <p>・年度内に誘致活動を実施</p> <div data-bbox="1742 352 2123 419" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>オーベルジュ整備誘致2件(3月末)</p> </div> <p>・年度内に地元おもてなし体制を確立し、JRと内容合意</p> <div data-bbox="1742 549 2123 616" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>沿線市町やJ R と協議を実施し、J R と合意</p> </div> <p>・年度内に要望を実施</p> <div data-bbox="1742 762 2123 829" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>2回要望を実施</p> </div> <p>・年度内に基本計画を策定 追加</p> <div data-bbox="1742 927 2123 994" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>基本計画を策定</p> </div> <p>・市町、民間団体等の支援件数12件（R3:12件）</p> <div data-bbox="1742 1082 2123 1149" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>12件（3月末）</p> </div> <p>・今年度に民間事業者選定の実施</p> <div data-bbox="1742 1236 2123 1303" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>民間事業者公募中（決定はR5に持越し）</p> </div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>MICE、教育旅行の目的地としての魅力向上</p> <p>○ 福井県観光連盟が国際商談会等に参加し、国際会議や学会などを誘致 【交流文化部】</p> <div data-bbox="846 209 1686 413" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ VISIT JAPAN トラベル&MICE マーケット（9月・東京） ・ World Travel Market（11月・ロンドン） ・ MICE EXPO in kansai2022（11月・オンライン開催、12月・大阪） ・ 国際会議・インセンティブ旅行商談会（11月・シンガポール→オンライン開催） ・ 国際MICEエキスポ（2月・東京） ・ AIME2023（2月・オーストラリア） </div> <p>○ 教育旅行の誘致について、SDGsを取り入れた本県独自の新たな体験プログラムを造成するとともに、石川県、富山県と連携し首都圏および関西圏の学校等に対しPR 【交流文化部】</p> <div data-bbox="846 547 1686 611" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 首都圏、関西圏の旅行会社や校長会を対象に北陸現地研修会を8月に実施 ・ 首都圏、関西圏、中京圏（岐阜）への営業活動実施 </div> <p>開業・開通効果を高める記念イベントの開催</p> <p>○ 県内の開業機運を高めるため、県内沿線を歩くリレーウォークを開催。また、北陸新幹線開業時の歓迎イベントに向け、新駅設置4市が中心に行うカウントダウンイベントへの支援を充実 【交流文化部】</p> <div data-bbox="846 778 1686 932" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県民が新幹線開業を実感できるウォーキングイベントを開催（9月）。想定を上回る5,860名が参加し、開業機運を醸成 ・ フェニックスプラザにおいて開業カウントダウンイベントを開催し、約4,000名が参加（3月）。また新幹線駅4市が周辺市町と連携し開催した開業1年前イベントを支援（3月）し、県内全域での盛り上がりで開業に向けた準備を加速 </div> <p>福井を舞台とした映画・ドラマ等の誘致</p> <p>○ 令和4年10月に開館する一乗谷朝倉氏遺跡博物館において、貴重な借用資料を活用し、誘客の目玉となる特別展や関連イベントを開催 【交流文化部】</p> <div data-bbox="846 1129 1686 1251" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開館記念特別展Ⅰ「発掘調査の歩み」（10/1～1/31）、同Ⅱ「東山文化と朝倉文化」（3/1～5/7）を開催。「東山名所図屏風」など貴重な資料を借用展示 ・ 朝倉館能舞台で能や雅楽、春風亭昇太氏トークショーなどを開催 </div>	<p>・ 誘致活動件数 100件（R3:210件）</p> <div data-bbox="1738 209 2123 272" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>350件（3月末）</p> </div> <p>・ SDGsを取り入れた新たな体験プログラムの造成 1件（R3:3件）</p> <div data-bbox="1738 547 2123 611" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>2件（3月末）</p> </div> <p>・ 開業1年前イベントを支援する市町数 4市（R3:4市）</p> <div data-bbox="1738 778 2123 842" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>4市（3月末）</p> </div> <p>・ 開館記念特別展Ⅰ来場者数 31,600人（R3.-） 開館記念特別展Ⅱ来場者数 6,900人（R3.-）</p> <div data-bbox="1738 1129 2123 1251" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>開館記念特別展Ⅰ 19,616人 開館記念特別展Ⅱ 5,505人</p> </div>

目指す姿	主な施策	目標（K P I）
	<p>多様な宿泊形態の充実</p> <p>○ 民宿における客室の内装改修や設備改修、地域経営型の民宿や旅の目的となる上質な民宿への改修など受入環境の整備を支援 ※再掲（政策9-5） 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 民宿の客室改修や設備改修17件を支援 ・ 小浜市阿納地区が進める地域経営型民宿の改修を支援 ・ 旅の目的となる上質な民宿整備を1件採択し、専門家の助言を得ながら改修中（R5に繰越） </div> <p>○ リゾートホテル等の誘致に向けた検討を実施 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 星野リゾートとリゾートホテル整備運営に関する協定を締結 ・ 星野リゾートを含む複数事業者に県内ホテル整備候補地を提案 </div> <p>新型コロナウイルス感染症収束に向けた県内観光推進</p> <p>○ 新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ県内外からの旅行需要を喚起 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月よりブロック割を開始。県内宿泊・日帰り旅行代金を最大半額割引 ・ 10月より割引対象者を全国に拡大した全国旅行支援を開始 </div>	<p>・ 民宿の宿泊客 151万人（R3:128万人）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">R5.6月公表予定</div> <p>・ 年度内に誘致活動を実施</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">星野リゾートと協定締結（5月）</div> <p>・ 10月までに県内への宿泊、日帰り旅行割引、地域クーポン発行を実施</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 4月～10月ブロック割45万人 10月～12月全国旅行支援55万人 </div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策10-2】 ○ふくいブームの創出</p> <p>北陸新幹線福井・敦賀開業に向け食や伝統工芸、観光資源など集中的なプロモーションやブランド力の強化等を行い、ふくいブームを創出する。</p>	<p>新幹線開業に向けた情報発信の強化</p> <p>○ 東京丸の内周辺において新幹線開業や福井の魅力を発信する開業カウントダウンイベントを連続的に実施するとともに、首都圏や沿線地域において年間を通じて観光プロモーション活動を実施 主な場所：丸の内周辺、上野駅・大宮駅・長野駅、神楽坂、羽田空港 【交流文化部】</p> <p>・東京駅周辺で物産展やリアル恐竜ショー等、観光プロモーションを1カ月にわたり実施（11月） ・羽田空港において物産展やクリスマスイベントを実施（11月・12月） ・上野駅（6月）、長野駅（7月）、大宮駅（1月）において観光PRイベント実施 ・神楽坂（11月）にて、物産展、観光PRイベント実施</p> <p>○ 北関東（埼玉県、群馬県、長野県、栃木県、茨城県）において、福井県の魅力を発信する恐竜、食などのイベントや物産展を継続的に開催 【追加】【首都圏統括監】</p> <p>・首都圏北部5県のイベント会場において観光PRブースを設置（1～3月） ・首都圏北部5県のショッピングセンターにおいて物産展を展開（1～3月） ・大宮駅近くにおいて1か月にわたり出張アンテナショップを設置（1月）</p> <p>○ 北陸3県や大手旅行会社等とタイアップし、旅行プランを造成するなど誘客キャンペーンを実施 【交流文化部】</p> <p>・北陸三県が連携し阪急交通社（4～10月）やKNT-CTホールディングス（10～3月）等との誘客キャンペーンを実施</p> <p>○ SNSやインターネット記事、大手旅行会員誌などを活用した、ターゲット別のプロモーションを強化 【交流文化部】</p> <p>・人気ネットニュースサイトの福井県特設ページに、朝倉氏遺跡博物館、嶺南サイクリング、鯖江めがねフェス等について首都圏目線で取材した記事を掲載</p> <p>○ 映画補助メニュー新設や県フィルムコミッション設立など、県内でのロケ支援を充実することにより、福井が舞台の映画・ドラマの誘致促進 【交流文化部】</p> <p>・フィルムコミッションにおいて、映画のロケ地の紹介など撮影を支援</p>	<p>・ 出向宣伝活動の回数 6回（R3:3回）</p> <p>6回（3月末）</p> <p>・ イベント回数 10回（R3:-）</p> <p>11回（3月末）</p> <p>・ キャンペーン数 3回（R3:-）</p> <p>4回（3月末）</p> <p>・ インターネット記事の掲載・配信回数 5回（R3:5回）</p> <p>5回（3月末）</p> <p>・ 年度内に誘致活動を実施</p> <p>県内で2作品撮影</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>個々の資源の付加価値・ブランド力の向上</p> <p>○ 県内事業者による宿泊施設・食のブランディング・先駆的な体験プログラム開発を支援 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・食や宿泊施設の伝統工芸など地域資源とのコラボレーションによるブランディングモデルの構築 ・県内ホテル等に対し、地域資源を活用したコンセプトルームへの改修等を支援し、宿泊者の県内観光施設への周遊を促進 </div> <p>○ 新幹線開業に向けて募集した、ワクワク、ドキドキするアイデアにより、地域の資源を磨き上げ、発信する地域団体等の活動を支援。また、県民参加のインスタフォトコンテストを実施し、県民が福井の魅力を再発見、自ら発信 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・4～8月にかけてインスタフォトコンテスト春夏編を実施 投稿件数14,287件 ・9～1月にかけてインスタフォトコンテスト秋冬編を実施 投稿件数12,673件 </div> <p>アンテナショップの機能充実</p> <p>○ 銀座新アンテナショップを開設し、効果的な展示により県産品販売を促進するとともに、新たな機能である「観光移住情報コーナー」での映像を活用した本県の魅力発信や「イベントスペース」での食材の発信イベント等を実施 【産業労働部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・リニューアルオープンに向けた機運を向上のため、「Limited Store291」の開設（10/20～1/31）や首都圏のイオンでの外販を実施（11月、2月） ・県産品販売スペースやイートインスペース等を備えた「ふくい食の国291」を2月にオープン（2/24～）し、コワーキングスペースと飲食スペースを備えた「ふくい南青山291」を3月にリニューアルオープン（3/27～） </div> <p>魅力的な県産品等を活用した情報発信</p> <p>○ 恐竜を活用したイベントや県内グルメを集めたイベントを地域百貨店で開催 【産業労働部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ダイノデパートin西武福井において、恐竜ショー「DINO-A-LIVE」の実施や恐竜関連グッズを販売（10/20～11/14） ・“ふくいのとっておき”フードフェアで県民のおすすめグルメを販売（2/22～27） </div>	<p>・ 支援件数 40件（R3:13件） 縮小</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;">16件（3月末）</div> <p>・ インスタフォトコンテスト実施回数 2回（R3:2回）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;">2回（3月末）</div> <p>・ 「ふくい食の国291」来館者数 4.4万人/月（R3:-）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;">42,693人（3月実績）</div> <p>・ 来場者 30万人（R3:28.1万人） 縮小</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;">19.5万人（3月末）</div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策10-3】 ○世界を魅了するインバウンド強化</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 国・地域などターゲットに応じた情報発信やコンテンツの充実、キャッシュレスの促進など外国人目線の受入れ環境の整備を推進し、インバウンドを拡大する。 </p>	<p>国・地域に応じた情報発信</p> <p>○ 新たなインバウンド市場として経済発展著しいフィリピン・ベトナムをターゲットに、温泉やグルメ等国民性にあわせたコンテンツを発信 ※再掲（施策8-2） 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東南アジアの旅行博「VITM」（ベトナム）、「TTE」（フィリピン）におけるPRや、現地の旅行社へのセールスコールを実施（12月、2月） ・ フィリピンの有名俳優を招聘（1月）し、SNSによる情報発信を行ったほか、福井県在住の留学生等のSNSを活用し、国ごとに受けるコンテンツを調査 </div> <p>近隣府県等からの誘客強化</p> <p>○ 大阪万博などにより訪日客が見込まれる関西の観光団体等と連携し、伝統工芸やアクティビティなどテーマ性を持った広域周遊観光ルートを開発 ※再掲（施策8-2） 大阪・関西万博の本県パビリオンへの出展内容についてのアイデアを民間から公募 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ “伊賀、琵琶湖から福井を巡る田園風景と伝統工芸の旅”、“京都北部から若狭地域を巡る農漁村体験旅行”を造成し、旅行社で販売開始 ・ 今後、大阪・関西万博に向け、関西の観光団体等販売先に拡大 </div> <p>インバウンド向け観光コンテンツの充実</p> <p>○ 海外富裕層の関心が高いZENをテーマにした旅行商品の磨き上げや現地での「salon de ZEN」イベントの開催 ※再掲（施策8-2） 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ フランス、スペイン、アメリカの旅行社が、それぞれの国民性を踏まえ、ZENをテーマに、禅と伝統工芸やアクティビティ等が体験できるハイエンド向けの旅行商品を造成 ・ 10月の訪日旅行再開にあわせ、パリでは初となる現地イベント「ZEN, Alive. Fukui」を開催（10月）し、メディアや旅行社など15社にプロモーションを実施 </div> <p>○ マラソンの人口の多い台湾をターゲットに、現地マラソン展示会出展や観光動画によるPRを実施し、ふくい桜マラソンをきっかけにしたインバウンド誘客を促進 追加【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 台北マラソンエキスポに出展し、現地ランナー等450名以上に対し、福井県とふくい桜マラソンをPR ・ 現地の人気旅行番組「食尚玩家」を誘致し、訪日旅行再開後の初の日本ロケを福井県で実施。現地で2本放送したほか、動画サイトやSNSにより観光情報を発信 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ KOL（多くのフォロワーを持つインフルエンサー）のSNSリーチ数 10万件（R3:-） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">27.2万件（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広域周遊観光ルートの共同開発件数 1件（R3:1件） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">2件（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ イベント参加者 100名（R3:-） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">67名（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 展示会でのPR人数 300名（R3:-） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">456名（3月末）</div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>世界基準の外国人受入れ環境の整備</p> <p>○ 市町が選定する重点整備エリア内における多言語化や無料エリアWi-Fi、キャッシュレス決済・免税店等の整備を支援 ※再掲（施策8-2） 【交流文化部】</p> <div data-bbox="846 209 1688 276" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・美浜町の道の駅や三方五湖周辺の観光施設における多言語表示等の整備を支援 ・インバウンドアドバイザーの支援等により、新たに5店舗が免税店として登録 </div> <p>○ 北陸新幹線県内開業に向け、駅周辺市街地や観光拠点周辺の店舗等における食事スペースの個室化等の改装・設備導入、酒蔵見学等の体験施設整備等を支援 【産業労働部】</p> <div data-bbox="846 403 1688 470" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・飲食店のテラス席の整備や旅館客室の和洋室化、釣り体験施設の整備など観光客の受入環境の整備を支援 </div>	<p>・ 市町に対する整備支援件数 6件（R3:5件）</p> <div data-bbox="1742 209 2123 276" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>1件（3月末）</p> </div> <p>・ 支援件数 19事業者（R3:26事業者）</p> <div data-bbox="1742 403 2123 470" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>20事業者（3月末）</p> </div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策10-4】 ○すべての人が満足できる観光環境づくり</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">おもてなし環境を整備することにより、すべての観光客が満足した旅行ができ、滞在・リピートしたくなる環境をつくる。</p>	<p>おもてなし環境の整備</p> <p>○ 県民によるおもてなし宣言の登録やおもてなし規格認証（経済産業省）の取得支援により、県民や観光事業者のサービス品質向上を促進し、受入態勢を強化 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる機会を通じて観光事業者等に宣言を呼びかけるなどし、847団体が情報発信や接遇等の活動を宣言（R3年度から倍増）。活動実績をホームページや新聞に掲載するなどおもてなし機運が向上 ・おもてなし規格認証を活用したサービス向上セミナーを開催し、認証取得を支援 </div> <p>○ 市町が選定する重点整備エリア内における多言語化や無料エリアWi-Fi、キャッシュレス決済・免税店等の整備を支援 【交流文化部】 ※再掲（施策8-2、10-3）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・美浜町の道の駅や三方五湖周辺の観光施設における多言語表示等の整備を支援 ・インバウンドアドバイザーの支援等により、新たに5店舗が免税店として登録 </div> <p>滞在・リピートしたくなる旅行インフラ整備</p> <p>○ 観光型Ma a Sの導入に向け、市町や事業者とともに、掲載情報等について検討 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・JR西日本が、観光型Ma a S導入に向け、市町や事業者と観光素材について調整 ・越美北線フリー乗車券と一乗谷朝倉氏遺跡博物館入場券等のセット、小浜線フリー乗車券と若狭国吉城歴史資料館入場券等のセットなど、観光型デジタルチケットの発売 </div> <p>観光の「見える化」の推進</p> <p>○ 県版DMOによる観光デジタルマーケティングを通じてターゲット像を作成し、稼ぐ観光地域づくりをサポート 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・観光地に設置されたポスター・チラシ等に記載のQRコードを経由し、観光客がアンケートに回答してプレゼントに応募できるキャンペーンを通年で実施、3月時点で延べ18,000件以上のアンケートデータを獲得 ・月1回、各エリアごとのアンケート結果の分析レポートを作成するとともに、具体的なターゲット像（上半期で6パターン）を作成 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・おもてなし宣言件数（累計）700件（R3:430件） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">847件（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・おもてなし規格認証取得件数（累計）90件（R3:69件） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">93件（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・市町に対する整備支援件数6件（R3:5件） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">1件（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度中に観光型Ma a S導入 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">JR西日本が観光型Ma a Sを北陸エリアで導入（11/1～）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルアンケートを実施する県全域の観光地50か所以上（R3:-） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">70か所（3月末）</div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<div data-bbox="831 124 1039 156" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">文化財の保存・継承</div> <p data-bbox="824 164 1682 213">○ 民間事業者がコーディネート役となり、若者を中心とした再生隊が企画立案し発表機会を創出するなど、無形民俗文化財を地域のまちづくりや観光資源として活用</p> <div data-bbox="1599 220 1682 244" style="text-align: right;">【教育庁】</div> <div data-bbox="846 252 1686 312" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 越前万歳保存会等3団体が再生隊を受け入れ、活動。 ・ 発表の場として『福井の無形民俗文化まつり2023春』を開催。 </div>	<p data-bbox="1727 169 1899 218">・ 再生隊参加者数 15名（R3:5名）</p> <div data-bbox="2056 220 2116 244" style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">縮小</div> <div data-bbox="1742 252 2123 312" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p data-bbox="1765 268 1888 292">11名（3月末）</p> </div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策10-5】 ○観光産業化の基盤づくり</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>福井県版DMOを中心に地域の観光プレイヤーを発掘・育成し、宿泊・飲食など観光客に気持ちよい消費を促すことにより、地域の観光収入を増加させる。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>頑張る民間事業者の活動支援</p> <p>○ 観光プレイヤーの発掘・支援、マーケティングデータ分析による新たな観光商品の開発 <small>【交流文化部】</small></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>・ 福井鉄道との鉄道御乗印、あわら温泉女将の会によるウェルネス構想（ヨガ、健康食（へしこ）やスパークリング日本酒の開発、明城ファームとの天空のいちご狩り体験など、モデルを構築</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>観光のイノベーションを起こす人づくり</p> <p>○ 地域の観光を牽引するリーダーに加え、新たに観光ビジネスを始める事業者を育成 <small>【交流文化部】</small></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>・ 地域の観光をマネジメントできる高度なスキルを持った人材や、新たな観光ビジネスの創造に取り組む人材を育成するため「地域マネジメントコース」「観光ビジネス創造コース」を開講</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光プレイヤーの支援 60事業者（R3:22事業者） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>80事業者（3月末）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光ビジネス創造コース受講者数 30人（R3:24人） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>39人（3月末） 地域マネジメントコース16人 観光ビジネス創造コース23人</p> </div>

政策10 北陸新幹線開業効果を最大化

指標	実行プラン 記載の現状	実績	実績	実績	目標	達成度	
		(2019年度)	(2020年度)	(2021年度)	(2022年度)		(2024年度)
観光客入込 (福井県観光客入込数(推計))	1,697万人 (2018)	1,810万人 (2019)	1,171万人 (2020)	1,236万人 (2021)	— (6月公表予定)	2,000万人 (2024)	—
観光消費額 (福井県観光客入込数(推計))	1,313億円 (2018)	1,357億円 (2019)	834億円 (2020)	849億円 (2021)	— (6月公表予定)	1,700億円 (2024)	—
延べ宿泊者数 (宿泊旅行統計調査)	406万人 (2018)	414万人 (2019)	256万人 (2020)	232万人 (2021)	280万人 (2022速報値)	510万人 (2024)	※
外国人延べ宿泊者数 (宿泊旅行統計調査)	7.6万人 (2018)	9.8万人 (2019)	2.3万人 (2020)	1.0万人 (2021)	1.4万人 (2022)	40万人 (2024)	※
来訪者満足度 (福井県調べ)	46% (2019)	46% (2019)	52.7% (2020)	51.9% (2021)	54.6% (2022)	60% (2024)	○

(達成度の区分) ◎…想定を超えて進捗、○…概ね順調に進捗、△…対策強化が必要、※…特殊事情による、中止、延期等、—…判断時期未到来

令和5年度の対応

<p>【施策10-1】観光客の心をつかむ魅力づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本県の先人たちが主人公となり、福井を舞台とした大河ドラマや朝ドラの実現に向け、NHKへの働きかけを実施 ・恐竜博物館の機能強化工事の進捗を図り、今年夏のリニューアルオープンに向けた準備を実施 ・ナショナルサイクルルート指定を目指して走行環境および受入環境の整備を推進するとともに、ルートマップを作成するなど誘客に向けて積極的に情報発信 ・新駅設置4市が中心となって行うカウントダウンイベントおよび歓迎イベントへの支援を拡大 ・食のプロデューサーとコラボレーションし新しく開発した料理を、名物料理や観光目的となる料理へと話題性を高めるため、飲食店と連携した商品化や仕掛けづくりを実施 ・都市圏で活躍するトップシェフ等による料理講習「食文化魅力創造スクール」を開催し、人材を育成 ・食ブランド向上につながる飲食店等の開設を支援し、魅力的な食を楽しむ「場」を拡大 ・世界的に評価の高いシェフが料理を提供するレストランを有するオーベルジュの整備を支援 ・工房での見学・体験や販売機能の充実など丹南伝統工芸産地における観光客受入環境の整備を支援
<p>【施策10-2】ふくいブームの創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィルムコミッションにおいて、映画のロケ地の紹介など撮影を支援 ・東京駅や丸の内周辺施設において大規模な観光プロモーションを実施するほか、北関東、信越を含む沿線エリア等を中心に出向宣伝を実施 ・大手玩具メーカーとコラボした商品開発やプロモーションを実施し、本県の認知度向上を推進 ・銀座に新しくオープンした「ふくい食の国291」において、県内企業の販路拡大とふくいファンの裾野の拡大 ・リニューアルオープンした「ふくい南青山291」において、県内中小企業の新たなビジネス展開と食によるブランドを発信
<p>【施策10-3】世界を魅了するインバウンド強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国ごとに、国民性やステータスを踏まえた、テーマやコンテンツによる誘客を実施 台湾・香港：現地マラソン展示会出展、KOLによる情報発信 等 欧・米・豪：フランスやアメリカでのZENイベント、アメリカでのレップの運営 等 東南アジア：ベトナム、フィリピン、タイの展示会出展、旅行社招聘 等 ・市町による観光地の多言語化、WiFi設置等および民間事業者による免税カウンターの導入を支援するなど、外国人受入れ環境を整備 ・大阪万博を見据え、関西の広域観光DM等による旅行商品の造成や観光PRを実施
<p>【施策10-4】すべての人が満足できる観光環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町による観光地の多言語化、WiFi設置等および民間事業者による免税カウンターの導入を支援するなど、外国人受入れ環境を整備(再掲) ・県内来訪者データ・コンテンツ購入者データを活用したマーケティング
<p>【施策10-5】観光産業化の基盤づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稼ぐ観光地づくりを推進するため、地域における宿泊・飲食施設のブランディングや体験プログラムの開発を支援

政策11 人が人を呼ぶ、移住・定住新戦略



目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策11-1】 ○産学官連携による学生の県内就職の促進</p> <p>産業界と教育機関、県や市町が一体となって、地域に根差した教育や県内外の学生と県内企業との接点を拡大するなど、学生の県内進学・就職を促進する。</p>	<p>魅力的な大学づくりによる県内進学促進</p> <p>○ 県内高校から県内大学等への進学率を高めるため、県内高校生を対象とした進学強化策を展開 ※再掲（施策2-2） 【総務部】</p> <p>・ 県内大学短大において入試対策講座や高校への出張講義を展開 ・ 県内進学を希望する高校生に対して大学生がアドバイスなどを行う進路相談会を11月と2月に開催</p> <p>地域に根差した教育の推進</p> <p>○ 普通科高校1年生を主な対象に「キャリア教育セミナー」を開催 ※再掲（施策1-3） 【教育庁】</p> <p>・ 社会の第一線で活躍している職業人を講師に、年間13回講演を実施した（3回は看護師・作家、スポーツトレーナー、弁護士の女性による講演）</p> <p>○ 起業家によるオンライン講演や県独自のビジネスアイデアコンテストを開催 ※再掲（施策1-3） 【教育庁】</p> <p>・ 中小企業診断士によるビジネスアイデア講習会を5校で各3回ずつ実施した ・ 県独自のビジネスアイデアコンテストを11月12日に実施し、県内高校135エントリーの中から、一次審査を通過した本選出場5チームが参加した</p> <p>県内外の大学と県内企業等とのつながり強化による県内就職促進</p> <p>○ 三大都市圏における就職支援協定締結校を増加させるとともに、協定校での学内説明会や大学祭への出展、インターンシッププログラム等の機会を活用して、県内企業の情報を発信 【交流文化部】</p> <p>・ 新たに、日本体育大学、高崎経済大学、椋山女学園大学、中京大学、神戸芸術工科大学、甲南大学、福知山公立大学と協定を締結（3月末時点） ・ 福井県出身学生を対象に就職支援説明会の開催や支援策の情報提供を実施</p> <p>○ 理系学生を対象に県内企業の魅力に触れる機会を提供し、県内定着やU I ターン就職を促進 【交流文化部】</p> <p>・ 理系学生を対象とした業界研究会、企業見学バスツアーを開催（11月～12月）</p>	<p>・ 県内高校卒業生の県内大学進学率 38.6%（R2年度卒34.3%）</p> <p>R5.8月公表予定</p> <p>・ 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 高校生 75.0%（R3:78.1%）</p> <p>75.6%（R4）</p> <p>・ 協定締結校数（累計）52校（R3:47校）</p> <p>54校（3月末）</p> <p>・ 県内学生（理工系）の県内就職者数 180人（R3:142人）</p> <p>R5.9月公表予定</p>

目指す姿	主な施策	目標（K P I）
	<p data-bbox="831 116 1111 140">理系人材のU I ターン促進</p> <p data-bbox="831 148 1682 196">○ U I ターン奨学金返還支援や理系の教員・学生を対象とした企業見学ツアー、企業技術者と学生が交流する業界研修会の開催等により、理系学生の県内就職を促進</p> <p data-bbox="1554 204 1688 228">【交流文化部】</p> <p data-bbox="853 252 1576 276">・理系学生を対象とした業界研究会、企業見学バスツアーを開催（11月～12月）</p>	<p data-bbox="1727 148 1899 196">・参加学生数 60人（R3:60人）</p> <p data-bbox="1765 252 1890 276">61人（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策11-2】 ○都市部への「攻め」の移住政策</p> <p>関西（京都、大阪）からの移住促進体制を強化するとともに、都市部の地方転職希望者に対し、県内企業への就職をはじめ、就農や事業承継など、多様な就業とのマッチングを促進し、移住を拡大する。</p>	<p>「ふるさと福井移住定住促進機構」の体制強化</p> <p>○ 福井暮らしはたらくサポートセンター福井オフィスにマネージャーを配置し、マッチング機能を強化 【交流文化部】</p> <p>・マネージャーによる移住検討者の掘り起こしを行い、県外オフィスとのサポート体制を強化し、センター支援の新ふくい人を拡大</p> <p>福井の産業力を活かした移住促進</p> <p>○ 若者等をターゲットに、産地企業での技能習得に加え、魅力ある商品づくり、デザインや経営的な視点等を総合的に学ぶ「職人塾」と、未経験者でも気軽に自分に合った工芸を体験できる「職人体験学校」を開催 【産業労働部】</p> <p>※再掲（施策2-2、6-2）</p> <p>・伝統工芸職人塾（4月～3月）を開催し、修了生12名中11名が就業 ・初心者が越前焼や越前和紙など各産地の製造工程を一通り体験等できる職人体験学校を開催（4月～2月）し、修了生5名中1名が次年度の職人塾へ入塾予定</p> <p>○ ものづくりに関心のある都市部の学生や若者に対し、工房での就業体験や職人との交流等を通して産地への移住を促進する「産地合説」を開催 【交流文化部】</p> <p>・2/28～3/2に、丹南エリアで産地の企業をめぐる産地ツアーや企業面談、一日就業体験などを行う「産地の合説2023」を開催</p> <p>産業人材の呼び込み</p> <p>○ 若者や女性のUIターンを促すことができるよう、県内への企業進出にあわせ住環境や働きやすい職場環境の整備を支援 ※再掲（施策7-3） 【産業労働部】</p> <p>・都市圏と変わらない給与や待遇の企業への上乗せ支援など、企業規模に関わらず、UIターンの受け皿となる、若者や女性が働きやすい魅力ある企業の誘致を推進 ・社員ファーストの環境整備を行う物流施設やシステム開発の拠点となるIT企業のオフィスの新規開設を実現</p>	<p>・新ふくい人の数 1,000人（R3:1,018人）</p> <p>1,229人（3月末）</p> <p>・学生Uターン率 33%（R3:27.4%）</p> <p>R5.9月公表予定</p> <p>・職人塾修了生の産地での就業率 90%（R3:100%）</p> <p>92%（3月末）</p> <p>・参加者数 10人（R3:-）</p> <p>15人（3月末）</p> <p>・新規雇用に占めるUIターン雇用率 25%（H30-R3:15.1%）</p> <p>25.2%（R2-R4実績）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>U I ターン移住就職等支援の強化</p> <p>○ 移住支援金制度を県・市町独自で東京圏以外にも拡充し、県内企業への就職や、就農、事業承継など多様な就業とのマッチングを促進。さらに、子どもを帯同して移住する世帯への加算制度を新設し、子育て世帯の移住を促進 ※再掲（政策9-5） 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・移住支援金東京圏型を実施する16市町のうち、8市町が子育て加算を実施 ・移住支援金全国型を実施する12市町のうち、9市町が子育て加算を実施 </div> <p>市町・企業と連携した移住の促進</p> <p>○ 市町や企業と連携して「仕事」×「住まい」×「定着支援」を組み合わせた「移住応援パック」を開発し、若者や子育て世代、シングルマザーなど、新たな移住層を開拓 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・7月から都市部大手求人情報サイトに福井県特設ページを設け、福井の生活環境や若者・子育て世帯向け求人掲載し、マッチングを実施 </div> <p>移住者のネットワークづくり</p> <p>○ 移住者を移住サポーターとして認定し、情報発信や現地コーディネートなどの活動を促進するほか、移住の下見等で来県する人に交通費助成を実施 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・移住サポーターによる現地案内（12回）や移住者交流会（9回）の開催 ・移住検討者に対する交通費助成（218人）や県内でお試してテレワークを実施する方に交通費や滞在費を支援（19人）※3月末 </div> <p>○ 市町と連携して移住者交流会を開催するほか、京都からの移住者による移住促進チームを結成し、移住促進策を企画・実行 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・越前市において、移住者交流会（R4.11.26）を開催（参加者6人） ・京都市内における移住促進イベント（5回）の開催や関西圏の移住希望者が参加するイベント（1回）への登壇 ・移住促進チームが企画した地域滞在プランにより移住希望者を福井県へ案内（10人） </div>	<p>・移住支援金マッチング件数 210件（R3:208件）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">223件（3月末）</div> <p>・「移住応援パック」開発件数 70件（R3:64件）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">63件（3月末）</div> <p>・移住サポーター数 18人と5団体（R3:18人と5団体）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">19人と5団体（3月末）</div> <p>・移住促進策の企画・実行回数 5回（R3:6回）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">7回（3月末）</div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策11-3】</p> <p>○関係人口の創出・拡大</p> <p>都市部の学生や社会人に向けて、地域との「関わりしろ」となるプロジェクトや交流の機会を提供するなど福井に呼び込む仕掛けをつくり、地域の活性化やUターンにつなげる。</p>	<p>学生の地域滞在型キャンプの拡大</p> <p>県内大学の学生を対象とした「福井研修プログラム」の開発</p> <p>○ 京都に設けた「ふくいとの関わりステーション」で県外学生の地域滞在型キャンプの実施を支援 ※再掲（政策9-5） 【交流文化部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内3地区（鯖江市、坂井市、小浜市）において実施 ・ 夏季の長期滞在キャンプや週末等を活用して継続的に来県し、グループごとに設定した地域課題に関わるプロジェクトを実施 <p>○ キャンプの参加学生が、地域課題に関わるテーマを設定し、探求活動や創作活動を実施 【交流文化部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ キャンプの参加学生が、グループに分かれて、地域の祭りの機運醸成のための事前イベントの開催や、地元企業への就職促進のための企業紹介動画の作成など、地域課題解決のためのプロジェクトを実施 <p>「テレワーク」、「ワーケーション」の実践</p> <p>○ ワーケーション受入れ拡大のため、市町と連携し、地域との交流を促進する地域交流型パッケージを企画、マッチングツアーを開催するほか、都市部に勤務する者が「お試しテレワーク」をする際の交通費や滞在費を支援 【交流文化部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の特徴を活かしたワーケーションプログラムを開発する市町を支援するとともに、インフルエンサーを招致（10月～12月）することにより、SNSでPRを実施 ・ 県外からお試して県内でテレワークを実施する方に、交通費と滞在費の支援を実施（19人） <p>「地方兼業・副業」の推進</p> <p>○ 都市部の専門人材を活用した「未来戦略アドバイザー」と協働し、データサイエンスの知見を活用した政策立案等やDX人材の育成など、「地方兼業」の取組みを拡大 【地域戦略部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各所属からの希望に応じ、データ分析・活用やDX人材育成等に関する専門的知見に基づく助言やセミナーを随時実施 ・ 各市町からの希望にも対応し、業務改善等に関する助言やセミナーを随時実施 <p>市町と連携した「微住」の促進</p> <p>○ ワーケーション受入れ拡大のため、市町と連携し、地域との交流を促進する地域交流型パッケージを開発、マッチングツアーを開催するほか、都市部に勤務する者が「お試しテレワーク」をする際の交通費や滞在費を支援 ※再掲（施策11-3） 【交流文化部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の特徴を活かしたワーケーションプログラムを開発する市町を支援するとともに、インフルエンサーを招致（10月～12月）することにより、SNSでPRを実施 ・ 県外からお試して県内でテレワークを実施する方に、交通費と滞在費の支援を実施（19人） 	<p>・ キャンプ実施地区 2地区（R3:2地区）</p> <p>3地区（3月末）</p> <p>・ パッケージ数（「滞在応援パック」含む） 7件（R3:5件）</p> <p>7件（3月末）</p> <p>・ 未来戦略アドバイザーによる県政策へのアドバイス件数 25件（R3:25件）</p> <p>28件（3月末）</p> <p>・ 滞在応援パック開発市町数（ワーケーション受入パッケージ含む） 7市町（R3:5市町）</p> <p>7市町（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（K P I）
	<p>移住者による地域との関わりづくりの推進</p> <p>○ 移住者を移住サポーターとして認定し、情報発信や現地コーディネートなどの活動を促進するほか、移住の下見等で来県する人に交通費助成を実施 ※再掲（施策11-2）</p> <p style="text-align: right;">【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 移住サポーターによる現地案内（12回）や移住者交流会（9回）の開催 ・ 移住検討者に対する交通費助成（218人）や県内でお試してテレワークを実施する方に交通費や滞在費を支援（19人）※3月末 </div> <p>ふるさと納税を活用した交流人口の拡大</p> <p>○ ふるさと納税を普及・拡大するとともに、企業版ふるさと納税制度を活用し、県の主要プロジェクトへの企業の寄付受入を拡大</p> <p style="text-align: right;">【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校があらかじめ用途を定めて寄付を募集する「プロジェクト型母校応援寄付」を創設。8校のプロジェクトに対し、1,043万円の寄付が集まり、部活動の練習環境等の向上を実現 ・ 企業に対し、北陸新幹線県内開業に向けた観光地のレベルアップやUIターンの推進などのプロジェクトを示して寄付を働きかけ </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移住サポーター数 18人と5団体（R3:18人と5団体） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">19人と5団体（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ ふるさと納税額（個人+企業版） 9,700万円（R3:12,063万円） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">14,007万円（3月末）</div>

政策11 人が人を呼ぶ、移住・定住新戦略

指標	実行プラン 記載の現状	2019年	実績 (2020年度)	実績 (2021年度)	実績 (2022年度)	目標 (2024年度)	達成度
社会増減 (住民基本台帳人口移動報告)	△2,159人 (2018)	△2,832人 (2019)	△2,308人 (2020)	△2,096人 (2021)	△2,531人 (2022)	社会増 (2024)	—
新ふくい人(社会人UIターン者) (福井県調べ)	719人 (2018)	820人 (2019)	1,004人 (2020)	1,018人 (2021)	1,229人 (2022)	1,200人 (2024)	◎
学生Uターン率 (福井県調べ)	32.1% (2018)	26.5% (2019)	27.2% (2020)	27.4% (2021)	— (9月公表予定)	35% (2024)	—
県内学生(理工系)の県内就職者数 (福井県調べ)	176人 (2018)	128人 (2019)	124人 (2020)	142人 (2021)	— (9月公表予定)	200人 (2024)	—
関係人口プロジェクト (福井県調べ)	172件 (2018)	182件 (2019)	144件 (2020)	175件 (2021)	212件 (2022)	210件 (2024)	○

(達成度の区分) ◎…想定を超えて進捗、○…概ね順調に進捗、△…対策強化が必要、※…特殊事情による、中止、延期等、—…判断時期未到来

令和5年度の対応

【施策11-1】産学官連携による学生の県内就職の促進

- ・UIターン奨学金返還支援の実施
- ・理系学生を対象とした企業見学ツアーや業界研究会等の開催

【施策11-2】都市部への「攻め」の移住政策

- ・移住支援金(東京圏型)の子育て加算の拡充(子ども一人当たり30万円→100万円)
- ・移住支援金(全国型)の子育て加算の拡充(子育て世帯当たり上限30万円→上限100万円)

【施策11-3】関係人口の創出・拡大

- ・都市部の専門的人材の知見を活かすため、兼業・副業による未来戦略アドバイザー(データサイエンティスト・CDO補佐官)から助言や支援を得て、EBPMや自治体のDX人材の育成を推進
- ・新型コロナウイルス感染症の分類が、2類相当から5類に引き下げられることに伴い、対面での交流活動を活発化させるとともに、オンライン交流も活用しながら、これまで以上に関係人口プロジェクトを積極的に推進

政策12 文化・スポーツがふくいの活力



目指す姿	主な施策	目標 (K P I)
<p>【施策12-1】 ○歴史ミュージアムふくいの発信</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">福井の誇る歴史・文化遺産等を大切に保存・継承するとともに、それらをネットワーク化し発信するなど、本県の歴史・文化を活かし地域の活力を高める。</p>	<p>様々な博物館等のネットワーク・ストーリー化による発信強化</p> <p>○ ホームページ「FUKUI MUSEUMS」をリニューアルし、県内の博物館等の展示・イベント情報や所蔵品データベースを集約して一括発信 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ「FUKUI MUSEUMS」のリニューアルを完了 (3/26) ・県内の文化施設 (県博物館協議会加盟の51館) の展示・イベント情報、所蔵品のデジタルアーカイブを一括発信するサイトとして、3/27から公開 </div> <p>博物館・美術館の魅力向上</p> <p>○ 学芸員同士の情報交換による魅力あるテーマの連携展示、博物館をめぐるバスツアーの補助などにより、博物館を核とする県内周遊を促進 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本をテーマとする連携展示を実施 (県立美術館・ちひろのうまれた家記念館・かこさとしふるさと絵本館) ・複数の博物館をめぐるバスツアー16件を補助し、350人が参加 </div> <p>一乗谷ミュージアムの発信</p> <p>○ 博物館を10月に開館。開館に向けたプレ展示や重点広報、開館後の記念特別展・戦国列車運行など、県内外からの誘客につなげるPRを実施 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・10/1に博物館開館。開館に向けて、ハピリンでのプレ展示 (R3.11/20~R4.9/16)、愛称募集 (応募1,415件)、プレイベント (8/13) などPRを重点的に実施 ・越美北線の車両・一乗谷駅舎の装飾等を行い、10/1から戦国列車運行 </div> <p>○ 戦国期を体感できるARアプリの提供、博物館発着のガイド付き遺跡ツアーバスの運行、生活再現の拡大実施など、遺跡全体で誘客事業を展開 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・10/1からARアプリ「戦国時空伝」の提供を開始 ・10/1から博物館発着ガイド付きツアーバスの運行を開始 ・生活再現を年間76日間に拡大して実施 (4月~11月の土日祝日) </div> <p>歴史遺産の活用</p> <p>○ 県内で認定されている5つの日本遺産について、構成文化財の紹介や周遊コースが記載されたツールを作成し情報を発信 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・日本遺産の紹介と、3つの周遊コースを紹介するパンフレットを作成(3月) ・文化庁や県、各協議会等のホームページで 紹介(3月) </div>	<p>・ 年度内にHPリニューアル</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> リニューアル完了 (3/26) </div> <p>・ バスツアー補助 80件 (R3:-)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 16件 (3月末) </div> <p>・ 10月に博物館開館</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 10/1開館 </div> <p>・ 10月からARアプリ提供開始</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 10/1提供開始 </div> <p>・ 年度内にツール作成 (R3:-)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> パンフレット作成(3月) </div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p data-bbox="831 121 1043 148">文化財の保存・継承</p> <p data-bbox="824 156 1688 212">○ 指定文化財の現状や保存状況を確認する調査を実施し、これらの情報を保存・活用するため新たにデジタル化を実施 ※再掲（施策1-3） 【教育庁】</p> <div data-bbox="846 233 1688 293" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p data-bbox="857 240 1677 285">・ 指定文化財の所在確認・保存環境状況調査を実施し、デジタルカメラで画像等記録保存を実施</p> </div> <p data-bbox="824 331 1688 387">○ 本県ゆかりの先人を学ぶこども歴史文化館などと連携し、小中学校や地域住民へ文化財の魅力を伝える出前授業・出前講座を開催 ※再掲（施策1-3） 【教育庁】</p> <div data-bbox="846 424 1688 523" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p data-bbox="857 440 1563 507">・ 出前授業を実施（6/23順化小、6/24坂口小、6/30武生西小、ほか計11回） ・ 発掘調査現地説明会を実施（6/18大森鐘島遺跡、6/25袋田遺跡、ほか計6回） ・ 出前講座を県立図書館と連携開催（7/16発掘調査報告会 ほか計3回）</p> </div>	<p data-bbox="1727 156 1899 212">・ 調査件数 50件（R3:29件）</p> <div data-bbox="1738 233 2123 293" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p data-bbox="1760 248 1888 276">35件（3月末）</p> </div> <p data-bbox="2047 201 2114 228" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">縮小</p> <p data-bbox="1727 331 1899 387">・ 出前授業等回数 12回（R3:20回）</p> <div data-bbox="1738 424 2123 485" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p data-bbox="1760 440 1888 467">20回（3月末）</p> </div> <p data-bbox="1727 523 1921 579">・ 受講者数 240人（R3:622人）</p> <div data-bbox="1738 579 2123 639" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p data-bbox="1760 595 1899 622">886人（3月末）</p> </div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策12-2】 ○デザイン・アートなど「若者・よそ者」が集まるまちづくり</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>芸術文化に親しむ機会を充実するほか、フェス等の賑わいイベントを拡大し、多彩な楽しみに溢れるおもしろいまちづくりを推進する。</p> </div>	<p>デザインやアートに親しむ機会の充実</p> <p>○ 全ての市町において若手アーティストによる「まちかどミニコンサート」を開催 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p>・10月から3月にかけて、17市町の身近な場所で「まちかどコンサート」を17回開催</p> </div> <p>○ レストランオーナーの協力を得て、レストランで若手の美術作品を展示 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p>・美術作品を展示するレストランやカフェなどの店舗拡大を進めるとともに、店舗内での作品の展示替えも随時実施</p> </div> <p>○ 誰もが発表できる簡易な「まちなかステージ」の設置・運営を支援 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p>・昨年度の福井駅周辺に加えて、5月から敦賀市の国道8号歩行空間、12月から大野市の五番商店街において新たなステージを設置</p> </div> <p>○ 市町ホールを拠点とする楽団等の設立・運営を支援 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p>・昨年度設立した鯖江市、越前市、美浜町、若狭町に加えて、永平寺町で新たに音楽サークルを設立し、6月から活動開始 ・1月21日に県立音楽堂にて5市町合同でジョイントコンサートを開催</p> </div> <p>○ 嶺南地域において美術作品の鑑賞機会を提供するため、嶺南の文化施設で美術展を開催 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p>・若狭歴史博物館で「嶺南美術展」を開催（7/30～8/28 観覧者数1,201人） ・小浜市とおおい町で「嶺南アート展」を開催 若狭図書学習センター（10/14～10/23 観覧者数900人）、 おおい町総合町民センター（11/9～11/13観覧者数500人）</p> </div> <p>○ オーケストラコンサートを小浜市、おおい町で開催 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>・10月24日に小浜市文化会館、11月13日におおい町総合町民センターで開催（来場者数451人）</p> </div>	<p>・ 来場者数 510人（R3:735人）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p>842人（3月末）</p> </div> <p>・ 美術作品展示店舗数 50店（R3:21店）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p>25店（3月末）</p> </div> <p>・ 新たな設置地域 2市町（R3:1市町）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p>2市（3月末）</p> </div> <p>・ 新たに楽団等を設立する市町 2市町（R3:4市町）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p>1町（3月末）</p> </div> <p>・ 嶺南地域での開催 3回（R3:3回）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p>3回（3月末）</p> </div> <p>・ 嶺南地域の各市町での開催 小浜市およびおおい町 各1回（R3:2回）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>2回（3月末）</p> </div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>サブカルチャーやポップカルチャーを含め多様な芸術文化活動を応援</p> <p>○ 幅広い世代が楽しめるサブカルチャーイベントを開催 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 12月4日にアオッサおよび福井駅前周辺を会場としたまちなかコスプレイベントを試行的に開催（参加者数93人） </div> <p>国際音楽祭等による国際交流を推進</p> <p>○ 各国からアーティストを招いた国際音楽祭や展覧会の開催を支援 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 武生国際音楽祭やドイツ人作家による作品展等を開催 </div> <p>地域におけるアート活動の拡大</p> <p>○ 芸術家が自然や伝統工芸等の地域資源を活かして制作活動を行うプロジェクトを支援 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今立地区において、海外大学生らが滞在し、越前和紙を活用した作品制作および作品展示等を実施（5月） ・ 福井駅周辺の活性化を目的に、かつて実在した「だるま屋少女歌劇」をモデルに執筆された戯曲を市民参加型の演劇として公演（12月） </div> <p>○ 県都福井のにぎわいを創出するため、ワンパークフェスティバルや県庁広場・県庁ホールを活用した民間によるイベントの開催を支援 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ ワンパークフェスティバル2022開催（9/3、9/4）を支援 ・ 舞フェスFUKUI（8/21）を支援 </div>	<p>・ サブカルチャーイベント開催数 1回（R3:-）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">1回（3月末）</div> <p>・ 文化活動を行う若者グループ 15グループ（R3:9グループ）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">16グループ（3月末）</div> <p>・ 文化国際交流イベントの数 5回（R3:4回）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">3回（3月末）</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; float: right; margin-left: 10px;">縮小</div> <p>・ 新たなアートプロジェクトの実施 3団体（R3:-）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">2団体（3月末）</div> <p>・ イベント来場者数 6,000人（R3:3,700人）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">8,000人（3月末）</div> <p>・ 若者の大規模文化活動の数 2回（R3:2回）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">2回（3月末）</div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>デザインとものづくりの融通</p> <p>○ RENEWや千年未来工芸祭など、伝統工芸の産地組合や商工団体、県、市町の連携により、産業観光イベントやものづくり体験教室等を開催 ※再掲（施策10-1） 【産業労働部】</p> <p>・産地ツアーの実施など千年未来工芸祭の開催（8月、10月）や工房情報を提供するTRAVEL STANDの開設などRENEWの開催（10月）を支援</p> <p>まちなか商店街の活性化</p> <p>○ 越前市やまちづくり武生等の協力を得て、県内大学生がまちあるきマップの作製や地元の小中高生に向けたワークショップの開催、県内外の若手絵本作家等の作品を商店街の店舗などに展示 【交流文化部】</p> <p>・仁愛大学生がアートをキーワードに企画したワークショップや、絵本作家によるお話し会など、越前市のまちなかを舞台に8月27日、28日の2日間開催</p>	<p>・RENEW参加者数 3.2万人（R3:2.6万人）</p> <p>3.7万人（3月末）</p> <p>・9月に学生による作品制作・設置・公開</p> <p>8月に実施</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策12-3】 ○スポーツによるまちづくり・交流人口拡大</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">スポーツ大会の連続開催や県内のトップスポーツチームの活躍応援など、スポーツをまちづくりや交流人口の拡大に活かす。</p>	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">国体・障スポレガシーを活かしたスポーツイベントの持続的な開催</p> <p>○ アスリートナイトゲームズなど県内外から多くの観戦者を呼び込めるイベントの開催を支援、また 日本スポーツマスターズなど全国大会の誘致 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・アスリートナイトゲームズのほか、イタリアの女子フットサルチームを招待した国際親善試合や、スポーツ体験やステージイベント等の同時開催により、盛上げの相乗効果を狙った大規模なスポーツイベントの開催を支援 </div> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の福井県開催</p> <p>○ ワールドマスターズゲームズなどの世界大会や全国大会を契機として、スポーツを活かしたまちづくりを進める市町を応援 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・トップアスリートによるカヌー体験会開催に向け、小学生を対象にカヌーポロ出前教室の実施や、カヌー紹介動画を作成（あわら市） ・東京五輪のフェンシング金メダリストと連携し、フェンシング体験教室やフェンシングPR展示など、フェンシングを通じたまちづくりを推進（越前市） ・オフロードバイクの大会開催に向け、コースの整備や体験教室を開催（大野市） </div> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">スポーツツーリズムの推進</p> <p>○ ふくい桜マラソンの開催に向けた準備、プレ大会などの機運醸成・大会広報を実施。海や川、山など自然を活かして県内外から参加者を募集するスポーツイベントの企画・開催を支援 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・県内マラソン大会や金沢・富山マラソン等でふくい桜マラソンの開催をPRするとともに、県内10ヶ所でランニングイベントや1年前プレ大会を実施 </div> <p>○ マラソンの人口の多い台湾をターゲットに、現地マラソン展示会出展や観光動画によるPRを実施し、ふくい桜マラソンをきっかけにしたインバウンド誘客を促進 ※再掲（施策10-3） 追加 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・台北マラソンエキスポに出展し、現地ランナー等450名以上に対し、福井県とふくい桜マラソンをPR ・現地の人気旅行番組「食尚玩家」を誘致し、訪日旅行再開後の初の日本ロケを福井県で実施。現地で2本放送したほか、動画サイトやSNSにより観光情報を発信 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・観戦者1,000人以上のスポーツイベント開催件数 4件（R3:2件） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;">3件（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを活かしたまちづくりを進める市町数 6市町（R3:4市町） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;">6市町（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ランニング・ウォーキング人口の拡大 プレ大会参加者数 5,000人（R3:-） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;">4,973人 ※3月26日開催</div> <ul style="list-style-type: none"> ・参加型のスポーツイベント開催件数 5件（R3:3件） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;">3件（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・展示会でのPR人数 300名（R3:-） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;">456名（3月末）</div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>県内トップスポーツチーム・選手を県民一体でサポート・応援</p> <p>○ 県の観光地等のPRや、スポーツ教室の開催、地域活動（祭り、清掃等）への参加を通じてファンの獲得を目指す「ふくい県民応援チーム（愛称：FUKUIRAYS）」の活動を支援 【交流文化部】</p> <p>・ FUKUIRAYSが、街なか（競技場や駅周辺・県内各地の交流施設（道の駅など））において、競技体験などミニスポーツイベントを開催</p> <p>1 県民1スポーツの推進</p> <p>○ 県民スポーツ祭や障スポ☆フェスタ、はびりゅうフェスタ等のスポーツ体験会や参加型のイベントの開催、クラブや指導者の育成など、県民がスポーツに親しむ環境づくりの推進 【交流文化部】</p> <p>・ 障スポ☆フェスタ（9月）やはびりゅうフェスタ（10月）等のスポーツ体験会を中心としたイベントを開催 ・ 県民スポーツ祭を4月から70競技、156部門で開催</p> <p>トップアスリートの養成</p> <p>○ 県・スポジョブ選手・競技団体が一体となったスカウト活動で、「スポジョブふくい」によるアスリートのUIターンを推進 ※再掲（施策1-1） 【交流文化部】</p> <p>・ 「スポジョブふくい」によるアスリートの就職支援を実施（令和5春採用22人内定） ・ 令和6年春就職に向けたインターンシップ参加の働き掛けやスカウト活動を開始</p>	<p>・ ふくい県民応援チーム・ホーム戦の平均入場者数 3,000人（R3:1,987人） 縮小</p> <p>2,681人（3月末）</p> <p>・ 成人のスポーツ実施率 60%（R3:66.5%（参考値））</p> <p>54.8%（3月末）</p> <p>・ 総合型地域スポーツクラブ会員数 6,800人（R3:6,246人）</p> <p>6,274人（3月末）</p> <p>・ 競技スポーツの全国大会での上位入賞数（1～3位） 100件（R3:188件）</p> <p>200件（3月末）</p>

政策12 文化・スポーツがふくいの活力

指標	実行プラン 記載の現状	2019年	実績 (2020年度)	実績 (2021年度)	実績 (2022年度)	目標 (2024年度)	達成度
成人のスポーツ実施率（週1回以上スポーツを実施） （全国体力・運動能力調査）	54.1% (2018)	54.8% (2019)	56% (2020)	66.5% (参考値)	54.8% (2022)	65% (2024)	○
総合型地域スポーツクラブ会員数 （福井県調べ）	6,619人 (2018)	6,635人 (2019)	6,009人 (2020)	6,246人 (2021)	6,274人 (2022)	7,500人 (2024)	○
文化活動を行う若者グループ （福井県調べ）	—	—	4グループ (2020)	9グループ (2021)	16グループ (2022)	30グループ (2024)	○
若者の大規模文化活動の数 （福井県調べ）	—	—	1回 (2020)	2回 (2021)	2回 (2022)	5回 (2024)	○
文化国際交流イベントの数 （福井県調べ）	3回 (2018)	3回 (2019)	2回 (2020)	4回 (2021)	3回 (2022)	10回 (2024)	※

（達成度の区分）◎…想定を超えて進捗、○…概ね順調に進捗、△…対策強化が必要、※…特殊事情による、中止、延期等、—…判断時期未到来

令和5年度の対応

【施策12-1】歴史ミュージアムふくいの発信

・開館1周年を迎える一乗谷朝倉氏遺跡博物館のPRイベントを開催し、誘客拡大を図るとともに、遺跡の発掘調査・復原整備を引き続き実施し、遺構等の確実な保存や見学環境を整備

【施策12-2】デザイン・アートなど「若者・よそ者」が集まるまちづくり

・助成制度や専門家による相談窓口、交流会の開催等によりネットワークの構築を図り、サブカルチャーを含めた多様なジャンル、地域における芸術文化活動を拡大

【施策12-3】スポーツによるまちづくり・交流人口拡大

・本県初となる都市型大規模フルマラソン「ふくい桜マラソン」を開催。また、ランニングイベントを毎月開催するなど、大会の機運醸成とあわせて県内のランニング人口を拡大
 ・全国規模のスポーツ大会や地域におけるスポーツイベントの開催を支援。県民や地域の若者・まちづくり団体、企業が、トップレベルのスポーツに触れ、手軽にスポーツを楽しむ、福井でスポーツ「ファン」やスポーツの「楽しさ」を創出することで、地域の交流人口を拡大

政策13 人生100年時代の健康ライフスタイル



目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策13-1】 ○100歳までの「健活力」の向上</p> <p>一滴がん検診の導入やフレイル予防等の促進により、疾病・要介護化を防止するとともに、元気な高齢者の社会参加を通じて、県民みんなが100歳まで健康に活躍できる。</p>	<p>一滴がん検診の導入</p> <p>○がん検診登録医療機関（約250機関（R4.4現在））の医師等を対象に、国立がん研究センター等が取り組む「血液一滴によるがん検診」に関する臨床研究成果の報告会を開催 【健康福祉部】</p> <p>・落谷教授（東京医科大学）による研究報告会をWEBで開催（R5.2.2）</p> <p>フレイル予防・認知症予防の強化</p> <p>○「ふくい型フレイル予防プログラム」について、市町のほか高齢者団体にも実施を促し全市町での参加者を拡大するほか、チェックデータの経年履歴から個人ごとの傾向や改善策の解析を東京大学の助言を得ながら行い、結果をフィードバックし予防への取組みを促進 【健康福祉部】</p> <p>・各市町においてフレイルチェックを実施 ・東京大学高齢社会総合研究機構の助言を得ながら、県作業療法士会等と協働し、県内のフレイルチェック参加者のデータ解析を実施</p> <p>オーラルフレイル予防の拡大</p> <p>○高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施において、「食べる力・話す力」を維持・向上させるため、通いの場等を活用した専門職による健康体操などの歯と口腔の健康づくり教室を開催 【健康福祉部】</p> <p>・各市町フレイルチェック会場において口の体操（パタカラ体操）を実施 ・オーラルフレイルに関する研修会を開催し、歯の健康に関する現状や取組みを関係者間で共有</p> <p>社会の支え手として活躍できる環境の整備</p> <p>○次世代型の地域包括ケアシステムの推進を図るため、東京大学が開発した就労マッチングアプリ「GBER」活用するモデル地区を増やしていくことで、第4期ジェロントロジー共同研究テーマである高齢者の地域における就労等支援を推進 ※再掲（施策3-2） 【健康福祉部】</p> <p>・県民せいきょうをモデル団体としてジョブマッチングアプリGBERを導入 ・福井、坂井、丹南地区の3地区で延べ29件マッチング成立（R5.3月末）</p>	<p>・報告会への参加医療機関数 120機関（R3:-）</p> <p style="text-align: right;">縮小</p> <p>50機関（R4）</p> <p>・フレイルチェック参加者数 延べ3,804人（R3:延べ2,220人）</p> <p>R5.5月公表予定</p> <p>・教室開催市町数 8市町（R3:-）</p> <p>17市町（3月末）</p> <p>・就労マッチングアプリ「GBER」を活用したモデル事業の実施 延べ3地区（R3:1地区）</p> <p>延べ3地区（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策13-2】 ○日常生活の中に仕掛ける健康づくりを促進</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">通勤や買い物での歩く習慣づくり、健康的な食生活など、日常生活の中で健康に配慮した活動が実践できる環境整備を進め、県民が健康に暮らすことができる。</p>	<p>歩く県民運動を推進</p> <p>○ さくらマラソン開催に向けて、アプリ活用による企業対抗ウォーキング大会を実施するとともに、ショッピングセンターウォーキングやスニーカービズを拡大し、県民の歩く習慣を定着 【健康福祉部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">・スニーカービズ運動を啓発するため、量販店においてスニーカービズコーナーを設置 ・アプリを活用した企業対抗ウォーキング大会「ラン&ウォーク」を啓発（5月、10月）</p> <p>1 県民1スポーツの推進（再掲）</p> <p>○ 県民スポーツ祭や障スポ☆フェスタ、はびりゅうフェスタ等のスポーツ体験会や参加型のイベントの開催、クラブや指導者の育成など、県民がスポーツに親しむ環境づくりの推進 ※再掲（施策12-3） 【交流文化部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">・障スポ☆フェスタ（9月）やはびりゅうフェスタ（10月）等のスポーツ体験会を中心としたイベントを開催 ・県民スポーツ祭を4月から70競技、156部門で開催</p> <p>「ふくい100彩（さい）ごはん」を開発・普及</p> <p>○ 栄養豊富な大豆を取り入れたバランスのよい食事「ふくい100彩（さい）ごはん」レシピ集を活用し、社員食堂等で普及・啓発するとともに、東京大学と連携して高齢者のフレイルと食事摂取状況に関する調査研究を実施 【健康福祉部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">・社食においてメニューの提供やイベント会場にて普及啓発を実施 ・県内4市町において、高齢者のフレイルと食事摂取状況に関する調査を実施</p> <p>健康リテラシー教育の実践</p> <p>○ 健康リテラシー教育の基礎資料とするため、元気な100歳長寿者への聞き取り調査を実施 【健康福祉部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">・県内在住の100歳以上長寿者（665名）に対し事前に健康状態を調査し、詳細な本調査に対応可能な長寿者に対し、生活状況等を詳しく調査実施</p>	<p>・ウォーキング大会に参加する企業数 150社（R3:130社）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">166社（R4）</p> <p>・成人のスポーツ実施率 60%（R3:66.5%（参考値））</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">54.8%（3月末）</p> <p>・総合型地域スポーツクラブ会員数 6,800人（R3:6,246人）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6,274人（3月末）</p> <p>・社員食堂等での「ふくい100彩ごはん」メニュー提供や意識改善アンケートを実施する事業者数 5事業者（R3:-）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6事業者（3月末）</p> <p>・100歳長寿者への調査数 17人（R3:-）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">12人（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>職域における生活習慣病の予防促進</p> <p>○ 経済界と保険者との連携強化による「健康づくり実践事業所」の認定拡大や、減塩等を意識した食生活改善を普及するとともに、かかりつけ医からの受診促進や、保険者間の連携による被扶養者の受診機会を拡大し、特定健診受診率の向上を目指す</p> <p style="text-align: right;">【健康福祉部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定健診受診促進のため啓発キャンペーンを量販店で実施（6/5）したほか、テレビCMや新聞広告等により普及を図った（9-12月） ・ 協会けんぽやアクサ生命等と協力し、従業員の健康づくりを啓発し、「健康づくり実践事業所」への申請を促進 </div> <p>健康改善の見える化</p> <p>○ 国保データベース等を活用し、市町における地域住民の健康改善効果を「見える化」する取組みを支援するとともに、わがまち健康推進員への研修に活用</p> <p style="text-align: right;">【健康福祉部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国保データベース等を活用した資料「わがまち健康カルテ」を市町ごとに作成し提供、活用を促進 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認定事業所数 120事業所（R3:95事業所） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">122事業所（R4）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市町国保被保険者の集団健診・個別健診受診者数 R元(32,000人)比 10%増(35,000人) (R3:R元比 約9%減(確定値29,100人)) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">R5.6月公表予定</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 取組市町数 17市町（R3:-） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">17市町（3月末）</div>

目指す姿	主な施策	目標（K P I）
<p>【施策13-3】 ○地域の健康づくりに専門家を活用し住民サポートを強化</p> <p>フレイルサポーターの交流会を行い、地域住民の健康をきめ細やかにサポートする。</p>	<p>健康づくりの担い手の育成強化</p> <p>○ ふくいフレイルサポーターの会を開催し、市町間を超えたサポーターの交流を促進するとともに、活動の機運を高めて住民主体型のフレイル予防事業を目指す。 【健康福祉部】</p> <p>・ふくいフレイルコミッティーを開催（R4.6.9、R5.3.3） ・ふくいフレイルニュース作成（6月、9月、3月）</p> <p>専門人材との連携強化</p> <p>○ わがまち健康推進員と専門職（管理栄養士）が連携を図り、地域において食に関する研修会等を開催し地域住民の健康づくりを支援する。 【健康福祉部】</p> <p>・地域の高齢者に対し、フレイル予防対策に関連した食に関する研修会開催 ・わがまち健康推進員リーダー研修会を開催し、資質の向上を図った（R4.11）</p>	<p>・フレイルサポーター養成数 158人（R3:149人）</p> <p>R5.5月公表予定</p> <p>・研修会等開催 10回以上（R3:-）</p> <p>16回（3月末）</p>

政策13 人生100年時代の健康ライフスタイル

指標	実行プラン 記載の現状	2019年	実績 (2020年度)	実績 (2021年度)	実績 (2022年度)	目標 (2024年度)	達成度
生活習慣病（脳血管疾患、心疾患、悪性新生物）による死亡数（人口10万人当たり） （人口動態調査）	185.8人 (2017)	181.8 (2018)	181.4人 (2019)	177.0人 (2020)	177.6人 (2021)	162.0人 (2024)	○
歩数の増加（20～64歳） （県民健康・栄養調査）	男性7,703歩 女性6,805歩 (2016)	— (2023データ公表)	— (2023データ公表)	— (2023データ公表)	— (2023データ公表)	男性9,000歩 女性8,000歩 (2024)	—
食塩摂取量 （県民健康・栄養調査）	男性10.5g 女性9.1g (2016)	— (2023データ公表)	— (2023データ公表)	— (2023データ公表)	— (2023データ公表)	男性7.5g未満 女性6.5g未満 (2024)	—
成人喫煙率 （県民健康・栄養調査）	20.9% (2016)	— (2023データ公表)	— (2023データ公表)	— (2023データ公表)	— (2023データ公表)	12.0% (2024)	—
特定健診受診率 （福井県調べ）	54.0% (2018)	55.5% (2019)	52.8% (2020)	56.5% (2021速報値)	— (12月公表予定)	70% (2024)	—
フレイルチェック参加者数 （福井県調べ）	延べ498人 (2018)	延べ1,119人 (2019)	延べ1,462人 (2020)	延べ2,220人 (2021)	— (5月公表予定)	延べ2,000人 (2024)	—

（達成度の区分）◎…想定を超えて進捗、○…概ね順調に進捗、△…対策強化が必要、※…特殊事情による、中止、延期等、—…判断時期未到来

令和5年度の対応

<p>【施策13-1】100歳までの「健活力」の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オーラルフレイルに関する研修会を開催し、保健事業と介護事業の関係者で歯の健康に関する現状や取組について共有 <p>【施策13-2】日常生活の中に仕掛ける健康づくりを促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント会場や量販店において「ふくい100彩ごはん」の普及を図り、健康な100歳につながるバランスのとれた食事を促進 ・経済界や協会けんぽ等との連携を強化し、社員の健康づくりを進める「健康づくり実践事業所」を認定するとともに、県内事業所への横展開を図る <p>【施策13-3】地域の健康づくりに専門家を活用し住民サポートを強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わがまち健康推進員リーダー研修会を開催し、地域に根差した健康づくりを推進 ・ふくいフレイルコミッティーを開催し、フレイルサポーター同士の情報発信・交流促進を行う。 ・ニュースレター（ふくいフレイルニュース）を発行し、情報発信を強化
--

政策14 いつでもどこでも安心の医療・介護・福祉



目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策14-1】 ○「地域完結型」の医療体制の確立</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">県内どの地域においても、急性期医療からリハビリ、在宅医療まで、症状に応じた医療サービスを安心して受けられる。</p>	<p>医師の偏在是正</p> <p>○ 自治医科大学卒業医師や健康推進枠奨学生、福大特命医師、ドクタープール医師等の確保・勤務調整により、医師不足の医療機関への医師派遣を増加 【健康福祉部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">・自治医科大学卒業医師やドクタープール医師、健康推進枠奨学生等の派遣調整を行い、令和5年度は83人を医師不足医療機関に派遣</p> <p>○ Uターン奨学金の活用促進や総合診療・総合内科センターとの連携、奨学生医師の内科等誘導策の検討等により、不足診療科の医師を確保・育成 【健康福祉部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">・健康推進枠奨学生が不足診療科を選択しやすくなるよう診療科別コースを設定（2月） ・奨学生との面談時に内科など不足診療科を推奨、合同説明会等においてPR ・不足診療科を選択する専攻医に対して研鑽費を助成</p> <p>ドクターヘリの単独運航</p> <p>○ 県内全域を対象に福井県ドクターヘリを運航するとともに滋賀県、岐阜県への応援運航を開始 【健康福祉部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">・滋賀県（長浜市・米原市）と福井県（嶺南地域）の相互応援運航協定を締結（5/19） ・岐阜県（郡上市）と福井県（大野市和泉地域）の相互応援運航協定を締結（10/21）</p> <p>医療ニーズに応じた体制づくり</p> <p>○ 令和5年度までに地域医療構想に係る対応方針の策定や見直しに向け、公立・公的病院だけでなく民間病院も含め、将来担うべき役割などを地域医療構想調整会議で協議 【健康福祉部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">・県内医療機関を対象に今後の地域医療構想の進め方について説明会を実施（8月） ・将来担うべき役割など各医療機関の対応方針について意向調査を実施（10月） ・各保健所単位（6箇所）で地域医療構想調整会議を実施し対応方針を協議（3月）</p> <p>○ 嶺南地域の中核病院に急性期医療の機能強化に必要な施設・設備整備を支援するとともに、二州地域の医療提供体制の見直しを検討 【健康福祉部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">・公立小浜病院、市立敦賀病院および敦賀医療センターと必要な設備整備の内容を協議し、必要額を交付（3病院合計：221百万円） ・市立敦賀病院および敦賀医療センターの役割分担や連携について協議（3月）</p>	<p>・ 令和5年度に医師不足医療機関へ派遣する医師数 81人（R3:73人）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">83人（R5.4月）</p> <p>・ 福井県ドクターヘリ出動件数 350件（R3:311件）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">405件（3月末）</p> <p>・ 将来担うべき役割の対応方針協議 67病院（R3:-）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">110医療機関 （57病院、53有床診療所）（R4）</p> <p>・ 嶺南地域急性期医療体制強化事業の支援機関数 3機関（R3:3機関）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">3機関（R4）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>○ 新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた、ワクチン接種、検査、入院調整、受入病床確保、経口薬治療等による医療提供体制の確立を今後の対策に盛り込み、新たな感染症にも打ち克てる体制を構築 【健康福祉部】</p> <div data-bbox="846 193 1686 360" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内336医療機関と行政検査の契約を締結するなど、10,176件/日の検査体制を整備 ・ 新型コロナ患者受入れ病床は、宿泊療養施設を含め1,080床確保 ・ 福井大学病院の専用病床整備（HCU8床）を支援し、中等症以上の患者受入れを強化 ・ 市町・医療機関との連携、県営接種会場設置などワクチン接種を推進 ・ 県内173医療機関の協力を得て、電話やオンラインで診療・投薬を実施 </div> <p>医療人材の確保・育成</p> <p>○ 新卒看護師の県内就業の促進や離職防止とともに、潜在看護師の再就業促進や資質向上など、医療機関等の看護師確保を支援 【健康福祉部】</p> <div data-bbox="846 517 1686 646" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度新たに採用力強化研修や先輩看護師相談会を実施、初めて新卒採用に取り組む10施設を含む43医療機関による合同就職説明会開催（3月） ・ オンライン相談窓口の設置やハローワークとの個別出張相談の実施などにより、求人施設と求職者のマッチングを促進 </div> <p>○ 保健所等において勤務する公衆衛生医師を確保するため、大学から県に医師を派遣する仕組みを検討するとともに、関係団体等に対し候補者の紹介等を依頼 【健康福祉部】</p> <div data-bbox="846 775 1686 1038" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公衆衛生行政体制整備事業の予算を確保（R5予算額46,888千円、R5～R9の5年間福井大学に寄付講座を設置し大学医師派遣による保健所支援、保健所実習等の学生教育、公衆衛生に関する研究等を行う） ・ 候補者に直接応募を働きかけ（福井県ドクターバンク登録者21名、福井大学医学生60名、女性医師バンク登録者約3000人 他） ・ 関係団体に対し候補者紹介等を依頼（女性医師の会、自治医科大学卒業医師の会 他） ・ 各種広報媒体により応募を広く呼びかけ（HP・広報誌・新聞等での広報、募集パンフレットリニューアル（8月）、本県出身大学生の親への就職情報発送（7月、12月） 他） </div> <p>○ 薬学生の県内就職の促進を図るとともに、薬学部進学者を増やすための取り組みを行い、県内の医療機関・薬局等に必要な薬剤師を確保 【健康福祉部】</p> <div data-bbox="846 1134 1686 1281" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県外薬学部の就職合同説明会に参加し、県内就職を呼びかけ ・ 薬学部進学者を増やすため、高校生セミナーを開催（WEB 11/21～1/9；視聴35名 延視聴258回） ・ 中学生・高校生を対象に、病院や薬局の職場体験・見学会を実施（7/23～8/13；82名参加） </div>	<p>・ 養成所卒業生の県内就業率 70%（R3:67%）</p> <div data-bbox="1738 517 2123 582" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>R5. 5月公表予定</p> </div> <p>・ 薬学生のUIターン率 75.0%（R3:71.4%）</p> <div data-bbox="1738 1134 2123 1200" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>91.1%（R4）</p> </div> <p>・ 薬学部進学者数 55名（R3:55名）</p> <div data-bbox="1738 1374 2123 1439" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>44名（R4）</p> </div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策14-2】</p> <p>○「スマート医療」の推進</p> <p>一滴がん検診の研究の推進に貢献し、高齢者が身体的負担の少ないがん検診を受けられるようにする。</p>	<p>ICTやAI等による医療水準の向上</p> <p>○ 患者への負担が少なく高度な手術ができる手術支援ロボットを導入するなど、県民に高度な治療を提供 【健康福祉部】</p> <p>・手術支援ロボットによる手術部位を5部位（R3年度実績）から11部位に拡大 ・特に食道等の3部位は、県内では県立病院でのみ実施</p> <p>○ 在宅医療における見守り機能を強化するため、かかりつけ医師や看護師等が訪問先などからモバイル端末を活用し、患者の治療やケアに関する情報を閲覧・入力できるシステム整備に着手 【健康福祉部】</p> <p>・医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、ベンダーなど関係者との協議を重ね ・県医師会の試作システム設計を支援し、実証実験を実施（11月～12月） ・運用開始は令和6年4月を予定</p> <p>○ へき地における医療提供体制強化のため、へき地診療所において通信事業者等と連携し、オンライン診療の活用場面や有効性を明らかにする実証事業を実施 【健康福祉部】</p> <p>・へき地診療所4施設や通信事業者等と協力し、7月から実証事業開始 ・オンライン診療や在宅患者への対応、専門医による診療支援などの実証を実施（3月末・22回）</p> <p>一滴がん検診の導入（再掲）</p> <p>○ がん検診登録医療機関（約250機関（R4.4現在））の医師等を対象に、国立がん研究センター等が取り組む「血液一滴によるがん検診」に関する臨床研究成果の報告会を開催 ※再掲（施策13-1） 【健康福祉部】</p> <p>・落谷教授（東京医科大学）による研究報告会をWEBで開催（R5.2.2）</p>	<p>目標（KPI）</p> <p>・ロボット手術件数 25件（R3:10件）</p> <p>152件（R5.3月末）</p> <p>・試作システムを活用した実証実験の実施（R3:-）</p> <p>実証実験を実施（11月～12月）</p> <p>・オンライン診療等を行うへき地診療所数 4箇所（R3:-）</p> <p>4箇所（R4）</p> <p>・報告会への参加医療機関数 120機関（R3:-）</p> <p>50機関（R4）</p> <p style="text-align: right;">縮小</p>

目指す姿	主な施策	目標（K P I）
<p>【施策14-3】</p> <p>○「次世代包括ケアシステム」の推進</p> <p>医療と介護の融合のみならず、フレイル予防や生活支援も含め、高齢者が状態に応じた適切な支援を受けながら地域で暮らすことができる。</p>	<p>回復型フレイルの導入</p> <p>○「ふくい型フレイル予防プログラム」について、市町のほか高齢者団体にも実施を促し全市町での参加者を拡大するほか、チェックデータの経年履歴から個人ごとの傾向や改善策の解析を東京大学の助言を得ながら行い、結果をフィードバックし予防への取組みを促進 ※再掲（施策13-1） 【健康福祉部】</p> <p>・各市町においてフレイルチェックを実施 ・東京大学高齢社会総合研究機構の助言を得ながら、県作業療法士会等と協働し、県内のフレイルチェック参加者のデータ解析を実施</p> <p>生活支援体制の整備</p> <p>○次世代型の地域包括ケアシステムの推進を図るため、東京大学が開発した就労マッチングアプリ「GBER」活用するモデル地区を増やしていくことで、第4期ジェロントロジー共同研究テーマである高齢者の地域における就労等支援を推進 ※再掲（施策3-2、13-1） 【健康福祉部】</p> <p>・県民せいきょうをモデル団体としてジョブマッチングアプリGBERを導入 ・福井、坂井、丹南地区の3地区で延べ25件マッチング成立（R5.1月末）</p> <p>在宅ケア提供体制の充実</p> <p>○各郡市医師会と市町による在宅医療の進め方に関する協議会で医療・介護の連携を協議し、ICTを活用した多職種での情報共有などによる坂井地区モデルの全県展開を推進 【健康福祉部】</p> <p>・在宅医療多職種向け研修（R4.12.7） ・福井県版エンディングノートを活用した在宅医療提供体制の推進（県民公開講座（R5.2.19））</p> <p>○訪問看護ステーションと病院の相互人事交流によるスキルアップの支援やトライアル雇用制度の活用により、訪問看護体制を充実 【健康福祉部】</p> <p>・訪問看護ステーションと病院による相互交流派遣事業 2組実施 ・トライアル雇用制度 16名利用</p>	<p>・フレイルチェック参加者数 延べ3,804人（R3:延べ2,242人）</p> <p>R5.5月公表予定</p> <p>・就労マッチングアプリ「GBER」を活用したモデル事業の実施 延べ3地区（R3:1地区）</p> <p>延べ3地区（3月末）</p> <p>・地域住民による生活支援実施市町数 13市町（R3:11市町）</p> <p>12市町（R4）</p> <p>・在宅で医療・介護を受ける人の数 （訪問看護の利用者数） 6,875人（R3:6,999人）</p> <p>7,133人（R4）</p> <p>・「ちょこっと就労」の新規参加者数 （累計） 424人（R3:218人） 縮小</p> <p>364人（3月末）</p> <p>・介護従事者数 11,904人（R3:11,691人）</p> <p>11,747人（R4.10月）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>「ACP」の普及啓発</p> <p>○ ACPの普及啓発として、在宅医による在宅ケアサポートセンターの協力により「福井県版エンディングノート（つぐみ）」を作成し、県民に広く周知</p> <p style="text-align: right;">【健康福祉部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・福井県版エンディングノート「つぐみ」作成（R4.11） ・在宅医療に関する県民公開講座において福井県版エンディングノートを周知（R5.2.19） </div> <p>外国人介護人材の活用促進</p> <p>○ タイの教育機関等と連携する本県の介護人材確保について、令和4年秋の受入れに向け現地の教育機関において日本語と介護の教育を実施</p> <p style="text-align: right;">【健康福祉部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・タイにおいて介護人材送しの実績の高い民間送出国と連携し、同社が育成した技能実習生を6名受入れ（R4.4） ・タイの財団と連携し、県や福井県介護福祉会により、介護や介護に必要な日本語の教育・研修を実施した実習生6名とタイの送出国による実習生2名を受け入れ（R4.9） </div> <p>介護職の魅力向上</p> <p>○ 介護業界の魅力向上を図るため、モデル事業所による働き方の見直し（選択的週休3日制度の導入等）や複数事業所の連携による人材確保・育成を実施</p> <p style="text-align: right;">【健康福祉部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【選択的週休3日制度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル事業所（2事業所）決定（8月） ・週休3日制度の試験的導入（9月～3月） <p>【複数事業所連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携事業所決定（11月） ・事業所間の交流会（2月） ・合同就職説明会（3月） </div> <p>地域のニーズに応える介護施設の整備</p> <p>○ 第8期福井県高齢者福祉計画・介護保険事業支援計画に基づき、各市町における特別養護老人ホームなどのベッド数を増加整備（2023年度までに413床）</p> <p style="text-align: right;">【健康福祉部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホーム39床 ・認知症グループホーム72床 ・特定施設入居者生活介護21床 <p style="text-align: right;">計132床</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・配布部数 10,000部（R3:-） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">8,000部（R4）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・県の事業によりタイから迎える技能実習生 24名（R3:-） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 縮小 タイ人技能実習生14名受入れ （R5.5月に7名追加で入国予定） </div> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル事業所数 3箇所（R3:-） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 選択的週休3日制度：2事業所 複数事業所連携：1連携（2法人連携） </div> <ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホーム等の増床数 累計323床（R3:151床） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">累計283床（R4）</div>

目指す姿	主な施策	目標（K P I）
<p>【施策14-4】</p> <p>○包括的な福祉相談体制の構築</p> <p>県民や世帯が抱える複合化した課題をワンストップで受け止める福祉相談体制を構築するなど各種支援機関と連携して、自立した生活の実現とくらしの安心を確保</p>	<p>包括的な支援体制の整備</p> <p>○一人で要介護者を介護する方々の不安や悩みを軽減するため、家族介護の理解促進のための動画の周知・活用を図り、「介護を抱え込まない」ための介護負担アセスメントシートを活用した状況把握、対応困難例に対する市町へのアドバイザー派遣等により家族介護者への支援等を実施 【健康福祉部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県ホームページに動画掲載中 ・状況把握 年2回実施 ・アドバイザー派遣 6件 <p>○発達障がい者が、早い段階で自分の特性や適正に気づき、企業等において自分らしくいきいきと活躍できるよう、自己理解ツールの試行、就労サポーターの育成と相談支援体制の整備、特性に応じた福井県版就労支援プログラムの開発・導入、企業等への研修を進め、総合的な支援体制の整備を目指す。 【健康福祉部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己理解ツールの試行（高校1校） ・発達障がい者サポーター養成研修の開催（10/18～11/18 オンライン研修） ・就労訓練プログラムの開発 ・企業に対する出前講座の実施（9/3・4、9/26、11/16） 	<p>・介護負担アセスメントシートを活用した地域包括支援センターから家族介護者への延べ支援件数 200件（R3:146件）</p> <p>R5.5月公表予定</p> <p>・自己理解ツールの試行（R3:-）</p> <p>高校1校（R4）</p> <p>・発達障がい者サポーター数 15名（R3:-）</p> <p>25名（R4）</p> <p>・就労支援プログラム導入数 5事業所（R3:-）</p> <p>5事業所（R4）</p> <p>・受入れ側（企業等）への研修 3回（R3:-）</p> <p>3回（R4）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>困難事例への対応強化</p> <p>○ 県民が抱える複合化した課題をワンストップで受け止める「総合相談支援体制」を市町で構築するため、専門家を派遣 【健康福祉部】</p> <div data-bbox="846 256 1686 352" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザーの選定、就任依頼（4月） ・派遣対象市町の選定、支援内容の検討（5月～7月） ・アドバイザーの派遣（8月） </div> <p>○ 市町におけるひきこもり対策への取組みを進めるため、引き続き市町の困難案件への後方支援を強化し、保健所圏域で連携体制について協議することで、ひきこもり支援体制のレベルアップを図る。 【健康福祉部】</p> <div data-bbox="846 496 1686 592" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・先駆的な事例を学ぶ研修会の開催（11/9） ・市町支援チームの派遣 ・各保健所で協議会を開催 </div> <p>医療的ケア体制の充実</p> <p>○ 障がい児の在宅医療の充実を図るため、対応できる医師や看護師等を養成し、訪問看護延長サービスを実施するとともに、医療的ケアが必要な方が利用できるグループホーム整備の支援体制の検討や医療的ケア児を受け入れる放課後等デイサービス事業所の増加を図る。 【健康福祉部】</p> <div data-bbox="846 963 1686 1059" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児者支援者養成研修を実施 ・長時間訪問看護を実施した訪問看護ステーションに助成 ・医療的ケア児者に入浴サービスを提供した事業所を新たに助成 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・包括的な支援体制（相談支援包括化推進員の配置等）を構築する市町数 10市町（R3:3市町） <div data-bbox="1738 256 2123 320" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">13市町（R4）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・市町支援チームの派遣 6回（R3:3回） <div data-bbox="1738 496 2123 560" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">4回（R4）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・保健所単位で連携強化のための協議会を開催 6保健所（R3:-） <div data-bbox="1738 711 2123 775" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">6保健所（R4）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護延長サービスの実施 5地区（R3:2地区） <div data-bbox="1738 963 2123 1027" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">3地区（R4）</div>

縮小

政策14 いつでもどこでも安心の医療・介護・福祉

指標	実行プラン 記載の現状	2019年	実績 (2020年度)	実績 (2021年度)	実績 (2022年度)	目標 (2024年度)	達成度
在宅で医療・介護を受ける人の数 (訪問看護の利用者数) (福井県調べ)	5,820人 (2018)	6,244人 (2019)	6,680人 (2020)	6,999人 (2021)	7,133人 (2022)	6,150人 (2024)	○
ドクタープール制度等を活用して県が医療機関へ 派遣した医師数 (福井県調べ)	49人 (2019年4月)	49人 (2019年4月)	61人 (2021年4月)	73人 (2022年4月)	83人 (2023年4月)	81人 (2024)	○
介護従事者数 (福井県調べ)	11,184人 (2018)	11,360人 (2019)	11,520人 (2020)	11,691人 (2021)	11,747人 (2022)	12,400人 (2024)	○
「ちょこっと就労」の新規参加者数 (福井県調べ)	48人 (2018)	147人 (2019)	178人 (2020)	218人 (2020～2021計)	364人 (2020～2022計)	550人 (2020～2024計)	※
地域住民による生活支援実施市町数 (福井県調べ)	3市町 (2018)	4市町 (2019)	5市町 (2020)	11市町 (2021)	12市町 (2022)	17市町 (2024)	○

(達成度の区分) ◎…想定を超えて進捗、○…概ね順調に進捗、△…対策強化が必要、※…特殊事情による、中止、延期等、—…判断時期未到来

令和5年度の対応

<p>【施策14-1】「地域完結型」の医療体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口減少や高齢化に伴う医療ニーズの変化に対応し、質の高い医療を効率的に提供できる体制を構築するため、第8次医療計画（令和6年度～11年度）の策定作業と併せて、各医療機関の将来担うべき役割などを具体的に議論し、対応方針を決定 <p>【施策14-2】「スマート医療」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> SNS機能を拡張したメディカルネットの本格稼働に向けた試験運用、公立診療所等におけるオンライン診療実証の拡充などにより、ITCを活用した医療提供体制を強化 <p>【施策14-3】「次世代包括ケアシステム」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京大学が開発した就労マッチングアプリ「GBER」を活用し、福井県民生活協同組合をモデル団体としてシニア世代の社会参加を促進 高齢者の地域での生活支援体制の充実のため、地域住民ボランティアによる自動車を活用した外出支援体制を構築 <p>【施策14-4】包括的な福祉相談体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 重層的支援体制整備事業への移行に取り組む市町に対するアドバイザー派遣を継続して実施
--

政策15 ふるさとの暮らしと風景の維持



目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策15-1】 ○「住みやすさ改革」による豊かな地域コミュニティづくり</p> <p>集落機能の維持・活性化に対する支援に加えICTの活用や民間サービスとの連携による新たな共助の仕組みづくり、空き家の活用や除却を進め、地域社会の活力を維持する。</p>	<p>将来にわたる集落機能の維持・活性化 安心して暮らせる集落生活圏の形成 小さな拠点による「つながり力」の強化</p> <p>○ 市町が実施する地域独自の集落活性化策や空き家等を活用したふるさと茶屋の整備を支援し、集落機能の維持・活性化をサポート 【地域戦略部】</p> <p>・各市町が独自に実施する集落活性化対策に対し支援 ・地域住民が主体となり、地元農産物等の販売などを行う福井ふるさと茶屋の整備に対し支援し（3地区）、2地区でオープン</p> <p>空き家の活用や取り壊しの促進</p> <p>○ 空き家の活用と発生予防、既存の生活圏への誘導を促進するため、空き家の購入・リフォーム等に対する補助を継続するとともに、リフォーム済み空き家購入等への加算を実施 【土木部】</p> <p>・福井県空き家対策協議会を開催、制度周知を実施（6/8、10/20、3/17） ・各市町・関係団体への広報等の依頼 ・支援制度講習、動画配信等により補助制度をPR</p> <p>○ 老朽空き家等の除却を促進するため、除却補助を実施するとともに、その発生を抑制し、空き家の適正管理を促進するため、空き家管理代行サービスの利用に対する補助等を実施 【土木部】</p> <p>・福井県空き家対策協議会を開催、制度周知を実施（6/8、10/20、3/17） ・各市町・関係団体への広報等の依頼 ・支援制度講習、動画配信等により補助制度をPR</p>	<p>・地域運営組織の数(地域課題解決に向けた取組みを持続的に行う住民組織) 57組織（R3:54組織）</p> <p>77組織(3月末)</p> <p>・ふるさと茶屋の取組地区数 31地区（R3:29地区）</p> <p>31地区(3月末)</p> <p>・空き家購入・リフォーム等件数 137件（R3:150件）</p> <p>131件（3月末）</p> <p>・空き家情報バンク新規登録件数 240件（R3:275件）</p> <p>R5.5月公表予定</p> <p>・老朽空き家等の除却戸数 120戸（R3:110戸）</p> <p>100戸（3月末）</p> <p>・空き家管理代行サービス利用戸数 100戸（R3:5戸）</p> <p>11戸（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p data-bbox="831 124 1223 151">人口減少時代に対応した仕組みづくり</p> <p data-bbox="831 164 1133 191">次世代型コミュニティの実現</p> <p data-bbox="824 199 1682 280">○ 地域外人材の活用や民間企業との連携などにより地域課題の解決を図る新しい共助の仕組みの導入に向け、3地区のモデル地区において実証事業を継続実施 【地域戦略部】</p> <div data-bbox="846 288 1686 400" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="857 312 1653 379">・ 県内3地区（鯖江市河和田地区、坂井市竹田地区、越前町上岬地区）において、地域交通システムの運用や、地域通貨を活用した地域の活性化など、地域課題解決に向けた取組みに対し支援</p> </div> <p data-bbox="831 443 1272 470">快適な暮らしを支えるインフラ施設の構築</p> <p data-bbox="824 483 1682 533">○ 汚水処理施設（下水道等）の整備や老朽化対策等を推進し、衛生的で快適な生活環境を創出・保全 【土木部】</p> <div data-bbox="846 541 1686 600" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="857 557 1585 579">・ 汚水処理施設（下水道等）の整備や老朽化対策等を県および市町等にて実施中</p> </div>	<p data-bbox="1727 199 2107 272">・ 次世代コミュニティ創出モデルの取組地区数 3地区（R3:2地区）</p> <div data-bbox="1738 288 2123 352" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="1765 312 1888 333">3地区(3月末)</p> </div> <p data-bbox="1727 483 1944 533">・ 汚水処理人口普及率 97%（R3:97.1%）</p> <div data-bbox="1738 541 2123 600" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="1765 557 1910 579">R5.8月公表予定</p> </div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策15-2】 ○美しい景観の保全・形成</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">歴史的まちなみや優れた自然景観など、美しい福井の風景を保全・形成する。</p>	<p>景観の保全・活用</p> <p>○「福井ふるさと百景」や伝統的民家群などを活用し地域の景観づくりを行う団体を支援 【交流文化部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">・【百景団体】越前市「エコ・グリーンツーリズム 水の里 しらやま」 「大塩八幡宮保存会」南越前町「糠地区」 【伝民地区】永平寺町「竹原地区」鯖江市「川島町地区」</p> <p>広域景観の形成</p> <p>○市町が行う新幹線を望める視点場整備を支援（福井市、鯖江市、越前市、敦賀市が予定） 【交流文化部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">・福井市（マイアクア展望台）、鯖江市（弁財天山）、越前市（村国山）、敦賀市（あっとほうむ展望デッキ）</p> <p>美しい田園や森林風景の維持</p> <p>○県内各地域の農村ならではの風景を収集、県のホームページやSNS等で県民にPRし、農村の保全活動を活性化 ※再掲（施策5-3） 【農林水産部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">・農村の暮らしや文化など人の営みを感じられる風景の写真を募集し（ふくいの農ある風景フォトコンテスト）、入賞作品の巡回展を実施</p> <p>○景観対策として市町が行う花木など広葉樹等の植栽や不用木除去を支援し、美しい森林景観を保全 【農林水産部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">・県内9市町（13か所）において、市町が行う花木など広葉樹等の植栽や不用木の除去を支援</p> <p>クリーンアップふくいの推進</p> <p>○海ごみの発生防止につながる九頭竜川などでの河川清掃や、海岸での楽しいごみ拾いイベントを実施し、海岸の環境美化を推進 【安全環境部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">・九頭竜川流域に加え、足羽川流域に活動範囲を拡大し河川清掃を実施（4～7月：6か所） ・福井市、美浜町、若狭町において、スポGOMI大会やクリーンウォーキングを開催（5～7月）</p> <p>環境保全対策の推進</p> <p>○湖沼の水質監視や事業者への排出指導を行うとともに、水質改善策について調査研究を実施し、身近な水辺を保全 【安全環境部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">・北潟湖、三方五湖の水質監視を実施 ・有機汚濁の実態解明に向け、湖沼環境の影響評価に関する調査研究を推進</p>	<p>・団体認定数 5団体（R3:5団体）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5団体（3月）</p> <p>・視点場整備箇所数 4箇所（R3:1箇所）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4箇所（3月末）</p> <p>・巡回展 3回（R3:3回）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6回（6会場）（3月末）</p> <p>・景観保全面積 52ha（R3:52ha）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">33ha（3月末）</p> <p>・ごみ拾いイベント等の参加者数 1,000人（R3:554人）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1,092人（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策15-3】 ○里山里海湖の保全・活用</p> <p>くらしの中で守られてきた豊かな自然環境を保全し、まちづくりに活かすとともに、その魅力で交流人口を拡大する。</p>	<p>自然再生の推進</p> <p>○ 三方五湖、北潟湖等において、地域住民と協働してヒシの刈取や外来種防除等の自然再生を進めるとともに、学びの森・海湖等での体験プログラム提供を促進 【安全環境部】</p> <p>・地域住民や専門家、行政が協力し外来生物の駆除等を実施 ・自然再生協議会の開催（三方五湖 1回、北潟湖 2回） ・地域住民が主体のコウノトリファンクラブ（鯖江市吉川）が実施する自然再生の取組みを支援 ・生き物観察会等の出前講座や学びの森・海湖での自然体験イベント等を開催</p> <p>自然体験拠点の形成</p> <p>○ 六呂師高原活性化構想に基づき、自然保護センターの改修の検討を進めるとともに、日本一の本県の星空の魅力を普及する天文リーダーを養成 【安全環境部】</p> <p>・自然保護センターにおいて、天文リーダーを養成する天文に関する専門講座を開催（専門講座：6月～9月（8回）、実技試験：4月～3月（6回））</p> <p>年縞博物館の魅力充実</p> <p>○ 特別展や周辺・近県施設と連携した企画等を開催、県内外からの教育旅行の誘致を促進、立命館大学など関係機関と連携した年縞研究を推進し、年縞の価値を国内外に発信 【安全環境部】</p> <p>・「掘る」をテーマとした特別展を縄文博物館と合同で開催（8/3～10/3） ・国際会議「The Best In Heritage」（オンライン）で年縞博物館を紹介（5～10月） ・中米地域の「年代のものさし」を新たに作るため、メキシコの湖沼において年縞を掘削・調査（5月～）、関連する企画展開催（1～7月）（掘削には博物館学芸員が協力） ・近隣3施設が共同で県内小中高校や旅行会社に活用を働きかけ（2月）</p> <p>コウノトリが生息できる自然環境の創出</p> <p>○ コウノトリの飛来地等において、巣塔など生息環境の整備や環境に配慮した農法等を推進し、コウノトリの定着・野外繁殖を促進 【安全環境部】</p> <p>・巣塔 1 基（小浜市熊野）、ビオトープ 3 か所（越前市菖蒲谷町、越前市堀町、小浜市熊野）を設置 ・越前市、小浜市に加えて初めて鯖江市においてヒナが誕生するなどし、野外コウノトリ 12羽が巣立ち</p>	<p>・自然再生取組地域数（累計） 12地域（R3:11地域）</p> <p>12地域（3月末）</p> <p>・天文リーダー（星のソムリエ）養成者数（累計） 14人（R3:7人）</p> <p>13人（3月末）</p> <p>・国際年縞研究会議への参加者数 15人（R3:10人）</p> <p>13人（3月末）</p> <p>・巣塔・ビオトープの設置箇所数 2箇所（R3:2箇所）</p> <p>4箇所（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策15-4】 ○エネルギーと資源の循環型社会の構築</p> <p>持続可能な社会を実現するため、地球温暖化防止活動の普及や再生可能エネルギーの利用拡大、廃棄物の減量化とリサイクルにより環境対策を推進する。</p>	<p>未来を守るストップ温暖化</p> <p>○「福井県環境基本計画」を改定し、再エネの導入拡大や省エネ対策などの目標を設定することで、CO2削減をさらに推進</p> <p style="text-align: right;">【安全環境部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境基本計画改定に向けた環境審議会を開催（6月、11月、3月） ・福井県環境基本計画を改定（3月） <p>○毎月第3日曜日「エコチャレふくいの日」を中心に、節電など県民の省エネ実践を拡大するとともに、次世代自動車や省エネ住宅（ZEH）の普及を促進</p> <p style="text-align: right;">【安全環境部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・節電や移動をエコに行うなどの県民の身近な省エネ実践を呼びかける「エコチャレ」の実施 ・運輸部門のCO2排出削減につながる「スマートムーブキャンペーン」の実施（9～10月） ・省エネ住宅の普及に向けた「省エネ体感!ZEHの家キャンペーン」の実施（2月） <p>○燃料電池自動車（FCV）の購入支援を継続し、CO2削減を推進</p> <p style="text-align: right;">【安全環境部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FCVを導入する県民や県内企業を対象に、費用の一部を補助 ・みはまわくわくフェスタなどのイベントにおいてFCVの展示やPRを実施（4月、10月） ・メーカーがFCVのモデルチェンジを理由に受注停止（5月～12月、受注再開後の納期は約3か月） <p>企業の省エネ対策の推進</p> <p>○眼鏡製造業、伝統産業、保育施設、フィットネスクラブ・スイミングスクールの4業種のガイドラインを作成するほか、産業団体等と連携して、国の補助金の活用と省エネ対策をセットにした相談に応じるなど、中小企業の省エネ対策を支援</p> <p style="text-align: right;">【安全環境部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4業種について、省エネ実践ガイドラインを作成（1月） ・中小企業を対象に省エネ対策および国の補助金に関する相談対応を実施 ・県内企業の電気自動車等の導入を支援（補助件数71件） 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境基本計画を年度内に改定 <p style="text-align: center;">計画を策定(R5.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・節電等に積極的に取り組む県民の割合 50% (R3:-) (2016:29%) <p style="text-align: center;">32% (3月末)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FCV普及台数（累計） 90台 (R3:50台) <p style="text-align: right;">縮小</p> <p style="text-align: center;">51台 (3月末)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・省エネガイドライン作成業種数（累計） 14業種 (R3:10業種) <p style="text-align: center;">14業種 (3月末)</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>再生可能エネルギーの導入拡大</p> <p>○ 地域振興につながる小水力発電など再エネ導入に向け、地域協議会における事業化検討や再エネ発電設備導入を市町と連携して支援 【安全環境部】</p> <div data-bbox="846 225 1686 384" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域協議会の事業化検討を支援（1件勝山市） ・ 水力発電設備導入に対して市町と共同で支援（1件池田町） ・ 池田町の水力発電設備では、世界的な部品不足等の影響を受けて、水車や水圧管など資材納期が遅れているが、R5.12に発電開始予定 </div> <p>○ あわら市沖の洋上風力発電について、4月下旬に国へ情報提供し、国の地域協議会において促進区域の指定に向けて地域振興策などを議論 【安全環境部】</p> <div data-bbox="846 499 1686 563" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ あわら市沖洋上風力について、国に情報提供を実施（4月） ・ 国が「一定の準備段階に進んでいる区域」に整理（9月） </div> <p>○ 風力発電計画について、自然環境・景観への影響や災害に対する懸念が地元にあるため、国や事業者に必要な調査や説明を要求 【安全環境部】</p> <div data-bbox="846 683 1686 794" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業者が十分な説明や調査を行うよう経済産業省および環境省に要望書を提出（6月） ・ アセス手続き中の事業者に対して、事業の実施に伴う重大な影響を回避・低減するための事業計画の必要な見直しや、住民等に対し、十分な説明を行うことを要求（3月） </div> <p>嶺南スマートエリアの整備</p> <p>○ 嶺南市町におけるスマートタウンの整備に向け、外部専門人材を活用するなどして、エネルギー利用の最適化やI o Tを活用した魅力的なまちづくり等、市町の特色ある施策を支援 ※再掲（施策7-4） 【地域戦略部】</p> <div data-bbox="846 967 1686 1078" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ スマートタウン整備の事業化に向けて高浜町および若狭町によるスマートタウン等の整備に向けた計画策定費等を支援 ・ 外部人材を招聘し、若狭町におけるIoTを活用したサービス導入検討に対して支援 </div>	<p>・ 再エネ活用地域振興プロジェクトによる設備導入地域数（累計） 2地域（R3:1地域） 延期</p> <div data-bbox="1738 225 2123 320" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1地域（3月末） ※12月に2地域目の設備導入完了見込み</p> </div> <p>・ 支援する市町数 5市町（R3:3市町）</p> <div data-bbox="1738 967 2123 1031" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>5市町（3月末）</p> </div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>循環型社会の推進</p> <p>○ マイボトル運動の普及・拡大、脱プラスチック生活の取組み推進、ポイ捨て防止対策の強化によりプラスチック廃棄物を削減 【安全環境部】</p> <div data-bbox="846 240 1686 432" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・マイボトル運動協力店、マイボトル運動推進サポーターへの登録を呼びかけ ・ショッピングセンターなどにおいてマイボトル専用コーナーを設置(6月:31店舗) ・無料給水スポット紹介アプリ「mymizu」について、チラシや広告により広く周知 ・モニター46名がプラスチックを極力使わない生活を実践し、削減効果等を検証 ・道の駅などでポイ捨て防止の普及啓発を実施（14回） </div> <p>○ おいしい食べきり運動について、連合婦人会と連携した実践活動を推進するとともに、食品ロス削減の普及活動を行うフードロスマスターの養成や、スーパー等の未利用食品を子ども食堂等に提供する活動の推進により食品ロスを削減 【安全環境部】</p> <div data-bbox="846 651 1686 786" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・総合リユースイベントにおいて、連合婦人会と連携し、おいしいふくい食べきり運動の啓発活動を実施（10月） ・フードロスマスター養成講座の開催などにより、マスターを養成（累計196名） ・企業や団体が実施したフードドライブ活動について、HPで広く発信 </div> <p>○ 家庭から出る雑がみ分別の強化、事業所から出る紙資源の分別徹底により、紙資源のリサイクルを推進 【安全環境部】</p> <div data-bbox="846 906 1686 1010" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパー等の民間回収拠点に対し、雑がみ回収の統一看板の掲示を呼びかけ ・事業所における紙資源分別の優良事例集を作成・活用し、紙資源リサイクルの啓発を実施 </div>	<p>・マイボトル協力店舗数（累計） 175店舗（R3:165店舗）</p> <div data-bbox="1738 240 2123 308" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">175店舗（3月末）</div> <p>・マイボトル運動推進サポーター登録数（累計） 105社（R3:88社）</p> <div data-bbox="1738 432 2123 499" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">113社（3月末）</div> <p>・食品ロス削減に取り組む人の割合 82.0%(R3:80.3%)</p> <div data-bbox="1738 651 2123 718" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">82.4%（3月末）</div> <p>・「雑がみ」と掲示している民間回収拠点数 135店舗（R3:105店舗）</p> <div data-bbox="1738 906 2123 973" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">116店舗（3月末）</div>

政策15 ふるさとの暮らしと風景の維持

指標	実行プラン 記載の現状	2019年	実績 (2020年度)	実績 (2021年度)	実績 (2022年度)	目標 (2024年度)	達成度
地域運営組織の数 (地域課題解決に向けた取組みを持続的に行う 住民組織) (福井県調べ)	46組織 (2018)	46組織 (2019)	51組織 (2020)	54組織 (2021)	77組織 (2022)	60組織 (2024)	◎
次世代コミュニティ創出モデルの取組地区数・ 導入サービス件数 (福井県調べ)	—	—	1地区 (2020)	2地区 (2021)	3地区 (2022)	3地区 6サービス (2024)	○
汚水処理人口普及率 (福井県調べ)	96.1% (2018)	96.4% (2019)	96.7% (2020)	97.1% (2022)	— (8月公表予定)	98% (2024)	—
自然再生取組地域数 (福井県調べ)	9地域 (2018)	9地域 (2019)	10地域 (2020)	11地域 (2021)	12地域 (2022)	14地域 (2024)	○
温暖化対策を意識し節電等に積極的に取り組む 県民の割合 (福井県調べ)	29% (2016)	—	—	—	32% (2022)	50% (2022)	△
県内中小企業の省エネを推進するための ガイドライン策定業種数 (福井県調べ)	—	3業種 (2019)	6業種 (2020)	10業種 (2021)	14業種 (2022)	14業種 (2024)	○

(達成度の区分) ◎…想定を超えて進捗、○…概ね順調に進捗、△…対策強化が必要、※…特殊事情による、中止、延期等、—…判断時期未到来

令和5年度の対応

<p>【施策15-1】 「住みやすさ改革」による豊かな地域コミュニティづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 購入やリフォーム、除却等に対する補助を実施し、空き家の活用と発生予防、既存の生活圏への誘導、老朽空き家等の除却を促進
<p>【施策15-2】 美しい景観の保全・形成</p> <ul style="list-style-type: none"> 重要文化的景観である「越前海岸の水仙畑の文化的景観」について、協議会が実施する景観向上事業や、魅力発信事業を支援 景観対策として市町が行う花木など広葉樹等の植栽や不要木除去を支援し、美しい森林景観を保全
<p>【施策15-3】 里山里海湖の保全・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 年縞博物館開館5周年や北陸新幹線福井・敦賀開業を迎え、周辺・近隣施設と連携した企画や他部局と連携した情報発信、営業活動による県内外からの誘致を促進
<p>【施策15-4】 エネルギーと資源の循環型社会の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たな環境基本計画に基づき、非化石燃料からのエネルギー源の転換、省エネ対策の推進、再生可能エネルギーの導入拡大などを促進 マイボトル運動の拡大によるプラスチックごみ削減やまえどりの啓発による食品ロス削減、紙資源のリサイクル促進により、循環型社会の構築を推進

政策16 防災・治安先進県ふくいの実現



目指す姿	主な施策	目標 (KPI)
<p>【施策16-1】 〇人と技術による地域防災力の向上</p> <p>県と市町の連携・協力の強化のほか、地域の自助・共助による防災力と新技術の力を融合、自然災害への対応力を向上する。</p>	<p>地域の防災力を多面的に強化</p> <p>〇 消防団員の長期的な活動環境を整備するとともに、大規模災害団員の確保を促進 【安全環境部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各市町消防本部に対しヒアリングを実施し、制度の導入や団員の増加を依頼(7月) 消防団応援の店制度の推進(152店舗) <p>〇 企業と自主防災組織との応援協定締結を推進し、協定を締結した企業の地域防災活動を支援 【安全環境部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 5社が地元と協定締結済 協定締結済の企業における避難住民向けの資機材整備を補助(計8企業) <p>〇 個別避難計画の作成を進めるため、地域での研修会や訓練に防災士等を派遣するなど、市町の計画作成を支援 【安全環境部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町(防災部局、福祉部局)へのヒアリングによる課題等の把握、助言の実施(17市町) 市町の実施する訓練に防災士を派遣(2市町) 市町の担当者向けに研修会(先進事例の紹介等)を開催(2回) <p>「自分の命は自分で守る」防災意識の醸成</p> <p>〇 防災士を養成するとともに、防災士の協力を得て地域での防災マップ作成を支援 【安全環境部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災士養成研修の開催(2回 嶺北会場9月/嶺南会場12月) 防災士向け防災マップ作成研修の開催(2回 嶺北会場6月/嶺南会場6月) <p>行政による防災対応・支援機能の強化</p> <p>〇 福井県震度情報ネットワークを更新し、震度情報を県民、市町、関係機関に提供 【安全環境部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 5月に工事契約を締結 世界的な半導体製品不足等により震度計の納期が大幅に遅れるが、令和5年6月末に更新完了の見込み <p>〇 「みち情報ネットふくい」上で幹線道路除雪状況を表示するなど、県民やドライバーに分かりやすい除雪路線情報を提供 【土木部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 除雪状況、最重点除雪路線、消雪路線、路面凸凹情報を公開 	<p>目標 (KPI)</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模災害団員数(累計) 543人 (R3:393人) 405人(3月末) 応援協定締結企業数(累計) 43社 (R3:33社) 40社(3月末) 全市町で個別避難計画作成に着手 17市町 (R3:12市町で作成) 17市町(3月末) 防災士数(累計) 4,055人 (R3:3,855人) 4,105人(3月末) 老朽化した震度計の更新箇所 27箇所 (R3:-) 延期 0箇所(3月末) ※6月末27箇所完了見込み 除雪状況の表示市町(累計) 12市町(11月) (R3:6市) 13市町(3月末)

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>○ 河川監視カメラ、危機管理型水位計を増設し、防災情報の提供を充実 【土木部】</p> <div data-bbox="824 164 1637 228" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・河川監視カメラ増設工事を 8箇所において設置 ・危機管理型水位計増設工事を 5箇所において設置 </div> <p>○ A I 音声技術による道路規制情報案内を行い、災害時の県民への迅速な情報提供を強化 【土木部】</p> <div data-bbox="824 480 1637 544" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・出水期（7月～11月）、降雪期（12月～2月）に案内対象路線、案内内容を拡充し本格運用を開始 </div> <p>○ 「みち情報ネットふくい」のスマートフォン対応を行い、県民やドライバーに道路情報の提供を充実 【土木部】</p> <div data-bbox="824 639 1637 703" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「みち情報ネットふくい」のスマートフォン対応を実施 </div> <p>○ A I を活用した河川水位予測の実施により、災害時の市町、県民の避難判断を迅速化 【土木部】</p> <div data-bbox="824 815 1637 879" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・民間が構築した予測モデルを用い、実際の雨量データから水位予測を行い、実際の水位との比較検証を実施 </div> <p>○ 道路舗装等の変状のA I 自動判別により、いち早く損傷を把握し、迅速な補修対応を実施 【土木部】</p> <div data-bbox="824 999 1637 1062" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・清水美山線等においてAIによる舗装変状自動判別の実証実験を実施 </div> <p>○ 流域治水対策の取組みを促進するため、既存の校庭等を活用した雨水貯留施設などのモデル施工を実施し、その整備手法や効果に関係機関に共有 【土木部】</p> <div data-bbox="824 1177 1637 1289" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・丸岡高校定時制の校庭を活用した雨水貯留施設整備を完了。 ・今回のモデル施工の経験をもとに、整備の進め方や重要ポイント等をまとめた「校庭貯留施設整備マニュアル」を作成。 </div>	<p>・河川監視カメラ設置数（累計） 77箇所（R3:71箇所）</p> <div data-bbox="1691 164 2063 228" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">79箇所（3月末）</div> <p>・水位計設置数（累計） 142箇所（R3:138箇所）</p> <div data-bbox="1691 316 2063 379" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">143箇所（3月末）</div> <p>・規制解除予定時間などの案内情報を拡充し、本格運用を開始（9月）</p> <div data-bbox="1691 480 2063 544" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">7月から本格運用開始</div> <p>・「みち情報ネットふくい」のスマートフォン対応を実施（9月）</p> <div data-bbox="1691 639 2063 703" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">7月に実施</div> <p>・企業と連携した実証実験を実施する河川 2河川（R3:-）</p> <div data-bbox="1691 815 2063 879" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">2河川（3月末）</div> <p>・企業と連携した実証実験を実施する県管理道路 15km（R3:8km）</p> <div data-bbox="1691 999 2063 1062" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">20km（3月末）</div> <p>・流域治水の推進に向けたモデル施工の取組み 1箇所（R3:-）</p> <div data-bbox="1691 1177 2063 1241" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">1箇所（3月末）</div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>行政の連携による防災体制強化</p> <p>○ 洪水ハザードマップを活用した市町による避難訓練の実施を支援 【土木部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・減災協議会（県事務局）において、洪水ハザードマップを活用した避難訓練の実施を推進 ・本年度、県内8市1町でハザードマップを活用した避難訓練を実施 </div> <p>企業の防災・減災対応力を強化</p> <p>○ 県内企業の事業継続計画（BCP）策定を進めるため、普及啓発や作成支援のためのセミナーを開催 【産業労働部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・損害保険会社等と連携し県内企業のBCP策定支援を目的としたセミナーを開催 ・事業継続力強化計画の策定（5/17）、事業継続力強化計画の策定、サイバーリスク対策（6/28）、水害を想定したBCPの策定（11/28）支援セミナーを開催 </div> <p>新たな感染症への対策強化</p> <p>○ 新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた、ワクチン接種、検査、入院調整、受入病床確保、経口薬治療等による医療提供体制の確立を今後の対策に盛り込み、新たな感染症にも打ち克てる体制を構築 ※再掲（14-1） 【健康福祉部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・県内336医療機関と行政検査の契約を締結するなど、10,176件/日の検査体制を整備 ・新型コロナ患者受入れ病床は、宿泊療養施設を含め1,080床確保 ・福井大学病院の専用病床整備（HCUS床）を支援し、中等症以上の患者受入れを強化 ・市町・医療機関との連携、県営接種会場設置などワクチン接種を推進 ・県内173医療機関の協力を得て、電話やオンラインで診療・投薬を実施 </div>	<p>・洪水ハザードマップを活用した避難訓練を実施する市町数 4市町（R3:-）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">9市町（3月末）</div> <p>・セミナー延べ参加者数 150名（R3:166名）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">92名（3月末）</div> <p style="text-align: right;">縮小</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策16-2】 ○災害に強く、安心して暮らせる福井の基盤を構築</p> <p>事前防災対策および予防保全に基づいた老朽化対策等、「起きる前」を重視した県土強靱化を推進し、将来にわたり福井の安全・安心を確保する。</p>	<p>事前防災対策による「県土強靱化」の推進</p> <p>○ ダム建設事業や九頭竜川上流ダム再生事業の促進 ・足羽川ダム、吉野瀬川ダムの建設 【土木部】</p> <p>・足羽川ダム、吉野瀬川ダムの建設</p> <p>○ 河道整備および浚渫債を活用した河道掘削等を実施 ・底喰川、大蓮寺川等19河川の整備のほか、浚渫・伐木を実施 【土木部】</p> <p>・吉野瀬川、多田川、大蓮寺川等で河道整備を実施 ・足羽川、五味川、皿川、天王川、木の芽川、南川等で浚渫および伐木を実施</p> <p>○ 砂防堰堤等の整備により土砂災害対策を推進 ・上谷川（鯖江市沢町）、福谷地区（おおい町福谷）等 【土木部】</p> <p>・上谷川等において砂防工事を実施 ・福谷地区等において急傾斜地崩壊対策工事を実施</p> <p>○ 耐震性の低い木造住宅の耐震化を促進 ・現場見学会等による普及啓発、耐震診断・耐震改修工事等に対し補助 【土木部】</p> <p>・各市町・関係団体への広報等の依頼 ・支援制度講習会、動画配信等により補助制度をPR</p> <p>○ 下水道施設の耐震化・耐水化、道路法面の落石対策等を推進するとともに、市町の強靱化地域計画策定を支援 【土木部】</p> <p>・国道305号（南越前町河野）等において道路法面の落石対策等を実施</p>	<p>・年度内に吉野瀬川ダム本体の基礎掘削工事概ね完了</p> <p>年度内に吉野瀬川ダム本体の基礎掘削工事概ね完了</p> <p>・河川の整備延長（県管理）（累計）58.3km（R3:57.6km）</p> <p>58.6km（3月末）</p> <p>・浚渫実施土量 10万㎡（R3:9.7万㎡）</p> <p>9.4万㎡（3月末）</p> <p>・伐木実施面積 13万㎡（R3:13万㎡）</p> <p>15万㎡（3月末）</p> <p>・土砂災害対策施設の整備（累計）1,016箇所（R3:1,012箇所）</p> <p>1,016箇所（3月末）</p> <p>・木造住宅の耐震改修戸数 30戸（R3:22戸）</p> <p>23戸（3月末）</p> <p>・緊急輸送道路における道路斜面対策率 36.1%（R3:35.5%）</p> <p>37.2%（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>○ 消雪施設の設置、除雪機械更新による道路雪対策の強化 【土木部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・主要地方道福井金津線等、4路線にて消雪施設工事を実施 ・除雪ドーザ2台、除雪トラック1台、凍結散布車1台を更新 </div> <p>○ 令和3年夏の大雨で被害が発生した志津川等において、災害復旧および強靱化を推進 【土木部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・志津川の災害復旧区間下流約1.1kmにおいて防災・減災対策等強化事業推進費を活用した強靱化を推進 </div> <p>○ 令和4年8月の大雨で被害が発生した鹿蒜川等において、災害復旧および強靱化を推進 【追加】【土木部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・8月大雨による災害について、令和4年中に災害査定を実施。事業採択を受けた箇所から順次工事発注（鹿蒜川、河野川、皿川の河川災害復旧工事等） </div> <p>予防保全に基づいた老朽化対策によるインフラ施設の安全確保</p> <p>○ ダム、排水機場、道路施設等の長寿命化を推進 【土木部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・笹生川ダム、江端川第1排水機場、観音橋、小近庄トンネル 等 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・国道158号（下新橋）等において橋梁の補修工事を実施 ・今庄杉津線（山中トンネル）等においてトンネルの補修工事を実施 ・笹生川ダム、浄土寺川ダム、龍ヶ鼻ダムほか5ダムにおいて設備更新工事等を実施 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・消融雪整備 2.7km（R3:4.4km） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">4.6km（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・除雪機械更新 3台（R3:16台） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">4台（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・志津川において災害復旧箇所を含む 1.3km区間を年度内に完成 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">概ね完成</div> <ul style="list-style-type: none"> ・災害復旧工事着手 鹿蒜川など39河川、国道365号など9 路線 【追加】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">37河川、9路線で着手（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ダムの長寿命化ダム数 8ダム（R3:8ダム） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">8ダム（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・排水機場の長寿命化数 3機場（R3:4機場） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">3機場（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・橋梁の長寿命化箇所数 64箇所（R3:65箇所） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">64箇所（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・トンネルの長寿命化箇所数 37箇所（R3:30箇所） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">37箇所（3月末）</div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>誰もが安心して暮らせるための環境・基盤づくり</p> <p>○ 災害時における通行空間の安全確保や電力・情報通信ネットワークの安全性・信頼性確保のため、無電柱化や危険なブロック塀等の撤去への補助を実施 【土木部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・全市町において補助制度を創設、市町の広報媒体等を活用し補助制度をPR（4月～） ・県広報媒体や県主催講習会（民間事業者対象）を活用した補助制度のPR（4月～） </div> <p>○ 老朽空き家等の除却を促進するため、除却補助を実施するとともに、その発生を抑制し、空き家の適正管理を促進するため、空き家管理代行サービスの利用に対する補助等を実施 ※再掲（施策15-1） 【土木部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・福井県空き家対策協議会を開催、制度周知を実施（6/8、10/20、3/17） ・各市町・関係団体への広報等の依頼 ・支援制度講習、動画配信等により補助制度をPR </div> <p>○ 空き家の活用と発生予防、既存の生活圏への誘導を促進するため、空き家の購入・リフォーム等に対する補助を継続するとともに、リフォーム済み空き家購入等への加算を実施 ※再掲（施策15-1） 【土木部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・福井県空き家対策協議会を開催、制度周知を実施（6/8、10/20、3/17） ・各市町・関係団体への広報等の依頼 ・支援制度講習、動画配信等により補助制度をPR </div> <p>建設産業の担い手確保による地域防災力の維持</p> <p>○ 県発注工事における完全週休2日制の推進、生産性の向上のためのICT活用工事の導入による働き方改革の推進 【土木部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・原則、週休2日または完全週休2日として工事発注 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・危険なブロック塀等の撤去件数 125件（R3:64件） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;">44件（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽空き家等の除却戸数 120戸（R3:110戸） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;">100戸（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家管理代行サービス利用戸数 100戸（R3:5戸） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;">11戸（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家購入・リフォーム等件数 137件（R3:150件） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;">131件（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家情報バンク新規登録件数 240件（R3:275件） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;">R5.5月公表予定</div> <ul style="list-style-type: none"> ・完全週休2日実施率 50%（R3:35%） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;">57%（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用工事实施件数 50件（R3:38件） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;">51件（3月末）</div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>○ 建設産業の離職防止を図るため、建設事業者の働き方改革や生産性向上への取り組みを支援するとともに、DX推進に関するセミナーを開催【土木部】</p> <div data-bbox="824 165 1637 229" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・就業環境改善、資格取得、ICT関連機器導入等への支援（76件（3月末）） ・DXとペーパーレス化に関するセミナー開催（R4.10.12～13、嶺北・嶺南の計3回） </div> <p>○ 外国人労働者の特定技能への移行を促進するため、「建設産業外国人労働者相談センター」（仮称）の開設や建設事業者向けセミナーを開催【土木部】</p> <div data-bbox="824 331 1637 395" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・建設産業外国人労働者相談センター開設（R4.6.1） ・建設産業特定技能外国人受入セミナー開催（R4.11.29） </div> <p>国土強靱化地域計画の策定支援</p> <p>○ 「福井県国土強靱化地域計画」を改定し、大規模自然災害に備えた強靱な地域づくりを推進【地域戦略部】</p> <div data-bbox="824 692 1637 756" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「国土強靱化基本計画」に合わせた改定作業を進めていたが、国においてR5年夏頃に基本計画を改定することとなったため、計画期間を1年延長（R5.3月） </div>	<p>・セミナー参加者 300人（R3:-）</p> <div data-bbox="1688 165 2063 229" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">414人（3月末）</div> <p>・特定技能移行実施事業者 20者（R3:-）</p> <div data-bbox="1688 331 2063 395" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">37者（3月末）</div> <p>・セミナー参加者 100人（R3:41人）</p> <div data-bbox="1688 491 2063 555" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">103人（3月末）</div> <p>・年度内に福井県国土強靱化地域計画を改定 延期</p> <div data-bbox="1688 692 2063 756" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">国土強靱化基本計画の変更点を反映し、R5年度に改定</div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策16-3】 ○県民を守る犯罪・事故等の対策</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>県民を犯罪や事故から守る対策を強化し、県民が安心して暮らせる社会を実現する。</p> </div>	<p>子ども、女性、高齢者を守る対策の推進</p> <p>○自治会等による防犯カメラの効果的な設置を支援 【安全環境部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・新たに防犯カメラ設置を支援（35地区）</p> </div> <p>○インターネット被害、成年年齢引き下げに伴う消費者トラブル等を防止するため、若者を対象とした出前講座や研修会などを開催 【安全環境部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・保護者や教員等を対象とした青少年のインターネット被害防止のための研修会を実施（2回 嶺南・嶺北） ・高校や大学等で若者の消費者トラブル防止のための出前講座を開催（11回）</p> </div> <p>犯罪の起きにくい社会づくり</p> <p>○犯罪を犯した者が孤立することなく再び社会を構成する一員となるよう、企業経営者を対象に、実際に出所者等を雇用している企業経営者などを招いた雇用促進のためのセミナーを開催 【健康福祉部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・雇用促進セミナー開催（3/23）</p> </div> <p>交通事故防止対策の推進</p> <p>○自転車条例施行に伴い、自転車保険等への加入促進やヘルメット着用など、自転車の安全で適正な利用を推進するため、事業者とともに啓発を実施 【安全環境部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・損害保険関係事業者と連携し、加入率向上に向けた対策を実施（新聞広告キャンペーン、自転車保険の総合窓口開設、自転車教室への講師派遣体制の継続） ・モデル事業所5社と連携し、事業所の駐輪場にのぼり旗を掲出するなど、自転車通勤者にヘルメット着用を呼びかけ</p> </div> <p>○令和3年度に実施した交通死亡事故に関する調査分析結果を基に、歩行者優先モデル地区を設定し、横断歩道における歩行者ファーストを推進 【安全環境部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・明新地区（9-30エリア）を歩行者優先モデル地区として設定 ・モデル地区内の住民や事業者、学校に対し、横断歩道での歩行者優先を啓発 ・県下9市における横断歩道での停止率調査を実施（11月）</p> </div>	<p>・防犯カメラ設置支援地区数（累計） 90地区（R3:81地区）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>116地区（3月末）</p> </div> <p>・研修会等の参加者数 1,400人（R3:1,108人）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>1,569人（3月末）</p> </div> <p>・雇用促進セミナーのインターネット上での参加人数 200人（R3:169人）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>105人（3月末） ※オンラインでなく生活学習館で開催</p> </div> <p>・啓発協力事業者数 15社（R3:-）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>16社（3月末）</p> </div> <p>・歩行者優先モデル地区数 1地区（R3:-）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>1地区（3月末）</p> </div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>○ 反射材着用を推進するため、コンビニ等に加え、病院・薬局での無料配布など、反射材用品を手に入れやすい環境を整備 【安全環境部】</p> <div data-bbox="824 165 1637 228" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の利用が多い病院・薬局や移動販売車等に協力を得て、反射材を配付 ・エコバッグや傘など着用しやすい反射材用品を配付し、着用率を向上 </div> <p>○ 運転者の横断歩道における歩行者優先意識の向上を図るため、事業者の協力を得たラジオCM放送等のキャンペーンを実施 追加 【安全環境部】</p> <div data-bbox="824 325 1637 470" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・横断歩道における停止義務を周知するラジオCMを放送（11～2月：1,000回） ・賛同事業者に横断歩道ストップ宣言マグネットシートを配付・貼付（2,500枚）するとともに、社内研修等で従業員等に啓発するよう呼びかけ ・テレビや新聞、YouTubeなど様々な広報媒体を活用した啓発を実施 </div> <p>○ 児童、生徒の安全を確保するため、通学路等において歩道整備や防護柵設置など道路の安全対策を実施 【土木部】</p> <div data-bbox="824 580 1637 643" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・主要地方道福井加賀線（坂井市春江町針原）等において道路の安全対策を実施 </div>	<p>・ 反射材配布・販売店舗数（累計） 900店舗（R3:507店舗）</p> <div data-bbox="1688 165 2063 228" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>977店舗（3月末）</p> </div> <p>・ キャンペーン賛同事業者数 50社（R3:-） 追加</p> <div data-bbox="1688 325 2063 387" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>50社（3月末）</p> </div> <p>・ 通学路における安全対策実施箇所数 54箇所（R3:110箇所）</p> <div data-bbox="1688 580 2063 643" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>59箇所（3月末）</p> </div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策16-4】</p> <p>○県民の安全最優先の原子力政策</p> <p>廃炉、40年超運転、使用済燃料の中間貯蔵など、原子力の様々な課題に対して、県民の安全を最優先し対応する。</p>	<p>責任ある原子力・エネルギー政策の実行を国に要請</p> <p>○ 原子力の将来像を明確にするとともに、原子力発電所に対する国民理解の促進、使用済燃料の中間貯蔵施設への関係者理解確保に主体的に取り組むなど、国が責任を持って対応するよう要請 【安全環境部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の審議会で原子力の将来像を明確にすることなどを提言（13回） ・国は原子力の活用を明記した「GX実現に向けた基本方針」を閣議決定（令和5年2月） ・経済産業大臣等へ原子力の必要な規模とその道筋を明らかにすることなどを要請（3回） <p>原子力発電所の運転、もんじゅをはじめとする廃炉作業等を安全最優先で対応</p> <p>○ 原子力発電所の運転や廃炉作業等の安全性について、県原子力安全専門委員会の審議を通じて厳正に確認し、県民の安全最優先で対応 【安全環境部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県原子力安全専門委員会の審議（2回） <p>原子力防災体制の充実・強化</p> <p>○ 国の広域避難計画（緊急時対応）に基づく、住民・関係機関が参加する原子力防災訓練を実施 【安全環境部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美浜地域の広域避難計画に基づき、国主催の原子力総合防災訓練を実施（11月上旬） ・3年ぶりに県外避難を実施し、初めて石川県や奈良県へ住民が避難 ・新たに水陸両用車を活用した避難を行うなど、様々な避難方法の手順を確認 <p>嶺南地域への自衛隊誘致</p> <p>○ 原子力発電所が集中立地する嶺南地域において、いかなる状況においても迅速な事態対処を可能とするための自衛隊配備について、嶺南6市町とともに要請 【地域戦略部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月に、防衛省に対し、嶺南地域への部隊配備など、原子力発電所の防護体制に万全を期すよう、嶺南市町と合同で要請を行った 	<p>・6月に部隊配備を国に要請</p> <p>7月に要請</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策16-5】 ○拉致問題への対応</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>市町や関係団体と連携し県民への啓発に努めるとともに、国に対し、あらゆる機会をとらえ、解決に向けた取り組みを要請する。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>拉致問題の啓発と国への要請</p> </div> <p>○ 拉致問題の風化を防ぐため、国に対し問題解決に向けた取り組みを要請するとともに、国や関係団体と連携し講演会や街頭啓発活動等を実施 【健康福祉部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国への要請を実施（5/25） ・ 県立高校2校で地村保志氏講演会およびアニメ「めぐみ」上映会を実施（10/27、12/16） </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校での啓発講演会・アニメ上映会開催 2校・400人（R3:-） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px; text-align: center;">2校・450人（R4）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県・市町の庁舎施設等でのアニメ上映・パネル展示の実施 10箇所（R3:-） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px; text-align: center;">16箇所（R4）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 街頭啓発活動の実施 3箇所（R3:3箇所） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px; text-align: center;">3箇所（R4）</div>

政策16 防災先進県ふくいの実現

指標	実行プラン 記載の現状	2019年	実績 (2020年度)	実績 (2021年度)	実績 (2022年度)	目標 (2024年度)	達成度
防災士数 (日本防災士機構調べ)	3,150人 (2019)	3,363人 (2019)	3,556人 (2020)	3,855人 (2021)	4,105人 (2022)	4,150人 (2024)	○
想定最大規模の降雨に対応したハザードマップを 作成する市町数 (福井県調べ)	—	1市町 (2019)	8市町 (2020)	17市町 (2021)	17市町 (2022)	17市町 (2024)	○
緊急輸送道路における道路斜面对策率 (福井県調べ)	29.7% (2018)	32.2% (2019)	33.9% (2020)	35.5% (2021)	37.2% (2022)	41.0% (2024)	○
河川の整備延長(県管理) (福井県調べ)	55.0km (2018)	55.8km (2019)	56.9km (2020)	57.6km (2021)	58.6km (2022)	59.6km (2024)	◎
土砂災害対策施設の整備 (福井県調べ)	988箇所 (2018)	1,000箇所 (2019)	1,007箇所 (2020)	1,012箇所 (2021)	1,016箇所 (2022)	1,019箇所 (2024)	○
防犯カメラ設置支援地区数 (地域全体で犯罪抑止に取り組むためカメラを 設置する地区) (福井県調べ)	—	10地区 (2019)	40地区 (2020)	81地区 (2021)	116地区 (2022)	50地区 (2024)	◎

(達成度の区分) ◎…想定を超えて進捗、○…概ね順調に進捗、△…対策強化が必要、※…特殊事情による、中止、延期等、—…判断時期未到来

令和5年度の対応

【施策16-1】人と技術による地域防災力の向上

- ・計画作成に対する課題解決のため、有識者等のアドバイザーを派遣するなど、市町の個別避難計画の作成を支援
- ・国、県、市町等による流域治水協議会のワーキンググループにおいて、令和4年度末に二級水系の3河川で、令和5年度末には残りの二級水系全てで流域治水プロジェクトを策定・公表

【施策16-2】災害に強く、安心して暮らせる福井の基盤を構築

- ・河川改修、浚渫、伐木等の治水対策、道路における斜面や雪対策、インフラ老朽化対策等、県土の強靱化を推進
- ・改修工事や除却工事に対する補助を実施し、耐震性の低い木造住宅の耐震化や危険なブロック塀、老朽空き家等の除却を促進
- ・県発注工事における働き方改革の推進や、外国人労働者の受入れ環境整備など、建設産業の担い手確保に向けた取組みを実施
- ・吉野瀬川ダムの本体コンクリート打設(年度内進捗40%)

【施策16-3】県民を守る犯罪・事故等の対策

- ・子どもへの声かけ事案等の発生場所において、防犯カメラの設置状況を含めた安全点検を実施
- ・通学路における交通安全の更なる確保のため、交通安全対策を実施

【施策16-4】県民の安全最優先の原子力政策

- ・国の広域避難計画(緊急時対応)に基づく、住民・関係機関が参加する原子力防災訓練を実施

【施策16-5】拉致問題への対応

- ・引き続き、拉致問題の風化を防ぎ、一刻も早い解決を目指し、若い世代に向けた啓発活動等を実施

政策17 「チームふくい」の行政運営



目指す姿	主な施策	目標 (K P I)
<p>【施策17-1】 ○県民主役の県政推進</p> <p>長期ビジョンを策定し、県民と将来像を共有するとともに、徹底現場主義に基づき、職員が自発的に現場に赴き県民の声を県政に反映させる「県民主役の県政」を実現する。</p>	<p>クレド（行動規範）の策定・活用</p> <p>○ 研修実施等による意識定着とともに、クレドアワードにおける実践事例の表彰や、クレドを評価項目に反映した人事評価の施行など、実効性を高める施策を推進 【総務部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全職員を対象としたクレド研修を年12回実施（受講者平均数 37人/回） ・クレドアワードとして、福井県職員クレドを実践し、優れた成果を上げたもの（職務外を含む）を表彰（R4年度受賞件数：41件89名（団体受賞除く）） ・令和2年度から人事評価項目について、クレド（現場・挑戦・協働・創意工夫・効率化）の分野に分け、職員の行動を評価 <p>徹底現場主義による県政推進</p> <p>○ 長期ビジョンにかかるワークショップ、セミナー等を実施するなど、ふくいの将来像を県民や本県に関わる多様な人たちと共有し、実現に向けて協働 【地域戦略部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各分野の実践者等から取組みや提案をお聞きする長期ビジョン推進会議を開催（7/26）。また、会議メンバーと担当課が意見交換を行う政策立案協働ワークショップを実施（8/8） ・学校や企業等で長期ビジョンの説明やワークショップ等を実施（26回）。 ・また、県民が自らのアクションを考え、発信するFUKUI未来トークを実施（2回） ・県立図書館において長期ビジョンを紹介するパネル展示やクイズを実施（2/17～2/23）。また、「私のアクション」をフリップに書いてもらう「FUKUI未来トーク」コーナーを2/18に設け、参加した方の「私のアクション」をSNSにおいて紹介 <p>現場機能の強化・効率化</p> <p>○ 嶺南地域の防災体制を維持するため、「嶺南振興局危機対策幹」を配置 【総務部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年4月1日付で、嶺南振興局に副部長級の「危機対策幹」を配置 	<p>目標 (K P I)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クレド研修参加人数 600人 (R3:489人) <p style="text-align: right;">縮小</p> <p>446人 (R1～累計 1,842人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出前講座やFUKUI未来トーク等への参加者数 3,000人 (R3:3,151人) <p>3,110人 (3月末)</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策17-2】 ○市町との協働強化</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">人口減少や地域ごとの課題に対応するため、県と市町が協働して課題解決に取り組み、住民サービスを向上し行政運営を効率化する。</p>	<p>県・市町の共通課題への協働対応</p> <p>○ マイナンバーカード取得促進のための支援員を市町に派遣するなど、共通の課題の解決に向け県と市町が協働 【地域戦略部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">・マイナポイント支援員を全市町に派遣（6月～）、増員・期間延長（9月～） ・政策デザインを活用した広報（7～9月）</p> <p>市町職員の確保支援</p> <p>○ 市町において確保が難しくなっている土木、建築等の技術職員について、市町の要請に応じ、中堅職員を派遣 【総務部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">・令和4年度、土木職4名、農業土木職1名の新規派遣を含む計9名の中堅職員を、市町の要請に応じて派遣</p> <p>防災力の強化</p> <p>○ 市町の消防職員を受入れ、防災力を強化 【総務部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">・安全環境部危機対策・防災課に、福井市と敦賀市から1名ずつ、計2名の消防職員を受入れ</p> <p>県と市町の行政サービスの一元化推進</p> <p>○ 県と市町で構成する福井県電子自治体推進協議会において、ファイル共有システムの利活用や次期電子申請システムなどを検討し、県・市町の共同化を推進 【地域戦略部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">・福井県電子自治体推進協議会を開催し（5回）、次期電子申請システムや次期施設予約システムの調達・導入、ファイル共有システムの更なる利活用について、協議を実施</p> <p>予算編成の協働</p> <p>○ 予算編成に向けた市町長との政策ディスカッションを実施し、県と市町が協働で実施する事業を予算編成に反映 【地域戦略部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">・「知事と市町長との政策ディスカッション」を計5回実施（8月、12月） ・市町長からの提案や要望を県の予算案に反映</p>	<p>・マイナンバーカード普及率 75%（R3:49%）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">86%（3月末） 全国14位</p> <p>・技術職員の市町への中堅職員の派遣数 12人（R3:9人）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">9人（R4）</p> <p>・市町の消防職員の受入れ人数 2人（R3:2人）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2人（R4）</p> <p>・R4年度導入に係る福井県電子自治体推進協議会における検討 3回（R3:2回）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5回（3月末）</p> <p>・ディスカッション実施回数 4回（R3:6回）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5回（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策17-3】 〇未来をデザインする政策イノベーション</p> <p>SDGsの理念に基づく県政運営や、デザイン思考による「課題解決型」から「価値創造型」へのモデルチェンジ、生活・産業・行政の各分野におけるDXの推進など、長期ビジョンの将来像を実現する新たな政策形成システムを構築する。</p>	<p>SDGsの推進</p> <p>〇「ふくいSDGs月間」を新たに設定し、期間内に「ふくいSDGsパートナー」が実施する取組みを一体的に広報することを通して、持続可能な地域づくりの機運を醸成 【地域戦略部】</p> <p>・「ふくいSDGs月間」（9・10月）の期間中に、SDGsパートナーが135件のSDGs関連イベント等を県内各地で実施</p> <p>〇「SDGs未来都市」として、「ふくいSDGsパートナー」登録企業・団体等と連携しながら「福井の未来を担う次世代の育成」を核にした持続可能な地域づくりを推進 【地域戦略部】</p> <p>・「SDGsパートナー」と連携し、伝統工芸の担い手育成をテーマとした体験プログラムを作成（3/23モデル実施）</p> <p>デザイナーのアイデアを政策に反映する仕組みの構築</p> <p>デザインの視点を浸透</p> <p>〇県内デザイナー・クリエイターのアイデアを政策に反映する「政策デザイン」の仕組みを活用し、効果的で質の高い政策立案を全庁的に実施するとともに、デザインの視点や発想の有用性を県内外に発信 【地域戦略部】</p> <p>・県内デザイナー等との政策検討ワークショップを25回開催 ・デザイナーとともに潜在的ターゲットへのヒアリング調査（課題リサーチ）を5回実施 ・政策デザインの活用事例などを紹介する情報誌「政策デザインnavi」を3回発行</p> <p>デジタルの力で県民の生活の質を向上</p> <p>〇「スマート福井」実現を掲げて、「福井県DX推進プログラム」に基づく、生活・産業・行政の各分野におけるDXを推進し、課題解決と新たな価値創造に取り組む 【地域戦略部】</p> <p>・プログラムに掲載した68件のDX事業を着実に実施 ・新たに「県民向けサービス連携基盤」や「へき地におけるオンライン診療」など、新たなサービスの創出、県民ニーズを捉えたDX事業を推進</p> <p>〇県民向けサービス連携基盤を活用し、地域課題解決に向けた新たな価値創出を図り、生活のDXを推進 【地域戦略部】</p> <p>・9月末に「県民向けサービス連携基盤」を整備 ・第一弾として、「ふく育」と「ふく割」を連携させ、子育て世帯を対象とするデジタルクーポン（「ふく育割」）を発行（連携基盤の活用による方法で約2万枚発行）</p>	<p>・「SDGsパートナー」登録数（累計） 850機関（R3:658機関）</p> <p>922機関（3月末）</p> <p>・政策デザインによる政策立案件数 10件（R3:10件）</p> <p>10件（3月末）</p> <p>・実施事業数（「福井県DX推進プログラム」記載） 68件（R3:62件）</p> <p>73件（3月末）</p> <p>・連携基盤を活用したサービス数 2件（R3:-）</p> <p>1件（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p data-bbox="831 118 1160 145">〇〇DAループによる政策形成</p> <p data-bbox="824 156 1688 209">○ 政策トライアル枠予算・タスクフォースによる新事業立ち上げや若手職員による「チャレンジ政策提案」などにより、現場の状況に応じた政策を機動的に立案</p> <p data-bbox="1464 217 1688 244">【総務部・地域戦略部】</p> <div data-bbox="846 252 1700 469" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・政策トライアル枠予算は、45事業（82,880千円）のトライアル事業を実施し、令和5年度当初予算に15事業（322,693千円）を計上（29事業は令和5年度も検討を継続） ・タスクフォースは、11タスクフォースを編成し、庁内向けの不要物品マッチングポータル「ぶつりゅう」を開設するなど新事業を立ち上げ ・「チャレンジ政策提案」は、「新幹線開業に向けた〇〇」部門、「自由設定」部門に分けて募集し、16件がエントリー。14グループ（参加人数は過去最多の延べ73名）が知事に直接プレゼンを実施（事業化は令和5年度6月補正予算等において検討） </div>	<p data-bbox="1727 156 2107 209">・チャレンジ政策提案エントリー件数 15件（R3:14件）</p> <div data-bbox="1742 252 2123 320" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="1765 268 1890 295">16件（3月末）</p> </div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策17-4】 ○仕事の進め方改革と人材の育成</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">ICTを活用した住民の利便性向上や業務効率化を行い、質の高い・持続可能な行政サービスを提供するスマート自治体を実現する。</p>	<p>AI等の積極活用</p> <p>○業務の見直しや共通業務への横展開などにより、AI・RPA等の新技術を積極的に導入し、事務処理の効率化を推進 【地域戦略部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・RPAや業務改善ツール等の職員向け研修を実施し、160名が参加 ・業務効率化に資する「1所属1取組運動」を全庁で実施 </p> <p>効率的な働き方・多様な働き方の推進</p> <p>○デジタル活用による業務効率化や徹底したペーパーレス化を進め、福井県庁働き方改革“Life Style Shift”を推進 【総務部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・在庫物品の仲介システムや、有スキル職員と他所属の課題を仲介するシステムを開発し、物品購入や外注等を行う手間と時間を削減 ・紙の調達状況の見える化や卓上モニタの配備等を行い、H30比で紙使用量を43.6%削減 </p> <p>○Web会議の活用やテレワークの推進など、職員の効率的で多様な働き方を推進 【総務部・地域戦略部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・テレワークの実施可能場所を、公共施設など自宅以外に拡大（R4.7～） ・（一社）日本テレワーク協会主催：「テレワーク推進賞」実践部門奨励賞を受賞 </p> <p>手続におけるオンライン化の推進</p> <p>○「行政手続きを紙から電子へ」を促進するため、押印を廃止した手続きについてオンライン化を推進 【地域戦略部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・9割の手続き（申請数ベース）についてオンライン化を実施、あわせて、業務フローの見直し等も実施 ・県民はいつでも・どこでも申請可能となり、また、事務処理も迅速化され、利便性が向上 </p> <p>適正な人員配置と能力・多様性の向上</p> <p>○全国最少水準の職員数を基本としつつ、新幹線開業対策などの重点分野等に必要な人員を配置 【総務部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・全国最少水準の職員数を基本としつつ、新幹線開業対策などの重点分野等に必要の人員を配置 </p> <p>女性職員の活躍推進</p> <p>○管理職および将来の管理職を担う本庁課長補佐に女性職員を積極的に登用 【総務部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・管理職および将来の管理職を担う本庁課長補佐に女性職員を積極的に登用 </p>	<p>・AI・RPA等の新規導入業務数 100業務（R3:210業務）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">233業務（3月末）</p> <p>・職員一人あたりの年間超過勤務時間 125時間（R3:142時間）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">149時間（3月末） 縮小</p> <p>・月1回以上定期的にテレワークを実施した職員（県立病院、こども療育センターを除く） 60%（R3:36.6%）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">46.9%（3月末） 縮小</p> <p>・新規オンライン化手続数 220手続（R3:-）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">397手続（3月末）</p> <p>・全国最少水準の職員数を維持</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">全国最少水準を維持 （R4.4:2,948人、一般行政部門）</p> <p>・県職員の女性管理職割合 20.0%（R4.4:18.9%）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">20.1%（R5.4月時点）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p data-bbox="824 118 1167 145"><u>グローバル人材の育成・活躍推進</u></p> <p data-bbox="824 156 1697 220">○ 国際機関（(一財)自治体国際化協会（CLAIR）パリ事務所）や外国大学院へ職員を派遣し、グローバル人材を育成 【総務部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・国際機関（(一財)自治体国際化協会（CLAIR）パリ事務所）に1人派遣（R4～R5） ・海外大学院（シラキュース大学(アメリカ)）に1人派遣（R4～R5） </div>	<p data-bbox="1720 156 1995 209">・海外機関への職員派遣数 2人（R3:1人）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;"> <p data-bbox="1765 240 1883 268">2人（3月末）</p> </div>

目指す姿	主な施策	目標 (KPI)
<p>【施策17-5】 ○健全財政の堅持</p> <p>北陸新幹線など大型プロジェクトの財源を安定して確保するとともに、歳出の合理化・重点化を進め、健全な財政運営を行う。</p>	<p>歳入の確保</p> <p>○ 北陸新幹線や中部縦貫自動車道などの大型プロジェクトに伴う超長期債発行や、「ふるさと納税」の拡大、宝くじの販売を促進 【総務部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度関東・中部・東北自治宝くじの証票図柄に「2024年春北陸新幹線福井・敦賀開業」が採用 ・ 学校があらかじめ使途を定めて寄付を募集する「プロジェクト型母校応援寄付」を創設。8校のプロジェクト型に対し、1,043万円の寄付が集まり、部活動の練習環境等の向上を実現 </div> <p>歳出の合理化・重点化</p> <p>○ 「政策トライアル枠予算」の部局単位での上限額を撤廃するほか、翌々年度の新規事業立案が可能となるよう、機動的にチャレンジできる環境を整備 【総務部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3月末現在、45事業、82,880千円のトライアル事業を実施 ・ 令和5年度当初予算に、15事業、322,693千円を計上 ・ 29事業は令和5年度も検討を継続 </div> <p>○ 国交付金の活用や、交付税措置率の高い公共施設等適正管理推進事業債などを積極的に活用し、県有施設等の長寿命化を推進するほか、活用見込みのない職員住宅を貸し出すなど、県有財産を有効に活用 【総務部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設等総合管理推進会議を開催(5月、11月、2月) ・ 学生や海外技術研修員等への職員住宅の貸付(12戸) </div> <p>収支見通しに基づく健全な財政運営</p> <p>○ 予算編成と合わせて今後10年間の財政収支見直しを毎年度策定・公表 【総務部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度6月補正予算において、令和5年度から令和14年度までの財政収支見直しを策定し、公表する予定 </div> <p>○ 財政調整基金残高の確保、県債残高の適正管理 【総務部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県税収入の動向等を見極めながら、健全財政を維持 ([R4末(見込)] 基金残高 151億円、将来負担比率 162.2%、県債残高 5,390億円) </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行財政改革アクションプランに基づき健全な財政を維持 財政調整基金残高 100億円以上 (R3:141億円) 将来負担比率 200%未満 (R3:147.3%) 県債残高 6,000億円未満 (R3:5,180億円) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> R5.9月頃公表予定 (R4決算) </div>

政策17 「チームふくい」の行政運営

指標	実行プラン 記載の現状	実績	実績	実績	目標	達成度	
		(2019年度)	(2020年度)	(2021年度)	(2022年度)		(2024年度)
市町との協働により新たに課題解決できた数 (福井県調べ)	—	2件 (2019)	2件 (2020)	5件 (2020～2021計)	8件 (2020～2022計)	7件 (2020～2023計)	◎
職員一人当たりの年間超勤時間 (福井県調べ)	177時間 (2018)	145時間 (2019)	148時間 (新型コロナ対応を除き128時間) (2020)	142時間 (新型コロナ対応を除き119時間) (2021)	149時間 (新型コロナ対応を除き133時間) (2022)	125時間 (2023)	※
県職員の女性管理職割合 (福井県調べ)	14.7% (2019)	15.9% (2020)	17.4% (2021)	18.9% (2022)	20.1% (2023)	20.0% (2024)	○
財政調整基金残高 (福井県調べ)	147億円 (2018)	158億円 (2019)	143億円 (2020)	141億円 (2021)	151億円(見込) (2022)	100億円以上 (2023)	◎
将来負担比率 (福井県調べ)	169.7% (2018)	172.4% (2019)	166.3% (2020)	147.3% (2021)	162.2%(見込) (2022)	200%未満 (2023)	◎
県債残高 (福井県調べ)	4,792億円 (2018)	4,846億円 (2019)	5,055億円 (2020)	5,180億円 (2021)	5,390億円(見込) (2022)	6,000億円未満 (2023)	◎

(達成度の区分) ◎…想定を超えて進捗、○…概ね順調に進捗、△…対策強化が必要、※…特殊事情による、中止、延期等、—…判断時期未到来

令和5年度の対応

<p>【施策17-1】 県民主役の県政推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期ビジョンに掲げたふくいの将来像を県民や本県に関わる多様な人たちと共有するため、ワークショップ、セミナー等を実施し、実現に向けて協働 <p>【施策17-2】 市町との協働強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町共同で調達した電子申請・施設予約システムの利用を継続、県市町ファイル共有システムの利用を拡大 <p>【施策17-3】 未来をデザインする政策イノベーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふくいSDGsパートナー」の拡大を図るとともに、新たに「SDGsコーディネーター」を設置し、地域課題の解決に向けたパートナー同士の連携・協働を促進 ・政策立案の上流部分から事業のアウトプットまであらゆる場面において政策検討ワークショップを実施するとともに、人の意思決定の癖を用いて望ましい行動を促す「ナッジ」の考え方を取り入れ、利用者目線での政策立案を強化 ・政策トライアル枠予算・タスクフォースによる新事業立ち上げや若手職員による「チャレンジ政策提案」などにより、現場の状況に応じた政策を機動的に立案 <p>【施策17-4】 仕事の進め方改革と人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町や民間人材との情報共有・協働にチャットアプリを活用することでコミュニケーションの円滑化し、行政事務を効率化 ・RPAや業務改善ツール等の職員向け研修や、業務効率化に資する「1所属1取組運動」を全庁で実施し業務時間を削減 <p>【施策17-5】 健全財政の堅持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の交付金や財源措置の有利な起債を積極的に活用するとともに、事業の選択と集中を進めることにより、「行財政改革アクションプラン」に基づく中長期的な健全財政を維持

政策18 広域パートナーシップの強化



目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策18-1】 ○広域連携による高速交通網の整備促進</p> <p>関西・中部・北陸の各府県と足並みをそろえた国への要請等により、県境フロンティア政策の基盤となる北陸新幹線や中部縦貫自動車道といった高速交通網の整備を促進する。</p>	<p>北陸新幹線の整備促進（再掲）</p> <p>○ 金沢・敦賀間 令和5年度末までの確実な開業と地方負担の更なる縮減に向け、工程・事業費管理連絡会議を通じて、機構の事業執行を確認するとともに、沿線自治体等と連携して政府・与党に要請 ※再掲（施策9-1） 【地域戦略部】</p> <p>・ 毎月の工程・事業費管理連絡会議において、工程・事業費ともに計画の範囲内で進捗していることを確認するとともに、令和5年度末までの確実な開業を政府・与党に要請（連絡会議：4/21、5/27、6/28、7/26、9/1、9/30、10/31、11/28、12/22、1/30、3/3、3/29 要請：4/20、5/24、5/31、7/15、8/8、11/16）</p> <p>○ 敦賀・新大阪間 令和5年度当初の着工に向けて山場を迎えることから、関西をはじめとする沿線自治体・経済界と連携して政府・与党への働きかけを強化するとともに、関西の機運醸成に向けてイベントの開催など情報発信を強化 ※再掲（施策9-1、9-5） 【地域戦略部】</p> <p>・ 北陸新幹線建設促進同盟会や県として、政府・与党への要請活動を11回実施（4/20、5/24、5/31、7/15、8/8、8/26、10/24、11/7、11/8、11/16、12/15） ・ シンポジウム等の機運醸成イベントの開催や関西向けパンフレットの作成、早期全線開業レポートの発刊、SNSの活用など、関係自治体等と連携し、情報発信を強化</p> <p>中部縦貫自動車道の整備促進</p> <p>○ 沿線自治体や中部地域等の関係者と連携し、中部縦貫自動車道大野油坂道路の早期開通を政府・与党へ要請 【土木部】</p> <p>・ 国土交通省、財務省、与党への要望活動を実施（5/29、5/31、8/2、8/10、8/31、11/11、11/24、12/15、2/1） ・ 長野県、岐阜県の関係者も参加し、整備促進大会を開催</p>	<p>目標（KPI）</p> <p>・ 土木工事およびレール敷設工事の完了</p> <p>土木工事4月完了 レール敷設工事10月完了</p> <p>・ 3駅舎（芦原温泉駅、福井駅、越前たけふ駅）の完成</p> <p>芦原温泉駅9月完成、福井駅8月完成、越前たけふ駅9月完成</p> <p>・ 敦賀以西の延伸のための政府予算の確保</p> <p>令和5年度政府予算において、「北陸新幹線事業推進調査」12億円強を計上</p> <p>・ 早期開通に向けた要望活動を実施8回（R3:8回）</p> <p>9回（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策18-2】 ○広域連携による交流の拡大</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 高速交通網の整備により近くなる近隣都府県との連携を強化し、人・モノ・情報の交流を拡大する。 </p>	<p>国内外からの広域観光</p> <p>○ 教育旅行の誘致について、SDGsを取り入れた本県独自の新たな体験プログラムを造成するとともに、石川県、富山県と連携し首都圏および関西圏の学校等に対しPR ※再掲（施策10-1） 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏、関西圏の旅行会社や校長会を対象に北陸現地研修会を8月に実施 ・首都圏、関西圏、中京圏（岐阜）への営業活動実施 </div> <p>インバウンドの拡大</p> <p>○ 大阪万博などにより訪日客が見込まれる関西の観光団体等と連携し、伝統工芸やアクティビティなどテーマ性を持った広域周遊観光ルートを開発 ※再掲（施策8-2、10-3） 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・“伊賀、琵琶湖から福井を巡る田園風景と伝統工芸の旅”、“京都北部から若狭地域を巡る農漁村体験旅行”を造成し、旅行社で販売開始 ・今後、大阪・関西万博に向け、関西の観光団体等と連携しプロモーションを強化 </div> <p>港湾の利活用</p> <p>○ ラグジュアリー客船向け寄港地ツアーの造成等により海外クルーズ客船の誘致活動を強化し、寄港の拡大およびラグジュアリー客船の誘致を推進 ※再掲（施策9-4） 【産業労働部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・寄港地ツアーの造成等により海外クルーズ客船の誘致を強化し、寄港を拡大 </div> <p>小松空港の利活用</p> <p>○ 小松空港の国際定期路線の運航再開に向けて、石川県と連携して航空会社に働きかけ ※再掲（施策9-4） 【地域戦略部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・石川県と連携してバスラッピングやWeb広告の掲出など広報活動を再開（2月～） ・令和5年4月から、台北便の運航が再開 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsを取り入れた新たな体験プログラムの造成 1件（R3:3件） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">2件（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・広域周遊観光ルートの共同開発件数 1件（R3:1件） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">2件（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・クルーズ客船寄港回数 3回（R3:0回） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">3回（3月末）</div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策18-3】 ○広域連携による防災・医療体制の強化</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">自然災害等に備えた情報共有や広域的な訓練、災害発生時の迅速な対応に向け、広域連携を強化する。</p>	<p>行政の連携による防災体制強化</p> <p>○ タイムラインに基づき、道路管理者や警察、気象台、自衛隊等の関係機関による雪害対策合同訓練を実施 【土木部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">・道路管理者や警察、気象台、自衛隊等の関係機関による雪害対策合同訓練を実施</p> <p>災害からの復旧・復興</p> <p>○ 中部圏知事会や近畿ブロック知事会における災害時の相互応援に関する協定に基づき、人員確保が困難となる土木、建築、保健師等の技術職員や行政職員について、被災地自治体の要望により派遣 【地域戦略部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">・中部圏知事会や近畿ブロック知事会における災害時の相互応援に関する協定に基づく災害派遣 令和4年度 実績なし</p> <p>家畜の疾病対策</p> <p>○ 全国的な発生状況を踏まえ、近隣県や自衛隊等との情報共有を図り、防疫措置に伴う関連業務の応援体制や資材融通の協議を実施 【農林水産部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">・北陸三県家畜衛生技術検討会（7/8） ・中部圏家畜伝染病防疫対策連携会議（7/12） ・（石川県・福井県）県境防疫会議（8/19） ・関東甲信越東海北陸ブロック家畜衛生協議会（8/25） ・総務省勧告（4/22）を受け、自衛隊との役割分担等を見直し</p> <p>広域医療体制の整備</p> <p>○ 県内全域を対象に福井県ドクターヘリを運航するとともに滋賀県、岐阜県への応援運航を開始 ※再掲（施策14-1） 【健康福祉部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">・滋賀県（長浜市・米原市）と福井県（嶺南地域）の相互応援運航協定を締結（5/19） ・岐阜県（郡上市）と福井県（大野市和泉地域）の相互応援運航協定を締結（10/21）</p>	<p>・合同訓練を実施（11月末）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">訓練を実施（11月、12月）</p> <p>・各領域で協議を実施（8月）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">各領域において計4回の協議を実施（3月末）</p> <p>・福井県ドクターヘリ出動件数 350件（R3:311件）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">405件（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策18-4】 ○自治体ネットワークによる政策立案と提言</p> <p>関西、中部、北陸など他県との連携を進め、様々な交流を拡大するとともに、地域連携による新たな政策提言を行うことにより、都市と地方の課題解決につなげる。</p>	<p>都道府県連携の推進</p> <p>○ 全国知事会、ブロック知事会、近隣県知事との懇談会を通じ、地方としての課題を共有し、解決のための施策を企画・集約して国に提言 【地域戦略部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国知事会議（7/28・29開催、11/7開催、随時提言） ・ 近畿ブロック知事会議（5/19開催・7月提言、10/25開催・12月提言） ・ 中部圏知事会議（6/2開催・6月提言、10/21開催・11月提言） ・ 北陸三県知事懇談会（7/21開催） ・ 滋賀県知事懇談会（10/12開催）、石川県知事懇談会（11/2開催） <p>共通意識を持つ自治体の広域連携</p> <p>○ 将来世代応援知事同盟において、子育て世代の負担軽減や地方への新しい人の流れを創出するための政策を国に提言 【地域戦略部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本創生のための将来世代応援に係る緊急提言（7月提言） 	<p>・ 他都府県等と新たに連携して実施するプロジェクト数（累計） 9件（R3:6件）</p> <p>9件（2020～2022計）</p>

政策18 広域パートナーシップの強化

指標	実行プラン 記載の現状	2019年	実績 (2020年度)	実績 (2021年度)	実績 (2022年度)	目標 (2024年度)	達成度
他都府県等と新たに連携して実施する プロジェクト数（累計）	10 (2015～2019計)	2 (2019)	3 (2020)	6 (2020～2021計)	9 (2020～2022計)	15 (2020～2024計)	○

（達成度の区分）◎…想定を超えて進捗、○…概ね順調に進捗、△…対策強化が必要、※…特殊事情による、中止、延期等、—…判断時期未到来

令和5年度の対応

<p>【施策18-1】広域連携による高速交通網の整備促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 中部縦貫自動車道や舞鶴若狭自動車道、福井港丸岡インター連絡道路等の整備推進について、沿線自治体等とともに国などに対し要望活動を実施 <p>【施策18-2】アフターコロナの海外旅行の再開に向けた広域観光の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪万博を見据え、関西の広域観光DM等による旅行商品の造成や観光PRを実施 <p>【施策18-3】広域連携による防災・医療体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路管理者や警察、気象台、自衛隊等の関係機関による、冬期の道路交通の安全確保に向けた大雪対応合同訓練を実施し、道路除雪体制を強化 家畜疾病に関する全国的な発生状況を踏まえ、近隣県や自衛隊等との情報共有を図り、防疫措置に伴う関連業務の応援体制や資材融通の協議を実施 <p>【施策18-4】自治体ネットワークによる政策立案と提言</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国知事会やブロック知事会を通じて、近隣県と課題を共有し、国に積極的に提案
